

歯科保存学 1

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	小方 頼昌 (歯周治療学)

学習目標 (G I O)	<p>歯科保存学は、う蝕、歯髄炎または歯周病などの疾患に陥った歯および歯を支える歯周組織を歯を抜かずに本来有している口腔の機能を維持・回復するための治療学であり、また、それらの疾患に罹患しないよう予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存学は日常臨床で、高頻度に遭遇する疾患であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床では、患者の訴え（疼痛、腫脹、動揺など）を聞き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および処置方針の決定し、処置がされ、さらに経過の観察、機能の維持へと進行する。これらの進行が適切に行えるようになるために、歯科保存学の知識、技能を習得する。</p> <p>臨床学科目である歯科保存学を習得するための正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応などまた、治療に用いる材料など今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。</p>
評価方法 (E V)	保存総論（平常試験3回）、歯周治療学（平常試験2回、実習）、保存修復学（平常試験7回、実習）、歯内療法学（平常試験4回、実習）の総合評価とする。

保存学総論

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	小方 頼昌 (歯周治療学)

学習ユニット学習目標 (G I O)	<p>歯科保存学は、う蝕、歯髄炎または歯周病などの疾患に陥った歯および歯を支える歯周組織を歯を抜かずに本来有している口腔の機能を維持・回復するための治療学であり、また、それらの疾患に罹患しないよう予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存学は日常臨床で、高頻度に遭遇する疾患であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床では、患者の訴え（疼痛、腫脹、動揺など）を聞き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および処置方針の決定し、処置がされ、さらに経過の観察、機能の維持へと進行する。これらの進行が適切に行えるようになるために、歯科保存学の知識、技能を習得する。</p> <p>臨床学科目である歯科保存学を習得するための正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応などまた、治療に用いる材料など今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。</p>
担当教員	岡田 裕之、玉村 亮、栗原 紀子、齋藤 真規、續橋 治、平山 聡司、鈴木 英明、松島 潔、小方 頼昌
教科書	1~2年次の組織学、細菌学（微生物学）の教科書 同上 同上 保存修復学 第6版 千田 彰、寺下正道、寺中敏夫、宮崎真至 [編] 医歯薬出版
参考図書	1~2年次の生化学、生理学、免疫学の教科書 同上 同上
実習器材	特になし
評価方法 (E V)	平常試験による。
学生へのメッセージ オフィスアワー	担当教員にメールで質問をするか、アポイントを取る。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/03 (木) 3時限 13:00~14:30	総論講義①：保存学概論	<p>【授業の一般目標】 歯科の2大疾患であるう蝕と歯周炎の治療を行うために、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の目的を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①臨床歯科医学に歯科保存学における位置づけを説明できる。 2. ②保存修復学の目的を説明できる。 3. ③歯内療法学の目的を説明できる。 4. ④歯周治療学の目的を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯冠および歯根の形態を説明できる。 歯の構造、機能を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド、プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	平山 聡司 松島 潔 小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/03 (木) 3時限 13:00~14:30	総論講義①: 保存学概論	<p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 イ 辺縁歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	平山 聡司 松島 潔 小方 頼昌
2014/04/03 (木) 4時限 14:40~16:10	総論講義②: 歯・歯髄・歯周組織の構造・機能	<p>【授業の一般目標】 歯の治療ができるようになるため、象牙質・歯髄の発生・構造・機能について修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①象牙質・歯髄の発生について説明できる。 2. ②象牙質の構造と機能について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 象牙質の構造について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板, スライド, プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 カ 歯の形成・萌出</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】 *③歯 (乳歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造と機能を説明できる。【構成成分とその特徴を含む。】</p>	玉村 亮
2014/04/10 (木) 3時限 13:00~14:30	総論講義③: 歯・歯髄・歯周組織の構造・機能	<p>【授業の一般目標】 歯および歯周組織の治療が出来るようになるために、エナメル質、歯槽骨および歯根膜の構造について習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. エナメル質の構造について説明できる。 2. 歯槽骨と歯根膜の構造について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エナメル質の構造が列挙できる。 歯槽骨と歯根膜の構造を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリント配布</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 c 歯の構造・組成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成 (根尖歯周組織、辺縁歯周組織)</p>	岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/10 (木) 3時限 13:00～14:30	総論講義③：歯・ 歯髄・歯周組織の 構造・機能	f 歯根膜の感覚 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質 オ セメント質 キ 歯根膜 <歯周靭帯> ク 歯槽骨 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *①歯の発生、発育および交換の過程を説明できる。【構成成分とその変化を含む。】 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。	岡田 裕之
2014/04/17 (木) 3時限 13:00～14:30	総論講義④：う蝕 の細菌学	【授業の一般目標】 う蝕に関与する微生物と発症機序について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕原性細菌の種類と性状を説明できる。 2. う蝕の発症メカニズムを説明できる。 【準備学習項目】 う蝕病原細菌を説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齲蝕 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	齋藤 真規
2014/04/24 (木) 3時限 13:00～14:30	総論講義⑤：歯周 病の細菌学	【授業の一般目標】 歯周病の特徴とそれに関与する微生物を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周病原細菌の特徴を説明できる。 2. 各種歯周病に関連する微生物を理解する。 【準備学習項目】 歯周病原細菌について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	齋藤 真規
2014/04/25 (金) 3時限 13:00～14:30	平常試験 (総論①) ：総論講義①～④ の範囲	【授業の一般目標】 歯科の2大疾患疾患であるう蝕と歯周炎の治療を行うために、保存修復学、歯 内療法学、歯周治療学の目的を修得し、基礎教科との関連性を学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. 保存学の基礎となる解剖、組織、細菌学を復習し、理解する。 【準備学習項目】 歯および歯周組織に関連する基礎を再復習する。 【学習場所・媒体等】 筆記 (記述式) 試験 【学習方略 (LS)】 講義	岡田 裕之 玉村 亮 續橋 治 菜原 紀子 齋藤 真規 平山 聡司 鈴木 英明 松島 潔 小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/25 (金) 3時限 13:00~14:30	平常試験(総論①) : 総論講義①~④ の範囲	【場所(教室/実習室)】 301教室	岡田 裕之 玉村 亮治 續橋 紀子 齋藤 真規 平山 聡司 鈴木 英明 松島 潔 小方 頼昌
2014/04/25 (金) 4時限 14:40~16:10	平常試験(総論①) : 総論講義①~④ の範囲	【授業の一般目標】 歯科の2大疾患疾患であるう蝕と歯周炎の治療を行うために、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の目的を修得し、基礎教科との関連性を学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 保存学の基礎となる解剖、組織、細菌学を復習し、理解する。 【準備学習項目】 歯および歯周組織に関連する基礎を再復習する。 【学習場所・媒体等】 筆記(記述式)試験 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室	岡田 裕之 玉村 亮治 續橋 紀子 齋藤 真規 平山 聡司 鈴木 英明 松島 潔 小方 頼昌
2014/05/08 (木) 4時限 14:40~16:10	総論講義⑥: 口腔 粘膜と唾液腺	【授業の一般目標】 歯および歯周組織の治療が出来るようになるために、口腔粘膜および唾液腺の発生および構造について習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 口腔粘膜の基本的な構造について説明できる。 2. 口腔粘膜の機能的分類と特徴について説明できる。 3. 唾液腺の種類と構造を理解する。 4. 唾液腺の発生を理解する。 【準備学習項目】 口腔粘膜の基本的な構造を列挙できる。 口腔粘膜の機能的分類と特徴を列挙できる。 唾液腺の種類と構造を列挙できる。 唾液腺の発生を列挙できる。 【学習場所・媒体等】 プリント配布 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 カ 唾液腺 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 2 口腔・顎・顔面の構造 イ 固有口腔 ウ 口蓋 エ 舌 オ 口{腔}底 キ 頬 ク 口唇 4 歯・歯周組織の構造と機能 カ 歯肉 総論V 発生、成長、発達、加齢 3 歯・口腔・顎・顔面の発生 イ 顎、口蓋 エ 唾液腺 6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化 ア 形態的变化 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(1) 組織(上皮組織、結合組織、筋組織)【神経組織の構造と機能はC-2-3)-(5) 神経系の項を参照】 *②皮膚と粘膜の基本構造と機能を説明できる。 *③腺を分泌物の性状、形態および分泌機構に基づいて分類できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *①口唇・口腔粘膜の特徴を部位ごとに説明できる。【口唇・口腔感覚の特徴を含む。】 *⑤唾液腺の構造と機能を説明できる。【分泌調節を含む。】 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。	岡田 裕之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/15 (木) 3時限 13:00～14:30	総論講義⑦：感染と免疫機構、骨代謝	<p>【授業の一般目標】 生体防御機構を説明できる。 骨形成と骨吸収の関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 免疫機構の概要を説明できる。 2. 免疫担当細胞の機能と連携を説明できる。 3. 骨のリモデリングと全身および局所因子による調節機構を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 免疫担当細胞の種類と働きを説明できる。 骨代謝の全身および局所因子を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室、板書、プリントおよびパワーポイント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 コ 歯周病と全身疾患との関わり</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (1) 組織 (上皮組織、結合組織、筋組織) 【神経組織の構造と機能はC-2-3) - (5) 神経系の項を参照】 *⑦硬組織石灰化の基本的機序を説明できる。 C-3 感染と免疫 C-3-2) 免疫 *①自然免疫と獲得免疫について説明できる。 *②細胞性免疫と体液性免疫について説明できる。【抗体の種類と特徴を含む。】 *③免疫担当細胞の種類と機能を説明できる。</p>	小方 頼昌
2014/05/23 (金) 3時限 13:00～14:30	平常試験 総論②・保存修復①・歯内療法①	<p>【授業の一般目標】 総論試験範囲：総論講義⑤、⑥の範囲 保存修復試験範囲：修復講義①～⑦の範囲 歯内療法試験範囲：歯内講義①～④の範囲</p> <p>【準備学習項目】 総論試験範囲：総論講義⑤、⑥の範囲 保存修復試験範囲：修復講義①～⑦の範囲 歯内療法試験範囲：歯内講義①～④の範囲</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 松島 潔 齋藤 治 齋藤 紀子 齋藤 真規
2014/05/23 (金) 4時限 14:40～16:10	平常試験 総論②・保存修復①・歯内療法①	<p>【授業の一般目標】 総論試験範囲：総論講義⑤、⑥の範囲 保存修復試験範囲：修復講義①～⑦の範囲 歯内療法試験範囲：歯内講義①～④の範囲</p> <p>【準備学習項目】 総論試験範囲：総論講義⑤、⑥の範囲 保存修復試験範囲：修復講義①～⑦の範囲 歯内療法試験範囲：歯内講義①～④の範囲</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 松島 潔 齋藤 治 齋藤 紀子 齋藤 真規
2014/05/30 (金) 3時限 13:00～14:30	総論講義⑧：痛みの伝達	<p>【授業の一般目標】 歯および歯の周囲の痛みを理解できるようになるために、痛みの伝達を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①痛みの伝達のメカニズムを説明できる。 2. ②神経線維の種類と痛みの種類の関連を説明できる。 3. ③歯痛錯誤を説明できる。 4. ④歯髄の除痛法、鎮静法および薬剤について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯髄、歯周組織の神経支配を説明できる。 疼痛閾値について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/30 (金) 3時限 13:00～14:30	総論講義⑧：痛みの伝達	<p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 8 疼痛 ア 侵害受容性疼痛</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 8 疼痛 エ 口腔・顔面領域の疼痛</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-6) 疼痛 *①疼痛の種類を説明できる。【関連痛を含む】] *②疼痛の発生機序を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髄の構造と機能を説明できる。</p>	松島 潔
2014/05/30 (金) 4時限 14:40～16:10	総論講義⑧：痛みの伝達	<p>【授業の一般目標】 歯および歯の周囲の痛みを理解できるようになるために、痛みの伝達を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①痛みの伝達のメカニズムを説明できる。 2. ②神経線維の種類と痛みの種類の関連を説明できる。 3. ③歯痛錯覚を説明できる。 4. ④歯髄の除痛法、鎮静法および薬剤について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯髄、歯周組織の神経支配を説明できる。 疼痛閾値について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 8 疼痛 ア 侵害受容性疼痛</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 8 疼痛 エ 口腔・顔面領域の疼痛</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-6) 疼痛 *①疼痛の種類を説明できる。【関連痛を含む】] *②疼痛の発生機序を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髄の構造と機能を説明できる。</p>	松島 潔
2014/06/06 (金) 3時限 13:00～14:30	保存学総論平常試験③：総論講義⑦、⑧の範囲の筆記（記述式）試験	<p>【学習場所・媒体等】 筆記（記述式）試験</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	小方 頼昌 松島 潔

歯周治療学

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	小方 頼昌 (歯周治療学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	日本の全年齢層において、歯肉炎は約43%、歯周炎は約30%の人が罹患しており、その罹患率を年齢別にみると20歳前後で65%、50歳前後では90%以上にもなる。さらに歯周病は、糖尿病を含む様々な全身疾患と関連する生活習慣病であることから、その予防と治療の社会的意義はきわめて大きい。そのため、一生自分の歯で美味しく食事ができるような良好な口腔環境が維持できるように歯周病を予防または治療することを目的とする学問である。重度歯周炎では、歯の動揺や移動、歯肉の腫れや痛みを伴うことから、適切な診断と治療計画に則った治療が要求される。的確な検査と診断、歯周治療が行えるようになるために、歯周治療学の知識、技能を習得する。
担当教員	小方 頼昌、中山 洋平、吉野 祥一、高井 英樹、目澤 優、岡野 千春、武井 美佑紀、豊嶋 泉、廣松 勇樹、井上 英子、蔦森 麻衣、松村 浩偵、清水 智生
教科書	臨床歯周病学 第2版 伊藤公一 その他 医歯薬出版 歯周治療学実習帳 小方頼昌 その他 歯周治療学講座編
参考図書	失敗しない歯周外科 キュレタージュから再生療法まで 小方頼昌 國松和司 クインテッセンス出版 コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 鴨井久一 その他 西村書店 プリベンティブペリオドントロジー 鴨井久一 その他 医歯薬出版 カラーアトラスハンドブック歯周治療臨床ヒント集 小方頼昌 その他 クインテッセンス出版 ラタイチャークカラーアトラス歯周病学 第3版 臨床歯周病学会編 永末書店
実習器材	顎模型、歯周外科治療用器具一式
評価方法 (EV)	平常試験 60% 実習内容の評価 (実習作製、実技試験、実習中に行う試験等) 40%
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科保存学は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われている処置である。適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際のみでの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。 実習では、臨床の場を想定して主にファントム (マネキン) 実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。 講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。 また、e-mail 小方:ogata.yorimasa@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/01 (水) 1時限 09:00~10:30	歯周治療学総論、 正常歯周組織、歯 周組織の構造と機 能	<p>【授業の一般目標】 正常歯周組織の形態学的特徴および生理学、生化学的特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正常歯周組織の各部の名所を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 基礎科目で学習した、歯周組織の解剖学的、生理的、生化学特徴を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室、板書およびパワーポイント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ウ 歯・歯周組織の構造・組成・機能 d 歯周組織の構造・組成 (根尖歯周組織、辺縁歯周組織)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 オ セメント質 カ 歯肉 キ 歯根膜 <歯周靭帯> ク 歯槽骨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。</p>	小方 頼昌
2014/10/08 (水) 1時限 09:00~10:30	歯周病の疫学、歯 周病の罹患状況	<p>【授業の一般目標】 疫学的調査により歯周病の罹患状況を理解する。 疫学的評価法を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/08 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周病の疫学、歯周病の罹患状況	1. 歯科の2大疾患と歯周病の罹患状況を説明できる。 【準備学習項目】 歯周病と他の歯科疾患の罹患率を比較する。 【学習場所・媒体等】 301教室、板書およびパワーポイント 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 サ 歯周病の疫学要因 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 病因論 イ 環境と疾患 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。	中山 洋平
2014/10/15 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周病の病因と成り立ち、プラークと歯石、バイオフィルム、歯周病における微生物の役割、病原メカニズム	【授業の一般目標】 歯周病と歯周病原菌(バイオフィルム)の関係、炎症との関係を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. プラークと歯石の構造と臨床的意味を理解する。 【準備学習項目】 プラークと歯石について説明できる。 歯周病原菌について説明できる。 【学習場所・媒体等】 301教室 板書およびパワーポイント 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VII 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 イ 辺縁歯周組織 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 イ 歯肉病変の修飾因子 ウ 歯周炎 エ 歯周炎のリスクファクター オ 壊死性歯周疾患 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 感染と免疫 C-3-1) 感染 *②細菌、真菌、ウイルスおよび寄生虫のヒトに対する感染機構とこれらの微生物がヒトに対して示す病原性を説明できる。	高井 英樹
2014/10/22 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周病の症状と徴候、歯周組織検査 ①、歯周病の画像診断、歯肉の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケット、アタッチメントレベル	【授業の一般目標】 歯周病の臨床像について理解し、その症状を学ぶ。歯周病検査、歯周病の画像診断、歯肉の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケットおよびアタッチメントレベルについて学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯周病の症状と特徴を説明できる。 【準備学習項目】 歯周病の臨床像について予習をする。 【学習場所・媒体等】 301教室、板書とパワーポイント 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VII 主要症候	吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/22 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周病の症状と徴候、歯周組織検査 ①、歯周病の画像診断、歯肉の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケット、アタッチメントレベル	2 歯・口腔・顎・顔面の症候 イ 辺縁歯周組織 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *①歯周疾患の症状を説明できる。【疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】	吉野 祥一
2014/10/29 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周病の病態と病変の進行、歯周病の臨床像、歯周病の分類	【授業の一般目標】 歯周病の臨床所見を理解し、分類とその特徴について学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯周病の臨床所見と分類を説明できる。 【準備学習項目】 歯周病の臨床所見を予習する。 【学習場所・媒体等】 301教室、板書とパワーポイント 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 7 小児の歯周病 ア 歯周病の特徴 イ 歯周病への対応 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。	小方 頼昌
2014/11/05 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周病の病因論、宿主防御反応、全身疾患と歯周疾患の関係	【授業の一般目標】 歯周病における宿主防御過程について学ぶ。全身疾患と歯周病との関係を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯周病と関連する全身疾患を説明できる。 【準備学習項目】 歯周病と全身疾患との関係を調べる。 【学習場所・媒体等】 301教室、板書およびパワーポイント 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 サ リスクファクター 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 イ 歯肉病変の修飾因子 エ 歯周炎のリスクファクター コ 歯周病と全身疾患との関わり 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。	小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/12 (水) 1時限 09:00～10:30	咬合と歯周病、歯の動揺と移動、歯肉の増殖と退縮、歯根露出、知覚過敏症への対応	<p>【授業の一般目標】 咬合性外傷の原因と病変の進行について学ぶ。歯周治療と補綴、矯正治療との関係について学ぶ。歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、治療方法、知覚過敏処置について学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合性外傷、歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、知覚過敏処置について学ぶ。</p> <p>【準備学習項目】 咬合性外傷、歯の動揺、歯根露出、知覚過敏について予習をする。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室、板書とパワーポイント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 エ 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 c 辺縁歯周組織の検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 カ 咬合性外傷 ク 歯肉退縮 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(4) 象牙質知覚過敏症の診断と治療 *①象牙質知覚過敏症の病因、病態、診断および治療法を説明できる。 ②象牙質知覚過敏症を適切に処置できる。</p>	中山 洋平
2014/11/19 (水) 1時限 09:00～10:30	根分岐部病変、歯内歯周病変、歯周基本治療	<p>【授業の一般目標】 根分岐部病変の原因と治療について理解する。歯内歯周病変について学ぶ。歯周治療の流れを説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 根分岐部病変と歯内歯周病変の分類について説明できる。 2. 歯周基本治療で実施する項目を列挙できる。</p> <p>【準備学習項目】 根分岐部病変および歯内歯周病変の分類を理解する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室、板書とパワーポイント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 エ 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 c 辺縁歯周組織の検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ケ 歯内歯周病変 9 歯周病の治療 カ 根分岐部病変の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。</p>	高井 英樹
2014/11/26 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周組織検査②	<p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れを理解する。歯周病検査の意義と内容を説明できる。歯周病検査の結果を基に、診断および治療計画の立案ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療の流れを説明できる。 2. 歯周病検査 (基本検査、精密検査) の項目を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周治療の流れについて予習を行う。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p>	中山 洋平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/26 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周組織検査②	301教室 板書とパワーポイント 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *②歯周疾患の診断と治療方針を説明できる。【検査法、メンテナンス法を含む。】	中山 洋平
2014/11/26 (水) 3時限 13:00～14:30	歯周治療総論器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周組織検査①	【授業の一般目標】 歯周治療で使用する器具の名称、使用方法、使用目的を説明できる。歯周治療の進め方を理解する。歯周病検査の意義を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療の進め方を説明できる。 2. 歯周病検査の項目を説明できる。 【準備学習項目】 歯周治療に使用する器具の名称、使用方法と目的を再確認する。 【学習場所・媒体等】 301教室、板書とパワーポイント 第4実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 エ 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 c 辺縁歯周組織の検査 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 松村 浩 清水 智生
2014/11/26 (水) 4時限 14:40～16:10	歯周治療総論器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周組織検査①	【授業の一般目標】 歯周治療で使用する器具の名称、使用方法、使用目的を説明できる。歯周治療の進め方を理解する。歯周病検査の意義を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周治療の進め方を説明できる。 2. 歯周病検査の項目を説明できる。 【準備学習項目】 歯周治療に使用する器具の名称、使用方法と目的を再確認する。 【学習場所・媒体等】 301教室、板書とパワーポイント 第4実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 松村 浩 清水 智生

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/26 (水) 4時限 14:40～16:10	歯周治療総論器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周組織検査①	1 1 検査の基本 エ 歯・歯周組織・口腔・顎・顔面の検査 c 辺縁歯周組織の検査 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 衣 松村 浩 清水 智生
2014/12/03 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周基本治療(1) 口腔衛生指導 ブラッシング指導 ブラークコントロール	【授業の一般目標】 歯周基本治療で行う項目を列挙できる。歯周基本治療の目的とその治療内容について説明できる。ブラッシング指導とブラークコントロールについて理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯周基本治療で行う内容を説明できる。 2. 口腔衛生指導に重要性を理解する。 【準備学習項目】 歯周基本治療の目的を再確認する。 【学習場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 ウ 歯周炎 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ③正しくブラークコントロールができる。	吉野 祥一
2014/12/03 (水) 3時限 13:00～14:30	歯周基本治療(1)、 歯周組織検査②、 歯周病の検査・診断・治療計画、 プロトコールの記入、人工歯石の塗布	【授業の一般目標】 歯周精密検査を行い、検査結果を基に診断および治療計画を立案することができる。歯周基本治療で行う治療内容を説明できる。歯周精密検査表の記入ができる。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯周治療の流れを説明できる。 2. 歯周病検査の結果、診断および治療計画の立案ができる。 【準備学習項目】 歯周病検査(歯周精密検査)の項目を再確認する。 【学習場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 衣 松村 浩 清水 智生
2014/12/03 (水) 4時限 14:40～16:10	歯周基本治療(1)、 歯周組織検査②、 歯周病の検査・診断・治療計画、	【授業の一般目標】 歯周精密検査を行い、検査結果を基に診断および治療計画を立案することができる。歯周基本治療で行う治療内容を説明できる。歯周精密検査表の記入ができる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/03 (水) 4時限 14:40～16:10	プロトコールの記入、人工歯石の塗布	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 歯周治療の流れを説明できる。 2. 歯周病検査の結果、診断および治療計画の立案ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>歯周病検査 (歯周精密検査) の項目を再確認する。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 エ 辺縁歯周組織検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。</p>	岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 松村 浩 清水 智生
2014/12/10 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周基本治療 (2) スケーリング	<p>【授業の一般目標】</p> <p>スケーリングの目的と方法を理解する。スケーリングに際し、適切なスケーラーを選択できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. スケーラーの種類とその特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>スケーラーの種類と特徴を再確認する。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。</p>	吉野 祥一
2014/12/10 (水) 3時限 13:00～14:30	歯周基本治療 (2) ブラッシング 補助清掃器具の使用法	<p>【授業の一般目標】</p> <p>ブラッシング法の種類を列挙できる。歯ブラシおよび補助清掃器具の選択と使用法を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. ブラッシング法とその特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>ブラッシング法とその特徴を再確認する。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 武井 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 松村 浩 清水 智生

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/10 (水) 3時限 13:00～14:30	歯周基本治療(2) ブラッシング 補助清掃器具の使用法	9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ③正しくプラークコントロールができる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 衣偵 松村 浩智 清水 智生
2014/12/10 (水) 4時限 14:40～16:10	歯周基本治療(2) ブラッシング 補助清掃器具の使用法	【授業の一般目標】 ブラッシング法の種類を列挙できる。歯ブラシおよび補助清掃器具の選択と使用法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. ブラッシング法とその特徴を説明できる。 【準備学習項目】 ブラッシング法とその特徴を再確認する。 【学習場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ③正しくプラークコントロールができる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 衣偵 松村 浩智 清水 智生
2014/12/17 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周基本治療(3) スケーリング・ルートプレーニング①	【授業の一般目標】 スケーリング・ルートプレーニングに際し、適切なキュレットが選択でき、正しいポジションについて説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. スケーリング・ルートプレーニング時の正しいポジションを説明できる。 【準備学習項目】 スケーリング・ルートプレーニング時の正しいポジションを再確認する。 【学習場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。	高井 英樹
2014/12/17 (水) 3時限 13:00～14:30	歯周基本治療(3)、 スケーリング、スケーリング時のポジショニング、スケーラーの使用法(カマ型スケーラー)、人工歯石の塗布	【授業の一般目標】 スケーリングの目的と方法を説明できる。スケーリングに使用する器具を選択でき、使用できる。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. スケーラーの種類とその特徴を説明できる。 【準備学習項目】 スケーラーの種類とその使用法を予習する。 【学習場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 衣偵 松村 浩智 清水 智生

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/17 (水) 3時限 13:00～14:30	歯周基本治療(3)、 スケーリング、ス ケーリング時のポ ジショニング、ス ケーラーの使用法 (カマ型スケーラー)、 人工歯石の塗布	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。</p>	<p>小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 井 泉 豊嶋 勇樹 松上 英子 井森 麻衣 村 衣偵 清 智生</p>
2014/12/17 (水) 4時限 14:40～16:10	歯周基本治療(3)、 スケーリング、ス ケーリング時のポ ジショニング、ス ケーラーの使用法 (カマ型スケーラー)、 人工歯石の塗布	<p>【授業の一般目標】 スケーリングの目的と方法を説明できる。スケーリングに使用する器具を選択 でき、使用できる。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. スケーラーの種類とその特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 スケーラの種類とその使用法を予習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。</p>	<p>小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 井 泉 豊嶋 勇樹 松上 英子 井森 麻衣 村 衣偵 清 智生</p>
2014/12/24 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周基本治療(4)、 スケーリング・ル ートプレーニング②、 スケーラーの研磨、 診査・診断	<p>【授業の一般目標】 スケーラーおよびキュレットの適切な研磨ができる。歯周病検査の結果の分析、 診断について学ぶ。ルートプレーニングの目的と方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ルートプレーニングの目的と方法を理解する。 2. スケーラーおよびキュレットの適切な研磨法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 スケーラー研磨法を再確認する。ルートプレーニングの目的を再確認する、</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習</p>	<p>中山 洋平</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/24 (水) 2時限 10:40~12:10	歯周基本治療(4)、 スケーリング・ルート プレーニング②、 スケーラーの研磨、 診査・診断	F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。	中山 洋平
2014/12/24 (水) 3時限 13:00~14:30	歯周基本治療(4)、 スケーリング・ルート プレーニング①、 スケーラーの使用 法、グレーシーキ ュレット	【授業の一般目標】 スケーラーおよびキュレットの使用法を習得する。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。 【準備学習項目】 グレーシーキュレットの使用法を再確認する。 【学習場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 井上 泉 豊嶋 樹 廣松 勇 井森 英子 松村 麻衣 清水 浩 松村 智生
2014/12/24 (水) 4時限 14:40~16:10	歯周基本治療(4)、 スケーリング・ルート プレーニング①、 スケーラーの使用 法、グレーシーキ ュレット	【授業の一般目標】 スケーラーおよびキュレットの使用法を習得する。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。 【準備学習項目】 グレーシーキュレットの使用法を再確認する。 【学習場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 エ 歯周炎のリスクファクター 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑 井上 泉 豊嶋 樹 廣松 勇 井森 英子 松村 麻衣 清水 浩 松村 智生
2015/01/14 (水) 2時限 10:40~12:10	歯周基本治療の進 め方、歯周基本治 療の意義	【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の進め方を説明できる。 【準備学習項目】 歯周基本治療について再確認する。 【学習場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント	吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/14 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周基本治療の進め方、歯周基本治療の意義	<p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 10 診察の基本 ウ 診察時の体位 b 術者の姿勢・位置</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスクレーリング・ルートプレーニングができる。 ⑤歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる。</p>	吉野 祥一
2015/01/14 (水) 3時限 13:00～14:30	スクレーリング・ルートプレーニング②、スクレーラーの研磨	<p>【授業の一般目標】 ルートプレーニングに際しての、スクレーラーおよびキュレットの選択、使用法およびポジショニングを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ルートプレーニングを実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 ルートプレーニングに関して再確認する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室 板書およびパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 テ 歯周病の治療 a 基本的術式</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスクレーリング・ルートプレーニングができる。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 衣偵 松村 浩智 清水 智生
2015/01/14 (水) 4時限 14:40～16:10	スクレーリング・ルートプレーニング②、スクレーラーの研磨	<p>【授業の一般目標】 ルートプレーニングに際しての、スクレーラーおよびキュレットの選択、使用法およびポジショニングを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ルートプレーニングを実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 ルートプレーニングに関して再確認する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室 板書およびパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 テ 歯周病の治療 a 基本的術式</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 衣偵 松村 浩智 清水 智生

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/14 (水) 4時限 14:40～16:10	スケーリング・ルートプレーニング②、スケーラーの研磨	F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 井上 英子 蔦森 麻衣 松村 浩 清水 智生
2015/01/21 (水) 1時限 09:00～10:30	歯周基本治療まとめ、平常試験①	【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の進め方を説明できる。 【準備学習項目】 歯周基本治療全般について復習する。 【学習場所・媒体等】 301教室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 オ 使用器材、取扱法 a 基本的器材 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。 ②診断に基づいて適切な治療計画を立案できる。 ③正しくブラークコントロールができる。 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。 ⑤歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる。	小方 頼昌
2015/01/21 (水) 2時限 10:40～12:10	歯周基本治療まとめ、平常試験①	【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の進め方を説明できる。 【準備学習項目】 歯周基本治療全般について復習する。 【学習場所・媒体等】 301教室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 オ 使用器材、取扱法 a 基本的器材 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。 ②診断に基づいて適切な治療計画を立案できる。 ③正しくブラークコントロールができる。 ④適切なスケーリング・ルートプレーニングができる。 ⑤歯周治療時の生活上の注意事項を患者に伝えることができる。	小方 頼昌
2015/01/21 (水) 3時限 13:00～14:30	歯周基本治療まとめ、実習試験	【授業の一般目標】 歯周治療における歯周基本治療の意義について理解する。	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	歯周基本治療まとめ 実習試験	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の意義について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 実習で行った内容を再復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第4実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p>	高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 蔦森 麻衣 井上 英子 松村 英子 清水 慎生
2015/01/21 (水) 4時限 14:40～16:10	歯周基本治療まとめ 実習試験	<p>【授業の一般目標】 歯周治療における歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の意義について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 実習で行った内容を再復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 第4実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 岡野 千春 武井 美佑紀 豊嶋 泉 廣松 勇樹 蔦森 麻衣 井上 英子 松村 英子 清水 慎生
2015/01/28 (水) 3時限 13:00～14:30	歯周基本治療まとめ 平常試験②	<p>【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の進め方を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周基本治療の内容について再復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 10 診察の基本 ク 歯・歯周組織の診察 c 根尖・辺縁歯周組織の症状</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-3) 歯周治療実習 ①歯周組織疾患の診察、検査、診断が正しくできる。 ②診断に基づいて適切な治療計画を立案できる。 ③正しくブラークコントロールができる。 ④適切なスクレーピング・ルートプレーニングができる。</p>	小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹
2015/01/28 (水) 4時限 14:40～16:10	歯周基本治療まとめ	<p>【授業の一般目標】 歯周病の症状を患者に適切に伝えることができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 治療を受ける患者の心理状態や理解度を配慮できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周基本治療で行う内容をまとめる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 9 歯周病の治療 イ 歯周基本治療</p>	小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/28 (水) 4時限 14:40～16:10	歯周基本治療まとめ	<p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 0 診察の基本 ア 診察のあり方 d 患者への説明</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。</p>	小方 頼昌

保存修復学

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	平山 聡司 (保存修復学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	<p>歯の硬組織に生じた部分的な欠損や病変の診断と治療法を学び、修復した歯をできるだけ長期間、機能的且つ審美的に良好な状態で口腔内に保たせることを目的とする学問である。</p> <p>前期では、総論の学習を主として行います。その内容としては、齶蝕原因菌の細菌学的特性、硬組織疾患の種類と予防、検査方法、治療に用いられる器材薬剤と窩洞の名称について学習する。そして、種々の症例に適応した修復材料の概要を理解するために修復材料の種類と物性について学習し、鑄造等の技工操作を含めた合金インレー修復の実習を行う。また、臨床において必要不可欠となる歯式や窩洞の名称だけでなく、使用する材料、薬剤、器具等の名称とそれらの使用目的を学ぶという臨床の基礎であり、今後の授業あるいは実習内容を理解するための基本となるものである。</p> <p>後期は、Minimal Intervention Dentistry の概念に基づいて齶蝕などにより生じた歯の硬組織欠損や変色を機能的かつ審美的に修復することができるようになるために、接着歯学応用したコンポジットレジン修復法、間接審美修復法および生活歯の漂白法に関する知識、態度および技能を習得する。</p>
担当教員	平山 聡司、鈴木 英明、神谷 直孝、岡田 珠美、中島 光、森 俊幸、岩井 啓寿、壹岐 宏二、関根 哲子、岡野 智子、大塚 一聖、池見 宅司、※大村 基守、※熱田 亙、※飯泉 淳、※飯田 浩雅、※伊東 哲明、※岩佐 俊夫、※金杉 紀明、※木村 大、※高鹿 志保、※小西 美徳、※笹本 恭子、※塩 秀明、※杉山 道紀、※須原 秀宜、※田川 剛士、※常田 幸斉、※富久田 梢、※富田 行秀、※並木 泰次、※根本 章吾、※深澤 正幹、※藤川 謙次、※細野 隆也、※山本 憲廣、※若松 尚吾、※渡邊 康夫、齋藤 千春
教科書	保存修復学 第6版 千田 彰、寺下正道、寺中敏夫、宮崎真至 [編] 医歯薬出版 Operative Dentistry Laboratory Manual 2014 保存修復学講座
参考図書	保存修復学21 第4版 田上順次、千田 彰、奈良陽一郎、桃井保子 [監修] 永末書店
実習器材	顎歯模型、2倍大歯模型、診療用基本器具、切削器具、片顎用咬合器、印象用トレー、コンポジットレジン修復用器材、研磨用器材
評価方法 (EV)	平常試験 (前期2回、後期3回、計5回) と口頭試問 (前期、後期各1回、計2回) : 60% 実習内容の評価 (実習中の態度評価、実習作製物評価、実技試験、実習中に行うポスト試験) : 40%
学生への メッセージ オフィスアワー	保存修復治療は、一般歯科治療の中でも高頻度に行われる処置である。したがって、3年次で学んだことが歯科医療人としての医療知識や技術を左右するといっても過言ではない。毎回の講義・実習での学習を大切に持って行って欲しい。 なお、オフィスアワーは特に設定しないが、メールによる質問を受け付ける。平山: hirayama.satoshi@nihon-u.ac.jp

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/10 (木) 4時限 14:40~16:10	修復講義①: 保存修復学概説	<p>【授業の一般目標】 健康で豊かな口腔機能を維持増進させるために、保存修復学の役割とその目的および治療に用いる修復材料と切削器具の変遷について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保存修復学の概念と目的について説明できる。 2. 保存修復の歴史について説明できる。 3. ミニマルインターベンション (MI) について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 特になし。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械 イ エアタービン</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。</p>	平山 聡司
2014/04/17 (木) 4時限 14:40~16:10	修復講義②: う蝕の病因・病態と処置	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織疾患のうち最も多いう蝕の処置が行えるようになるために、う蝕の病因と病態および予知について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕の発生メカニズムについて説明できる。 2. う蝕の特徴を説明できる。 3. う蝕の分類と表記を説明できる。 4. う蝕の予知について説明できる。 5. う蝕のリスクファクターについて説明できる。 6. う蝕の処置方法について説明できる。 7. う蝕予防とPMTCについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	鈴木 英明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/17 (木) 4時限 14:40～16:10	修復講義②：う蝕の病因・病態と処置	<p>う蝕の原因菌について理解する。 歯の脱灰と再石灰化について理解する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 ア 齲蝕の原因</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 ウ 初期齲蝕の診断 エ ライフステージと齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *①う蝕の症状と診断を説明できる。【検査法を含む】</p>	鈴木 英明
2014/04/24 (木) 4時限 14:40～16:10	修復講義③：う蝕病巣の進行と構造	<p>【授業の一般目標】 う蝕に罹患した硬組織の適切な処置が行えるようになるために、罹患部分によって進行が異なるう蝕病巣の構造を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. エナメル質う蝕の広がりとその構造について説明できる。 2. 象牙質う蝕の広がりとその構造について説明できる。 3. セメント質う蝕の広がりとその構造について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エナメル質、象牙質、セメント質の正常構造</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 ア 齲蝕の原因</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。</p>	平山 聡司
2014/05/08 (木) 3時限 13:00～14:30	修復講義④：う蝕以外の歯の硬組織疾患	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織に生じた欠損に対して適切な診断と処置が行えるようになるために、その原因と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. う蝕以外の歯の硬組織疾患を列挙できる。 2. Tooth Wearについて説明できる。 3. クサビ状欠損の原因と特徴について説明できる。 4. 摩耗症の原因と特徴について説明できる。 5. 咬耗症の原因と特徴について説明できる。 6. 酸蝕症の原因と特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エナメル質、象牙質、セメント質の正常構造とその特徴について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ウ 歯の損耗 <Tooth Wear></p>	神谷 直孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/08 (木) 3時限 13:00~14:30	修復講義④：う蝕以外の歯の硬組織疾患	<p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 a 歯の硬組織疾患 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ウ エナメル質 エ 象牙質・歯髄複合体 オ セメント質</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *③tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。</p>	神谷 直孝
2014/05/09 (金) 3時限 13:00~14:30	修復講義⑤：硬組織疾患の検査法	<p>【授業の一般目標】 硬組織欠損の原因を探り適切な診断や治療計画の立案ができるようになるために、硬組織疾患の検査法と検査に必要な器具およびその手技について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 硬組織疾患を有する歯の診断に必要な検査法を列挙できる。 2. 検査に必要な器具の名称と使用法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エナメル質、象牙質、セメント質の正常機能と構造について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ア 歯の硬組織の検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 ア 歯の硬組織の検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *③う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。</p>	神谷 直孝
2014/05/09 (金) 4時限 14:40~16:10	修復講義⑥：修復前準備、滅菌消毒と感染予防	<p>【授業の一般目標】 適切な修復操作が行えるようになるために、修復前準備の種類とその意義目的および必要な器具について理解する。 修復処置にあたり感染予防が実施できるようになるために、歯科用器具の滅菌法と消毒法の種類と使用する器具や薬物について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 修復前準備の種類とその目的について説明できる。 2. 修復前準備に用いる器具とその用途について説明できる。 3. 滅菌法の種類とその特徴について説明できる。 4. 消毒法の種類とその特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 硬組織欠損に対する適切な修復処置法について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ク 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療</p>	鈴木 英明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/09 (金) 4時限 14:40~16:10	修復講義⑥:修復前準備、滅菌消毒と感染予防	*⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。	鈴木 英明
2014/05/15 (木) 4時限 14:40~16:10	修復講義⑦:硬組織の切削・歯髄傷害およびその対策と歯髄保護	<p>【授業の一般目標】 適切な硬組織の切削が行えるようになるために、回転切削器具や手用切削器具の種類とその特徴および歯髄傷害の予防を考慮した切削法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な手用切削器具の種類と用途について説明できる。 2. 回転切削器械の種類と特徴について説明できる。 3. 回転切削器具の種類と用途について説明できる。 4. その他の硬組織切削器具の種類とその特徴について説明できる。 5. 歯質切削後のエナメル質・象牙質の損傷について説明できる。 6. 歯質切削後の歯髄の傷害について説明できる。 7. 歯髄傷害の予防対策について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エナメル質の構造と特徴について説明できる。 象牙質・歯髄複合体の構造と特徴について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械 イ エアータービン</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械 ウ マイクロモータ 3 切削、研削、研磨 ア 切削・研削器具</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑨歯髄保護の種類と方法を述べ、その重要性を説明できる。</p>	神谷 直孝
2014/05/22 (木) 3時限 13:00~14:30	修復講義⑧:窩洞の名称と分類	<p>【授業の一般目標】 適切な窩洞形成が行えるようになるために、窩洞について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 窩洞の構成と各部の名称について説明できる。 2. 窩洞の種類について説明できる。 3. 窩洞の分類について説明できる。 4. Blackの窩洞分類について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕の好発部位を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	平山 聡司
2014/05/22 (木) 4時限 14:40~16:10	修復講義⑨:窩洞の具備条件	<p>【授業の一般目標】 適切な窩洞形成が行えるようになるために、窩洞の具備条件と窩洞外形を規定する因子について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 窩洞の具備条件を列挙できる。 2. 窩洞外形を規定する因子を列挙できる。 3. 保持形態について説明できる。 4. 抵抗形態について説明できる。 5. 便宜形態について説明できる。 6. 窩縁形態について説明できる。</p>	平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/22 (木) 4時限 14:40～16:10	修復講義⑨：窩洞の具備条件	<p>【準備学習項目】 窩洞の名称について説明できる。 Blackの窩洞分類について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	平山 聡司
2014/05/29 (木) 3時限 13:00～14:30	修復講義⑩：修復法の種類	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対して適切な修復方法が選択できるようになるために、歯冠修復法の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯冠修復法の種類を列挙できる。 2. 歯冠修復法の特徴を説明できる。 3. 歯冠修復法に使用する材料学的特性について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 窩洞の名称と具備条件に関する知識</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ソ 歯の硬組織疾患の治療 a 基本的術式</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。</p>	平山 聡司
2014/05/29 (木) 4時限 14:40～16:10	修復講義⑪：メタルインレー修復	<p>【授業の一般目標】 白歯部の硬組織欠損をメタルインレーによって修復できるようになるために、メタルインレー修復の特徴と窩洞の具備条件および臨床手順について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. メタルインレー修復の特徴について説明できる。 2. メタルインレー修復の窩洞について説明できる。 3. メタルインレーの材料学的特徴について説明できる。 4. メタルインレー修復の術式について説明できる。 5. メタルインレーの製法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 窩洞の名称と具備条件に関する知識</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	平山 聡司
2014/06/05 (木) 3時限 13:00～14:30	修復実習①：歯の切削の基本操作	<p>【授業の一般目標】 適切な窩洞形成ができるようになるために、正しい診療姿勢、タービンハンドピースの取り扱いおよび切削器具の名称や目的について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/05 (木) 3時限 13:00~14:30	修復実習①: 歯の 切削の基本操作	<p>1. 歯科用ファントームの使用方を説明できる。 2. 水平位診療における基本姿勢について説明できる。 3. 回転切削器具を正しく使用できる。 4. デンタルミラーの使用目的を説明できる。 5. タービンハンドピースを用いて決められた形態に人工歯を切削できる。</p> <p>【準備学習項目】 窩洞の名称と具備条件に関する知識 回転切削器具の種類と特徴に関する知識 切削器具の種類と特徴に関する知識</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。</p>	森井 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子 大塚 一聖 大塚 聖一 熱田 聖一 飯田 聖一 飯田 聖一 伊東 聖一 岩佐 聖一 大村 聖一 金村 聖一 木村 聖一 高鹿 聖一 小西 聖一 笹本 聖一 塩 秀明 杉山 道宜 須原 剛士 田川 幸次 常田 幸次 富久田 行秀 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 廣吾 松本 尚夫 若松 康夫 渡邊 千春 齋藤 千春
2014/06/05 (木) 4時限 14:40~16:10	修復実習②: 2倍 大模型を用いた1 級メタルインレー 窩洞形成	<p>【授業の一般目標】 1級メタルインレー窩洞の形成が行えるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 窩洞形成に必要な切削器具を選択できる。 2. 適切な診療体位を取ることができる。 3. 適切な窩洞外形を設定できる。 4. 回転式切削器具を使用して1級窩洞の形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 Blackの窩洞分類が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 2倍大模型、保存修復基本診査セット、回転切削器具、タオル</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森井 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子 大塚 一聖 大塚 聖一 熱田 聖一 飯田 聖一 飯田 聖一 伊東 聖一 岩佐 聖一 大村 聖一 金村 聖一 木村 聖一 高鹿 聖一 小西 聖一 笹本 聖一 塩 秀明 杉山 道宜 須原 剛士 田川 幸次 常田 幸次 富久田 行秀 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 廣吾 松本 尚夫 若松 康夫 渡邊 千春 齋藤 千春
2014/06/12 (木) 3時限 13:00~14:30	修復実習③: 2倍 大模型を用いた2 級メタルインレー 窩洞形成	<p>【授業の一般目標】 2級メタルインレー窩洞の形成が行えるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 窩洞形成に必要な切削器具を選択できる。 2. 適切な診療体位を取ることができる。 3. 適切な窩洞外形を設定できる。 4. 窩洞の具備条件を考慮した2級メタルインレー窩洞の形成</p> <p>【準備学習項目】 窩洞の構成と名称</p> <p>【学習場所・媒体等】 2倍大模型、保存修復基本診査セット、回転切削器具、タオル</p> <p>【学習方略 (L S)】</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森井 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子 大塚 一聖 大塚 聖一 熱田 聖一 飯田 聖一 飯田 聖一 伊東 聖一 岩佐 聖一 大村 聖一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/12 (木) 3時限 13:00~14:30	修復実習③: 2倍大模型を用いた2級メタルインレー窩洞形成	<p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。</p>	<p>金杉 紀明 木村 大志 高鹿 保徳 小西 美徳 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸 富久田 幸 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 齋藤 千春</p>
2014/06/12 (木) 4時限 14:40~16:10	修復実習④: 下顎臼歯2級メタルインレー窩洞形成1	<p>【授業の一般目標】 口腔内で直視による2級メタルインレー修復窩洞の形成ができるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 2級メタルインレー窩洞の窩壁の名称について説明できる。 2. 2級メタルインレー窩洞の具備条件について説明できる。 3. 直視による正しいチェアポジションが取れる。 4. 直視により2級メタルインレー窩洞形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 Blackの分類を説明できる。 2級メタルインレー窩洞について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 顎模型、頬粘膜マネキン、保存修復基本診査セット、回転切削器具、タオル</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。</p>	<p>平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智一 大塚 聖一 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明 岩佐 俊夫 大村 基守 金杉 紀明 木村 大志 高鹿 保徳 小西 美徳 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸 富久田 幸 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 齋藤 千春</p>
2014/06/19 (木) 3時限 13:00~14:30	修復実習⑤: 下顎臼歯2級メタルインレー窩洞形成2	<p>【授業の一般目標】 口腔内で直視による2級メタルインレー修復窩洞の形成ができるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 直視による正しいチェアポジションが取れる。 2. 直視により2級メタルインレー窩洞形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 2級メタルインレー窩洞について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 顎模型、頬粘膜マネキン、保存修復基本セット、切削器具、タオル</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習</p>	<p>平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智一 大塚 聖一 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明 岩佐 俊夫 大村 基守 金杉 紀明 木村 大志 高鹿 保徳 小西 美徳 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸 富久田 幸 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/19 (木) 3時限 13:00~14:30	修復実習⑤:下顎 臼歯2級メタルイ ンレー窩洞形成2	F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。	若松 尚吾 渡邊 康夫 齋藤 千春
2014/06/19 (木) 4時限 14:40~16:10	修復実習⑥:上顎 臼歯2級メタルイ ンレー窩洞形成	【授業の一般目標】 ミラーテクニックによる上顎臼歯2級メタルインレー窩洞形成が行えるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ミラーテクニックによる正しいチェアーポジションが取れる。 2. ミラーテクニックによる2級メタルインレー窩洞形成ができる。 【準備学習項目】 2級メタルインレー窩洞の特徴について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 エ 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 子 岡野 哲智 大塚 一聖 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明 岩佐 俊夫 大村 基 金村 紀明 木村 大志 高西 保徳 小西 美徳 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 須原 宜 田川 剛士 常田 幸 富田 久 富田 行秀 並木 泰次 根本 章 深澤 吾 藤川 正幹 細野 謙次 山本 隆也 若松 廣 渡邊 尚 齋藤 康夫 千春
2014/06/26 (木) 3時限 13:00~14:30	修復講義⑫:連合 印象法、仮封材	【授業の一般目標】 メタルインレー体を作製できるようになるために、窩洞形成歯の印象採得に必要な印象材の種類とその特徴および連合印象法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 印象材の種類と特徴を説明できる。 2. 連合印象法の特徴について説明できる。 3. 連合印象法の手順について説明できる。 4. 仮封の目的について説明できる。 5. 仮封材の所要性質と種類および使用方法について説明できる。 【準備学習項目】 アルジネート印象材の練和ができる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑪仮封の意義、種類および特徴を説明できる。	鈴木 英明
2014/06/26 (木) 4時限 14:40~16:10	修復実習⑦:印象 採得、咬合採得、 仮封、石膏注入	【授業の一般目標】 メタルインレー体作製のための作業模型が製作できるようになるために、シリコン連合印象材の特徴と採得手順および咬合採得について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 印象材の適切な取り扱いができる。 2. シリコン連合印象によりメタルインレー窩洞の印象採得ができる。 3. アルジネート印象材により対合歯の印象採得ができる。 4. パラフィンワックスを用いて適切な咬合採得ができる。 5. 窩洞の仮封ができる。 【準備学習項目】 アルジネート印象材の練和ができる。 【学習方略 (LS)】 実習	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 子 岡野 哲智 大塚 一聖 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明 岩佐 俊夫 大村 基

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/26 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑦：印象採得、咬合採得、仮封、石膏注入	<p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。 *④歯科用石膏の種類と特性を説明できる。 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑩仮封の意義、種類および特徴を説明できる。</p>	<p>金杉 紀明 木村 大志 高鹿 保徳子 小西 美徳子 笹本 美恭子 塩 秀明 杉山 道紀 須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸齊 富田 幸梢 並田 行秀 根本 泰次 深澤 章吾 澤川 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚夫 渡邊 康夫 齋藤 千春</p>
2014/07/03 (木) 3時限 13:00～14:30	修復実習⑧：作業模型の作製	<p>【授業の一般目標】 適合性の良いメタルインレー体のワックスアップが行えるようになるために、機能的な作業模型の作製について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 作業模型を作製できる。</p> <p>【準備学習項目】 石膏の取り扱いができる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。</p>	<p>平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 孝美 中島 珠美 森 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智一 大塚 一聖 熱田 亙 飯田 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明 岩佐 俊夫 大村 基守 金杉 紀明 木村 大志 高鹿 保徳子 小西 美徳子 笹本 美恭子 塩 秀明 杉山 道紀 須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸齊 富田 幸梢 並田 行秀 根本 泰次 深澤 章吾 澤川 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚夫 渡邊 康夫 齋藤 千春</p>
2014/07/03 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑧：作業模型の作製	<p>【授業の一般目標】 適合性の良いメタルインレー体のワックスアップが行えるようになるために、機能的な作業模型の作製について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 作業模型を作製できる。</p> <p>【準備学習項目】 石膏の取り扱いができる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 ⑩修復法に関する模型上での基本的操作ができる。</p>	<p>平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 孝美 中島 珠美 森 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智一 大塚 一聖 熱田 亙 飯田 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明 岩佐 俊夫 大村 基守 金杉 紀明 木村 大志 高鹿 保徳子 小西 美徳子 笹本 美恭子 塩 秀明 杉山 道紀 須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸齊 富田 幸梢 並田 行秀 根本 泰次 深澤 章吾 澤川 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚夫 渡邊 康夫</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/03 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑧：作業 模型の作製	<p>【授業の一般目標】 適合性の良いメタルインレー体のワックスアップが行えるようになるために、機能的な作業模型の作製について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型を作製できる。</p> <p>【準備学習項目】 石膏の取り扱いができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 ⑤修復法に関する模型上での基本的操作ができる。</p>	齋藤 千春
2014/07/10 (木) 3時限 13:00～14:30	修復講義⑬：イン レーワックス、埋 没法、鋳造法、鋳 造欠陥	<p>【授業の一般目標】 窩洞に適合するメタルインレー体が作製できるようになるために、インレーワックスと埋没材の材料学的特徴とメタルインレー体の鋳造収縮補償と鋳造欠陥について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. インレーワックスの種類と特徴を説明できる。 2. 埋没材の種類と所要性質を説明できる。 3. メタルインレーの鋳造法と鋳造収縮補償を説明できる。 4. 鋳造欠陥の種類を列挙できる。 5. 鋳造欠陥の原因とその対策について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 金属の鋳造収縮について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 12 金属の成形技術・機器 イ 石膏系鋳型材</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 12 金属の成形技術・機器 ア 鋳造工程 エ 鋳造精度 オ 鋳造欠陥</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。</p>	池見 宅司 平山 聡司
2014/07/10 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑨：ワッ クスアップ	<p>【授業の一般目標】 機能的で適合性の良いメタルインレー体を作製するために、メタルインレー体のワックスアップについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. インレーワックスの取り扱いができる。 2. 2級メタルインレーのワックス形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 インレーワックスの特徴について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 6 歯科用ワックス ア インレーワックス</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智一 大塚 聖 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明 岩佐 俊夫 大村 基守 金村 紀明 杉村 大志 高鹿 保徳 小西 美徳 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 原 須紀 田川 剛士 常田 幸彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/10 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑨: ワックスアップ		富田 稍 富並 行 根本 泰 深澤 次 藤川 章 細野 吾 山本 謙 若松 次 渡邊 也 齋藤 隆 康 憲 夫 廣 千 尚 春 吾
2014/07/17 (木) 3時限 13:00～14:30	平常試験 保存修復②	<p>【授業の一般目標】 平常試験②: 修復講義⑧～⑩の範囲</p> <p>【準備学習項目】 修復講義⑧～⑩の範囲の復習</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p>	平山 聡 鈴木 英 池見 明 宅 司
2014/07/17 (木) 4時限 14:40～16:10	実技試験 (下顎大白歯2級インレー窩洞形成)	<p>【授業の一般目標】 下顎大白歯2級メタルインレー窩洞形成</p> <p>【準備学習項目】 下顎大白歯2級メタルインレー窩洞の特徴と具備条件 窩洞形成に用いる切削器具の選択</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4 実習室</p>	平山 聡 鈴木 英 神谷 直 岡田 孝 中島 珠 森 啓 岩井 幸 壹岐 俊 関根 宏 熱田 二 野智 子 飯野 智 泉淳 子 飯田 雅 伊東 浩 佐俊 明 村基 夫 大金 守 杉村 明 村大 紀 高志 保 小美 徳 笹本 子 塩 恭 杉 秀 山原 明 須川 紀 田原 宜 常剛 士 富田 幸 斎 富田 稍 富並 行 根本 泰 深澤 次 藤川 章 細野 吾 山本 謙 若松 次 渡邊 也 齋藤 隆 康 憲 夫 廣
2014/09/11 (木) 3時限 13:00～14:30	平常試験 保存修復③ (口頭試問)	<p>【授業の一般目標】 平常試験③の範囲: 修復実習①～⑩の範囲について口頭試問で実施する。</p> <p>【準備学習項目】 修復実習①～⑩の範囲について復習しておく。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第5 実習室</p>	平山 聡 鈴木 英 神谷 直 岡田 孝 中島 珠 森 啓 岩井 幸 壹岐 俊 関根 宏 熱田 二 野智 子 飯野 智 泉淳 子 飯田 雅 伊東 浩 佐俊 明 村基 夫 大金 守 杉村 明 村大 紀 高志 保 小美 徳 笹本 子 塩 恭 杉 秀 山原 明 須川 紀 田原 宜 常剛 士 富田 幸 斎 富田 稍 富並 行 根本 泰 深澤 次 藤川 章 細野 吾 山本 謙 若松 次 渡邊 也 齋藤 隆 康 憲 夫 廣

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/11 (木) 3時限 13:00~14:30	平常試験 保存修復③ (口頭試問)	<p>【授業の一般目標】 平常試験③の範囲：修復実習①～⑩の範囲について口頭試問で実施する。</p> <p>【準備学習項目】 修復実習①～⑩の範囲について復習しておく。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p>	渡邊 康夫 齋藤 千春
2014/09/11 (木) 4時限 14:40~16:10	平常試験 保存修復③ (口頭試問)	<p>【授業の一般目標】 平常試験③の範囲：修復実習①～⑩の範囲について口頭試問で実施する。</p> <p>【準備学習項目】 修復実習①～⑩の範囲について復習しておく。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子 大塚 一聖 大熱 亙 飯田 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明 岩佐 俊夫 大村 基守 大金 杉紀 木村 明大 高鹿 志保 小西 美徳 本 恭子 塩 秀明 杉山 道宜 須原 秀剛 川田 幸士 常田 幸裔 富田 久行 富田 秀次 並木 泰章 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 山松 尚吾 若渡 康夫 齋藤 千春
2014/10/02 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑭：う蝕の処置とAIPC法	<p>【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、除去すべきう蝕象牙質の識別と除去に使用する器具および歯髄保護について理解する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. エナメル質の再石灰化療法について説明できる。 2. MIに基づいたう蝕象牙質の除去について説明できる。 3. う蝕処置に用いる器材について説明できる。 4. う蝕象牙質第一層と第二層について説明できる。 5. う蝕検知液によるう蝕象牙質の染め分けについて説明できる。 6. AIPC法の適応症について説明できる。 7. AIPC法の目的・術式および使用薬物について説明できる。 8. AIPC法と間接覆髄法の違いについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕の進行を説明できる。 う蝕病巣の構造を説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齶蝕</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 オ 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑨歯髄保護の種類と方法を述べ、その重要性を説明できる。</p>	平山 聡司
2014/10/02 (木) 3時限	修復実習⑩：感染象牙質除去とAIPC	<p>【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、う蝕象牙質の</p>	平山 聡司 鈴木 英明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
13:00～14:30	法、ラバーダム防湿	<p>識別と除去に使用する器具の使用法およびAIPC法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 正しいチェアポジションで処置が行える。 2. ラバーダム防湿が実施できる。 3. う蝕検知液を適切に使用できる。 4. う蝕除去に使用する器具を選択できる。 5. ハンドピースの適切な取り扱いができる。 6. う蝕除去に用いる器具を適切に使用できる。 7. AIPC法を術式に則って実施できる。 8. AIPC法に使用する適切な薬物を選択できる。 9. グラスアイオノマーセメントによる暫間充填ができる。</p> <p>【準備学習項目】 チェアポジションについて説明できる。 う蝕象牙質の病理学的層分けについて説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1）う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 ⑭歯髄保護の術式を適切に実施できる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。</p> <p>F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 ⑤歯髄保護に配慮できる。</p>	神谷直孝 岡田英明 中島直孝 森光 岩井啓幸 井啓幸 壹岐啓幸 関根啓幸 岡野哲子 大塚智一 熱田聖 飯田互 泉淳 伊東浩 岩佐雅明 大村俊夫 金村基守 杉村紀明 木村大 高鹿志保 小西美徳 笹本恭子 塩秀明 杉山道紀 須原秀宜 田川剛士 常田幸 富田行秀 富田行秀 並木泰次 根本章 深澤正幹 藤川謙次 細野隆 山本憲 松尚 若松夫 渡邊康 齋藤千春
2014/10/02 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑩：感染象牙質除去とAIPC法、ラバーダム防湿	<p>【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、う蝕象牙質の識別と除去に使用する器具の使用法およびAIPC法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 正しいチェアポジションで処置が行える。 2. ラバーダム防湿が実施できる。 3. う蝕検知液を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 象牙質齲蝕の進行について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1）う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 ⑭歯髄保護の術式を適切に実施できる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。</p> <p>F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 ⑤歯髄保護に配慮できる。</p>	平山聡司 鈴木英明 神谷直孝 岡田直孝 中島光 森光 岩井啓幸 井啓幸 壹岐啓幸 関根啓幸 岡野哲子 大塚智一 熱田聖 飯田互 泉淳 伊東浩 岩佐雅明 大村俊夫 金村基守 杉村紀明 木村大 高鹿志保 小西美徳 笹本恭子 塩秀明 杉山道紀 須原秀宜 田川剛士 常田幸 富田行秀 富田行秀 並木泰次 根本章 深澤正幹 藤川謙次 細野隆 山本憲 松尚 若松夫 渡邊康 齋藤千春
2014/10/09 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑮：コンポジットレジン修復1	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損に対する適切な修復が行えるようになるために、コンポジットレジン修復の特徴と適応症および術式について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. コンポジットレジン修復の特徴について説明できる。 2. コンポジットレジンの種類と組成について説明できる。 3. コンポジットレジン修復法の術式について説明できる。 4. コンポジットレジンペーストの成分と種類およびその特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 非接着性修復と接着性修復の違いについて説明できる。 非接着性修復の窩洞の特徴について説明できる。</p>	平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/09 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑮:コン ポジットレジン修 復1	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。</p>	平山 聡司
2014/10/09 (木) 3時限 13:00～14:30	修復講義⑯:コン ポジットレジン修 復2	<p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジン修復の窩洞の特徴と充填・研磨に用いる器具・機材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジン修復窩洞の特徴と具備条件について説明できる。 2. コンポジットレジン の 圧 接 子 と 隔 壁 に つ い て 説 明 可 能。 3. コンポジットレジン修復に用いるその他の器材について説明できる。 4. 光照射器の種類と特徴および取り扱いについて説明できる。 5. コンポジットレジン の 研 磨 に つ い て 説 明 可 能。</p> <p>【準備学習項目】 非接着性修復について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑥レジン の 重 合 、 金 属 の 鋳 造 ・ 熱 処 理 お よ び セ ラ ミ ッ ク ス の 加 工 ・ 焼 成 の 特 徴 を 使 用 機 器 と 関 連 づ け て 説 明 可 能。【 歯 科 用 レ ジ ン ・ 金 属 ・ セ ラ ミ ッ ク ス の 種 類 、 用 途 お よ び 特 性 を 含 む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	平山 聡司
2014/10/09 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑰:1級 コンポジットレジン 充填	<p>【授業の一般目標】 1級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、接着操作とレジン充填について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. MIに基づいた1級コンポジットレジン修復窩洞が形成できる。 2. ラバーダム防湿法が実施できる。 3. 適切な接着操作ができる。 4. 1級コンポジットレジン充填ができる。 5. 1級コンポジットレジン充填の形態修正が行える。</p> <p>【準備学習項目】 コンポジットレジン修復窩洞の特徴について説明できる。 ラバーダム防湿法の手順が説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なる蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智一 大塚 聖 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明 岩佐 俊夫 大村 基 金杉 紀明 木村 大 高鹿 志保 小西 美徳 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸斉 富久 田 梢 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/09 (木) 4時限 14:40~16:10	修復実習⑩: 1級 コンポジットレジン 充填	④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。	山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 齋藤 千春
2014/10/16 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑬: コン ポジットレジン修 復3	<p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジンの歯質接着性システムと術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 接着性修復の意義と歴史について説明できる。 2. 接着性修復の種類と特徴について説明できる。 3. コンポジットレジンの材料的特徴について説明できる。 4. コンポジットレジンの接着メカニズムについて説明できる。 5. 3ステップと2ステップによる接着の違いについて説明できる。 6. セルフエッチングプライマーとボンディング材の組成について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エナメル質と象牙質の正常構造について説明できる。 コンポジットレジンの成分について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 14 合着・接着・仮着用材料 ア レジンセメント、接着性モノマー</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。</p>	平山 聡司
2014/10/16 (木) 3時限 13:00~14:30	修復実習⑫: 2級 コンポジットレジン 充填	<p>【授業の一般目標】 2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. レバーダム防湿 (連続防湿) ができる。 2. MI に基づいた2級コンポジットレジン修復窩洞の形成ができる。 3. 適切な接着操作ができる。 4. トップルマイヤー型リテーナーを用いて隔壁を設置できる。 5. コンタクトマトリックスを用いて隔壁を設置できる。 6. 積層充填による2級コンポジットレジン充填ができる。 7. 2級コンポジットレジン充填の携帯修正と仕上げ研磨が行える。</p> <p>【準備学習項目】 2級窩洞に用いる隔壁の種類と特徴について説明できる。 コンポジットレジン修復に必要な器材を選択できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なる蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 ③コンポジットレジン充填のための適切なるレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子 大塚 一聖 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 哲夫 岩佐 俊夫 大村 基守 金杉 紀明 木村 大志 高鹿 美徳 小西 恭子 笹本 秀明 塩 山道 杉原 道紀 須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸斎 富田 田 梢 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 齋藤 千春
2014/10/16 (木) 4時限 14:40~16:10	修復実習⑫: 2級 コンポジットレジン 充填	<p>【授業の一般目標】 2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. レバーダム防湿 (連続防湿) ができる。 2. MI に基づいた2級コンポジットレジン修復窩洞の形成ができる。</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/16 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑫：2級 コンポジットレジン 充填	<p>3. 適切な接着操作ができる。</p> <p>4. トップルマイヤー型リテーナーを用いて隔壁を設置できる。</p> <p>5. コンタクトマトリックスを用いて隔壁が設置できる。</p> <p>6. 積層充填による2級コンポジットレジン充填ができる。</p> <p>7. 2級コンポジットレジン充填の携帯修正と仕上げ研磨が行える。</p> <p>【準備学習項目】 2級窩洞に用いる隔壁の種類と特徴について説明できる。 コンポジットレジン修復に必要な器材を選択できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（1）う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑬修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1）保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なる蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。</p>	壹岐根 宏二 関野 哲智 岡野 一聖 大塚 互 熱田 淳 飯田 浩雅 泉 伊東 飯田 哲明 東 俊夫 村 基守 佐 大 岩 金 大 杉 村 紀 木 明 村 大 高 志 鹿 保 小 美 西 徳 本 子 塩 秀 秀 明 山 道 原 杉 須 秀 田 剛 川 幸 常 田 富 久 田 田 富 行 並 秀 根 次 本 章 深 正 澤 幹 川 隆 細 謙 野 也 山 憲 本 廣 松 尚 若 吾 渡 康 齋 夫 藤 千
2014/10/23 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑬：コン ポジットレジン修 復の臨床的問題点 とその対策	<p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジンレジン修復が行えるようになるために、コンポジット レジンの重合収縮応力の発生とその対処法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. コンポジットレジン修復の収縮応力について説明できる。 2. コントラクションギャップについて説明できる。 3. ホワイトマージンについて説明できる。 4. 重合収縮応力の緩和方法について説明できる。 5. コンポジットレジン修復後の不快症状への対処法について説明できる。 6. コンポジットレジン修復の予後について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 コンポジットレジンの材料学的特性について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。</p>	神谷 直孝
2014/10/23 (木) 3時限 13:00～14:30	修復実習⑬：3級 コンポジットレジン 充填	<p>【授業の一般目標】 3級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、接 着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ラバーダム防湿（連続防湿）ができる。 2. 唇面からの感染象牙質除去ができる。 3. ミラーテクニックで舌面から感染象牙質除去ができる。 4. 隔壁の設置ができる。 5. 適切な歯面処理ができる。 6. 3級コンポジットレジン充填と形態付与ができる。 7. 形態修正と仕上げ研磨ができる。</p> <p>【準備学習項目】 平滑面う蝕の進行について説明できる。 コンポジットレジン修復の特徴について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 直美 中島 珠美 中島 光 森 俊幸 岩 啓寿 井 宏二 壹岐 哲智 関野 一聖 岡野 互 大塚 淳 熱田 浩雅 飯田 伊東 泉 哲明 飯田 俊夫 東 基守 伊 大 岩 金 佐 杉 大 紀 村 明 木 大 村 志 高 保 鹿 徳 小 美 西 子 本 恭 塩 秀 秀 明 山 道 杉 道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/23 (木) 3時限 13:00～14:30	修復実習⑬: 3級 コンポジットレジン 充填	<p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *④MI (Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑬う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。</p>	<p>須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸斉 富田 幸 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 齋藤 千春</p>
2014/10/23 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑬: 3級 コンポジットレジン 充填	<p>【授業の一般目標】 3級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、接着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ラバーダム防湿 (連続防湿) ができる。 2. 唇面からの感染象牙質除去ができる。 3. ミラーテクニックで舌面から感染象牙質除去ができる。 4. 隔壁の設置ができる。 5. 適切な歯面処理ができる。 6. 3級コンポジットレジンの充填と形態付与ができる。 7. 形態修正と仕上げ研磨ができる。</p> <p>【準備学習項目】 修復前準備の種類と目的について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *④MI (Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑬う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。</p>	<p>平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子 大塚 一聖 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明 岩佐 俊夫 大村 基守 大金 紀明 杉木 大志 高鹿 保徳 小西 美徳 塩本 恭子 塩 秀明 杉山 道宣 山原 紀宜 田川 剛士 田川 剛士 常田 幸斉 富田 行秀 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 齋藤 千春</p>
2014/10/30 (木) 2時限 10:40～12:10	平常試験 修復平常試験④	<p>【授業の一般目標】 修復平常試験④の範囲: 修復講義⑭～⑯の範囲</p> <p>【準備学習項目】 修復講義⑭～⑯の範囲に対する復習</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p>	鈴木 英明
2014/10/30 (木) 3時限 13:00～14:30	修復講義⑯: ベニア修復	<p>【授業の一般目標】 前歯部の審美修復が行えるようになるために、ラミネートベニア修復とコンポジットレジンダイレクトベニア修復の特徴と臨床手順について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ラミネートベニア修復の特徴について説明できる。 2. ラミネートベニア修復の手順について説明できる。 3. コンポジットレジンダイレクトベニア修復の特徴について説明できる。 4. コンポジットレジンダイレクトベニア修復の手順について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯の変色の原因と対処法について説明できる。</p>	鈴木 英明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/30 (木) 3時限 13:00~14:30	修復講義⑱:ペニア修復	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。</p>	鈴木 英明
2014/10/30 (木) 4時限 14:40~16:10	修復講義⑳:歯の破折とその対応	<p>【授業の一般目標】 歯の破折による硬組織欠損の処置が行えるようになるために、歯冠破折の分類と原因および診断に必要な検査法と処置方針について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯冠破折の種類、原因について説明できる。 2. 歯冠破折の検査法について説明できる。 3. 歯の破折に対するコンポジットレジン修復による対応について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エナメル質、象牙質の正常機能と構造について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 カ 歯の亀裂・破折、脱臼</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑬う蝕およびその他の硬組織疾患の診察、検査および診断ができる。</p>	鈴木 英明
2014/11/06 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義㉑:コンポジットレジン修復まとめ講義	<p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンによる接着修復の知識を再確認するために、接着システム、修復術式、前準備や必要な器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジン修復窩洞の特徴について説明できる。 2. コンポジットレジンの接着メカニズムについて説明できる。 3. コンポジットレジン修復に使用する器材を列挙できる。 4. コンポジットレジンの重合収縮応力の発現と軽減について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 コンポジットレジン修復について復習しておく。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。</p>	平山 聡司
2014/11/06 (木) 3時限 13:00~14:30	修復実習㉒:4級コンポジットレジン充填	<p>【授業の一般目標】 4級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、接着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ラバーダム防湿 (連続防湿) ができる。 2. 適切な4級窩洞の形成ができる。</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/06 (木) 3時限 13:00～14:30	修復実習⑭：4級 コンポジットレジン 充填	<p>3. 隔壁の設置ができる。 4. 適切な歯面処置ができる。 5. コンポジットレジンの充填ができる。 6. 形態修正ができる。 7. 仕上げ研磨ができる。</p> <p>【準備学習項目】 コンポジットレジンへの修復操作手順について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑭う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。</p>	<p>宏二子 哲智一 聖 互淳 雅明 浩哲 俊夫 基守 紀明 大志 保徳 美徳 恭子 秀明 道紀 秀宜 剛士 幸齊 富田 田行 富並 木泰 根次 本章 深澤 川正 藤謙 川幹 細野 隆也 山本 憲廣 若松 渡尚 齋康 藤夫 千春</p>
2014/11/06 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑭：4級 コンポジットレジン 充填	<p>【授業の一般目標】 4級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なるう蝕除去、接着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ラバーダム防湿 (連続防湿) ができる。 2. 適切な4級窩洞の形成ができる。 3. 隔壁の設置ができる。 4. 適切な歯面処置ができる。 5. コンポジットレジンの充填ができる。 6. 形態修正ができる。 7. 仕上げ研磨ができる。</p> <p>【準備学習項目】 コンポジットレジン修復に必要な前準備について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑧修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑭う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。</p>	<p>平山 鈴木 谷直 岡孝 田美 島光 中珠 森俊 森幸 俊啓 井啓 壹壽 岐宏 根哲 岡子 野智 大聖 塚一 田互 熱淳 田雅 飯浩 田明 伊哲 東俊 佐夫 大守 村基 金紀 村明 木大 高志 鹿美 小徳 笹西 本恭 塩子 秀明 山道 杉秀 原宜 須剛 田士 常幸 田齊 富田 田行 富並 木泰 根次 本章 深澤 川正 藤謙 川幹 細野 隆也 山本 憲廣 若松 渡尚 齋康 藤夫 千春</p>
2014/11/13 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑳：グラス アイオノマーセ メント修復	<p>【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損を適切に修復するために、グラスアイオノマーセメントの適応症、特徴、術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. グラスアイオノマーセメント修復の適応症について説明できる。 2. グラスアイオノマーセメント修復の特徴について説明できる。 3. 従来型グラスアイオノマーセメントの材料の特徴について説明できる。 4. レジン添加型グラスアイオノマーセメントの材料の特徴について説明できる。 5. グラスアイオノマーセメント修復の術式について説明できる。 6. 根面う蝕の処置方針について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 クサビ状欠損について説明できる。</p>	<p>神谷 直孝</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/13 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義②：グラスアイオノマーセメント修復	セメント質う蝕について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 1 歯の硬組織疾患 エ 歯の硬組織疾患への対応 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *②う蝕の予防と治療の方法を説明できる。【う蝕の予防については、B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理の項を参照】 *③tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。	神谷 直孝
2014/11/13 (木) 3時限 13:00～14:30	修復実習⑮：5級およびクサビ状欠損コンポジットレジン充填	【授業の一般目標】 5級およびクサビ状欠損に対するコンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なう蝕除去、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 5級コンポジットレジン修復窩洞が形成できる。 2. クサビ状欠損に対する窩洞形成ができる。 3. 簡易防湿ができる。 4. 歯面処理ができる。 5. コンポジットレジンを充填できる。 6. サービカルマトリックスによる圧接・形態付与ができる。 7. 形態修正ができる。 8. 仕上げ研磨ができる。 【準備学習項目】 クサビ状欠損の特徴について説明できる。 平滑面う蝕の進行について説明できる。 コンポジットレジン修復の術式について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *③tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)の原因、症状、診断および処置を説明できる。 *④MI (Minimal Intervention)に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑮修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 F 臨床実習 F-7 保存系実習 F-7-1) 保存修復実習 ①形成部位に応じて適切なう蝕除去用のバーの選択ができる。 ②適切なハンドピース操作ができる。 ③コンポジットレジン充填のための適切なレジン窩洞形成ができる。 ④コンポジットレジン充填・研磨が適切にできる。	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子 大塚 聖 飯田 亙 飯田 淳 伊東 浩 岩佐 哲明 大村 俊夫 大村 基守 金村 紀明 木村 大 高鹿 志保 小西 美徳 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸 富田 幸 富田 田 梢 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 齋藤 千春
2014/11/13 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑯：クサビ状欠損グラスアイオノマーセメント充填	【授業の一般目標】 クサビ状欠損に対してグラスアイオノマーセメント修復が行えるようになるために、適切な歯面処理とセメント充填および研磨について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. クサビ状欠損部に対する適切な切削ができる。 2. 簡易防湿ができる。 3. 従来型グラスアイオノマーセメント充填ができる。 4. レジン添加型グラスアイオノマーセメント充填ができる。 5. 形態付与ができる。	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/13 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑩:クサビ状欠損グラスアイオノマーセメント充填	<p>【準備学習項目】 クサビ状欠損の特徴について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 ⑩う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。</p>	大塚 一聖 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 雅明 岩田 浩哲 佐藤 俊夫 大村 基守 大金 杉明 木村 大志 高鹿 保徳 小西 美徳 笹本 恭子 塩 秀明 須山 道紀 原川 秀宜 田村 剛士 常田 幸 富久 幸 田久 幸 並木 幸 富田 幸 並木 幸 根本 幸 深澤 幸 藤川 幸 細野 幸 山本 幸 松本 幸 渡邊 幸 齋藤 幸
2014/11/20 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑭:コンポジットレジンインレー修復	<p>【授業の一般目標】 臼歯部欠損修復のうち審美的間接修復が行えるようになるために、コンポジットレジンインレー修復の特徴と術式および窩洞の具備条件と象牙質コーティングについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジンインレー修復の特徴と適応症について説明できる。 2. コンポジットレジンインレー修復の術式について説明できる。 3. コンポジットレジンインレー窩洞の特徴について説明できる。 4. レジンコーティング法の目的について説明できる。 5. レジンコーティング法の術式について説明できる。 6. レジンコーティング後の印象採得の注意点について説明できる。 7. レジンコーティング後の適切な仮封材について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 審美的間接修復法の種類について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑨歯髄保護の種類と方法を述べ、その重要性を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p>	神谷 直孝
2014/11/20 (木) 3時限 13:00～14:30	修復実習⑪:コンポジットレジンインレー修復 一窩洞形成・象牙質コーティング	<p>【授業の一般目標】 臼歯部硬組織欠損をコンポジットレジンインレーで修復するために、適切な窩洞形成と象牙質に対するレジンコーティングについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 2級コンポジットレジンインレー窩洞の形成ができる。 2. レジンコーティング法ができる。</p> <p>【準備学習項目】 2級窩洞について説明できる。 象牙質・歯髄複合体について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智一 大塚 亙 熱田 淳 飯泉 浩哲 飯田 雅明 伊東 浩哲 岩田 俊夫 大村 基守 大金 杉明 木村 大志 高鹿 保徳 小西 美徳 笹本 恭子 塩 秀明 須山 道紀 原川 秀宜 田村 剛士 常田 幸 富久 幸

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/20 (木) 3時限 13:00~14:30	修復実習⑰:コン ポジットレジンイ ンレー修復 一窩 洞形成・象牙質コー ティング	エ 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑥う蝕およびその他の硬組織疾患に対する歯冠修復の臨床的意義を説明できる。 *⑦修復材料と修復法の適応を説明できる。 *⑩窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。	富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 齋藤 千春
2014/11/20 (木) 4時限 14:40~16:10	修復実習⑱:コン ポジットレジンイ ンレー修復 一印 象採得・咬合採得・ 仮封一	【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー体を作製するために、コンポジットレジンインレー 窩洞の連合印象と咬合採得および仮封について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジンインレー窩洞のシリコン連合印象採得ができる。 2. 咬合採得ができる。 3. 水硬性セメントを用いた仮封ができる。 【準備学習項目】 シリコン印象材の特徴について説明できる。 仮封材の種類とその特徴について説明できる。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *③印象材の種類と特性を説明できる。 *⑤ワックスの種類と特性を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑪仮封の意義、種類および特徴を説明できる。	平山 聡司 鈴木 英明 谷 直孝 神 珠美 岡 光 田 俊幸 中 啓寿 島 宏二 森 哲一 俊 聖 岩 互 井 淳 壹 浩 岐 明 根 夫 岡 守 野 紀 大 明 塚 大 大 志 飯 保 泉 徳 田 美 飯 恭 伊 秀 東 明 岩 哲 大 俊 金 夫 杉 守 村 紀 大 明 高 大 西 志 小 保 笹 美 本 恭 塩 子 山 秀 須 明 原 紀 田 宜 川 剛 常 士 田 幸 富 斉 田 田 富 田 田 行 並 秀 木 泰 根 次 本 章 深 吾 澤 正 藤 幹 川 謙 細 次 野 隆 山 也 本 廣 若 尚 松 吾 渡 康 邊 夫 齋 千 藤 春
2014/11/27 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑳:コン ポジットレジンイ ンレー修復とセラ ミックインレー修 復の作製法	【授業の一般目標】 審美的間接修復法を用いた修復が行えるようになるために、その作製方法とそ の特徴について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジンインレーの作製手順について説明できる。 2. セラミックインレー窩洞の特徴について説明できる。 3. セラミックインレー修復の作製法の種類とその特徴について説明できる。 【準備学習項目】 セラミックスの材料学的特性について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説 明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に 使用される素材間の物性比較を含む。】 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *⑥レジン重合、金属の鋳造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特 徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックス の種類、用途および特性を含む。】	鈴木 英明
2014/11/27 (木) 3時限 13:00~14:30	修復実習⑲:コン ポジットレジンイ ンレー修復 一作 業模型作製一	【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー修復が行えるようになるために、作業模型の作製 について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型の作製ができる。 【準備学習項目】	平山 聡司 鈴木 英明 谷 直孝 神 珠美 岡 光 田 俊幸 中 啓寿 島 宏二 森 哲一 俊 聖 岩 互 井 淳 壹 浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/27 (木) 3時限 13:00~14:30	修復実習⑱: コンポジットレジンインレー修復 ー作業模型作製ー	<p>メタルインレー作製時におこなった作業模型作製手順と要点が説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 ⑮修復法に関する模型上での基本的操作ができる。</p>	根野 哲子 岡野 智一 塚 聖 大 亙 熱田 淳 飯田 雅 飯田 浩 伊東 哲 岩佐 明 大村 夫 大金 基 杉村 守 木村 紀 高 明 鹿 志 小 保 笹 美 本 徳 塩 秀 子 明 恭 杉 道 山 紀 須 秀 原 宜 田 剛 川 士 常 幸 田 幸 富 久 稍 田 行 並 木 秀 本 泰 根 本 次 深 澤 章 川 正 藤 謙 川 謙 細 野 次 山 本 隆 若 松 也 渡 邊 廣 齋 尚 藤 千 吾 千 夫 春
2014/11/27 (木) 4時限 14:40~16:10	修復実習⑲: コンポジットレジンインレー修復 ーレジンインレー体作製ー	<p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー修復が行えるようになるために、レジンインレー体の作製について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1.2 級コンポジットレジンインレー体作製手順が説明できる。 2.2 級コンポジットレジンインレー体が作製できる。 3.2 級コンポジットレジンインレー体の加熱処理ができる。 4.2 級コンポジットレジンインレー体の模型上での試適、調整ができる。</p> <p>【準備学習項目】 レジンインレー用コンポジットレジン材料の材料学的特性について説明できる。 レジンインレー体の加熱処理について説明できる。 レジンインレー体の研磨に使用する器材を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 ⑮修復法に関する模型上での基本的操作ができる。</p>	平山 聡 鈴木 英 木谷 明 神谷 直 岡田 孝 田 珠 中島 美 島 光 森 俊 幸 岩井 啓 井 寿 壹岐 宏 根 岐 二 野 哲 大 智 塚 一 熱田 聖 飯田 亙 飯田 淳 伊東 浩 岩佐 雅 大村 哲 大金 明 杉村 基 木村 守 高 紀 鹿 志 小 保 笹 美 本 徳 塩 秀 子 明 恭 杉 道 山 紀 須 秀 原 宜 田 剛 川 士 常 幸 田 幸 富 久 稍 田 行 並 木 秀 本 泰 根 本 次 深 澤 章 川 正 藤 謙 川 謙 細 野 次 山 本 隆 若 松 也 渡 邊 廣 齋 尚 藤 千 吾 千 夫 春
2014/12/04 (木) 2時限 10:40~12:10	平常試験 修復平常試験⑤	<p>【授業の一般目標】 修復平常試験⑤の範囲：修復講義⑱~⑳の範囲</p> <p>【準備学習項目】 修復講義⑱~⑳の講義内容を復習しておく。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p>	平山 聡 鈴木 英 木谷 明 神谷 直 孝
2014/12/11 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義㉕: 接着性レジンセメントと補修修復	<p>【授業の一般目標】 間接修復法による修復物の接着と補修が行えるようになるために、レジンセメントの種類と特徴および異種材料に対する非着面の処理方法と手順について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科用合着用セメントの種類について説明できる。 2. レジンセメントの種類と組成について説明できる。 3. 無機合着用セメントの組成について説明できる。 4. レジンセメントによるレジンインレー体の接着操作について説明できる。 5. 補修修復の適応症について説明できる。 6. 補修修復の術式と器材について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科用合着用セメントの種類と組成について説明できる。</p>	神谷 直 孝

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/11 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑮: 接着性レジンセメントと補修修復	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 14 合着・接着・仮着用材料 ア レジンセメント、接着性モノマー</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 e 合着・接着材 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 13 歯科接着技術・機器 ア エナメル質被着面処理 イ 象牙質被着面処理 ウ セラミックス被着面処理 エ 金属被着面処理</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。</p>	神谷 直孝
2014/12/11 (木) 3時限 13:00～14:30	修復実習⑯: レジンインレー体の接着	<p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー体の適切な装着操作が行えるようになるために、レジンセメントの操作方法、操作手順、被着面処理および仕上げ研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. レジンインレーの試適・調整について説明できる。 2. レジンセメントによるレジンインレー体の接着操作について説明できる。 3. レジンセメントによるレジンインレー体の接着ができる。 4. レジンインレー体装着後の咬合調整と仕上げ研磨ができる。 5. 異種材料に対する非着面処理ができる。 6. コンポジットレジンインレーに対する補修修復ができる。</p> <p>【準備学習項目】 2級インレーの試適・調整手順について説明できる。 レジンインレー体の装着に必要な器材を準備できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 13 歯科接着技術・機器 ア エナメル質被着面処理 イ 象牙質被着面処理 ウ セラミックス被着面処理 14 合着・接着・仮着用材料 ア レジンセメント、接着性モノマー</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 ⑮修復法に関する模型上での基本的操作ができる。 ⑯う蝕およびその他の硬組織疾患の簡単な修復処置を行うことができる。</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子 大塚 一聖 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明 岩佐 俊基 大村 紀明 金杉 紀大 木村 大志 高鹿 美徳 小西 恭子 笹本 明 塩 秀明 山道 紀 杉原 秀宜 須川 剛士 田川 幸斉 常田 久田 富田 行 富並 泰次 木根 章 根深 澤正 藤川 謙次 細野 隆 山本 憲 若松 尚 渡邊 吾 齋藤 康夫 千春
2014/12/11 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑰: 修復物の補修	<p>【授業の一般目標】 欠損が生じた修復物の補修ができるようになるために、補修修復に用いる処理材と器材および処置手順について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 異種材料に対する接着前処理を行うことができる。 2. コンポジットレジンインレーの補修修復ができる。</p> <p>【準備学習項目】 異種材料の接着に用いる処理材について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子 大塚 一聖 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/11 (木) 4時限 14:40～16:10	修復実習⑭: 修復物の補修	第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 3 歯科接着技術・機器 ウ セラミックス被着面処理 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑦接着材と合着材の種類と成分および特性を説明できる。	岩佐俊夫 大金基 杉村紀明 木村大志 高鹿保徳 小西美徳 笹本恭子 塩秀明 杉山道紀 須原秀宜 田川剛士 常田幸斉 富田行秀 並木泰次 根本章吾 深澤正幹 藤川謙次 細野隆憲 山本廣 若松尚 渡邊夫 藤斎康千
2014/12/18 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑯: 歯の色彩学と積層充填	【授業の一般目標】 審美的なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、歯質の測色とコンポジットレジンの色彩学的特徴および積層充填法について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. シェードテイキングについて説明できる。 2. コンポジットレジンの色彩学的特徴について説明できる。 3. 歯の色を測色する方法について説明できる。 4. コンポジットレジンの色に関連する要素を説明できる。 5. コンポジットレジンの色を考慮した積層法(レイヤリングテクニック)について説明できる。 【準備学習項目】 歯の構造と色調について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 イ 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。	池見宅司 関根哲子
2015/01/08 (木) 2時限 10:40～12:10	修復講義⑰: 回転切削器以外の切削法	【授業の一般目標】 回転切削器具以外で歯が除去できるようになるために、歯科用レーザー、エアブレイシブおよび薬剤による歯除去方法を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯科用レーザーの種類と用途について説明できる。 2. 歯科用レーザーの特徴について説明できる。 3. 歯科用レーザー使用時の注意点について説明できる。 4. エアブレイシブについて説明できる。 5. 薬剤を併用した歯質切削について説明できる。 6. 超音波切削による歯除去方法について説明できる。 【準備学習項目】 回転式切削器械以外の切削法の種類について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械 エ レーザー装置 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。	鈴木英明 岩井啓寿
2015/01/08 (木) 3時限 13:00～14:30	修復講義⑱: 歯の漂白	【授業の一般目標】 生活歯漂白法により変色歯を審美的に改善できるようになるために、変色歯の診断、生活歯漂白法の種類と使用薬物の取扱い方法および術式について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 歯の変色の原因について説明できる。 2. テトラサイクリン変色歯の分類について説明できる。	平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/08 (木) 3時限 13:00~14:30	修復講義⑧：歯の漂白	<p>3.生活歯の漂白法の種類とその特徴について説明できる。 4.漂白法に用いる薬剤の組成について説明できる。 5.オフィスブリーチの術式を説明できる。 6.ホームブリーチの術式を説明できる。 7.生活歯漂白の問題点について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯の変色の種類と原因について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 オ 歯の変色・着色</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 キ 歯の漂白</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。</p>	平山 聡司
2015/01/08 (木) 4時限 14:40~16:10	修復実習⑨：変色歯の漂白と歯科用レーザーによる歯質切削	<p>【授業の一般目標】 変色歯に対する審美的改善と歯科用レーザーによる歯質の切削が行えるようになるために、生活歯漂白法の術式と使用器材およびEr:YAGレーザーの使用方法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.結紮法による多数歯ラバーダム防湿を実施できる。 2.オフィスブリーチの術式が説明できる。 3.ホームブリーチの術式が説明できる。 4.漂白処置後の患者説明ができる。 5.Er:YAGレーザーで歯質切削に必要な条件を説明できる。 6.Er:YAGレーザーの安全な取り扱いについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ラバーダム防湿法が実施できる。 生活歯漂白に必要な器材を準備できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 キ 歯の漂白</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑤生活歯の変色の原因、種類および処置を説明できる。</p>	平山 聡司 鈴木 英明 鈴木 直孝 神谷 孝美 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子 大塚 智一 熱田 聖 飯田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 哲明 岩佐 俊夫 大村 基守 大金 紀明 杉村 大志 木村 高鹿 小西 美徳 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸斉 富田 久田 梢 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 齋藤 千春
2015/01/15 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑨：審美的間接修復法まとめ講義	<p>【授業の一般目標】 審美的間接修復法による歯硬組織欠損処置が行えるようになるために、審美的間接修復法の術式とその要点および処置に必要な器具器材について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.コンポジットレジンインレー修復の臨床術式について説明できる。 2.セラミックインレー修復の臨床術式について説明できる。 3.審美的間接修復法の装着に用いる器具器材について説明できる。 4.審美的間接修復法の予後について説明できる。 5.セラミックインレーの補修修復手順について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 コンポジットレジンインレー修復について説明できる。 セラミックインレー修復について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患</p>	平山 聡司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/15 (木) 2時限 10:40~12:10	修復講義⑳: 審美的間接修復法まとめ講義	3 歯の硬組織疾患の治療 ウ 永久歯の間接修復法 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯の硬組織疾患の治療 カ 補修修復 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) う蝕およびその他の硬組織疾患の診断と治療 *⑳修復後の管理の目的と方法を説明できる。 ㉑修復後の適切なメンテナンスができる。	平山 聡司
2015/01/22 (木) 2時限 10:40~12:10	平常試験 修復平常試験⑥(口頭試問)	【授業の一般目標】 修復平常試験⑥(口頭試問)の範囲: 修復実習⑩~㉑までの範囲 【準備学習項目】 修復実習⑩~㉑までの範囲を復習しておく。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子 大塚 一聖 大熱 互淳 飯田 浩雅 飯田 浩明 伊東 哲夫 岩佐 俊基 大村 紀明 金杉 大志 木村 鹿子 高西 美徳 小本 恭子 笹本 明 塩 秀明 杉山 道紀 須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸 富田 幸 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚夫 渡邊 康夫 齋藤 千春
2015/01/22 (木) 3時限 13:00~14:30	平常試験 修復平常試験⑥(口頭試問)	【授業の一般目標】 修復平常試験⑥(口頭試問)の範囲: 修復実習⑩~㉑までの範囲 【準備学習項目】 修復実習⑩~㉑までの範囲を復習しておく。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室	平山 聡司 鈴木 英明 神谷 直孝 岡田 珠美 中島 光 森 俊幸 岩井 啓寿 壹岐 宏二 関根 哲子 岡野 智子 大塚 一聖 大熱 互淳 飯田 浩雅 飯田 浩明 伊東 哲夫 岩佐 俊基 大村 紀明 金杉 大志 木村 鹿子 高西 美徳 小本 恭子 笹本 明 塩 秀明 杉山 道紀 須原 秀宜 田川 剛士 常田 幸 富田 幸 富田 行秀 並木 泰次 根本 章吾 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚夫 渡邊 康夫 齋藤 千春
2015/01/29 (木) 2時限	平常試験 修復平常試験⑦	【授業の一般目標】 修復平常試験⑦の範囲: 修復講義㉒~㉓までの範囲	平山 聡司 鈴木 英明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40~12:10	平常試験 修復平 常試験⑦	<p>【準備学習項目】 修復講義⑳～㉔までの範囲を復習しておく。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	神谷 直孝

歯内療法学

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	松島 潔 (歯内療法学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	う蝕の進行あるいは外傷によって歯の中心に存在している歯髄（軟組織：いわゆる歯の神経）に疾患（主に歯髄炎）がおよぶようになる。また、生活力を失った歯髄は、根尖の歯周組織に新たな疾患を引き起こす。疾患に陥った歯髄を健康に回復あるいは歯髄を除去する処置、失活によって引き起こされた根尖の歯周組織の疾患を治癒し、歯の維持を図ることを目的とした学問である。歯の痛みや腫れを伴い、患者にとって非常に辛い疾患を適応とする分野であるため、適切な診断と処置を要求される。迅速に、的確に診断し、処置を行えるようになるために、歯内療法の知識、技能を習得する。
担当教員	松島 潔、辻本 恭久、川島 正、岡部 達、神尾 直人、吉田 陽子、諸橋 利朗、※相浦 誠一郎、※上田 幾大、※大林 英美、※喜多詰 規雄、※五味 博之、※斎藤 一央、※酒井 きよ美、※塩沢 督、※高瀬 俊彦、※高橋 知多香、※田中 みどり、※塚田 典功、※寺澤 秀朗、※富田 敬、※中嶋 真樹、※中沼 邦欣、※長島 潔、※細谷 史規、※三浦 孝司、※村上 芳弘、※本木 平和、※山浦 賀弘、和田 守康、長濱 文雄、馬場 俊晃、染谷 ひとみ
教科書	エンドドンティクス 第3版 編集主幹 須田英明、中村洋 編集 恵比寿繁之、興地隆史、勝海一郎、斎藤隆史、中川寛一、中村幸生、林善彦 永末書店 歯内療法マニュアル (Endodontics Manual) 松島潔、辻本恭久 歯内療法学
参考図書	歯内治療学 第4版 中村洋、須田英明、勝海一郎、興地隆史 医歯薬出版
実習器材	顎模型、人工歯、天然歯、根管治療用器具、根管充填用器具（器具は、常に清潔にしておくこと。）
評価方法 (EV)	歯内講義 (60%) : 平常試験①～④、歯内実習 (40%) : 実習筆記試験、実技試験 (2回)、実習態度の総合評価
学生への メッセージ オフィスアワー	歯科保存学は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われている処置である。適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際でのみの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。 実習では、臨床の場を想定して主にマネキン実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。 講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。 また、e-mail 松島 : matsushima.kiyoshi@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義①：歯内療法概論・歯の形態・歯髄の構造と機能	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯種別の歯根および歯髄の形態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法の処置の流れを説明できる。 2. ②歯種別の歯根と歯髄の形態と特徴を説明できる。 3. ③歯髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯冠および歯根の形態を説明できる。 歯の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髄複合体 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法 ウ 歯髄除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 *④歯髄の構造と機能を説明できる。</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義①：歯内療法概論・歯の形態・歯髓の構造と機能	E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髓・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髓・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】	松島 潔
2014/04/04 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義①：歯内療法概論・歯の形態・歯髓の構造と機能	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯種別の歯根および歯髓の形態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法の処置の流れを説明できる。 2. ②歯種別の歯根と歯髓の形態と特徴を説明できる。 3. ③歯髓の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯冠および歯根の形態を説明できる。 歯の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 エ 象牙質・歯髓複合体 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髓・歯周組織の疾患 6 歯髓・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髓保存療法 ウ 歯髓除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 *④歯髓の構造と機能を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髓・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髓・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p>	松島 潔
2014/04/11 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義②：歯内療法で扱う疾患	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髓疾患および根尖歯周疾患を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯髓疾患を説明できる。 2. ②根尖歯周疾患を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髓・根尖歯周組織</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 エ 炎症の機序・病態 オ 急性炎症、慢性炎症 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髓・歯周組織の疾患 5 成人の歯髓・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髓疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/11 (金) 3時限 13:00~14:30	歯内講義②: 歯内療法で扱う疾患	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髓の構造と機能を説明できる。 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髓・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *⑥歯痛の機序を説明できる。</p>	松島 潔
2014/04/11 (金) 4時限 14:40~16:10	歯内講義②: 歯内療法で扱う疾患	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髓疾患および根尖歯周疾患を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯髓疾患を説明できる。 2. ②根尖歯周疾患を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髓・根尖歯周組織</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 エ 炎症の機序・病態 オ 急性炎症、慢性炎症 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髓・歯周組織の疾患 5 成人の歯髓・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髓疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *④歯髓の構造と機能を説明できる。 *⑤歯周組織の発生、構造および機能を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髓・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *⑥歯痛の機序を説明できる。</p>	松島 潔
2014/04/18 (金) 3時限 13:00~14:30	歯内講義③: 歯髓疾患、根尖性歯周炎の症状と病理変化	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髓疾患、根尖歯周疾患の病理変化を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯髓炎の進行、症状、病理変化を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の進行、症状、病理変化を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 一般組織炎症の兆候を説明できる。 一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髓・根尖歯周組織</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞 エ 炎症の機序・病態 オ 急性炎症、慢性炎症 カ 肉芽腫性炎の種類・特徴 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髓・歯周組織の疾患</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/18 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義③：歯髄疾患、根尖性歯周炎の症状と病理変化	5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。	松島 潔
2014/04/18 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義③：歯髄疾患、根尖性歯周炎の症状と病理変化	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患、根尖性歯周炎の病理変化を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯髄炎の進行、症状、病理変化を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の進行、症状、病理変化を説明できる。 【準備学習項目】 一般組織炎症の兆候を説明できる。 一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。 【学習場所・媒体等】 黒板、スライド 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 2 歯・口腔・顎・顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖性歯周組織 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 イ 炎症の原因 ウ 炎症に関与する細胞 エ 炎症の機序・病態 オ 急性炎症、慢性炎症 カ 肉芽腫性炎の種類・特徴 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。	松島 潔
2014/05/16 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義④：歯髄疾患、根尖性歯周炎の原因	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患、根尖性歯周炎の原因を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯髄炎の原因を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の原因を説明できる。 【準備学習項目】 口腔内細菌を説明できる。 【学習場所・媒体等】 黒板、スライド 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 5 炎症 イ 炎症の原因 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/16 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義④：歯髄疾患、根尖歯周疾患の原因	*⑥歯痛の機序を説明できる。	松島 潔
2014/05/16 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義④：歯髄疾患、根尖歯周疾患の原因	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患、根尖歯周疾患の原因を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の原因を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔内細菌を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 5 炎症 イ 炎症の原因</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患 ウ 根尖性歯周組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *⑥歯痛の機序を説明できる。</p>	松島 潔
2014/06/06 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑤：歯髄炎、根尖性歯周炎の分類	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄炎、根尖性歯周炎の分類を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の原因、進行、分類、診査法を説明できる。 2. ②歯髄炎の進展の特徴を説明できる。 3. ③象牙質知覚過敏症と歯髄炎の違いを説明できる。 4. ④根尖性歯周炎の原因、進行、分類、診査法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・疼痛の伝達を説明できる。 ・一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 イ 歯髄疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 5 成人の歯髄・根尖性歯周組織疾患 ア 象牙質知覚過敏症 ウ 根尖性歯周組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。</p>	松島 潔
2014/06/13 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義⑥：歯髄炎の臨床（歯髄保存療法）	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①炎症の基本的概念を説明できる。 2. ②歯髄炎の種類と臨床症状を説明できる。 3. ③歯髄炎の処置法を説明できる。 4. ④間接覆髄法（直接・間接）の術式、薬剤を説明できる。 5. ⑤暫間的間接覆髄法（IPC法）について説明できる。</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/13 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義⑥：歯髄炎の臨床（歯髄保存療法）	<p>6. ⑥治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 一般炎症の兆候を説明できる。 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p>	松島 潔
2014/06/13 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑥：歯髄炎の臨床（歯髄保存療法）	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①炎症の基本的概念を説明できる。 2. ②歯髄炎の種類と臨床症状を説明できる。 3. ③歯髄炎の処置法を説明できる。 4. ④間接覆髄法（直接・間接）の術式、薬剤を説明できる。 5. ⑤暫間的間接覆髄法（IPC法）について説明できる。 6. ⑥治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 一般炎症の兆候を説明できる。 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p>	松島 潔
2014/06/20 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義⑦：歯髄炎の臨床（歯髄除去療法）	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄除去療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄切断法の適応症、術式を説明できる。 2. ②歯髄切断法後の治癒機転を説明できる。 3. ③抜髄法の適応症、術式を説明できる。 4. ④抜髄法の治癒機転を説明できる。 5. ⑤除痛法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/20 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義⑦：歯髄炎の臨床（歯髄除去療法）	<p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p>	松島 潔
2014/06/20 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑦：歯髄炎の臨床（歯髄除去療法）	<p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄除去療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. ①歯髄切断法の適応症、術式を説明できる。 2. ②歯髄切断法後の治癒機転を説明できる。 3. ③抜髄法の適応症、術式を説明できる。 4. ④抜髄法の治癒機転を説明できる。 5. ⑤除痛法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p>	松島 潔
2014/06/27 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義⑧：根尖性歯周炎の臨床	<p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な歯内療法ができるようになるために、根尖性歯周炎の治療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. ①根尖性歯周炎の臨床症状を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の処置法を説明できる。 3. ③肉芽と不良肉芽について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>一般炎症の兆候を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 エ 根尖性歯周組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。</p>	松島 潔
2014/06/27 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑧：根尖性歯周炎の臨床	<p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な歯内療法ができるようになるために、根尖性歯周炎の治療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. ①根尖性歯周炎の臨床症状を説明できる。</p>	松島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/27 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑧：根尖性歯周炎の臨床	<p>2. ②根尖性歯周炎の処置法を説明できる。 3. ③肉芽と不良肉芽について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 一般炎症の兆候を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 エ 根尖性歯周組織疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。</p>	松島 潔
2014/07/04 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義⑨：歯内療法の原則	<p>【授業の一般目標】 適切な根管治療ができるようになるために、歯内療法の原則を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法の原則を説明できる。 2. ②歯内療法における細菌の制御の重要性を説明できる。 3. ③細菌検査を説明できる。 4. ④歯内療法の術式、器具、薬剤の扱いについて説明できる。 5. ⑤根管長測定法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯冠・歯根・根管の形態を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *④歯髄・根尖歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。</p>	辻本 恭久
2014/07/04 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑨：歯内療法の原則	<p>【授業の一般目標】 適切な根管治療ができるようになるために、歯内療法の原則を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法の原則を説明できる。 2. ②歯内療法における細菌の制御の重要性を説明できる。 3. ③細菌検査を説明できる。 4. ④歯内療法の術式、器具、薬剤の扱いについて説明できる。 5. ⑤根管長測定法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯冠・歯根・根管の形態を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p>	辻本 恭久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/04 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑨：歯内療法 の原則	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *④歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。</p>	辻本 恭久
2014/07/11 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義⑩：抜髄 と感染根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、実践的な抜髄および感染根管治療の基本を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①根管拡大の意義を説明できる。 2. ②歯内療法の適応を選択できる。 3. ③抜髄と感染根管治療の違いを説明できる。 4. ④感染根管の成立について説明できる。 5. ⑤感染根管の臨床的意義について説明できる。 6. ⑥顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 炎症の原因を説明できる。 嫌気性菌、グラム陽性、陰性菌を説明できる。 炎症の進展を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法 ウ 歯髄除去療法 オ 根管処置、感染根管治療法 ス 顕微鏡を用いた歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *④歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。</p>	辻本 恭久
2014/07/11 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑩：抜髄 と感染根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、実践的な抜髄および感染根管治療の基本を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①根管拡大の意義を説明できる。 2. ②歯内療法の適応を選択できる。 3. ③抜髄と感染根管治療の違いを説明できる。 4. ④感染根管の成立について説明できる。 5. ⑤感染根管の臨床的意義について説明できる。 6. ⑥顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 炎症の原因を説明できる。 嫌気性菌、グラム陽性、陰性菌を説明できる。</p>	辻本 恭久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/11 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑩：抜髄と感染根管治療	<p>炎症の進展を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法 ウ 歯髄除去療法 オ 根管処置、感染根管治療法 ス 顕微鏡を用いた歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *④歯髄・根尖歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。</p>	辻本 恭久
2014/07/18 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内講義⑪：今までのまとめ	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的事項を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法の基本的な診断、術式の流れを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 今までに学んだ事項について、理解できたこと、理解できないことを整理しておくこと</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ア 象牙質知覚過敏症の治療 イ 歯髄保存療法 ウ 歯髄除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填 ス 顕微鏡を用いた歯内療法 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *⑥歯痛の機序を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *④歯髄・根尖歯周組織疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置および予防を説明できる。 *⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p>	松島 潔 辻本 恭久
2014/07/18 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑪：今までのまとめ	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的事項を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p>	松島 潔 辻本 恭久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/18 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内講義⑩：今までのまとめ	<p>1. ①歯内療法の基本的な診断、術式の流れを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 今までに学んだ事項について、理解できたこと、理解できないことを整理しておくこと</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ア 象牙質知覚過敏症の治療 イ 歯髄保存療法 ウ 歯髄除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填 ス 顕微鏡を用いた歯内療法 セ 歯髄・根管処置における偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *⑥歯痛の機序を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *④歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療時における合併症 (偶発症) について、種類、処置および予防を説明できる。 *⑤歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p>	松島 潔 辻本 恭久
2014/09/12 (金) 3時限 13:00～14:30	歯内平常試験②： 歯内講義⑤～⑩の 範囲 (記述式試験)	<p>【学習場所・媒体等】 筆記 (記述式) 試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p>	辻本 恭久 川島 正
2014/09/12 (金) 4時限 14:40～16:10	歯内平常試験②： 歯内講義⑤～⑩の 範囲 (記述式試験)	<p>【学習場所・媒体等】 筆記 (記述式) 試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p>	辻本 恭久 川島 正
2014/10/01 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑫：歯内療法の基本概念と基本操作	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本概念と基本操作を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法で用いる器具を説明できる。 2. ②歯内療法の基本的な器具操作できる。 3. ③根管拡大の概念を説明できる。 4. ④根管洗浄の術式を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療</p>	辻本 恭久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/01 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑫：歯内療法の基本概念と基本操作	オ 根管処置、感染根管治療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。	辻本 恭久
2014/10/01 (水) 3時限 13:00～14:30	歯内実習①：前準備、基本的概念(1)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるように、歯内療法の基本的操作を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法で用いる器具を説明できる。 2. ②歯内療法の基本的な器具操作ができる。 3. ③根管拡大の概念を説明できる。 4. ④歯内療法の基本的な器具操作ができる。 5. ⑤根管洗浄の基本的操作ができる。 【準備学習項目】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。 【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual（実習書）、根管模型、貸与器具、持参器具 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 彦 高橋 知多 田中 香 塚本 みどり 寺澤 典功 富田 秀朗 中嶋 敬 中沼 真樹 沼田 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村本 芳弘 山浦 平和 賀弘
2014/10/01 (水) 4時限 14:40～16:10	歯内実習①：前準備、基本的概念(1)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるように、歯内療法の基本的操作を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法で用いる器具を説明できる。 2. ②歯内療法の基本的な器具操作ができる。 3. ③根管拡大の概念を説明できる。 4. ④歯内療法の基本的な器具操作ができる。 5. ⑤根管洗浄の基本的操作ができる。 【準備学習項目】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。 【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual（実習書）、根管模型、貸与器具、持参器具 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 彦 高橋 知多 田中 香 塚本 みどり 寺澤 典功 富田 秀朗 中嶋 敬 中沼 真樹 沼田 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村本 芳弘 山浦 平和 賀弘
2014/10/08 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑬：根管形成・洗浄、根管充填	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管形成・洗浄、根管充填を修得する。	辻本 恭久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	歯内講義⑬：根管形成・洗浄、根管充填	<p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①根管拡大、形成の目的を説明できる。 ②根管形成の術式を説明できる。 ③根管洗浄を説明できる。 ④根管充填の目的を説明できる。 ⑤根管充填の時期を説明できる。 ⑥根管充填法の種類を説明できる。 ⑦根管充填材（剤）について説明できる。 ⑧根管充填後の予後と治癒機転を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> 黒板、スライド <p>【学習方略（LS）】</p> 講義 <p>【場所（教室/実習室）】</p> 301教室 <p>【国家試験出題基準（主）】</p> 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 <p>【国家試験出題基準（副）】</p> 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 カ 根管充填 <p>【コアカリキュラム】</p> E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。	辻本 恭久
2014/10/08 (水) 3時限 13:00～14:30	歯内実習②：歯内療法の基本概念 (2)	<p>【授業の一般目標】</p> 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的操作を修得する。 <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①根管形成の概念を説明できる。 ②根管形成の基本的な器具操作ができる。 ③基本的な根管形成ができる。 ④根管充填の概念を説明できる。 ⑤側方加圧充填ができる。 <p>【準備学習項目】</p> 歯内療法の基本的な器具操作できる。 根管拡大の概念を説明できる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> スライド、Endodontic Manual、根管模型、貸与器具、持参器具 <p>【学習方略（LS）】</p> 実習 <p>【場所（教室/実習室）】</p> 第4実習室 <p>【国家試験出題基準（主）】</p> 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 <p>【国家試験出題基準（副）】</p> 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填 <p>【コアカリキュラム】</p> E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2014/10/08 (水) 4時限 14:40～16:10	歯内実習②：歯内療法の基本概念 (2)	<p>【授業の一般目標】</p> 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的操作を修得する。 <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①根管形成の概念を説明できる。 	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/08 (水) 4時限 14:40～16:10	歯内実習②：歯内療法の基本概念(2)	<p>2. ②根管形成の基本的な器具操作ができる。 3. ③基本的な根管形成ができる。 4. ④根管充填の概念を説明できる。 5. ⑤側方加圧充填ができる。</p> <p>【準備学習項目】 歯内療法のための基本的な器具操作ができる。 根管拡大の概念を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual、根管模型、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。</p>	吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚中 みどり 寺澤 典功 富田 秀朗 中嶋 敬 嶋田 真樹 長島 邦欣 細谷 潔 森 史規 三浦 幸 村上 孝司 本上 芳弘 山浦 平和 賀弘
2014/10/15 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内講義④：根管充填	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管充填を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①根管充填法の種類を説明できる。 2. ②種々の根管充填法による利点を説明できる。 3. ③根管充填材(剤)を説明できる。 4. ④根管充填後の予後と治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。</p>	辻本 恭久
2014/10/15 (水) 3時限 13:00～14:30	歯内実習③：歯髄の保護(歯髄保存療法)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法の操作を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①う蝕の状態を図示できる。 2. ②歯内療法の前処置としてのう窩処置ができる。 3. ③歯髄鎮静法で用いる薬剤を選択できる。 4. ④歯髄鎮静法ができる。 5. ⑤覆髄法で使用する薬剤を選択できる。 6. ⑥覆髄法ができる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕の原因を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual(実習書)、天然歯、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略(LS)】</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/15 (水) 3時限 13:00~14:30	歯内実習③: 歯髄の保護 (歯髄保存療法)	<p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2014/10/15 (水) 4時限 14:40~16:10	歯内実習③: 歯髄の保護 (歯髄保存療法)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法の操作を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①う蝕の状態を図示できる。 2. ②歯内療法の前処置としてのう窩処置ができる。 3. ③歯髄鎮静法で用いる薬剤を選択できる。 4. ④歯髄鎮静法ができる。 5. ⑤覆髄法で使用する薬剤を選択できる。 6. ⑥覆髄法ができる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕の原因を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 イ 歯髄保存療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 大喜 多規 五味 博之 斎藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多香 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2014/10/22 (水) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑮: 歯内療法の特種療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、特種な療法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①イオン導入法について説明できる。 2. ②顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。 3. ③新しい歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填 ス 顕微鏡を用いた歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育</p>	辻本 恭久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/22 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑮：歯内療法の特種療法	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。	辻本 恭久
2014/10/22 (水) 3時限 13:00～14:30	歯内実習④：下顎小白歯(人工歯)の感染根管治療	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①下顎小白歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②下顎小白歯のアクセスオープニングができる。 3. ③感染根管治療の概念を説明できる。 4. ④下顎小白歯の根管形成ができる。 5. ⑤根管形成後の形態を説明できる。 6. ⑥根管形成ができる。 7. ⑦マスターポイントの試適を説明できる。 8. ⑧根管充填の目的を説明できる。 9. ⑨根管充填ができる。 10. ⑩根管治療の評価ができる。 【準備学習項目】 下顎小白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual (実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2014/10/22 (水) 4時限 14:40～16:10	歯内実習④：下顎小白歯(人工歯)の感染根管治療	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①下顎小白歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②下顎小白歯のアクセスオープニングができる。 3. ③感染根管治療の概念を説明できる。 4. ④下顎小白歯の根管形成ができる。 5. ⑤根管形成後の形態を説明できる。 6. ⑥根管形成ができる。 7. ⑦マスターポイントの試適を説明できる。 8. ⑧根管充填の目的を説明できる。 9. ⑨根管充填ができる。 10. ⑩根管治療の評価ができる。 【準備学習項目】 下顎小白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual (実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/22 (水) 4時限 14:40~16:10	歯内実習④: 下顎 小臼歯 (人工歯) の感染根管治療	<p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2014/10/29 (水) 2時限 10:40~12:10	歯内講義⑩: 新しい 歯内療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、最新の歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①Ni-Tiファイルを用いた根管治療を説明できる。 2. ②Ni-Tiファイルの特徴を説明できる。 3. ③顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 根管治療の流れを説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ス 顕微鏡を用いた歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p>	辻本 恭久
2014/10/29 (水) 3時限 13:00~14:30	歯内実習⑤: 上下 顎前歯 (人工歯) の抜髄・根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上下顎前歯 (人工歯) の抜髄・根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①上下顎前歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②上下顎前歯のアクセスオープニングができる。 3. ③抜髄ができる。 4. ④仮封ができる。</p> <p>【準備学習項目】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual (実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/29 (水) 3時限 13:00～14:30	歯内実習⑤:上下顎前歯(人工歯)の抜髄・根管治療	<p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p>	中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2014/10/29 (水) 4時限 14:40～16:10	歯内実習⑤:上下顎前歯(人工歯)の抜髄・根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上下顎前歯(人工歯)の抜髄・根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.①上下顎前歯にラバーダム防湿ができる。 2.②上下顎前歯のアクセスオープニングができる。 3.③抜髄ができる。 4.④仮封ができる。</p> <p>【準備学習項目】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual(実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉馬 陽子 染谷 俊晃 諸橋 ひとみ 相浦 利郎 上田 誠一郎 大林 幾大 喜多 英美 五味 規雄 藤博 博之 斎藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2014/11/05 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内講義⑦:外傷歯の歯内療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、外傷歯に対する歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.①受傷した歯の状態を説明できる。 2.②受傷した歯に対する歯内療法の対応を説明できる。 3.③歯根破折の原因と予防を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 外傷歯の原因を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 コ 外傷歯の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(2) 外傷 *④歯の外傷の症状、診断法および治療法を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *⑧歯根吸収の原因、症状、診断および処置を説明できる。</p>	川島 正
2014/11/05 (水) 3時限 13:00～14:30	歯内実習⑥:上下顎前歯(人工歯)の根管充填、細菌	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の根管充填の手技を修得する。</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	検査	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①根管形成後の形態を説明できる。 ②根管形成ができる。 ③マスターポイントの試適ができる。 ④根管充填ができる。 ⑤細菌検査の目的を説明できる。 ⑥細菌検査ができる。 ⑦細菌検査を評価できる。 ⑧根管治療の評価ができる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 口腔内の細菌について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>スライド、Endodontic Manual (実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 村上 孝司 本浦 芳弘 山本 平賀
2014/11/05 (水) 4時限 14:40～16:10	歯内実習⑥：上下顎前歯 (人工歯) の根管充填、細菌検査	<p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①根管形成後の形態を説明できる。 ②根管形成ができる。 ③マスターポイントの試適ができる。 ④根管充填ができる。 ⑤細菌検査の目的を説明できる。 ⑥細菌検査ができる。 ⑦細菌検査を評価できる。 ⑧根管治療の評価ができる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 口腔内の細菌について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>スライド、Endodontic Manual (実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 村上 孝司 本浦 芳弘 山本 平賀

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/05 (水) 4時限 14:40～16:10	歯内実習⑥：上下顎前歯（人工歯）の根管充填、細菌検査	E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 美 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 沼島 邦欣 長谷 史規 細谷 俊幸 森 孝司 村上 芳弘 本山 平和 山浦 賀弘
2014/11/12 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内平常試験③：歯内講義⑫～⑰の範囲（記述式試験）	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内講義⑫～⑰の内容を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内講義⑫の内容を説明できる。 2. ②歯内講義⑬の内容を説明できる。 3. ③歯内講義⑭の内容を説明できる。 4. ④歯内講義⑮の内容を説明できる。 5. ⑤歯内講義⑯の内容を説明できる。 6. ⑥歯内講義⑰の内容を説明できる。 【準備学習項目】 歯内講義⑫～⑰の範囲の内容を説明できる。 【学習場所・媒体等】 筆記試験（記述式） 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ウ 歯髄除去療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 エ 根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 カ 根管充填 コ 外傷歯の治療 ス 顕微鏡を用いた歯内療法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の急性症状の診断と処置方法を説明できる。 *⑧歯根吸収の原因、症状、診断および処置を説明できる。	松島 潔 辻本 恭久 川島 正
2014/11/12 (水) 3時限 13:00～14:30	歯内実習⑦：単根歯（天然歯）の感染根管治療・根管充填	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、感染根管治療、根管充填の手技を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①単根管歯のアクセスオープニングができる。 2. ②単根管歯の根管形成ができる。 3. ③単根管歯の根管充填ができる。 【準備学習項目】 歯の形態を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/12 (水) 3時限 13:00～14:30	歯内実習⑦：単根歯（天然歯）の感染根管治療・根管充填	<p>【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。</p>	齋藤 一央 酒井 恭久 塩沢 正 高瀬 達 高橋 直人 中田 陽子 田澤 俊晃 塚中 ひとみ 澤田 典功 富田 敬 中嶋 樹 沼田 邦 長島 潔 細谷 規 森 俊幸 三浦 孝 村上 芳弘 山浦 平和 賀弘
2014/11/12 (水) 4時限 14:40～16:10	歯内実習⑦：単根歯（天然歯）の感染根管治療・根管充填	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、感染根管治療、根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①単根管歯のアクセスオープニングができる。 2. ②単根管歯の根管形成ができる。 3. ③単根管歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学習項目】 歯の形態を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 相浦 利 上田 誠一郎 大 幾大 喜 英 五味 規 齋藤 博 酒井 一央 塩沢 恭久 高瀬 正 高橋 達 高橋 直人 中田 陽子 田澤 俊晃 塚中 ひとみ 澤田 典功 富田 敬 中嶋 樹 沼田 邦 長島 潔 細谷 規 森 俊幸 三浦 孝 村上 芳弘 山浦 平和 賀弘
2014/11/19 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内実習筆記試験：歯内療法実習で学んだ事項	<p>【学習場所・媒体等】 筆記試験（記述式）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人
2014/11/19 (水) 3時限 13:00～14:30	歯内実習⑧：実技試験	<p>【準備学習項目】 歯内実習①～⑦で学んだ手技ができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 相浦 利 上田 誠一郎 大 幾大 喜 英

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/19 (水) 3時限 13:00～14:30	歯内実習⑧：実技試験	<p>【準備学習項目】 歯内実習①～⑦で学んだ手技ができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p>	喜多 規雄 五味 博之 齋藤 央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚田 功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2014/11/19 (水) 4時限 14:40～16:10	歯内実習⑧：実技試験	<p>【準備学習項目】 歯内実習①～⑦で学んだ手技ができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 晃 染谷 ひとみ 諸橋 利 相浦 誠一郎 上田 幾 大喜 大英 多 規雄 味 博之 齋藤 央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚田 功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2014/11/26 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義⑩：外科的歯内療法	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、外科的歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①外科的歯内療法の意義を説明できる。 2. ②外科的歯内療法の種類を説明できる。 3. ③外科的歯内療法の適応を説明できる。 4. ④外科的歯内療法を応用する理由を説明できる</p> <p>【準備学習項目】 歯根、根管、歯周組織の構造を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 シ 外科的歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *⑥歯内外科手術の種類と適応症を説明できる。</p>	和田 守康 長濱 文雄
2014/12/03 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義⑩：再根管治療	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、再根管治療に至る原因とその処置法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①再根管治療の適応を説明できる。 2. ②再根管治療に至る原因を説明できる。 3. ③再根管治療の問題点を説明できる。</p>	辻本 恭久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/03 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義⑩：再根管治療	<p>【準備学習項目】 根管治療の治癒を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ク 再根管治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖性歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。</p>	辻本 恭久
2014/12/04 (木) 3時限 13:00～14:30	歯内実習⑨：上顎小臼歯の根管治療(1)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小臼歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 2. ②上顎小臼歯の根管形態を探ることができる。 3. ③上顎小臼歯の根管拡大・形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 上顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 長島 邦欣 細谷 潔 森 史規 三浦 幸 村上 孝司 本木 芳弘 山浦 平和 賀弘
2014/12/04 (木) 4時限 14:40～16:10	歯内実習⑨：上顎小臼歯の根管治療(1)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小臼歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 2. ②上顎小臼歯の根管形態を探ることができる。 3. ③上顎小臼歯の根管拡大・形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 上顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/04 (木) 4時限 14:40～16:10	歯内実習⑨：上顎 小白歯の根管治療 (1)	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2014/12/10 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義⑩：歯内 療法後の歯の修復	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法後の歯の修復を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法後の修復の臨床的意義を説明できる。 2. ②歯内療法後の修復の臨床的特徴を説明できる。 3. ③歯内療法後の歯の機能回復の問題点を説明できる。 4. ④歯内療法後の歯の機能回復の注意点を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 根管治療の治癒を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 ソ 根管処置後の歯冠修復</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *③支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	岡部 達
2014/12/17 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義⑪：歯内 療法における偶発 事故の予防と処置	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法中の偶発事故を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法時に起こりうる偶発症の種類を説明できる。 2. ②歯内療法時に起こりうる偶発症への対応を説明できる。 3. ③歯内療法時に起こりうる偶発症への防止法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯冠・歯根の形態を説明できる。 炎症の原因を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】</p>	神尾 直人
2014/12/18 (木) 3時限 13:00～14:30	歯内実習⑩：上顎 小白歯の根管治療 (2)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小白歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎小白歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/18 (木) 3時限 13:00～14:30	歯内実習⑩：上顎 小臼歯の根管治療 (2)	<p>上顎小臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚中 みどり 寺澤 典功 富田 秀朗 中嶋 敬 中沼 真樹 長島 邦欣 細谷 潔 森 史規 三浦 俊幸 村上 孝司 本木 芳弘 山浦 平和 賀弘 賀弘
2014/12/18 (木) 4時限 14:40～16:10	歯内実習⑩：上顎 小臼歯の根管治療 (2)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小臼歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①上顎小臼歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学習項目】 上顎小臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚中 みどり 寺澤 典功 富田 秀朗 中嶋 敬 中沼 真樹 長島 邦欣 細谷 潔 森 史規 三浦 俊幸 村上 孝司 本木 芳弘 山浦 平和 賀弘 賀弘
2014/12/24 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内講義⑫：根管 の形態	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管の形態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①詩趣別の根管の形態を図示し、説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯冠および歯根の形態を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p>	松島 潔
2015/01/14 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内平常試験④： 歯内講義⑬～⑯の 範囲の筆記 (記述 式) 試験	<p>【学習場所・媒体等】 筆記 (記述式) 試験</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	松島 潔 辻本 恭久 岡部 達 神尾 直人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/14 (水) 1時限 09:00~10:30	歯内平常試験④: 歯内講義⑱~㉔の 範囲の筆記(記述 式)試験	301教室	松島 潔 辻本 恭久 岡部 正 神尾 達人 川島 達人 岡部 陽子 神尾 俊晃 吉田 ひとみ 馬場 利朗 染谷 誠一郎 諸橋 幾大 相浦 英美 上田 規雄 大林 博之 喜多 一央 多 美 詰 博 五味 博 齋藤 一央 酒井 美 塩 博 瀬 博 高橋 博 高橋 博 田中 博 塚田 博 寺澤 博 富田 博 中嶋 博 長沼 博 細谷 博 森 博 三浦 博 村上 博 本木 博 山浦 博
2015/01/15 (木) 3時限 13:00~14:30	歯内実習⑩:上顎 大臼歯の根管治療 (1)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大臼歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①上顎大臼歯のアクセスオープニングができる。 2. ②上顎大臼歯の根管口明示ができる。 3. ③上顎大臼歯の根管拡大・根管形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 上顎大臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としての窩処置を説明できる。 根管拡大を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達人 神尾 陽子 吉田 俊晃 馬場 ひとみ 染谷 利朗 諸橋 誠一郎 相浦 幾大 上田 英美 大林 規雄 喜多 博之 多 一央 詰 美 五味 博 齋藤 一央 酒井 美 塩 博 瀬 博 高橋 博 高橋 博 田中 博 塚田 博 寺澤 博 富田 博 中嶋 博 長沼 博 細谷 博 森 博 三浦 博 村上 博 本木 博 山浦 博
2015/01/15 (木) 4時限 14:40~16:10	歯内実習⑩:上顎 大臼歯の根管治療 (1)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大臼歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①上顎大臼歯のアクセスオープニングができる。 2. ②上顎大臼歯の根管口明示ができる。 3. ③上顎大臼歯の根管拡大・根管形成ができる。</p> <p>【準備学習項目】 上顎大臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としての窩処置を説明できる。 根管拡大を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達人 神尾 陽子 吉田 俊晃 馬場 ひとみ 染谷 利朗 諸橋 誠一郎 相浦 幾大 上田 英美 大林 規雄 喜多 博之 多 一央 詰 美 五味 博 齋藤 一央 酒井 美 塩 博 瀬 博 高橋 博 高橋 博 田中 博 塚田 博 寺澤 博 富田 博 中嶋 博 長沼 博 細谷 博 森 博 三浦 博 村上 博 本木 博 山浦 博

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/15 (木) 4時限 14:40～16:10	歯内実習⑪：上顎 大臼歯の根管治療 (1)	*①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 沼田 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2015/01/22 (木) 4時限 14:40～16:10	歯内実習⑫ (注意) 17:40まで行う： 上顎大臼歯の根管 治療 (2) ・下顎 大臼歯の根管治療 (1)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①上顎大臼歯の根管充填ができる。 2. ②下顎大臼歯のアクセスオープニングができる。 3. ③下顎大臼歯の根管口明示ができる。 4. ④下顎大臼歯の根管拡大・根管形成ができる。 【準備学習項目】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管充填を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【学習場所・媒体等】 人工歯、貸与器具、持参器具 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 4 歯・歯周組織の構造と機能 ア 歯の形態 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生および構造と機能 *②歯種別の形態と特徴を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 ⑨歯髄・根尖歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 沼田 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2015/01/28 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内実習⑬：下顎 大臼歯の根管治療 (2)	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①下顎大臼歯の根管充填ができる。 【準備学習項目】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/28 (水) 1時限 09:00～10:30	歯内実習⑬：下顎 大臼歯の根管治療 (2)	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚田 みどり 田中 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2015/01/28 (水) 2時限 10:40～12:10	歯内実習⑬：下顎 大臼歯の根管治療 (2)	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①下顎大臼歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学習項目】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 カ 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 6 歯髄・根尖性歯周組織疾患の治療 オ 根管処置、感染根管治療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周組織疾患の診断と治療 *①歯髄・根尖性歯周組織疾患の症状、診断および治療法を説明できる。【検査法を含む。疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む】 *②根管充填の目的、時期および方法を説明できる。 ⑨歯髄・根尖性歯周組織疾患の簡単な症例を処置できる。</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚田 みどり 田中 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2015/01/29 (木) 3時限 13:00～14:30	歯内実習⑭：実習 実技試験	<p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内実習で学んだ手法を修得する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p>	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 利朗 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚田 みどり 田中 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/29 (木) 3時限 13:00~14:30	歯内実習⑭：実習 実技試験	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内実習で学んだ手技を修得する。 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第4実習室	細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘
2015/01/29 (木) 4時限 14:40~16:10	歯内実習⑭：実習 実技試験	【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内実習で学んだ手技を修得する。 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第4実習室	松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 吉尾 直人 神田 陽子 馬場 俊晃 染谷 ひとみ 諸橋 ひり 相浦 誠一郎 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 藤一 央美 酒井 きよ美 塩 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 中田 みどり 塚中 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 真樹 中沼 邦欣 長島 潔 細谷 史規 森 俊幸 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘

歯科補綴学 1

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	河相 安彦 (有床義歯補綴学)

学習目標 (G I O)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
評価方法 (E V)	平常試験 (平常試験①～⑥の平均：50%)， 実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPBLレポートなど：50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。

歯科補綴学導入

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	河相 安彦 (有床義歯補綴学)

学習ユニット学習目標 (G I O)	適切な咬合・咀嚼障害に対する機能回復を目的とした基本的な診断と治療計画の立案が行えるために必要な知識・技能および態度を修得する。
担当教員	河相 安彦、會田 雅啓、大久保 昌和、飯島 守雄、伊藤 誠康、木本 統、中田 浩史、林 幸男、石井 智浩、神谷 和伸、矢崎 貴啓、池口 伸之、伊藤 菜那、井上 正安、植木 克昌、小出 恭代、佐藤 貴信、末光 弘宜、義隆 淑子
教科書	無歯顎補綴治療学 第2版 細井紀雄ほか 編 医歯薬出版 歯学生のパーシャルデンチャー 第5版 三谷春保ほか 編 医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学 第4版 石橋寛二ほか編 医歯薬出版 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 日本口腔顔面痛学会編 医歯薬出版
参考図書	新編 顎関節症 日本顎関節学会編 永末書店 TMDを知る 改訂第2版 井川雅子ほか クインテッセンス出版
評価方法 (E V)	平常試験 (平常試験①～⑥の平均：50%)， 実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPBLレポートなど：50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 2時限 10:40～12:10	歯科補綴学、補綴歯科治療の意義・目的 補綴学1オリエンテーション	<p>【授業の一般目標】 補綴治療を円滑に行うために補綴治療の役割と患者への貢献に関する知識および態度を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科補綴学、補綴歯科治療の定義を説明できる。 2. 補綴歯科治療と健康科学との関係を説明できる。 3. 補綴歯科治療の利益と不利益を説明できる。 4. 補綴歯科治療に関連する疫学を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 特になし</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 ア 生物学的要件 イ 機能的要件 ウ 形態的要件</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育</p>	河相 安彦 會田 雅啓 川良 美佐雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 2時限 10:40～12:10	歯科補綴学、補綴 歯科治療の意義・ 目的 補綴学1オリエン テーション	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。	河相 安彦 會田 雅啓 川良 美佐雄
2014/04/01 (火) 3時限 13:00～14:30	補綴歯科治療に関 わる顎口腔系の障 害と口腔顔面痛	【授業の一般目標】 口腔顔面痛を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 2. 口腔・顔面痛について概説できる。 3. 主要な身体診察を説明できる。 【準備学習項目】 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 1 病態 カ 顎関節症・口腔顔面痛 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 1 病態 キ ブラキシズム 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識 *③主要な身体診察を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *②口腔・顔面痛について概説できる。	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和
2014/04/01 (火) 4時限 14:40～16:10	補綴歯科治療に関 わる顎口腔系の障 害と口腔顔面痛	【授業の一般目標】 口腔顔面痛を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 2. 口腔・顔面痛について概説できる。 3. 主要な身体診察を説明できる。 【準備学習項目】 口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 1 病態 カ 顎関節症・口腔顔面痛 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 1 病態 キ ブラキシズム 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-6) 歯科医師に必要な医学的知識 *③主要な身体診察を説明できる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (8) 神経性疾患 *②口腔・顔面痛について概説できる。	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和
2014/04/08 (火) 3時限 13:00～14:30	口腔外診察	【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになる ために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列と咬合について説明できる。	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/08 (火) 3時限 13:00~14:30	口腔外診察	<p>2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p> <p>3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。</p> <p>4. 頭頸部の診察ができる 頭頸部の診察ができる</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室、第5実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。</p>	中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/04/08 (火) 4時限 14:40~16:10	口腔外診察	<p>【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔外診察を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。 4. 頭頸部の診察ができる 頭頸部の診察ができる</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室、第5実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/04/15 (火) 3時限 13:00~14:30	口腔内診察	<p>【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔内診察を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/15 (火) 3時限 13:00~14:30	口腔内診察	<p>【学習場所・媒体等】 301教室、第5実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。</p>	植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 義隆 淑子
2014/04/15 (火) 4時限 14:40~16:10	口腔内診察	<p>【授業の一般目標】 補綴歯科治療に関わる顎口腔系の障害と口腔顔面痛の診断を行えるようになるために口腔内診察を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 歯列と咬合について説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる 3. 咬合異常と咀嚼障害の原因と診察、検査、診断および治療方針を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室、第5実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 義隆 淑子
2014/04/22 (火) 3時限 13:00~14:30	唾液検査	<p>【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために唾液検査を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 唾液の性状と役割を説明できる。 2. 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面の成長・発育および加齢による変化を説明できる。 3. 口腔乾燥を概説できる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/22 (火) 3時限 13:00~14:30	唾液検査	<p>イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 キ 唾液・唾液腺検査 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 1 1 唾液腺疾患 ア 口腔乾燥症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *④唾液の性状と役割を説明できる。【構成成分とその機能を含む。】 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/04/22 (火) 4時限 14:40~16:10	唾液検査	<p>【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために唾液検査を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 唾液の性状と役割を説明できる。 2. 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面の成長・発育および加齢による変化を説明できる。 3. 口腔乾燥を概説できる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 キ 唾液・唾液腺検査 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 1 1 唾液腺疾患 ア 口腔乾燥症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *④唾液の性状と役割を説明できる。【構成成分とその機能を含む。】 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *⑤舌と唾液腺の発生とその加齢現象を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/05/13 (火) 2時限 10:40~12:10	研究模型による診断：印象採得・研究模型の製作	<p>【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診断手順を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 印象採得の種類と方法を説明できる。 2. 研究模型と作業模型の製作方法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/13 (火) 2時限 10:40～12:10	研究模型による診断：印象採得・研究模型の製作	<p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 ⑱研究用模型を作製するための印象を適切に採得できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p>	伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/05/13 (火) 3時限 13:00～14:30	研究模型による診断：咬合採得・咬合器付着・診断	<p>【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診断手順を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 *⑪フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。 *⑩歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/05/13 (火) 4時限 14:40～16:10	研究模型による診断：咬合採得・咬合器付着・診断	<p>【授業の一般目標】 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療を行えるようになるために研究模型による診断手順を体験し知識と技能を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	河相 安彦 會田 雅啓 大久保 昌和 飯島 守雄 伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/13 (火) 4時限 14:40～16:10	研究模型による診断：咬合採得・咬合器付着・診断	<p>1. 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 2. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ補綴学P22-31、歯学生のパーシャルデンチャーP121-136、無歯顎補綴治療学P56-83</p> <p>【学習場所・媒体等】 第5実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 *⑧平均値咬合器および調節性咬合器の種類と特徴を説明できる。【使用方法を含む。】 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。 *⑫歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。</p>	木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 義淑
2014/05/16 (金) 1時限 09:00～10:30	歯科補綴学導入・有床義歯補綴学平常試験（平常試験①）	<p>【授業の一般目標】 4/1～5/13に実施された（有床義歯および補綴学導入）の座学および実習に関する知識、技能および態度を修得する</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 4/1～5/13の範囲の全SBOs</p> <p>【準備学習項目】 4/1～5/13（有床義歯および補綴学導入）の座学および実習の範囲。 実施時間は9時から50分の予定。</p> <p>【学習方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 ア 生物学的要件</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 イ 機能的要件 ウ 形態的要件 エ 力学的要件</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。</p>	河相 安彦 會田 雅啓

有床義歯補綴学

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	河相 安彦 (有床義歯補綴学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	全部および部分無歯顎者の適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な知識・技能および態度を修得する。
担当教員	河相 安彦、成田 紀之、飯島 守雄、伊藤 誠康、大久保 昌和、木本 統、中田 浩史、林 幸男、石井 智浩、神谷 和伸、矢崎 貴啓、池口 伸之、伊藤 菜那、井上 正安、植木 克昌、小出 恭代、佐藤 貴信、末光 弘宜、義隆 淑子、西山 典宏
教科書	無歯顎補綴治療学 第2版 細井紀雄・平井敏博・大川周治・市川哲雄 編著 医歯薬出版 総義歯補綴学実習便覧 第2版 有床義歯補綴学編 わかば出版 歯学生のパーシャルデンチャー 第5版 三谷春保・小林義典・赤川安正 編 医歯薬出版 局部床義歯補綴学実習要綱 有床義歯補綴学編 有床義歯補綴学
参考図書	コンプリートデンチャーテクニック 第6版 細井紀雄・平井敏博・長岡英一・赤川安正・鈴木哲也・大川周治 編 医歯薬出版 バウチャー無歯顎患者の補綴治療 原著第12版 田中久敏・古谷野潔 ほか監訳/George A. Zarb ほか編著 医歯薬出版 Implant Overdentures: The Standard of Care for Edentulous Patients Feine, Jocelyne S.; Carlsson, Gunnar E Quintessence Publishing Co Inc パーシャルデンチャーの設計 David M Watt・A Roy MacGregor 著/小林義典 ほか訳 医歯薬出版 カラーアトラス 咬合・咀嚼障害の臨床 症例別にみた歯科補綴学的対応 細井紀雄・川和忠治・五十嵐順正・平井敏博 編 医歯薬出版 マクラッケン パーシャルデンチャー Davis Henderson・Victor L. Steffel 著/橋本京一 訳 医歯薬出版 床義歯の生理学 覚道幸男 学建書院 スタンダード歯科理工学 第5版 一生体材料と歯科材料 榎本貢三 中寫 裕 西山典宏 宮崎 隆 米山隆之 編集幹事 学建書院
評価方法 (EV)	平常試験 (平常試験①～⑥の平均: 50%) , 実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPBLレポートなど: 50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスマワー	有床義歯補綴は高齢者の生活の質(QOL)向上に重要な役割を果たしていることが近年明らかになっています。今回の学習により多くの症例に対応できる基本を習得することを期待します。講義・実習ともに Web class を用いた予習・復習を必ず行ってください。また解剖学および歯科理工学の知識を整理しておくことで理解が深まります。今回の学習時の基礎とその後の生涯研修を通じて症例に対応できるよう常に実際の患者を意識して行ってください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/08 (火) 2時限 10:40～12:10	有床義歯の目的・歯の欠損の病因と病態・障害と症候、有床義歯の構成要素と適応症	<p>【授業の一般目標】 有床義歯補綴の治療が円滑に行うために必要な全部および部分無歯顎者の病態、加齢変化についての知識を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 有床可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 2. 歯列部分欠損および無歯顎の病態について説明できる。 3. 歯列部分欠損および無歯顎による障害の種類を説明できる。 4. 歯列部分欠損および無歯顎者の主要症候を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P6～43, 51～55P44～51</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 2 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 ア 口腔の形態・機能の変化</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 2 歯の喪失に伴う口腔・顎・顔面の変化 イ 顎骨の形態変化 ウ 顔貌の変化 エ 顎関節の変化 オ 全身への影響</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p>	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/08 (火) 2時限 10:40~12:10	有床義歯の目的・ 歯の欠損の病因と 病態・障害と症候、 有床義歯の構成要 素と適応症	E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。	河相 安彦
2014/04/15 (火) 2時限 10:40~12:10	歯の欠損治療にお ける診察・検査	【授業の一般目標】 有床義歯補綴の治療が円滑に行うために必要な総義歯および局部床義歯に関する構造と機能についての知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯および局部床義歯の構成要素を説明できる。 2. 局部床義歯の種類と適応症を説明できる。 3. 総義歯の種類と適応症を説明できる。 4. 有床義歯 (局部床義歯および総義歯) の維持・支持・安定・把持について説明できる。 5. 歯の欠損の治療のための医療面接について説明できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P56~75 歯学性のパーシャルデンチャーP. 14~20、35~47 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 イ 摂食・嚥下障害 ウ 発語・構音障害 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。 *③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。	河相 安彦 飯島 守雄
2014/04/22 (火) 2時限 10:40~12:10	歯の欠損に関する 治療計画の立案と 前処置	【授業の一般目標】 有床義歯の治療を円滑に行うために必要な治療計画の立案に関する知識および技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の欠損に伴う歯・口腔・顎顔面領域の変化に対して必要な診察、検査ならびに診断ができる。 2. 歯列部分欠損および無歯顎者に対する治療の到達目標と予後を説明できる。 3. 歯列部分欠損および無歯顎者に対する治療計画を左右する因子を説明できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P76~90 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 エ 治療計画の立案 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *④可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦
2014/05/20 (火) 2時限 10:40~12:10	無歯顎の概形印象 採得・研究模型・ 個人トレー	【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 印象採得の種類と方法を説明できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P91~104	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/20 (火) 2時限 10:40～12:10	無歯顎の概形印象 採得・研究模型・ 個人トレー	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦
2014/05/20 (火) 3時限 13:00～14:30	無歯顎の概形印象 採得・研究模型・ 個人トレー	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 上下顎無歯顎の概形印象採得を行うことができる 2. 無歯顎研究模型の調整ができる。 3. 無歯顎の個人トレーを調製できる</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (1) 予備印象～ (3) 各個トレーの調製 WebClass 補綴学1 有床義歯補綴学実習 (総義歯実習デモ動画) 第1章～14章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/05/20 (火) 4時限 14:40～16:10	無歯顎の概形印象 採得・研究模型・ 個人トレー	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 上下顎無歯顎の概形印象採得を行うことができる 2. 無歯顎研究模型の調整ができる。 3. 無歯顎の個人トレーを調製できる</p> <p>【準備学習項目】 総義歯実習便覧 [2] 印象調製 (1) 予備印象～ (3) 各個トレーの調製 WebClass 総義歯実習デモ動画 第1章～14章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/20 (火) 4時限 14:40～16:10	無歯顎の概形印象 採得・研究模型・ 個人トレー	*⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/05/27 (火) 2時限 10:40～12:10	無歯顎の精密印象 (1)	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 総義歯の支持機構および維持機構を説明できる。 3. 印象採得の種類と方法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P105～121</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦
2014/05/27 (火) 3時限 13:00～14:30	上下顎筋圧形成・ 精密印象・ボクシ ング (1)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章～27章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/05/27 (火) 4時限 14:40～16:10	上下顎筋圧形成・ 精密印象・ボクシ ング (1)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/27 (火) 4時限 14:40～16:10	上下顎筋圧形成・精密印象・ボクシング (1)	<p>1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章～27章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/06/03 (火) 2時限 10:40～12:10	無歯顎の精密印象 (2) と作業用模型	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な口腔周囲の解剖学、印象材、印象方法および模型の製作方法に関する知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 総義歯の支持機構および維持機構を説明できる。 3. 印象採得の種類と方法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P105～121</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *②可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	河相 安彦
2014/06/03 (火) 3時限 13:00～14:30	上下顎筋圧形成・精密印象・ボクシング (2)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第15章～27章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/03 (火) 3時限 13:00~14:30	上下顎筋圧形成・ 精密印象・ボクシ ング (2)	ウ 作業模型の製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/06/03 (火) 4時限 14:40~16:10	上下顎筋圧形成・ 精密印象・ボクシ ング (2)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎の筋圧形成を行うことができる 【準備学習項目】 総義歯実習便覧 [2] 印象調製 (4) 筋形成～ [3] 作業模型 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/06/10 (火) 2時限 10:40~12:10	顎間関係の記録 (1) 無歯顎の咬 合床・咬合採得	【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係記録の理論的背景を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 無歯顎の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 3. 無歯顎の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P135-P169 【学習場所・媒体等】 無歯顎補綴治療学、配布資料 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 エ 顎間関係の記録 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。	木本 統
2014/06/10 (火) 3時限 13:00~14:30	作業模型のリリー フ・咬合床	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。 【行動目標 (SBOs)】	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/10 (火) 3時限 13:00~14:30	作業模型のリリーフ・咬合床	<p>1. 無歯顎の作業用模型の診査とリリーフができる。 2. 無歯顎の咬合床を調製ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [3] 作業模型 (2)~[4] 咬合床 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第28章~45章</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ウ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/06/10 (火) 4時限 14:40~16:10	作業模型のリリーフ・咬合床	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 無歯顎の作業用模型の診査とリリーフができる。 2. 無歯顎の咬合床を調製ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [4] 咬合床 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第28章~46章</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕実 義隆 淑子
2014/06/13 (金) 1時限 09:00~10:30	顎間関係の記録 (2)無歯顎の咬合採得・下顎運動記録	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の顎間関係記録の理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 無歯顎者に対する治療法を説明できる。 2. 無歯顎の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 3. 無歯顎の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴学P170-P187</p> <p>【学習場所・媒体等】 無歯顎補綴治療学、配布資料</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p>	木本 統
2014/06/17 (火) 2時限	総義歯の人工歯排列および総義歯の	<p>【授業の一般目標】 無歯顎患者の印象採得を円滑に行うために必要な人工歯排列に関する知識および</p>	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40～12:10	歯肉形成	<p>び技能を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯補綴の治療過程における基本的手技ができる。 2. 有床義歯の咬合様式とその意義を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P188～224</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦
2014/06/17 (火) 3時限 13:00～14:30	顎の対向関係位と咬合器付着	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 上下無歯顎の顎の対向関係位の設定ができる。 2. 無歯顎作業用模型の咬合器付着ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [5] 顎の対向関係位の設定～ [8] 顎模型（咬合床）の咬合器付着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第47章～52章</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕夷 義隆 淑子
2014/06/17 (火) 4時限 14:40～16:10	顎の対向関係位と咬合器付着	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 上下無歯顎の顎の対向関係位の設定ができる。 2. 無歯顎作業用模型の咬合器付着ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [8] 顎模型（咬合床）の咬合器付着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第50章～52章</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 中村 耕夷 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/20 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合様式に関する 模型実習	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の咬合様式とその意義を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/06/24 (火) 2時限 10:40～12:10	人工歯排列 (上顎 前歯)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の過程を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (1) 咬合堤の修正～(3) 上顎前歯部の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第60章～63章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/06/24 (火) 3時限 13:00～14:30	人工歯排列 (上顎 前歯・臼歯・下顎 臼歯)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 webClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第64章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/06/24 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列 (上顎 前歯・臼歯・下顎 臼歯)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/24 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列 (上顎前歯・臼歯・下顎臼歯)	<p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (4) 上顎臼歯の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第64章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/06/27 (金) 1時限 09:00～10:30	顎義歯の試適、総義歯の埋没・重合、咬合器再装着	<p>【授業の一般目標】 全部床義歯の仮床義歯の試適から埋没、重合およびリマウントまでの理論的背景を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯補綴の治療過程における基本的手技ができる。 2. 有床義歯の重合法を説明できる。 3. 咬合器再付着の目的と手法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P188～224</p> <p>【学習場所・媒体等】 無歯顎補綴治療学、配布資料</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ク 蠟義歯の試適</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合 サ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	木本 統
2014/07/01 (火) 2時限 10:40～12:10	人工歯排列 (下顎臼歯・前歯)	<p>【授業の一般目標】 上下顎無歯顎に対する総義歯製作の手順を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (5) 削合間隙～(6) 下顎臼歯の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第65章</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/01 (火) 2時限 10:40～12:10	人工歯排列 (下顎 臼歯・前歯)	E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 末光 貴信 義隆 弘宜 淑子
2014/07/01 (火) 3時限 13:00～14:30	人工歯排列 (下顎 臼歯・前歯)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (6) 下顎臼歯の排列～(7) 下顎前歯の排列 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第65章～66章 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 末光 貴信 義隆 弘宜 淑子
2014/07/01 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列 (下顎 臼歯・前歯)	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列 (7) 下顎前歯の排列 () 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 末光 貴信 義隆 弘宜 淑子
2014/07/04 (金) 1時限 09:00～10:30	様々な義歯による 治療法	【授業の一般目標】 有床義歯の適応症に応じて様々な義歯の治療法を選択するために必要な知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 金属床義歯・即時義歯・オーバーデンチャーの利点欠点を説明できる。 2. 金属床義歯・即時義歯・オーバーデンチャーの制作手順を説明できる。 3. オーバーデンチャーの支台歯の処置法を説明できる。 4. 顎顔面欠損の先天的・後天的欠損の臨床症状を説明できる。 5. 顎義歯の特徴を説明できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P270～310 歯学生のパーシャルデンチャーP259～290 【学習方略 (LS)】	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/04 (金) 1時限 09:00～10:30	様々な義歯による 治療法	講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 エ 治療計画の立案 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦
2014/07/08 (火) 2時限 10:40～12:10	人工歯排列（下顎 臼歯・前歯）・歯 肉形成・咬合調整	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯の人工歯排列ができる。 2. 総義歯の歯肉形成ができる。 3. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [11] 人工歯排列～[13] 人工歯の総合的削合法 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第67章～69章 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 キ 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/07/08 (火) 3時限 13:00～14:30	人工歯排列（下顎 臼歯・前歯）・歯 肉形成・咬合調整・ テンチのコア	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の手順を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる。 2. テンチのコアを製作できる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [13] 人工歯の総合的削合法～[14] 歯齦（肉）形成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第68章～72章 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 キ 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/07/08 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列（下顎 臼歯・前歯）・歯 肉形成・咬合調整・ テンチのコア	【授業の一般目標】 上下顎無歯顎者に対する総義歯製作の製作の手順を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 総義歯のろう義歯の咬合調整ができる 2. テンチのコアを製作できる 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [15] テンチのコア形成（歯型採得） WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第73章	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/08 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列(下顎臼歯・前歯)・歯肉形成・咬合調整・デンチのコアー	<p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 カ 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/07/11 (金) 1時限 09:00～10:30	有床義歯平常試験(平常試験③)	<p>【授業の一般目標】 5/20～7/4までの座学の範囲に関する知識と態度を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 5/20～7/4の全SBOs</p> <p>【準備学習項目】 5/20～7/4までの座学の範囲 実施時間は9時から50分を予定決、定次第案内する。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 イ 印象採得 ウ 作業模型の製作 エ 顎間関係の記録 オ 咬合器装着・調節 カ 人工歯の選択・排列・削合 キ 歯肉形成 ク 蠟義歯の試適 ケ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p>	河相 安彦
2014/07/15 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義の目的と意義、適応症および種類	<p>【授業の一般目標】 部分歯牙欠損に対する歯科補綴治療の意義と方法を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 有床可撤性義歯の目的と意義および具備条件を説明できる。 2. 局部床義歯の種類と適応症を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯学性のパーソナルデンチャー P.70～73, 74～109</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 1 病態 ア 咬合・咀嚼障害</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 18 補綴歯科治療 ア 残存組織の変化とその対応 イ 咬合の変化とその対応</p>	飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/15 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義の目的と 意義、適応症およ び種類	ウ 機能低下とその対応 エ 補綴装置の破損とその対応 オ 義歯の管理 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。 *③可撤性義歯の特徴と適応症を説明できる。	飯島 守雄
2014/07/15 (火) 3時限 13:00～14:30	上下顎概形印象・ 研究模型	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために概形印象を採得し、研究用模型を製作できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損の概形印象を採得できる。 2. 下顎部分欠損の研究用模型を調製できる。 3. 第1回評価表にチェックを受ける。 【準備学習項目】 概形印象採得、研究模型製作 【学習場所・媒体等】 実習書第1回概形印象、研究模型の製作、Web-classの予習項目 (予備印象、 研究模型の調整) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエッ クス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/07/15 (火) 4時限 14:40～16:10	上下顎概形印象・ 研究模型	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために概形印象を採得し、研究用模型を製作できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損の概形印象を採得できる。 2. 下顎部分欠損の研究用模型を調製できる。 3. 第1回評価表にチェックを受ける。 【準備学習項目】 概形印象採得、研究模型製作 【学習場所・媒体等】 実習書第1回概形印象、研究模型の製作、Web-classの予習項目 (予備印象、 研究模型の調整) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエッ クス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/07/18 (金) 1時限 09:00～10:30	局部床義歯の診査 治療計画 概形 印象と研究模型 サベイング	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために種々の検査と診査・診断について理解し、それに基づ いた治療計画の立案ができる。	河相 安彦 石井 智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/18 (金) 1時限 09:00～10:30	局部床義歯の診査 治療計画 概形 印象と研究模型 サベイング	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 模型のサベイングを行うことができる 2. 局部床義歯製作に必要な検査・診査ができる。 3. 治療計画の立案ができる。 <p>【準備学習項目】 診査・診断と治療計画、サベイング、局部床義歯の設計</p> <p>【学習場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャーP121～145, 169～187</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 エ 治療計画の立案</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	河相 安彦 石井 智浩
2014/07/22 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の症型 類型	<p>【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に対する歯科補綴治療の臨床的意義と方法を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 局部床義歯の設計に有用な症型分類を説明できる。 <p>【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP79-83, 121-145, 169-174</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室、到達度クイズ</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 エ 治療計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	大久保 昌和
2014/07/22 (火) 3時限 13:00～14:30	サベイング・設計 線の記入・個人ト レー	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにサベイング検査に基づいて義歯の設計線の記入ができる。 局部床義歯製作のために個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。 3. 下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。 4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。 <p>【準備学習項目】 サベイング、仮設計、個人トレー</p> <p>【学習場所・媒体等】</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/22 (火) 3時限 13:00～14:30	サベイング・設計線の記入・個人トレー	<p>実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目（サベイング、設計線の記入、個人トレーの製作）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 カ サベイング</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/07/22 (火) 4時限 14:40～16:10	サベイング・設計線の記入・個人トレー	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにサベイング検査に基づいて義歯の設計線の記入ができる。 局部床義歯製作のために個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる。 3. 下顎部分欠損の個人トレーを調製できる。 4. 第2回評価表のサベイング、仮設計にチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 サベイング、仮設計、個人トレー</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第2回サベイング、仮設計、個人トレー、Web-classの予習項目（サベイング、設計線の記入、個人トレーの製作）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 カ サベイング</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/09/09 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の構成要素	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために構成要素について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 局部床義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 2. 局部床義歯の設計原理を説明できる。 3. 口腔内診察・検査、研究用模型およびエックス線写真等に基づく設計ができる。</p> <p>【準備学習項目】 構成要素、支台装置、義歯床、人工歯、連結子</p> <p>【学習場所・媒体等】</p>	成田 紀之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/09 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の構成要素	歯学生のパーシャルデンチャーP70～120 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。	成田 紀之
2014/09/09 (火) 3時限 13:00～14:30	局部床義歯の維持機構 支持機構 把持機構	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために維持装置について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 維持機構について説明できる。 2. 支持機構について説明できる。 3. 把持機構について説明できる。 【準備学習項目】 維持機構、支持機構、把持機構、支台装置 【学習場所・媒体等】 歯学生のパーシャルデンチャーP88-P109 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *④可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。	成田 紀之
2014/09/09 (火) 4時限 14:40～16:10	サベイング実技試験	【授業の一般目標】 残存組織の保護と咀嚼機能の回復に有用な局部床義歯の作成に関する知識および技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎部分欠損のサベイングができる 2. 下顎部分欠損の仮設計ができる 【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP 121～145, 169～174 【学習方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 カ サベイング	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/09/12 (金) 1時限 09:00～10:30	局部床義歯の口腔内前処置 (広義・狭義)	【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に対する歯科補綴治療の臨床的意義と方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列部分欠損に対する治療計画を左右する因子を説明できる。 【準備学習項目】	大久保 昌和

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/12 (金) 1時限 09:00～10:30	局部床義歯の口腔内前処置 (広義・狭義)	歯学生のパーシャルデンチャーP88-109, 137-145, 146, 150-157, 【学習場所・媒体等】 301教室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 カ 前処置 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	大久保 昌和
2014/09/30 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の精密印象	【授業の一般目標】 歯列の部分欠損に対する歯科補綴治療の臨床的意義と方法を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯根膜負担、粘膜負担、歯根膜粘膜負担義歯について説明できる。 2. 個人トレーを用いた機能印象を説明できる。 3. 印象用材料について説明できる。 【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP88-109, 158-168 【学習場所・媒体等】 301教室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。	大久保 昌和
2014/09/30 (火) 3時限 13:00～14:30	支台歯に対する前処置・筋形成・精密印象・ボクシング・作業模型	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために支台歯に対する前処置を行い、筋圧形成と精密印象を採得することができる。 局部床義歯を製作するために作業模型を製作することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 5. 第2回評価表の個人トレーにチェックを受ける。 6. 第3回評価表にチェックを受ける。 【準備学習項目】 マウスプレパレーション、筋圧形成、精密印象、作業模型 【学習場所・媒体等】 実習書第3回歯冠形態修正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目 (鉤歯の形成、筋形成、最終印象) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 菜那 伊藤 正安 井上 克昌 植木 恭代 小出 貴信 佐藤 弘宜 末光 弘子 義隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/30 (火) 3時限 13:00～14:30	支台歯に対する前処置・筋形成・精密印象・ボクシング・作業模型	害 5 部分床義歯による治療 ウ 作業模型の製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/09/30 (火) 4時限 14:40～16:10	支台歯に対する前処置・筋形成・精密印象・ボクシング・作業模型	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために支台歯に対する前処置を行い、筋圧形成と精密印象を採得することができる。 局部床義歯を製作するために作業模型を製作することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 支台歯に対する前処置ができる。 2. 下顎部分欠損の筋圧形成を行うことができる。 3. 下顎部分欠損の精密印象を採得できる。 4. 下顎部分欠損の作業用模型を調製できる。 5. 第2回評価表の個人トレーにチェックを受ける。 6. 第3回評価表にチェックを受ける。 【準備学習項目】 マウスプレパレーション、筋圧形成、精密印象、作業模型 【学習場所・媒体等】 実習書第3回歯冠形態修正、最終印象、作業模型、Web-classの予習項目 (歯の形成、筋形成、最終印象) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ウ 作業模型の製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/07 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の直接維持装置・アタッチメント	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために支台 (維持) 装置について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の直接支台 (維持) 装置について説明できる。 2. 局部床義歯のアタッチメントについて説明できる。 【準備学習項目】 支台 (維持) 装置、アタッチメント 【学習場所・媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャーP98～109, 198～212 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 【コアカリキュラム】	成田 紀之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の直接維持装置・アタッチメント	E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *④可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。	成田 紀之
2014/10/07 (火) 3時限 13:00～14:30	サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリース	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために作業模型にサベイングを行い、最終設計線の記入ができる。 局部床義歯製作のために設計線に基づいてブロックアウト・リリースを行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎作業用模型のサベイングができる。 2. 最終設計ができる。 3. 下顎作業用模型のブロックアウトリリースができる。 4. 評価表第4回サベイング、設計、ブロックアウト・リリースにチェックを受ける。 【準備学習項目】 サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリース 【学習場所・媒体等】 実習書第4回、サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリース、Web-classの予習項目 (最終設計、ブロックアウト・リリース) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 カ サベイング 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 キ フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/07 (火) 4時限 14:40～16:10	サベイング・最終設計・ブロックアウト・リリース	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のために作業模型にサベイングを行い、最終設計線の記入ができる。 局部床義歯製作のために設計線に基づいてブロックアウト・リリースを行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎作業用模型のサベイングができる。 2. 最終設計ができる。 3. 下顎作業用模型のブロックアウトリリースができる。 4. 評価表第4回サベイング、設計、ブロックアウト・リリースにチェックを受ける。 【準備学習項目】 サベイング、義歯設計、ブロックアウト・リリース 【学習場所・媒体等】 実習書第4回、サベイング、最終設計、ブロックアウト・リリース、Web-classの予習項目 (最終設計、ブロックアウト・リリース) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 カ サベイング 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07 (火) 4時限 14:40～16:10	サベイング・最終 設計・ブロックア ウト・リリース	5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 キ フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑫可撤性義歯の設計原理を理解し、口腔内診察、検査、診断模型およびエックス線写真等により適切に設計を行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/14 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の間接 維持装置・連結子	【授業の一般目標】 局部床義歯治療のために間接支台 (維持) 装置と連結子について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 2. 間接維持について説明できる。 3. 大連結子について説明できる。 4. 小連結子について説明できる。 【準備学習項目】 間接支台 (維持) 装置、大連結子、小連結子 【学習場所・媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャーP175～197, 84～87 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *④可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。	成田 紀之
2014/10/14 (火) 3時限 13:00～14:30	クラスプとリンガル バーのパターン 採得	【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーを製作することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。 【準備学習項目】 クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ 【学習場所・媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目 (クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/14 (火) 3時限 13:00~14:30	クラスプとリングアルバーのパターン採得	<p>*⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 伸之 池口 菜那 伊藤 正安 井上 克昌 植木 恭代 小出 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/14 (火) 4時限 14:40~16:10	クラスプとリングアルバーのパターン採得	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプとリングアルバーを製作することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リングアルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 クラスプ、リングアルバー、ワイヤークラスプ</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目 (クラスプパターンの作製、リングアルバーパターンの作製、クラスプワイヤー屈曲)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 伸之 池口 菜那 伊藤 正安 井上 克昌 植木 恭代 小出 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/21 (火) 2時限 10:40~12:10	局部床義歯のフレームワークの製作、パターン採得および型ごと埋没	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯のフレームワークの製作、パターン採得および型ごと埋没を行うのに必要な補綴学の知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯のフレームワークを説明できる。 2. フレームワークの使用金属を説明できる。 3. フレームワークの製作順序を説明できる。 4. クラスプパターン採得を説明できる。 5. 耐火模型・型ごと埋没を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯学生のバーチャルデンチャーP110-118, 175-191, 198-212</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	伊藤 誠康
2014/10/21 (火)	クラスプとリング	【授業の一般目標】	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:00～14:30	ルバーのパターン採得	<p>局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。 <p>【準備学習項目】</p> <p>クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目（クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤーの屈曲）</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	<p>成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子</p>
2014/10/21 (火) 4時限 14:40～16:10	クラスプとリンガルバーのパターン採得	<p>【授業の一般目標】</p> <p>局部床義歯製作のためにクラスプとリンガルバーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クラスプパターンの採得ができる。 2. リンガルバーのパターン採得ができる。 3. クラスプワイヤーの屈曲ができる。 4. 評価表第5回パターン採得にチェックを受ける。 <p>【準備学習項目】</p> <p>クラスプ、リンガルバー、ワイヤークラスプ</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>実習書第5回パターン採得、Web-classの予習項目（クラスプパターンの作製、リンガルバーパターンの作製、クラスプワイヤーの屈曲）</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	<p>河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子</p>
2014/10/28 (火) 2時限 10:40～12:10	パターンのリング埋没 鋳造	<p>【授業の一般目標】</p> <p>局部床義歯を製作するためにクラスプの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パターンの埋没と鋳造ができる。 2. クラスプとリンガルバーの研磨ができる。 3. 評価表6・7回リング埋没、鋳造にチェックを受ける。 <p>【準備学習項目】</p> <p>埋没、鋳造、研磨</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>実習書第6回リング埋没、鋳造、Web-classの予習項目（パターン植立、埋没、鋳造、研磨）</p> <p>【学習方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	<p>河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/28 (火) 2時限 10:40～12:10	パターンのリング 埋没 鋳造	301教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/28 (火) 3時限 13:00～14:30	パターンのリング 埋没 鋳造	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するためにクラスプの製作ができる。 【行動目標（SBOs）】 1. パターンの埋没と鋳造ができる。 2. クラスプとリンガルバーの研磨ができる。 3. 評価表6・7回リング埋没、鋳造にチェックを受ける。 【準備学習項目】 埋没、鋳造、研磨 【学習場所・媒体等】 実習書第6回リング埋没、鋳造、Web-classの予習項目（パターン植立、埋没、鋳造、研磨） 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/10/28 (火) 4時限 14:40～16:10	パターンのリング 埋没 鋳造	【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するためにクラスプの製作ができる。 【行動目標（SBOs）】 1. パターンの埋没と鋳造ができる。 2. クラスプとリンガルバーの研磨ができる。 3. 評価表6・7回リング埋没、鋳造にチェックを受ける。 【準備学習項目】 埋没、鋳造、研磨 【学習場所・媒体等】 実習書第6回リング埋没、鋳造、Web-classの予習項目（パターン植立、埋没、鋳造、研磨） 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/04 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯のクラスプ・フレームワークの試適、アルタードキャスト印象法	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯のフレームワークの試適とアルタードキャスト印象法と改造印象に関する知識および技能を修得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯学生のパーシャルデンチャーP110～120, 198～212</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 石井 智浩
2014/11/04 (火) 3時限 13:00～14:30	局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプの試適を行うことができる。 局部床義歯製作のために咬合床の製作を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 クラスプ、フレームワーク試適、咬合床</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第7・8回、鑄造、試適、研磨、咬合床、Web-classの予習項目 (咬合床作製)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/04 (火) 4時限 14:40～16:10	局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯製作のためにクラスプの試適を行うことができる。 局部床義歯製作のために咬合床の製作を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラスプの試適ができる。 2. 局部床義歯の咬合床を調製ができる。 3. 評価表6・7回咬合床の作製にチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 クラスプ、フレームワーク試適、咬合床</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/04 (火) 4時限 14:40～16:10	局部床義歯のクラスプ試適・咬合床の調製	<p>【学習場所・媒体等】 実習書第7・8回、鑄造、試適、研磨、咬合床、Web-classの予習項目（咬合床作製）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 キ フレームワークの製作</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/11 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の咬合床・下顎位・咬合採得	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯の咬合床・下顎位・咬合採得を行うのに必要な補綴学の知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 2. 局部床義歯の咬合床について説明できる。 3. 部分欠損の咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 4. 部分欠損の下顎運動の記録法と咬合器の調節を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯学生のパーソナルデンチャーP27-34, 42-48, 54-69, 213-217</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p>	伊藤 誠康
2014/11/11 (火) 3時限 13:00～14:30	フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために上下顎間関係の記録を行うことができる。 局部床義歯を製作するために作業模型を咬合器に付着することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. フェイスボウトランスファーを行うことができる。 2. 下顎部分欠損の咬合採得ができる。 3. 模型を咬合器に付着することができる。 4. 評価表第8回フェイスボウトランスファー、咬合採得、作業模型付着にチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 フェイスボウトランスファー、咬合採得、咬合器付着</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第9回咬合採得、Web-classの予習項目（フェイスボウトランスファー、咬合採得、模型付着）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/11 (火) 3時限 13:00～14:30	フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着	<p>5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/11 (火) 4時限 14:40～16:10	フェイスボウトランスファー・咬合採得・作業模型の咬合器付着	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために上下顎間関係の記録を行うことができる。 局部床義歯を製作するために作業模型を咬合器に付着することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. フェイスボウトランスファーを行うことができる。 2. 下顎部分欠損の咬合採得ができる。 3. 模型を咬合器に付着することができる。 4. 評価表第8回フェイスボウトランスファー、咬合採得、作業模型付着にチェックを受ける。</p> <p>【準備学習項目】 フェイスボウトランスファー、咬合採得、咬合器付着</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第9回咬合採得、Web-classの予習項目（フェイスボウトランスファー、咬合採得、模型付着）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 エ 顎間関係の記録</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 オ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/18 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の床・咬合様式・人工歯排列	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯の床・咬合様式・人工歯排列を行うために必要な補綴学の知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯列部分欠損に対する治療法を説明できる。 2. 有床義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 3. 局部床義歯の人工歯排列を説明できる。 4. 部分床義歯の床形態を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯学生のパーソナルデンチャーP35-48, 218-234</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ク 人工歯の選択・排列・削合</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p>	伊藤 誠康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/18 (火) 2時限 10:40～12:10	局部床義歯の床・咬合様式・人工歯排列	5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	伊藤 誠康
2014/11/18 (火) 3時限 13:00～14:30	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	【授業の一般目標】 局部床義歯の製作するために人工歯排列と歯肉形成を行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 4. 評価表第9回人工歯排列にチェックを受ける。 【準備学習項目】 人工歯選択、人工歯排列、歯肉形成 【学習場所・媒体等】 実習書第10・11回人工歯排列、歯肉形成、Web-classの予習項目 (人工歯排列、歯肉形成) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 人工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成 サ 埋没、重合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/18 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	【授業の一般目標】 局部床義歯の製作するために人工歯排列と歯肉形成を行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 4. 評価表第9回人工歯排列にチェックを受ける。 【準備学習項目】 人工歯選択、人工歯排列、歯肉形成 【学習場所・媒体等】 実習書第10・11回人工歯排列、歯肉形成、Web-classの予習項目 (人工歯排列、歯肉形成) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 人工歯の選択・排列・削合 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成 サ 埋没、重合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/18 (火) 4時限 14:40～16:10	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	*⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/25 (火) 2時限 10:40～12:10	有床義歯補綴学平常試験 (平常試験⑤)	<p>【授業の一般目標】 7/15～11/18での座学の範囲に関する知識を習得する</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 7/15～11/18でのSBOsすべて</p> <p>【準備学習項目】 7/15～11/18での座学の範囲 実施時間は9時から50分を予定。決定次第案内する</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ア 義歯の設計</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 イ 印象採得 ウ 作業模型の製作 エ 顎間関係の記録 オ 咬合器装着・調節 カ サベイング キ フレームワークの製作 ク 人工歯の選択・排列・削合 ケ 歯肉形成 コ 蠟義歯の試適</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑦印象採得の種類と方法を説明できる。 *⑧咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 *⑨下顎位・下顎運動の記録法を説明できる。</p>	河相 安彦
2014/11/25 (火) 3時限 13:00～14:30	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために人工歯排列と歯肉形成を行うことができる。 局部床義歯を製作するためにレジン重合を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。</p> <p>【準備学習項目】 人工歯排列、歯肉形成、義歯床用レジン</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第10・11回石膏埋没、スプルーイング、流蠟、レジン重合、Web-classの予習項目 (スプルーイング、埋没、流蠟、レジン流し込み)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/25 (火) 3時限 13:00~14:30	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	<p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ク 人工歯の選択・排列・削合 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/11/25 (火) 4時限 14:40~16:10	人工歯排列・歯肉形成・スプルーイング	<p>【授業の一般目標】 局部床義歯を製作するために人工歯排列と歯肉形成を行うことができる。 局部床義歯を製作するためにレジン重合を行うことができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 局部床義歯の人工歯の排列ができる。 2. 局部床義歯の歯肉形成ができる。 3. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。</p> <p>【準備学習項目】 人工歯排列、歯肉形成、義歯床用レジン</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習書第10・11回石膏埋没、スプルーイング、流蠟、レジン重合、Web-classの予習項目（スプルーイング、埋没、流蠟、レジン流し込み）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ケ 歯肉形成</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ク 人工歯の選択・排列・削合 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑤可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 *⑥可撤性義歯の構成要素を説明できる。 *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/02 (火) 2時限 10:40~12:10	床用レジンの所要性質 埋没・重合法 取り出しと研磨	<p>【授業の一般目標】 有床義歯の重合を正確に行うために必要な重合法および寸法精度に関する知識を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 有床義歯の重合法を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P225~224 歯学生のパーソナルデンチャーP235~243</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p>	河相 安彦 石井 智浩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/02 (火) 2時限 10:40～12:10	床用レジンの所要性質・埋没・重合 法 取り出しと研磨	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 石井 智浩
2014/12/02 (火) 3時限 13:00～14:30	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】試料作製・埋没・重合 (1)	【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために、加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較をすることができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 床用レジン材料の材料学特性を説明できる。 【準備学習項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン 【学習場所・媒体等】 配布プリント、歯学生のパーソナルデンチャーP235-242 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限定する。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/02 (火) 4時限 14:40～16:10	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】試料作製・埋没・重合 (1)	【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために、加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較をすることができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 床用レジン材料の材料学特性を説明できる。 【準備学習項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン 【学習場所・媒体等】 配布プリント、歯学生のパーソナルデンチャーP235-242 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限定する。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/09 (火) 2時限 10:40～12:10	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断 (2)	【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較をすることができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 床用レジン材料の材料学特性を説明できる。 【準備学習項目】	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/09 (火) 2時限 10:40～12:10	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断 (2)	<p>義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン、重合収縮</p> <p>【学習場所・媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャーP235～242、配布プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/09 (火) 3時限 13:00～14:30	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断 (2)	<p>【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較をすることができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 床用レジンの材料学特性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン、重合収縮</p> <p>【学習場所・媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャーP235～242、配布プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/09 (火) 4時限 14:40～16:10	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断 (2)	<p>【授業の一般目標】 義歯床用レジンの特徴を理解するために加熱重合レジンと流し込みレジンとの比較をすることができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 床用レジンの材料学特性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 義歯床用レジン、加熱重合レジン、流し込みレジン、重合収縮</p> <p>【学習場所・媒体等】 歯学生のパーソナルデンチャーP235～242、配布プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/09 (火) 4時限 14:40～16:10	理工学実験【加熱重合・流し込み比較】取り出し・切断(2)	<p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的ななものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/16 (火) 2時限 10:40～12:10	重合準備(ロウ義歯埋没・流ろう)	<p>【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにろう義歯の埋没を行うことができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 加熱重合のためのフラスコ埋没ができる。 2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 3. 流蟻ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [16] 仮床義歯のフラスコ内石膏埋没～[17] 流蟻及びレジン分離剤の塗布 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第74章～76章</p> <p>【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目(レジン填入)</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/16 (火) 3時限 13:00～14:30	重合準備(ロウ義歯埋没・流ろう)	<p>【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにろう義歯の埋没を行うことができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 加熱重合のためのフラスコ埋没ができる。 2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 3. 流蟻ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [16] 仮床義歯のフラスコ内石膏埋没～[17] 流蟻及びレジン分離剤の塗布 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第74章～76章</p> <p>【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目(レジン填入)</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/16 (火) 3時限 13:00～14:30	重合準備 (ロウ義 歯埋没・流ろう)	<p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2014/12/16 (火) 4時限 14:40～16:10	重合準備 (ロウ義 歯埋没・流ろう)	<p>【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにろう義歯の埋没を行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 加熱重合のためのフラスコ埋没ができる。 2. 流し込みレジンのためのスプルーイングができる。 3. 流蟻ができる。</p> <p>【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [16] 仮床義歯のフラスコ内石膏埋没～ [17] 流 蟻及びレジン分離剤の塗布 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第74章～76章</p> <p>【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目 (レジン填 入)</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に 行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2015/01/13 (火) 2時限 10:40～12:10	完成義歯の調整・ 装着後の問題	<p>【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、 検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 完成義歯の装着時の診査項目を列挙できる。 2. 完成義歯の診査材料を述べることができる。 3. 咬合診査の方法を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P242～251 歯学生のパーソナルデンチャーP244～248</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 サ 装着</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療</p>	河相 安彦 飯島 守雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/13 (火) 2時限 10:40～12:10	完成義歯の調整・ 装着後の問題	ス 装着 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 サ 装着 シ 患者指導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。 *⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	河相 安彦 飯島 守雄
2015/01/13 (火) 3時限 13:00～14:30	レジン填入・重合	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 加熱重合レジンの填入ができる。 2. 加熱重合レジンの重合ができる。 3. 流し込レジンの填入ができる。 4. 流し込みレジンの重合ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [18] レジン填入ならびに温成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第7章 【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目 (レジン填入) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑭可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 義隆 末光 義隆 弘宜 義隆 淑子
2015/01/13 (火) 4時限 14:40～16:10	レジン填入・重合	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するためにレジンの填入、重合を行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 加熱重合レジンの填入ができる。 2. 加熱重合レジンの重合ができる。 3. 流し込レジンの填入ができる。 4. 流し込みレジンの重合ができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [18] レジン填入ならびに温成 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第7章 【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第12回レジン流し込み、Web-classの予習項目 (レジン填入) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 サ 埋没、重合 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 義隆 末光 義隆 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/13 (火) 4時限 14:40～16:10	レジン填入・重合	害 6 全部床義歯による治療 ケ 埋没、重合 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作に必要な材料の特性を説明でき、各基本的操作を適切に行うことができる。 *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2015/01/20 (火) 2時限 10:40～12:10	装着後の問題・リ ライン・リベース・ 修理	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、 検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 有床義歯の調整、リライン、リベースを適切に行うことができる。 2. 有床義歯の調整、修理を適切に行うことができる。 3. 有床義歯装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P242～251 歯学生のバーチャルデンチャーP244～248 【学習場所・媒体等】 301教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表 【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 セ 患者指導 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 ス 装着 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 サ 装着 シ 患者指導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行 うことができる。 *⑪可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	河相 安彦 大久保 昌和 木本 統
2015/01/20 (火) 3時限 13:00～14:30	義歯の取り出し・ 研磨	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために義歯の取り出しと研磨を行うことができ る。 【行動目標 (SBOs)】 1. 加熱重合レジンの取り出しと研磨ができる。 2. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。 【準備学習項目】 取り出し、研磨 【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第13、14、15回掘り出し、研磨、調整、Web-classの 予習項目 (床研磨、レーズによる研磨) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 シ 咬合調整 (削合) と仕上げ	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/20 (火) 3時限 13:00～14:30	義歯の取り出し・研磨	<p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 コ 咬合調整（削合）と仕上げ</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑪可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 末光 貴信 義隆 弘宜 淑子
2015/01/20 (火) 4時限 14:40～16:10	義歯の取り出し・研磨	<p>【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために義歯の取り出しと研磨を行うことができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 加熱重合レジンの取り出しと研磨ができる。 2. 流し込みレジンの取り出しと研磨ができる。</p> <p>【準備学習項目】 取り出し、研磨</p> <p>【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第13、14、15回掘り出し、研磨、調整、Web-classの予習項目（床研磨、レーズによる研磨）</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 シ 咬合調整（削合）と仕上げ</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 コ 咬合調整（削合）と仕上げ</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯） *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑪可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。</p>	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 末光 貴信 義隆 弘宜 淑子
2015/01/27 (火) 2時限 10:40～12:10	装着後の問題・リライン・リベース・修理	<p>【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 有床義歯の調整、リライン、リベースを適切に行うことができる。 2. 有床義歯の調整、修理を適切に行うことができる。 3. 有床義歯装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P242～251 歯学生のパーシャルデンチャーP244～248</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室で問題解決型グループ学習およびまとめ発表</p> <p>【学習方略（LS）】 その他</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 サ 装着</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p>	河相 安彦 大久保 昌和 木本 統

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/27 (火) 2時限 10:40～12:10	装着後の問題・リ ライン・リベース・ 修理	5 部分床義歯による治療 ス 装着 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 シ 患者指導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行 うことができる。 *⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	河相 安彦 大久保 昌和 木本 統
2015/01/27 (火) 3時限 13:00～14:30	完成義歯の口腔内 試適・調整・装着	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために装着時の調整を行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の口腔内試適ができる。 2. 局部床義歯の口腔内試適ができる。 3. 総義歯の咬合器リマウントができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [19] デフラスキング～ [23] 装着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第78章～86章 【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第16回口腔内装着) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 シ 咬合調整 (削合) と仕上げ 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 コ 咬合調整 (削合) と仕上げ 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑩可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑭可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行 うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2015/01/27 (火) 4時限 14:40～16:10	完成義歯の口腔内 試適・調整・装着	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために装着時の調整を行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 総義歯の口腔内試適ができる。 2. 局部床義歯の口腔内試適ができる。 3. 総義歯の咬合器リマウントができる。 【準備学習項目】 総義歯補綴学実習便覧 [19] デフラスキング～ [23] 装着 WebClass 補綴学1 総義歯実習デモ動画 第78章～86章 【学習場所・媒体等】 局部床義歯実習書第16回口腔内装着) 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 シ 咬合調整 (削合) と仕上げ 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 コ 咬合調整 (削合) と仕上げ 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/27 (火) 4時限 14:40～16:10	完成義歯の口腔内 試適・調整・装着	E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑪可撤性義歯の製作過程を説明でき、基本的手技ができる。 *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2015/02/03 (火) 2時限 10:40～12:10	装着後の問題・リ ライン・リベース・ 修理	【授業の一般目標】 有床義歯補綴装置を装着および調整するにあたり必要な主訴に対する検査項目、 検査法および対処に関する臨床的な知識および技能を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 有床義歯の調整、リライン、リベースを適切に行うことができる。 2. 有床義歯の調整、修理を適切に行うことができる。 3. 有床義歯装着後における定期健診の重要性を説明し、指導できる。 【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学P242～251 歯学生のパーシャルデンチャーP244～248 【学習場所・媒体等】 301教室でまとめを発表 【学習方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 6 全部床義歯による治療 シ 患者指導 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 セ 患者指導 6 全部床義歯による治療 シ 患者指導 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行 うことができる。 *⑭可撤性義歯装着後における定期検診の重要性を説明し、指導できる。	河相 安彦 大久保 昌和 木本 統
2015/02/03 (火) 3時限 13:00～14:30	チェックバイト・ 咬合器再附着・咬 合調整・製作装置 のフィードバック	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために口腔内試適と調整を行うことができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. リマウントした義歯の咬合調整ができる。 2. 局部床義歯の咬合器再装着ができる。 3. 評価表第13回部分床義歯完成にチェックを受ける。 4. 完成した義歯の自己評価を行う。 【準備学習項目】 義歯調整、咬合調整 【学習場所・媒体等】 実習書第16回口腔内装着 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 5 部分床義歯による治療 ス 装着 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/03 (火) 3時限 13:00~14:30	チェックバイト・咬合器再付着・咬合調整・製作装置のフィードバック	各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 サ 装着 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子
2015/02/03 (火) 4時限 14:40~16:10	チェックバイト・咬合器再付着・咬合調整・製作装置のフィードバック	【授業の一般目標】 総義歯と局部床義歯を製作するために口腔内試適と調整を行うことができる。 【行動目標(SBOs)】 1. リマウントした義歯の咬合調整ができる。 2. 局部床義歯の咬合器再装着ができる。 3. 評価表第13回部分床義歯完成にチェックを受ける。 4. 完成した義歯の自己評価を行う。 【準備学習項目】 義歯調整、咬合調整 【学習場所・媒体等】 実習書第16回口腔内装着 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 5 部分床義歯による治療 ス 装着 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 6 全部床義歯による治療 サ 装着 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯(部分床義歯、全部床義歯) *⑬可撤性義歯の調整、術後管理、リラインおよび修理を説明でき、適切に行うことができる。	河相 安彦 成田 紀之 飯島 守雄 伊藤 誠康 大久保 昌和 木本 統 中田 浩史 林 幸男 石井 智浩 神谷 和伸 矢崎 貴啓 池口 伸之 伊藤 菜那 井上 正安 植木 克昌 小出 恭代 佐藤 貴信 末光 弘宜 義隆 淑子

クラウンブリッジ補綴学

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	會田 雅啓 (クラウンブリッジ補綴学)

学習ユニット 学習目標 (GIO)	適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。
担当教員	會田 雅啓、小林 平、若見 昌信、大村 祐史、田中 孝明、後藤 治彦、青木 直子、内堀 聡史、※増田 美樹子、※渡辺 官
教科書	クラウンブリッジ補綴学 第4版 石橋寛二ほか編 医歯薬出版 クラウンブリッジ補綴学実習指針 クラウンブリッジ補綴学講座 クラウンブリッジ補綴学講座
参考図書	クラウンブリッジテクニック 石橋寛二ほか編 医歯薬出版 続最新歯科補綴アトラス 三谷春保ほか 医歯薬出版 歯科補綴学専門用語集 第3版 (社法)日本補綴歯科学会編 医歯薬出版 スタンダード歯科理工学 鈴木一臣ほか 学建書院
実習器材	保証人宛に通知済み
評価方法 (EV)	平常試験 (平常試験①～⑥の平均：50%)， 実習 (補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPBLレポートなど：50%) 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	<p>【クラウンブリッジ補綴学講義】 歯冠架工義歯補綴は臨床で最も多く行われる治療の1つである。講義内容も非常に多いので復習を十分に行うこと。また、不明な点があれば必ず質問し、疑問をもったまま次回の講義に臨まないように心がけて欲しい。全部鋳造冠の製作法を通じて、適合の良い歯冠補綴物を製作するための理論を学び、さらに生体に調和した補綴物とはいかなるものであるかを習得する。これらを習得するためには口腔内のみならず、口腔周囲組織の生理学的および解剖学的知識ならびに歯科用材料の諸性質を理解する必要がある。</p> <p>【クラウンブリッジ補綴学実習】 講義を基に、歯冠架工義歯補綴学の実習を通して歯科材料の基礎理論を背景とした材料の応用、正しいインスツルメントの取り扱い方法および臨床に應用できる技術を習得することを目標に段階的に実習を行う。全部鋳造冠の作製過程および手技を学習し、臨床に應用可能な製作物を作製できる能力を養う。実習で身につけた技術は、歯科医として将来必ず役立つものであるため、進んで学習し実習を行うこと。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/03 (金) 2時限 10:40～12:10	クラウンブリッジ補綴学の定義 クラウンブリッジ治療と健康 クラウンブリッジ治療の利益と不利益	<p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を理解する。 クラウンブリッジの要件を理解する。 クラウンの種類と特徴を理解する。 クラウンの適応症を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を説明できる。 2. クラウンブリッジの要件を述べることができる。 3. クラウンの種類と特徴を述べるができる。 4. クラウンの適応症を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ治療の目的と治療の流れについて学ぶ。 クラウンの種類と特徴について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】</p>	會田 雅啓
2014/10/03 (金)	クラウンブリッジ	【授業の一般目標】	會田 雅啓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:00～14:30	の要件 クラウンブリッジ の種類と特徴 クラウンブリッジ 治療の流れ	<p>クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を理解する。 クラウンブリッジの要件を理解する。 ブリッジの支台装置の種類について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. クラウンブリッジ治療の臨床的意義と重要性を説明できる。 2. クラウンブリッジの要件を述べることができる。 3. ブリッジの支台装置の種類について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンブリッジ治療の目的と治療の流れについて学ぶ。 ブリッジの支台装置の種類と特徴について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】</p>	會田 雅啓
2014/10/03（金） 4時限 14:40～16:10	器具の配布 研究用模型の製作	<p>【授業の一般目標】 クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙する。 適切な既製トレーの選択ができる。 適切な予備印象採得を行うことができる。 適切な研究用模型を製作することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. クラウンブリッジ実習に必要な器具の名称を列挙できる。 2. 適切な既製トレーの選択ができる。 3. 適切な予備印象採得を行うことができる。 4. 適切な研究用模型を製作することができる。</p> <p>【準備学習項目】 授業項目に該当する実習書の範囲を熟読する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4)-(1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/10/10（金） 2時限 10:40～12:10	支台歯形成 歯肉圧排	<p>【授業の一般目標】 有髄歯の特徴を理解する。 歯質の切削器具の特徴を述べるができる。 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 有髄歯の特徴を述べることができる。 2. 歯質の切削器具の特徴を述べることができる。 3. 歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 有髄歯の特徴を説明できる。 歯質の切削器具の名称と使用法について述べるができる。</p>	若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/10 (金) 2時限 10:40~12:10	支台歯形成 歯肉圧排	<p>歯科麻酔の特徴、麻酔操作における注意点を述べることができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	若見 昌信
2014/10/10 (金) 3時限 13:00~14:30	支台歯形成 歯肉圧排	<p>【授業の一般目標】 支台歯形成の原則、歯髄保護の方法について理解する。 支台歯形成の手順およびクラウンの維持の理論について理解する。 各種クラウンの支台歯形態を理解する。 歯肉圧排の目的、方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 支台歯形成の原則、歯髄保護の方法について説明することができる。 2. 支台歯形成の手順およびクラウンの維持の理論について述べることができる。 3. 各種クラウンの支台歯形態を図示できる。 4. 歯肉圧排の目的、方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 支台歯形成の原則について学ぶ 歯肉圧排の目的、方法について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④支台歯形成の意義と方法を説明できる。</p>	若見 昌信
2014/10/10 (金) 4時限 14:40~16:10	支台歯形成	<p>【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。</p> <p>【準備学習項目】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を確認する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/10 (金) 4時限 14:40～16:10	支台歯形成	<p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/10/17 (金) 2時限 10:40～12:10	プロビジョナルレストレーション	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの目的について理解する。 プロビジョナルレストレーションの要件について理解する。 プロビジョナルレストレーションの製作法、使用器具について述べるができる。 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. プロビジョナルレストレーションの目的について述べるができる。 2. プロビジョナルレストレーションの要件について述べるができる。 3. プロビジョナルレストレーションの製作法、使用器具について述べることができる。 4. 仮着用セメントの種類と特徴について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの目的、製作法、要件、使用器具について学ぶ</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑤暫間補綴装置の意義とその製作法を説明できる。</p>	増田 美樹子
2014/10/17 (金) 3時限 13:00～14:30	プロビジョナルレストレーションの製作	<p>【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。</p> <p>【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/17 (金) 3時限 13:00~14:30	プロビジョナルレストレーションの製作	F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑧テンポラリークラウン (ブリッジ) を作製し、支台歯に適切に仮着できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 田中 治彦 後藤 直子 青木 聡史 内堀 史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/10/17 (金) 4時限 14:40~16:10	プロビジョナルレストレーションの製作	【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を習得する。 2. 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作ができる。 【準備学習項目】 プロビジョナルレストレーションの製作に必要な材料、器具およびそれらの使用法を学ぶ。 歯種に適したプロビジョナルレストレーションの製作するための歯の解剖学について復習する。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 オ プロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑧テンポラリークラウン (ブリッジ) を作製し、支台歯に適切に仮着できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中村 孝明 田中 治彦 後藤 直子 青木 聡史 内堀 史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/10/24 (金) 2時限 10:40~12:10	個人トレー 印象採得	【授業の一般目標】 印象採得の目的について理解する。 印象材の種類、分類について理解する。 印象採得に必要な器具、方法について理解する。 歯肉圧排の目的、方法について再度、理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 印象採得の目的について述べることができる。 2. 印象材の種類、分類について述べることができる。 3. 印象採得に必要な器具、方法について述べることができる。 4. 歯肉圧排の目的、方法について述べることができる。 【準備学習項目】 印象材の種類、分類、特徴、印象採得の方法について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。	大村 祐史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/31 (金) 2時限 10:40～12:10	印象採得 作業模型	<p>【授業の一般目標】 印象採得の目的について理解する。 印象材の種類、分類について理解する。 印象採得に必要な器具、方法について理解する。 歯肉圧排の目的、方法について再度、理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 印象採得の目的について述べることができる。 2. 印象材の種類、分類について述べることができる。 3. 印象採得に必要な器具、方法について述べることができる。 4. 歯肉圧排の目的、方法について述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 印象材の種類、分類、特徴、印象採得の方法について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 b 印象材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	大村 祐史
2014/10/31 (金) 3時限 13:00～14:30	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p> <p>【準備学習項目】 適切な個人トレー製作に必要な知識、器具および材料を確認する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/10/31 (金) 4時限 14:40～16:10	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/31 (金) 4時限 14:40～16:10	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【準備学習項目】 適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/07 (金) 2時限 10:40～12:10	作業模型 作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	<p>【授業の一般目標】 作業模型の要件について理解する。 作業模型の種類と特徴について理解する。 上顎作業模型の咬合器への付着法について理解する。 上顎模型に対する下顎模型の付着法について理解する。 顎路および顎路角の調整法について理解する。 歯型の分割，調整法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 作業模型の要件について述べるができる。 2. 作業模型の種類と特徴について述べるができる。 3. 上顎作業模型の咬合器への付着法について述べるができる。 4. 上顎模型に対する下顎模型の付着法について述べるができる。 5. 顎路および顎路角の調整法について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 作業模型の要件と種類，特徴について学ぶ。 作業模型の咬合器付着の意味について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑦研究用模型と作業用模型の製作方法を説明できる。 *⑨クラウンブリッジ製作のための印象採得・咬合採得に用いる材料と方法を説明できる。</p>	大村 祐史
2014/11/07 (金) 3時限 13:00～14:30	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【授業の一般目標】 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な個人トレーの製作ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 個人トレー製作に必要な器具および材料を適切に使用する。 2. 適切な個人トレーを製作する。</p> <p>【準備学習項目】 適切な個人トレー製作に必要な知識，器具および材料を確認する。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/07 (金) 3時限 13:00～14:30	個人トレーの製作 精密印象採得 作業模型の製作	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ニ 印象採得 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用法 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平昌 若見 信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直史 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/07 (金) 4時限 14:40～16:10	作業模型の咬合器 付着	<p>【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 キ 作業模型の製作</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 c 模型材 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑦印象採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平昌 若見 信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直史 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/14 (金) 2時限 10:40～12:10	顎運動 咬合器 咬合採得	<p>【授業の一般目標】 顎関節の構造を理解する。 咀嚼筋の種類と付着部位、作用について理解する。 顎運動、顎路、顎路傾斜角について理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 顎運動と咬合器との関係について理解する。</p>	田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/14 (金) 2時限 10:40～12:10	顎運動 咬合器 咬合採得	<p>フェイスボウトランスファー，チェックバイトについて理解する。 歯の咬合面形態と顎運動との関係について理解する。 咬合様式について理解する。 歯冠補綴における咬合採得法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎関節の構造を述べることができる。 2. 咀嚼筋の種類と付着部位，作用について説明できる。 3. 顎運動，顎路，顎路傾斜角について説明できる。 4. 咬合器の種類と特徴について述べるができる。 5. 顎運動と咬合器との関係について説明できる。 6. フェイスボウトランスファー，チェックバイトについて述べるができる。 7. 歯の咬合面形態と顎運動との関係について説明できる。 8. 咬合様式について述べるができる。 9. 歯冠補綴における咬合採得法について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 顎関節の構造，咀嚼筋の種類と作用について学ぶ。 顎運動と咬合器との関係について学ぶ。 歯冠補綴物作製のための咬合採得法について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用法 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。</p>	田中 孝明
2014/11/14 (金) 3時限 13:00～14:30	顎運動 咬合器 咬合採得	<p>【授業の一般目標】 顎関節の構造を理解する。 咀嚼筋の種類と付着部位，作用について理解する。 顎運動，顎路，顎路傾斜角について理解する。 咬合器の種類と特徴について理解する。 顎運動と咬合器との関係について理解する。 フェイスボウトランスファー，チェックバイトについて理解する。 歯の咬合面形態と顎運動との関係について理解する。 咬合様式について理解する。 歯冠補綴における咬合採得法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎関節の構造を述べることができる。 2. 咀嚼筋の種類と付着部位，作用について説明できる。 3. 顎運動，顎路，顎路傾斜角について説明できる。 4. 咬合器の種類と特徴について述べるができる。 5. 顎運動と咬合器との関係について説明できる。 6. フェイスボウトランスファー，チェックバイトについて述べるができる。 7. 歯の咬合面形態と顎運動との関係について説明できる。 8. 咬合様式について述べるができる。 9. 歯冠補綴における咬合採得法について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 顎関節の構造，咀嚼筋の種類と作用について学ぶ。 顎運動と咬合器との関係について学ぶ。 歯冠補綴物作製のための咬合採得法について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/14 (金) 3時限 13:00～14:30	顎運動 咬合器 咬合採得	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヌ 顎間関係の記録 a 基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ネ 咬合器 a 種類 b 基本的使用法 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 イ 検査 ウ 診断 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩フェイスボウトランスファーとチェックバイト法を説明し、調節性咬合器の基本的操作ができる。</p>	田中 孝明
2014/11/14 (金) 4時限 14:40～16:10	作業模型の咬合器 付着	<p>【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑩クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-2) 可撤性義歯（部分床義歯、全部床義歯）実習 ⑤咬合採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/21 (金) 2時限 10:40～12:10	第1回平常試験	<p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	會田 雅啓
2014/11/21 (金) 3時限 13:00～14:30	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	<p>【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/21 (金) 3時限 13:00～14:30	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) 実習 ⑤咬合採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/21 (金) 4時限 14:40～16:10	作業模型の咬合器 付着 歯型の調整	<p>【授業の一般目標】 正確な作業模型を製作することができる。 作業模型製作に必要な器具、材料を適切に使用できる。 作業模型を正確に咬合器に付着できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正確な作業模型製作のための理論と注意点を説明できる。 2. 作業模型製作に必要な器具、材料を説明できる。 3. 作業模型を正確に咬合器に付着するための方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 正確な作業模型製作のための要件について学ぶ。 作業模型製作に必要な器具、材料について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ケ 咬合器装着・調節</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ク 顎間関係の記録</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) 実習 ⑤咬合採得を適切に行うことができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/28 (金) 2時限 10:40～12:10	ワックスアップ 埋没 鑄造 熱処理 研磨	<p>【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 埋没材および埋没法の種類、使用方法について理解する。 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について理解する。 鑄造欠陥の種類と原因について理解する。 研磨用機器、材料について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科用ワックスの種類と性質を述べることができる。 2. ろう型の要件について説明できる。 3. 埋没材および埋没法の種類、使用方法について述べるができる。 4. 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について説明できる。 5. 鑄造欠陥の種類と原因について説明できる。 6. 研磨用機器、材料について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科用ワックス、ろう型の要件、埋没材、鑄造および鑄造収縮、研磨用材料について学ぶ。</p>	増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/28 (金) 2時限 10:40～12:10	ワックスアップ 埋没 鑄造 熱処理 研磨	<p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】</p>	増田 美樹子
2014/11/28 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/11/28 (金) 4時限 14:40～16:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べることができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/28 (金) 4時限 14:40~16:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	コ ワックスパターン形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 藤木 直子 青木 聡史 内堀 官 渡辺 美樹子 増田
2014/12/05 (金) 2時限 10:40~12:10	ワックスアップ 埋没 鑄造 熱処理 研磨	【授業の一般目標】 歯科用ワックスの種類と性質を理解する。 ろう型の要件について理解する。 埋没材および埋没法の種類、使用法について理解する。 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について理解する。 鑄造欠陥の種類と原因について理解する。 研磨用機器、材料について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科用ワックスの種類と性質を述べるができる。 2. 埋没材および埋没法の種類、使用法について述べるができる。 3. 歯冠補綴物の鑄造収縮の補償について説明できる。 4. 鑄造欠陥の種類と原因について説明できる。 5. 研磨用機器、材料について述べるができる。 【準備学習項目】 歯科用ワックス、ろう型の要件、埋没材、鑄造および鑄造収縮、研磨用材料について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】	増田 美樹子
2014/12/05 (金) 3時限 13:00~14:30	ワックスアップ (ロウ型採得)	【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べるができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。 【準備学習項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボン	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 藤木 直子 青木 聡史 内堀 官 渡辺 美樹子 増田

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/05 (金) 3時限 13:00～14:30	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>ティックの選択を含む。】 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/12/05 (金) 4時限 14:40～16:10	ワックスアップ (ロウ型採得)	<p>【授業の一般目標】 ワックスアップに必要な器具および材料について理解する。 ワックスアップ法の種類と特徴について理解する。 生体に調和したワックスアップ法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ワックスアップに必要な器具および材料について述べる事ができる。 2. ワックスアップ法の種類と特徴について説明できる。 3. 生体に調和したワックスアップ法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ワックスアップに必要な器具および材料について学ぶ。 ワックスアップ法の種類と特徴を学ぶ。 生体に調和したワックスアップ法を学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 コ ワックスパターン形成</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ポンティックの選択を含む。】 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/12/12 (金) 2時限 10:40～12:10	クラウンの口腔内 試適 仮着 装着 術後管理	<p>【授業の一般目標】 クラウンの口腔内試適の手順について理解する。 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について理解する。 合着用セメントの種類と性質について理解する。 術後管理の内容および重要性について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クラウンの口腔内試適の手順を述べる事ができる。 2. 仮着の目的、仮着用セメント、仮着期間、仮着期間中の観察項目について説明できる。 3. 合着用セメントの種類と性質について述べる事ができる。 4. 接着性レジンセメントの接着理論について説明できる。 5. 術後管理の内容および重要性について述べる事ができる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンの口腔内試適の手順、仮着の目的・セメント・期間・観察項目、合着用セメント、術後管理の重要性について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ス 口腔内試適</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	若見 昌信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/12 (金) 3時限 13:00~14:30	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4 - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン (ブリッジ) の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/12/12 (金) 4時限 14:40~16:10	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/12 (金) 4時限 14:40～16:10	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン（ブリッジ）の試適・調整・装着が適切にできる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/12/19 (金) 2時限 10:40～12:10	陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン	【授業の一般目標】 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。 陶材と金属との結合機構について理解する。 レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。 レジンと金属との維持機構について理解する。 オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。 レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1.陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製法について述べるができる。 2.陶材と金属との結合機構について説明できる。 3.レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製法について述べるができる。 4.レジンと金属との維持機構について説明できる。 5.オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について述べる ことができる。 6.レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製法について述べる ことができる。 【準備学習項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障 害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製法を説明できる。【ボン ティックの選択を含む。】	田中 孝明
2014/12/19 (金) 3時限 13:00～14:30	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 【行動目標（SBOs）】 1.埋没操作を適切に行うことができる。 2.埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3.鑄造操作を適切に行うことができる。 4.鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5.鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6.研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7.クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8.仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。 【準備学習項目】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。 【学習方略（LS）】 実習	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/19 (金) 3時限 13:00～14:30	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン（ブリッジ）の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2014/12/19 (金) 4時限 14:40～16:10	埋没 鑄造 研磨 仮着 合着	<p>【授業の一般目標】 埋没操作を適切に行うことができる。 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造操作を適切に行うことができる。 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 埋没操作を適切に行うことができる。 2. 埋没操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 3. 鑄造操作を適切に行うことができる。 4. 鑄造操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 5. 鑄造後の研磨操作が適切にできる。 6. 研磨操作に必要な器具および材料を適切に使用できる。 7. クラウンの口腔内試適、仮着、装着が適切にできる。 8. 仮着、装着に必要な器具および材料を適切に使用できる。</p> <p>【準備学習項目】 埋没、鑄造、研磨、口腔内試適、仮着、装着の操作や手順について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ノ 歯科鑄造 a 鑄造法の基本的術式</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 サ 埋没 シ 鑄造、ろう付け、熱処理、研磨 ス 口腔内試適 セ 装着</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ⑨完成したクラウン（ブリッジ）の試適・調整・装着が適切にできる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 堀内 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/01/09 (金) 2時限 10:40～12:10	陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン	<p>【授業の一般目標】 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 陶材と金属との結合機構について理解する。 レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 レジンと金属との維持機構について理解する。 オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。 レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について理解する。</p>	田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/09 (金) 2時限 10:40～12:10	陶材焼付冠 レジン前装冠 オールセラミック クラウン レジンジャケット クラウン	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 陶材焼付冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるができる。 2. 陶材と金属との結合機構について説明できる。 3. レジン前装冠の特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるができる。 4. レジンと金属との維持機構について説明できる。 5. オールセラミッククラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるができる。 6. レジンジャケットクラウンの特徴、適応症、禁忌症、製作法について述べるができる。 <p>【準備学習項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】</p>	田中 孝明
2015/01/09 (金) 3時限 13:00～14:30	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	<p>【授業の一般目標】 陶材の築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 前装用レジンの築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 陶材の築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 2. 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 3. 前装用レジンの築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 4. 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。 <p>【準備学習項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/01/09 (金) 4時限 14:40～16:10	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	<p>【授業の一般目標】 陶材の築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 前装用レジンの築盛操作に必要な器具、材料を適切に使用することができる。 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>【準備学習項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ボンティックの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/09 (金) 4時限 14:40～16:10	陶材焼付冠の製作 レジン前装冠の製作	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 陶材の築盛操作に必要な器具, 材料を適切に使用することができる。 2. 陶材の築盛操作を適切に行うことができる。 3. 前装用レジンの築盛操作に必要な器具, 材料を適切に使用することができる。 4. 前装用レジンの築盛操作を適切に行うことができる。 <p>【準備学習項目】 審美性を備えたクラウンについて学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 3 補綴装置の要件 キ 審美的要件</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ア 歯冠補綴装置の選択</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(1) クラウンブリッジによる治療 *①クラウンブリッジの意義と具備条件を説明できる。 *②クラウンおよびブリッジの種類、特徴および製作法を説明できる。【ポイントの選択を含む。】 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。</p>	後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/01/16 (金) 2時限 10:40～12:10	築造	<p>【授業の一般目標】 無髄歯の特徴を理解する。 築造の意義について理解する。 築造法の種類について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 無髄歯の特徴を述べることができる。 2. 築造の意義について説明できる。 3. 築造法の種類について述べることができる。 <p>【準備学習項目】 築造について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 エ 支台築造</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4-(1) クラウンブリッジによる治療 *③支台築造の意義、種類および特徴を説明できる。</p>	小林 平
2015/01/16 (金) 3時限 13:00～14:30	築造 印象採得 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 <p>【準備学習項目】 築造について学ぶ。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p>	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/16 (金) 3時限 13:00～14:30	築造 印象採得 ワックスアップ	<p>歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 エ 支台築造</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。</p>	<p>會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中田 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子</p>
2015/01/16 (金) 4時限 14:40～16:10	築造 印象採得 ワックスアップ	<p>【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。</p> <p>【準備学習項目】 築造について学ぶ。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 エ 支台築造</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 カ 印象採得</p> <p>【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。</p>	<p>會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 中田 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子</p>
2015/01/23 (金) 2時限 10:40～12:10	治療計画の立案 医療面接と診察 各種検査項目 治療計画を左右する因子 評価と診断 感染予防対策	<p>【授業の一般目標】 治療計画の立案に必要な情報の収集について理解する。 医療面接および診察の意義と方法について理解する。 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案できる。 研究用模型とX線検査の重要性について理解できる。 クラウンブリッジ領域における感染予防対策について理解できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 治療計画の立案に必要な情報の収集できる。 2. 医療面接および診察の意義と方法について説明できる。 3. 収集した情報に基づいて診断および治療計画が立案する。 4. 研究用模型とX線検査の重要性について説明できる。 5. クラウンブリッジ領域における感染予防対策について述べるることができる。</p> <p>【準備学習項目】 クラウンの治療計画の立案に必要な情報およびその収集について学ぶ。 情報の重要性と評価法およびそれに基づく診断について学ぶ。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 ウ 院内感染対策 a スタンダードプレコーション<標準予防策></p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 4 歯科医療の質と安全の確保 ウ 院内感染対策 b 抗菌薬の適正使用と薬剤耐性菌</p>	<p>小林 平</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/23 (金) 2時限 10:40~12:10	治療計画の立案 医療面接と診察 各種検査項目 治療計画を左右する因子 評価と診断 感染予防対策	c 医療廃棄物処理 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 2 診察・検査・診断・前処置 ア 診察 イ 検査 ウ 診断 エ 治療計画の立案 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-2) 医療面接 *①医療面接の役割を説明できる。 ②主訴をよく聞き取るとともに、患者の病気に対する考えや治療に対する希望を把握できる。 ③患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 ④患者の不安、不満や表情・行動の変化に適切に対応できる。 ⑤患者に診断結果と治療方針を適切に説明できる。 *⑥必要に応じて、他の医療機関への適切な紹介を行うための手続きを説明できる。 *⑦患者のプライバシーに配慮できる。 *⑧患者情報の守秘義務と患者等への情報提供の重要性を理解し、適切な取扱いができる。	小林 平
2015/01/23 (金) 3時限 13:00~14:30	レジン築造 支台歯形成 プロビジョナル レストレーション	【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【準備学習項目】 築造について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 d 修復用材料 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療 ウ 支台歯形成 エ 支台築造 オ プロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/01/23 (金) 4時限 14:40~16:10	レジン築造 支台歯形成 プロビジョナル レストレーション	【授業の一般目標】 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 適切な築造操作ができる。 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 築造操作に必要な器具および材料を適切に使用することができる。 2. 適切な築造操作ができる。 3. 残存歯質の状態によって築造法を選択できる。 【準備学習項目】 築造について学ぶ。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 d 修復用材料 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論V 歯質・歯・顎顔面欠損による障害とその他の口腔・顎・顔面の機能障害 4 クラウンブリッジによる治療	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/23 (金) 4時限 14:40～16:10	レジン築造 支台歯形成 プロビジョナル レストレーション	ウ 支台歯形成 エ 支台築造 オ プロビジョナルレストレーション 【コアカリキュラム】 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/01/30 (金) 2時限 10:40～12:10	インフォームド コンセント	【授業の一般目標】 インフォームドコンセントの基本的な考え方について理解する。 インフォームドコンセントの成立要件について理解する。 インフォームドコンセントを普及させるための工夫について理解する。 説明文書、同意文書の記載上の注意点について理解できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. インフォームドコンセントの基本的な考え方を説明できる。 2. インフォームドコンセントの成立要件について述べることができる。 3. インフォームドコンセントを普及させるための工夫について説明できる。 4. 説明文書、同意文書の記載上の注意点について述べることができる。 【準備学習項目】 インフォームドコンセントの重要性について学ぶ。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 c 守秘義務、プライバシーの尊重、法の遵守 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 ③説明を行うために適切な時期・場所・機会に配慮できる。 ④説明を受ける患者の心理状態や理解度に配慮できる。 ⑤患者からの質問に適切に応え、その様々な反応に柔軟に対応できる。	小林 平
2015/01/30 (金) 3時限 13:00～14:30	支台歯形成	【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。 【準備学習項目】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を確認する。 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第5実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *④クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。	會田 雅啓 小林 平 若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/01/30 (金) 4時限	支台歯形成	【授業の一般目標】 適切なハンドピースの操作ができる	會田 雅啓 小林 平

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
14:40～16:10	支台歯形成	<p>適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 適切なハンドピースの操作をする。 2. 適切な支台歯形成のためのバーの選択を行う。 3. 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を記憶する。</p> <p>【準備学習項目】 適切なハンドピースの操作ができる。 適切な支台歯形成のためのバーの選択ができる。 各種クラウンに適した支台歯形成の手順を確認する。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第5実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 セ 歯の切削 a 基本的術式</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (1) クラウンブリッジによる治療 *⑭クラウンブリッジの製作過程における基本的手技ができる。 F 臨床実習 F-8 補綴系実習 F-8-1) クラウンブリッジ実習 ①支台歯の状態に応じて適切な支台築造法を選択し、支台歯築造を実施できる。</p>	若見 昌信 大村 祐史 田中 孝明 後藤 治彦 青木 直子 内堀 聡史 渡辺 官 増田 美樹子
2015/02/06（金） 1時限 09:00～10:30	第2回平常試験	<p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	會田 雅啓
2015/02/06（金） 2時限 10:40～12:10	平常試験解説	<p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	會田 雅啓

顎口腔系の機能学

年次	学期	学習ユニット責任者
3年次	通年	川良 美佐雄（顎口腔機能治療学）

学習ユニット 学習目標 (GIO)	歯科補綴学をよりよく理解するために、基本的な用語と咬合の概念を知る。
担当教員	川良 美佐雄、小見山 道、浅野 隆、鈴木 浩司、飯田 崇、河相 安彦
教科書	歯科補綴学専門用語集第3版 公益社団法人 日本補綴歯科学会編 医歯薬出版株式会社
評価方法 (EV)	平常試験（平常試験①～⑥の平均：50%）、 実習（補綴学導入・顎口腔系の機能学・有床義歯補綴学・クラウン補綴学における実習評価およびPBLレポートなど：50%） 講義・実習それぞれ1/5以上欠席した場合、評価点は0-60点とする。また、講義・実習いずれかが合格点に達しない場合、評価点は60点未満とする。なお、平常試験の再試験は行わない。
学生への メッセージ オフィスアワー	顎口腔系の機能学では、歯科補綴学を理解するうえで必須の基本用語を解説します。それらは全く初めての聞きなれない専門用語ですが、生涯使用する言葉となります。できるだけ平易に解説を試みますので、この機会に修得してください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04（金） 1時限 09:00～10:30	下顎運動の機能と解剖	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 下顎運動と歯列・顎関節・咀嚼筋・靭帯の関連について説明できる 2. 下顎の限界運動について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 下顎運動と歯列・顎関節・咀嚼筋・靭帯の関連 下顎の限界運動</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能（咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 ウ 顎関節の機能 オ 咀嚼</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (2) 運動器系 *①生体を構成する主な骨と筋を列挙できる。 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道
2014/04/11（金） 1時限 09:00～10:30	咬合と下顎位	<p>【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 下顎位の名称を挙げ説明できる。 2. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 3. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 下顎位の名称 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準点・基準面</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	川良 美佐雄 小見山 道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/11 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎位	301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能（咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。	川良 美佐雄 小見山 道
2014/04/18 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎位	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 下顎位の名称を挙げ説明できる。 2. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 3. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。 【準備学習項目】 下顎位の名称 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準点・基準面 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能（咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。	川良 美佐雄 小見山 道
2014/04/25 (金) 1時限 09:00~10:30	咬合と下顎運動の決定要素	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 下顎運動および咬合に関わる基本的用語を挙げ説明できる。 2. 下顎運動の基準となる基準点・基準面を列挙し説明できる。 【準備学習項目】 下顎運動および咬合に関わる基本的用語 下顎運動の基準となる基準点・基準面 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能（咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚） 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式	川良 美佐雄 小見山 道

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/25 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合と下顎運動の 決定要素	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。	川良 美佐雄 小見山 道
2014/05/09 (金) 1時限 09:00～10:30	咬合の概念	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 咬合様式を挙げ説明できる。 2. 咬合器の目的を説明できる。 【準備学習項目】 咬合様式の名称と内容 咬合器の目的 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 ア 下顎位、下顎運動 イ 咬合接触、咬合様式 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。	川良 美佐雄 小見山 道
2014/05/23 (金) 1時限 09:00～10:30	顎機能の検査 (1)	【授業の一般目標】 適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 下顎運動の検査方法を挙げ説明できる。 2. 咬合診査の方法を挙げ説明できる。 3. 下顎運動にかかわる筋機能検査の方法を挙げ説明できる。 4. 咀嚼機能の検査方法を挙げ説明できる。 【準備学習項目】 下顎運動の検査方法 咬合診査の方法 下顎運動にかかわる筋機能検査の方法 咀嚼機能の検査方法 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 イ 口腔・顎顔面の構造・機能 b 口腔の機能 (咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚) 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IX 検査 1 口腔内検査・口腔機能検査 カ 歯列・咬合検査 ケ 下顎位検査 コ 下顎運動検査 サ 顎関節・筋機能検査 シ 舌運動・舌圧検査 ス 咀嚼機能検査 セ 咬合力検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能 *③歯列と咬合について説明できる。 *⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇
2014/05/30 (金)	顎機能の検査 (2)	【授業の一般目標】	河相 安彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	顎機能の検査(2)	<p>適切な咬合・咀嚼障害の診断と機能回復を目的とした治療計画の立案および処置が行えるために必要な補綴学に関する知識・技能および態度を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 顎関節・筋機能検査を説明できる。 咬合力・咬合接触面積・接触点の検査を説明できる。 舌運動・舌圧の検査を説明できる。 鼻咽腔閉鎖機能検査を説明できる。 構音機能検査を説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>顎関節・筋機能検査 咬合力・咬合接触面積・摂食点の検査 舌運動・舌圧の検査 鼻咽腔閉鎖機能検査 構音機能検査</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>イ 口腔・顎顔面の構造・機能</p> <p>b 口腔の機能(咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学総論 総論IX 検査</p> <p>1 口腔内検査・口腔機能検査</p> <p>サ 顎関節・筋機能検査</p> <p>シ 舌運動・舌圧検査</p> <p>セ 咬合力検査</p> <p>タ 構音機能検査</p> <p>チ 鼻咽腔閉鎖機能検査</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能</p> <p>*②咀嚼筋、表情筋、前頸筋の構成と機能を説明できる。</p> <p>*⑤顎関節の構造と機能を説明できる。</p> <p>E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能</p> <p>*②舌の構造と機能を説明できる。</p> <p>*⑦構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道 鈴木 浩司 浅野 隆 飯田 崇
2014/06/06(金) 1時限 09:00～10:30	顎口腔系の機能学 平常試験 (平常試験②)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>4/4～5/23の顎口腔系の機能学の座学の範囲に関する知識を修得する</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <p>1. 4/4～5/23の顎口腔系の機能学のSBOsすべて</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>4/4～5/23の顎口腔系の機能学の座学の範囲</p> <p>【学習方略(LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>6 人体の正常構造・機能</p> <p>イ 口腔・顎顔面の構造・機能</p> <p>b 口腔の機能(咬合、咀嚼、嚥下、呼吸、発音と構音、消化、皮膚・粘膜の体性感覚、味覚)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-2) 口唇・口腔の基本構造と機能</p> <p>*③歯列と咬合について説明できる。</p> <p>*⑥咀嚼の意義と制御機構を説明できる。</p> <p>*⑦構音器官としての口腔の形態と機能を説明できる。</p>	川良 美佐雄 小見山 道

医療行動科学5

年次	学期	学則科目責任者
3年次	前学期	伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学習目標 (GIO)	<p>医療は、単に疾患だけを診るのではなく、生物・心理・社会的存在として、ひとりの人間としての患者を理解し、治療にあたる全人的医療の必要性が今日求められている。また、治療の対象は慢性疾患や生活習慣病の治療と予防が主となり、患者のライフサイクルに応じたセルフケア重視へと移行しつつある。</p> <p>医療は患者と医療者が協働する時代といわれ、“patient-centered medicine”の医師中心、患者中心を越えた第3の枠組みとして“relationship-centered care”という概念が提示された。“relationship-centered care”とは、様々な「関係」を中心にヘルスケアを構築するという考え方で、「関係」に関わる人の個性を取り入れること、感情が重要な要素となること、相互作用の中で「関係」が生じていくこと、「関係」の形成と維持が倫理的に重要であること、という4つの原則が示されている。(宮田靖志/北海道大学病院)</p> <p>本講義を通して、患者-医療者関係についてより深く考え、自らの行動指針を整理、決定する。</p>
担当教員	伊藤 孝訓、和田 守康、内田 貴之、※金尾 好章、※蝦名 直美、※前田 純子
教科書	講義内容に関連した資料を配布する
参考図書	「人間学入門」 日本医学教育学会 南山堂 「患者と医師のコミュニケーション」 石川ひろの、武田裕子訳 篠原出版新社 その他随時紹介する。
実習器材	SGD はノートパソコンを使用するので、班ごとに用意すること
評価方法 (EV)	<p>講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)、制作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%)をもって総合評価(最終評価)する。</p> <p>平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。</p> <p>受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。</p> <p>授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>よりよい患者-医療者関係を構築するための基礎的事項について、少し深く基本から考えてみましょう。SGDによる学習方略を用いますので積極的に学習して下さい。</p> <p>E-mail(shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp)による質問を受け付ける。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/07 (月) 1時限 09:00～10:30	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために患者-医療者関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 患者中心の医療について説明できる。 2. 患者と医療者の関係について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 現在の医療について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法 (言語的と非言語的) を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	伊藤 孝訓
2014/04/14 (月) 1時限 09:00～10:30	医療者とは	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療者の本質を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科医療の特性を説明できる。 2. プロフェッショナリズムについて説明できる。 3. 医療者からみた患者像を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 患者に最も適した医療を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	和田 守康

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/14 (月) 1時限 09:00～10:30	医療者とは	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *①患者との信頼関係を築くことができる。 *②個人的、社会的背景等が異なる患者に、わけへだてなく対応できる。 *③患者の価値観が多様であることを認識し、柔軟に対応できる。</p>	和田 守康
2014/04/21 (月) 1時限 09:00～10:30	地域における患者関係 ～歯科医院を中心として～	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、地域における患者関係を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 一般歯科医院における患者・医療者の関わりについて概説できる。 2. 歯科医院におけるヘルスクエアを概説できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科医院の社会的特徴を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 4 地域保健、地域医療 キ かかりつけ歯科医機能</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 *⑨地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明できる。 *⑩地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明できる。</p>	金尾 好章
2014/04/28 (月) 1時限 09:00～10:30	医療コミュニケーションの心理	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療におけるコミュニケーション心理を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. カウンセリングにおける基本的態度と傾聴技法について説明できる。 2. 患者の特性を説明できる。 3. 患者の心理状態を説明できる。 4. 患者の話しをくみ取る際の心理的技法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 人の行動と心理について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 A-7-2) 医療面接 *①医療面接の役割を説明できる。</p>	蝦名 直美
2014/05/12 (月) 1時限 09:00～10:30	病院における患者関係	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、病院における患者関係を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 2次医療機関における患者・医療者の関わりについて概説できる。 2. 細分化された歯科医療の特性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 2次医療機関の役割について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】</p>	内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/12 (月) 1時限 09:00～10:30	病院における患者 関係	講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 イ 地域医療でのチームワーク a 病診連携 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説 できる。	内田 貴之
2014/05/19 (月) 1時限 09:00～10:30	模擬患者（SP） とは	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、模擬患者の教育的効果・有用性に関する知 識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 模擬患者（SP）について説明できる。 2. SPを用いた教育の目的、効果等について説明できる。 3. 患者のアイデンティティや生活世界について説明できる。 【準備学習項目】 シミュレーションによる医学教育について説明できる。 【学習場所・媒体等】 ロールプレイ 【学習方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 8 医療面接 ア 意義, 目的 b 患者歯科医師関係の確立 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *①患者との信頼関係を築くことができる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【 患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	前田 純子
2014/05/26 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験 1	【学習方略（LS）】 その他 【場所（教室/実習室）】 301教室	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/06/02 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 （1） 「日本文化に合致 したインフォーム ドコンセントとは」 を深く考える。	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために、日本文化に合致するインフォームド・コ ンセントに関する知識を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 患者中心の医療とはどのようなことか、その意味を多角的に概説できる。 2. 医療の不確実性について説明できる。 3. 我が国における独自の医療システムを概略できる。 4. 患者の個別性や価値観について説明できる。 5. 魚骨図を用いて要因分析ができる。 【準備学習項目】 インフォームド・コンセントの意義と重要性について説明できる。 【学習場所・媒体等】 シネエデュケーション「米国 ハーマン病院」 【学習方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 第2実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。	伊藤 孝訓 内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/02 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (1) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」を深く考える。	A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/06/09 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (2) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」を深く考える。	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために、日本文化に合致するインフォームド・コンセントに関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 患者中心の医療とはどのようなことか、その意味を多角的に概説できる。 2. 医療の不確実性について説明できる。 3. 我が国における独自の医療システムを概略できる。 4. 患者の個別性や価値観について説明できる。 【準備学習項目】 インフォームド・コンセントの意義と重要性について説明できる。 【学習場所・媒体等】 SGD 【学習方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/06/16 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (3) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」を深く考える。	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために、日本文化に合致するインフォームド・コンセントに関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 患者中心の医療とはどのようなことか、その意味を多角的に概説できる。 2. 医療の不確実性について説明できる。 3. 我が国における独自の医療システムを概略できる。 4. 患者の個別性や価値観について説明できる。 【準備学習項目】 インフォームド・コンセントの意義と重要性について説明できる。 【学習場所・媒体等】 SGD 【学習方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/06/23 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (4) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」を深く考える。	【授業の一般目標】 全人的な歯科医療を実践するために、日本文化に合致するインフォームド・コンセントに関する知識を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 患者中心の医療とはどのようなことか、その意味を多角的に概説できる。 2. 医療の不確実性について説明できる。 3. 我が国における独自の医療システムを概略できる。 4. 患者の個別性や価値観について説明できる。 【準備学習項目】 インフォームド・コンセントの意義と重要性について説明できる。 【学習場所・媒体等】 SGDと発表討議 【学習方略 (LS)】	伊藤 孝訓 内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/23 (月) 1時限 09:00～10:30	患者中心の医療 (4) 「日本文化に合致したインフォームドコンセントとは」を深く考える。	演習 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/06/30 (月) 1時限 09:00～10:30	共感的・全人的な医療の実践(1) 「我が国の文化にあった共感的・全人的な医療を実践するための方略とは」を深く考える。	【授業の一般目標】 我が国の文化にあった共感的・全人的な医療を実践するために、歯科医師の役割を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 2.患者に望まれる歯科医師像を概説できる。 3.専門職(プロフェッション)とは、について説明できる。 4.「賢くなる患者」その意味と必要性について説明できる。 5.テーマに対して批判的思考が実践できる。 【準備学習項目】 全人的医療について説明できる。 【学習場所・媒体等】 SGD 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/07/07 (月) 1時限 09:00～10:30	共感的・全人的な医療の実践(2) 「我が国の文化にあった共感的・全人的な医療を実践するための方略とは」を深く考える。	【授業の一般目標】 我が国の文化にあった共感的・全人的な医療を実践するために、歯科医師の役割を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 2.患者に望まれる歯科医師像を概説できる。 3.専門職(プロフェッション)とは、について説明できる。 4.「賢くなる患者」その意味と必要性について説明できる。 5.テーマに対して批判的思考が実践できる。 【準備学習項目】 全人的医療について説明できる。 【学習場所・媒体等】 SGD 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/07/14 (月)	共感的・全人的な	【授業の一般目標】	伊藤 孝訓

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	医療の実践(3) 「我が国の文化にあった共感的・全人的な医療を实践するための方略とは」を深く考える。	我が国の文化にあった共感的・全人的な医療を实践するために、歯科医師の役割を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 2.患者に望まれる歯科医師像を概説できる。 3.専門職(プロフェッション)とは、について説明できる。 4.「賢くなる患者」その意味と必要性について説明できる。 5.テーマに対して批判的思考が実践できる。 【準備学習項目】 全人的医療について説明できる。 【学習場所・媒体等】 SGD 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。	内田 貴之
2014/07/24(木) 1時限 09:00～10:30	共感的・全人的な医療の実践(4) 「我が国の文化にあった共感的・全人的な医療を实践するための方略とは」を深く考える。	【授業の一般目標】 我が国の文化にあった共感的・全人的な医療を实践するために、歯科医師の役割を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.患者-医療者関係での医療者の役割を説明できる。 2.患者に望まれる歯科医師像を概説できる。 3.専門職(プロフェッション)とは、について説明できる。 4.「賢くなる患者」その意味と必要性について説明できる。 5.テーマに対して批判的思考が実践できる。 【準備学習項目】 全人的医療について説明できる。 【学習場所・媒体等】 SGDと発表討議 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/09/08(月) 1時限 09:00～10:30	平常試験2	【学習方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 301教室	伊藤 孝訓 内田 貴之

衛生・公衆衛生学

年次	学期	学則科目責任者
3年次	前学期	那須 郁夫 (公衆予防歯科学)

学習目標 (G I O)	<p>衛生学では、前半で、人々の「健康」についてその基本的な概念を学ぶ。すなわち「健康とは何か」また「不健康とは何か」について学んでもらう。</p> <p>健康を阻害する要因を、まずは宿主要因、病因、環境要因に分けて理解するとともに、実際にはそれらが融合的、複合的に影響し合って、人々の健康を左右することを深く理解してもらいたい。これは一方で、疾病予防をしようとするときには、いくつもある予防方法について個々の方法を良く理解したうえで、複数の方法を「組み合わせ」て計画、実施することになるのと表裏一体の考え方である。このことをしっかり理解することが、歯科医師として生きていくうえでの基本中の基本である。</p> <p>後半では公衆衛生学を学ぶ。公衆衛生学は、医学の一分野でありながら、国の社会保障制度の中の一つでもある。歯科医師法を紐解くまでもなく、国民の公衆衛生の向上は、われわれ歯科医師の業務の中心でもある。公衆衛生あるいは、地域保健の観点から、人々のライフステージに分かれて講義が進むが、こちらにも、地域の人々の「生涯を通じた」健康増進といった、統合化された健康概念の形成が本講義の目標である。</p>
担当教員	那須 郁夫、後藤田 宏也、有川 量崇、※生田 明敏、※新保 秀樹、※矢野 聡
教科書	シンプル衛生公衆衛生学2014 鈴木庄亮、久道 茂監修、辻 一郎、小山 洋編集 南江堂
参考図書	国民衛生の動向 厚生統計協会 厚生統計協会
実習器材	なし
評価方法 (E V)	おおむね平常試験で評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>毎日、健康に関わるニュースに敏感になってもらいたい。しかも、活字（新聞）で情報を得ることを心がけてもらいたい。</p> <p>講師は、それぞれその分野の第一人者である。興味を持ったことがあったら、それぞれの講師に話しかけてみてもらいたい。きっと面白い話が聞けるであろう。</p> <p>この講義で学んだことを、自分自身の健康の維持、増進に生かしてもらいたい。</p> <p>オフィスアワーは特に設けないが、教授室、研究室を訪ねてもらいたい。NU-MAIL サーバーには、頻繁にアクセスしている。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/04 (金) 2時限 10:40~12:10	衛生・保健・健康の概念	<p>【授業の一般目標】 衛生・保健・健康の概念について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 衛生学・公衆衛生学の概略について説明できる。 2. 衛生・公衆衛生の歴史について説明できる。 3. 社会環境の変化と国民生活について説明できる。 4. 健康の概略について説明できる。 5. 生活習慣と健康について説明できる。 6. 健康保持増進対策について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 衛生学、公衆衛生学について概説できる。 健康の概念を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 I 保健医療論 1 健康・疾病・障害の概念 ア 健康の概念</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 II 健康管理・増進と予防 1 健康の保持・増進と予防 ア 健康教育・学習、保健指導、健康相談 イ 健康づくり (栄養、運動、休養)</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 *①健康の概念を説明できる。 *②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 *③疾病の概念、種類および予防を概説できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 *①第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 *②プロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 *③プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。</p>	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/11 (金) 2時限 10:40~12:10	人口統計・保健統計	<p>【授業の一般目標】 人口統計・保健統計について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 人口静態統計の指標について説明できる。 2. 国勢調査と我が国の人口構造について説明できる。 3. 人口動態統計の指標について説明できる。 4. 出生と死亡の動向について説明できる。 5. 平均寿命、平均余命について説明できる。 6. 社会環境と人口の変動について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 人口静態統計について概説できる。 人口動態統計について概説できる。 社会環境と人口について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 9 人口統計と保健統計 ア 人口統計</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 9 人口統計と保健統計 イ 保健統計</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-2) 保健医療統計 *①主な保健医療統計 (人口動態・静態統計、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、歯科疾患実態調査、学校保健統計調査) を説明できる。 *②主な健康指標 (平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率) を説明できる。 *③調査方法と統計的分析法を説明できる。</p>	生田 明敏
2014/04/18 (金) 2時限 10:40~12:10	環境保健 (空気の衛生と大気汚染)	<p>【授業の一般目標】 環境保健における空気の衛生と大気汚染について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 空気性状と健康について説明できる。 2. 環境保全の理念について説明できる。 3. 大気汚染と対策について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 空気性状が健康に及ぼす影響について概説できる。 環境保全対策について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 13 環境保健 ウ 環境汚染の発生要因・健康影響</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 13 環境保健 ア 環境と適応 イ 地球環境の変化・健康影響 エ 公害の健康影響と対策 オ 環境汚染の評価と対策 キ 大気・水と健康</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-4) 環境と健康 *①環境による健康への影響を説明できる。 *②環境基準と環境汚染を説明できる。</p>	後藤田 宏也
2014/04/25 (金) 2時限 10:40~12:10	環境保健 (水の衛生と水質汚濁)	<p>【授業の一般目標】 環境保健における水の衛生と水質汚濁について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 水道水質基準について説明できる。 2. 硬度について説明できる。 3. 水と疾病について説明できる。 4. 水の消毒法について説明できる。</p>	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/25 (金) 2時限 10:40~12:10	環境保健(水の衛生と水質汚濁)	<p>5. 上水道の構成について説明できる。 6. 水質の変換について説明できる。 7. 下水道の浄化と処理について説明できる。 8. 水質汚濁と対策について説明できる。 9. 廃棄物とリサイクルについて説明できる。 10. 産業廃棄物について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 水が健康に及ぼす影響について概説できる。 上・下水道が健康に及ぼす影響について概説できる。 環境保全対策について概説できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 13 環境保健 イ 地球環境の変化・健康影響</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 13 環境保健 ウ 環境汚染の発生要因・健康影響 エ 公害の健康影響と対策 オ 環境汚染の評価と対策 キ 大気・水と健康</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-4) 環境と健康 *①環境による健康への影響を説明できる。 *②環境基準と環境汚染を説明できる。</p>	後藤田 宏也
2014/05/09 (金) 2時限 10:40~12:10	環境保健(衣食住の衛生・騒音)	<p>【授業の一般目標】 環境保健における衣食住の衛生・騒音について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 衣料の衛生と社会性および健康について説明できる。 2. 食中毒と分類について説明できる。 3. 食中毒の動向と対策について説明できる。 4. 食品の安全性について説明できる。 5. 住居の衛生と安全および健康について説明できる。 6. 騒音と健康について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 衣料と健康について概説できる。 食品と健康について概説できる。 住居と健康について概説できる。 騒音と健康について概説できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 13 環境保健 ケ 騒音・振動と対策</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 12 国民栄養と食品保健 オ 食の安全性と機能性 カ 食の機能と口腔保健 13 環境保健 コ 住居と健康</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-4) 環境と健康 *①環境による健康への影響を説明できる。 *②環境基準と環境汚染を説明できる。</p>	後藤田 宏也
2014/05/16 (金) 2時限 10:40~12:10	感染症の予防	<p>【授業の一般目標】 感染症の予防について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 感染症の動向について説明できる。 2. 感染症の成立について説明できる。 3. 感染症の予防対策について説明できる。</p>	有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/16 (金) 2時限 10:40~12:10	感染症の予防	<p>【準備学習項目】 感染症の予防対策を概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 1 1 感染症対策 イ 感染症対策</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 1 1 感染症対策 ア 感染症の疫学 ウ 院内感染対策</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 *①健康の概念を説明できる。 *②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 *③疾病の概念、種類および予防を概説できる。</p>	有川 量崇
2014/05/23 (金) 2時限 10:40~12:10	公衆衛生と地域保健活動 平常試験 1	<p>【授業の一般目標】 公衆衛生と地域保健活動について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 地域社会と地域保健について説明できる。 2. 地域保健の動向について説明できる。 3. 地域社会とコミュニティーオーガニゼーションについて説明できる。 4. ヘルスプロモーションについて説明できる。 5. 地域保健活動の実際について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 公衆衛生について概説できる。 地域保健活動について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 4 地域保健、地域医療 ア 公衆衛生活動、地域保健活動</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 c ヘルスプロモーション、オタワ憲章 d 健康日本21 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 4 地域保健、地域医療 ウ ヘルスプロモーション エ 地域保健活動の進め方</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 *①健康の概念を説明できる。 *③疾病の概念、種類および予防を概説できる。 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *④地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 *③プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/05/30 (金) 2時限 10:40~12:10	母子保健	<p>【授業の一般目標】 母子保健について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 母子保健の意義と対象について説明できる。 2. 母子保健の同行と関連法規について説明できる。 3. 母性と乳幼児の保健活動について説明できる。 4. 女性の疲労と育児支援について説明できる。 5. 母子保健の今後の動向について説明できる。 6. 遺伝性疾患の予防対策について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	有川 量崇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/30 (金) 2時限 10:40～12:10	母子保健	<p>母子保健について概説できる。 母子保健活動について概説できる。 母子保健対策について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 2 母子保健、母子歯科保健 ア 現状、動向</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 母子保健 b 妊産婦・乳幼児の保健指導 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 2 母子保健、母子歯科保健 イ 母性保健 ウ 小児保健 エ 児童虐待</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。</p>	有川 量崇
2014/06/06 (金) 2時限 10:40～12:10	学校保健	<p>【授業の一般目標】 学校保健について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 学校保健の意義と分野について説明できる。 2. 学校保健活動について概説できる。 3. 食育と学校安全について概説できる。 4. 学校保健活動の組織について説明できる。 5. 保健教育について説明できる。 6. 保健管理について説明できる。 7. 組織活動について説明できる。 8. 学校給食と食育について説明できる。 9. 学校安全について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 学校保健の意義について概説できる。 学校保健活動について概説できる。 食育と学校安全について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 イ 学校保健の領域・内容</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 エ 学校保健 a 保健教育・保健管理の概要 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 ア 現状、動向 ウ 学校保健関係者 カ 組織活動 キ 学校安全</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。</p>	後藤田 宏也
2014/06/13 (金) 2時限 10:40～12:10	成人保健 (生活習慣病の予防)	<p>【授業の一般目標】 成人保健 (生活習慣病の予防)について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 成人保健の意義について説明できる。 2. 成人保健の動向について説明できる。</p>	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/13 (金) 2時限 10:40～12:10	成人保健 (生活習慣病の予防)	<p>3. 成人保健の組織・関連法規について説明できる。 4. 成人保健活動について説明できる。 5. 生活習慣病のリスク要因について説明できる。 6. 生活習慣病の管理について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 成人保健の問題点について概説できる。 成人保健の進め方について説明できる。 生活習慣病の予防を概説できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 5 成人保健、成人歯科保健 ア 現状、動向</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 a 特定健康診査・特定保健指導 b 健康増進事業、歯周疾患検診 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 5 成人保健、成人歯科保健 イ 特定健康診査、特定保健指導</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 *①健康の概念を説明できる。 *③疾病の概念、種類および予防を概説できる。 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *③ライフステージにおける予防を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/06/20 (金) 2時限 10:40～12:10	老人保健、老人福祉、介護保険1	<p>【授業の一般目標】 老人保健、老人福祉および介護保険について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 老人保健、老人福祉、介護保険の意義について説明できる。 2. 老人保健、老人福祉、介護保険の動向について説明できる。 3. 老人保健、老人福祉、介護保険の組織・関連法規について説明できる。 4. 老人保健活動について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 老人保健、老人福祉、介護保険の問題点について概説できる。 老人保健、老人福祉、介護保険の進め方について説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健 ア 現状、動向</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 c 介護予防 (地域支援事業、予防給付) d 福祉、介護保険 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健 イ 高齢者の特性 ウ QOL < quality of life >、日常生活動作 < ADL > オ 地域支援事業</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *③介護保険制度を説明できる。 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/06/27 (金) 2時限 10:40～12:10	老人保健、老人福祉、介護保険2	<p>【授業の一般目標】 老人保健、老人福祉および介護保険について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/27 (金) 2時限 10:40～12:10	老人保健、老人福祉、介護保険2	<p>1. 老人保健、老人福祉、介護保険の意義について説明できる。 2. 老人保健、老人福祉、介護保険の動向について説明できる。 3. 老人保健、老人福祉、介護保険の組織・関連法規について説明できる。 4. 老人保健活動について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 老人保健、老人福祉、介護保険の問題点について概説できる。 老人保健、老人福祉、介護保険の進め方について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健 ア 現状、動向</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 カ 成人・高齢者保健 c 介護予防（地域支援事業、予防給付） d 福祉、介護保険 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健 イ 高齢者の特性 ウ QOL < quality of life >、日常生活動作 < ADL > オ 地域支援事業</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *③介護保険制度を説明できる。 *④社会福祉制度を説明できる。 *⑤高齢者のおかれた社会環境を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/07/04 (金) 2時限 10:40～12:10	産業保健	<p>【授業の一般目標】 産業保健について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 産業保健の意義と対象を説明できる。 2. 産業保健の動向を説明できる。 3. 産業保健の組織・関連法規を説明できる。 4. 産業保健活動の組織を説明できる。 5. 産業保健管理を説明できる。 6. 職業性疾病対策を説明できる。 7. 健康保持増進対策を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 産業保健について概説できる。 産業保健活動について概説できる。 産業保健活動の進め方について概説できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 4 産業保健、産業歯科保健 ア 現状、動向</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 オ 産業保健 a 労働者の健康管理、トータルヘルスプロモーションプラン < THP > 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 4 産業保健、産業歯科保健 イ 労働安全衛生管理 ウ 業務上疾病、作業関連疾患 エ 健康診断、事後措置</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 B-3 予防と健康管理</p>	新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/04 (金) 2時限 10:40~12:10	産業保健	B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。	新保 秀樹
2014/07/11 (金) 2時限 10:40~12:10	社会保障制度	<p>【授業の一般目標】 社会保障制度について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 社会保障制度を説明できる。 2. 社会保障の動向を説明できる。 3. 医療保障・公衆衛生サービスを説明できる。 4. 所得保障を説明できる。 5. 介護保険制度を説明できる。 6. 社会福祉サービスを説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 社会保障について概説できる。 社会保障サービスについて概説できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 6 社会保障と医療経済 ア 社会保障制度</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 ウ 保健・医療・福祉・介護の制度 f 保健・医療・福祉・介護の各制度と職種 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 6 社会保障と医療経済 イ 医療保険、介護保険 ウ 医療経済と国民医療費</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *①保健・医療制度を説明できる。【産業保健および医療供給体制を含む。】 *②医療保険制度を説明できる。【医療経済(国民医療費)を含む。】 *③介護保険制度を説明できる。 *④社会福祉制度を説明できる。</p>	矢野 聡
2014/07/18 (金) 2時限 10:40~12:10	食品衛生と国民栄養 平常試験2	<p>【授業の一般目標】 食品衛生と国民栄養について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 国民栄養の現状について説明できる。 2. 日本人の食事摂取基準について説明できる。 3. 食品の表示について説明できる。 4. 食品の安全性について説明できる。 5. 食品の安全性確保対策について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 国民栄養の現状、食品摂取基準について概説できる。 食品保健について概説できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 12 国民栄養と食品保健 ア 国民栄養の現状</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 12 国民栄養と食品保健 イ 食事摂取基準 ウ 食生活指針 エ 食育基本法 オ 食の安全性と機能性 カ 食の機能と口腔保健</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 *①健康の概念を説明できる。 *②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 *③疾病の概念、種類および予防を概説できる。</p>	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/12 (金) 2時限 10:40~12:10	平常試験3	<p>【授業の一般目標】 衛生学・公衆衛生学の重要性について習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 衛生学・公衆衛生学の重要性について具体的に説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 衛生学・公衆衛生学の重要性について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-1 健康の概念 *①健康の概念を説明できる。 *②口腔と全身の健康との関連を説明できる。 *③疾病の概念、種類および予防を概説できる。</p>	那須 郁夫

歯科材料学 2

年次	学期	学則科目責任者
3年次	前学期	西山 典宏 (歯科生体材料学)

学習目標 (G I O)	<p>歯科治療は、歯科生体材料・歯科材料および歯科用器械がなくては成り立たない。これらの材料は適切に使用されてこそ期待した性能を発揮するため、材料の正しい取り扱い方と性質を習得する必要がある。</p> <p>歯科生体材料は口腔内で使用されるため、口腔内の条件で使用に耐え得る性質が要求される。そこで、歯科材料学 2 では、歯科生体材料の基本的な性質について学び、材料と生体との係わり合いについて理解する。</p> <p>さらに、小児、補綴、歯周、歯内、矯正治療に用いられている材料の組成、性質および特徴を理解するとともに、切削および研磨の理論についても理解する。</p>
担当教員	西山 典宏、谷本 安浩、内田 僚一郎、河相 安彦、會田 雅啓、※宮崎 隆
教科書	スタンダード歯科理工学 第5版 榎本貢三、中寫 裕、西山典宏、宮崎 隆、米山 隆之 学研書院
評価方法 (E V)	歯科材料学 2 では、平常試験 (50%×2回) によって評価する。 講義を 1/5 以上欠席した場合、評価点は 0-60 点とする。 なお、平常試験に対する再試験は行わない。
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科材料学 1 で学んだ知識を復習しながら授業に取り組もう。 歯科材料学の授業で解らないこと、知りたいことなどがあれば、いつでも研究室に来て下さい。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/01 (火) 1時限 09:00~10:30	歯科臨床における 歯科材料 歯科材料学 2 概論	<p>【授業の一般目標】 歯科材料と臨床との係り合いについて理解するために、材料の臨床への応用例や術式を学ぶ。 歯科生体材料・歯科材料を臨床で適切に使用するため、それぞれの材料の基本的性質や特徴を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科材料が臨床でどのように使われるか説明できる。 2. 歯科生体材料と歯科材料の区分、種類および特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科材料と臨床との係り合いについて説明できる。 歯科生体材料、歯科材料の区分について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 a 基本的性質</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 d 修復用材料 f 義歯用材料</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限定。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】</p>	河相 安彦 西山 典宏
2014/04/08 (火) 1時限 09:00~10:30	補綴装置と材料 歯科精密鑄造 (1)	<p>【授業の一般目標】 歯科用補綴装置に適切に使用するために、その一般的性質について理解する。 精密精密鑄造を適切に行うために、その鑄造工程について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 補綴装置に使用される材料の組成および特徴について説明できる。 2. 歯科鑄造体ができるまでの作成工程について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 補綴装置の材料について説明できる。 歯科精密鑄造について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p>	内田 僚一郎 西山 典宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/08 (火) 1時限 09:00~10:30	補綴装置と材料 歯科精密鑄造 (1)	301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 ウ 金属材料 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 2 金属の成形技術・機器 ア 鑄造工程 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。 *⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】	内田 僚一郎 西山 典宏
2014/04/15 (火) 1時限 09:00~10:30	歯科精密鑄造 (2) 歯科精密鑄造 (3)	【授業の一般目標】 歯科精密鑄造工時に用いられる材料を適切に使用するために、その材料の一般的性質について理解する。 精度の良い歯科鑄造体を作製するために、鑄造時に生じる鑄造欠陥について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科精密鑄造工程で用いられる埋没材の種類、組成および特徴について説明できる。 2. 歯科精密鑄造時に生じる鑄造欠陥の種類、特徴および原因について説明できる。 【準備学習項目】 埋没材について説明できる。 鑄造欠陥について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 2 金属の成形技術・機器 イ 石膏系鑄型材 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 2 金属の成形技術・機器 ウ リン酸塩系鑄型材 エ 鑄造精度 オ 鑄造欠陥 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】	西山 典宏
2014/04/22 (火) 1時限 09:00~10:30	前装用材料 (1) 前装用材料 (2)	【授業の一般目標】 前装用材料を適切に使用するために、その種類および一般的性質について理解する。 前装用材料の構造を理解するために、その組成および特徴について学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. 前装用材料の分類法 (色調、フレーム、フィラー等) について説明できる。 2. 前装用材料の硬化機構について説明できる。 3. 前装鑄造冠の作製法について説明できる。 【準備学習項目】 前装用材料について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 8 歯冠修復用材料 ア レジン 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。	西山 典宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/13 (火) 1時限 09:00～10:30	床用材料 (1) 床用材料 (2)	<p>【授業の一般目標】 床用材料を適切に使用するために、その一般的性質を理解する。 床用材料を適切に使用するために、その種類および用途を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 床用材料に求められる性質について説明できる。 2. 床用材料の種類およびその組成について説明できる。 3. 人工歯材料の種類および組成について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 床用材料について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 f 義歯用材料</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 9 義歯用材料 ア 基礎床材料 エ ポリスルフォン、ポリカーボネート オ 人工歯</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。</p>	谷本 安浩
2014/05/20 (火) 1時限 09:00～10:30	床用材料 (3) 複合材料	<p>【授業の一般目標】 床用材料を適切に使用するために、その重合様式および硬化機構について理解する。 複合材料を適切に使用するために、その一般的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ラジカル重合による硬化機構について説明できる。 2. メチルメタクリレートレジン¹の重合収縮について説明できる。 3. 複合材料の種類、組成および性質について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 床用材料について説明できる。 複合材料の特徴について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 マ 歯科材料 f 義歯用材料</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 9 義歯用材料 イ 加熱重合型アクリルレジン ウ 常温重合型アクリルレジン 1 生体材料の科学 エ 複合材料</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。</p>	谷本 安浩
2014/05/27 (火) 1時限 09:00～10:30	予防歯科材料 歯内療法、歯周治療用材料	<p>【授業の一般目標】 予防歯科材料を適切に使用するために、その一般的性質について理解する。 歯内療法、歯周治療用材料を適切に使用するために、その一般的性質および生物学的性質について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 予防充填材料 (シーラント) に求められる性質について説明できる。 2. レジン系およびセメント系シーラントの組成および性質について説明できる。 3. 裏層材、根管充填材の種類、組成および性質について説明できる。 4. 歯周治療で使用される縫合糸の種類、組成および特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 予防歯科材料について説明できる。</p>	内田 僚一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/27 (火) 1時限 09:00～10:30	予防歯科材料 歯内療法、歯周治療材料	歯内療法、歯周治療に使用される歯科材料について説明できる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 7 予防填塞・成形修復・歯内療法用材料 オ 予防填塞材 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 キ 化学的性質 16 歯周治療・口腔外科・インプラント材料 エ 組織再生用材料 オ 縫合糸、包帯 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。	内田 僚一郎
2014/06/03 (火) 1時限 09:00～10:30	平常試験 (1) 矯正用材料	【授業の一般目標】 矯正用材料を適切に使用するために、その一般的性質および機械的性質について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 矯正用材料に求められる性質について説明できる。 2. 歯科矯正用材料の種類および組成について説明できる。 3. ニッケルチタン合金線の特徴について説明できる。 【準備学習項目】 平常試験 (1) では、これまでに学習してきた講義項目について説明できる。 歯科矯正用材料について説明できる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 15 歯科矯正用材料 ア 線材料、ワイヤー 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 15 歯科矯正用材料 イ バンド、ブラケット 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *⑥レジンの重合、金属の鋳造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎
2014/06/10 (火) 1時限 09:00～10:30	レジン修復 接着 (1)	【授業の一般目標】 レジン修復時に適切な材料選択ができるように、レジン修復の接着術式について理解する。 レジン修復の接着操作で被着面処理剤を適切に使用するために、その一般的性質について学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. レジン修復時の接着術式について説明できる 2. エナメル質および象牙質の歯面処理剤の種類、組成および特徴について説明できる。 【準備学習項目】 レジン修復の技法について説明できる。 レジン材料を歯質に接着させるための被着面処理について説明できる。 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 7 予防填塞・成形修復・歯内療法用材料 ア コンポジットレジン 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器	西山 典宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/10 (火) 1時限 09:00～10:30	レジン修復 接着 (1)	7 予防填塞・成形修復・歯内療法用材料 イ 歯質接着処理材、接着性モノマー 1 3 歯科接着技術・機器 ア エナメル質被着面処理 イ 象牙質被着面処理 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-2 成形法と成形用材料 *①修復材料と修復法の種類と特徴を説明できる。 *②歯冠修復・義歯の製作に必要な材料の特性を説明できる。 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。	西山 典宏
2014/06/17 (火) 1時限 09:00～10:30	接着 (2) 接着 (3)	【授業の一般目標】 歯質以外の被着体にレジン材料を接着させる際、適切な被着面処理剤を選択するために、その臨床術式および一般的性質を理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 被着面への接着操作における前処理の工程を説明できる。 2. 金属への接着の際に使用される被着面処理剤の種類、組成および特徴について説明できる。 3. セラミックスへの接着の際に使用される被着面処理剤の種類、組成および特徴について説明できる。 【準備学習項目】 レジン材料を金属、セラミックスに接着させるための技法について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 7 予防填塞・成形修復・歯内療法用材料 イ 歯質接着処理材、接着性モノマー 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 3 歯科接着技術・機器 エ 金属被着面処理 ウ セラミックス被着面処理 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *①高分子材料、セラミック材料、金属材料および複合材料の構造と物性を説明できる。【構造と物性は基本的かつ一般的なものに限る。また、歯科材料に使用される素材間の物性比較を含む。】 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。	西山 典宏
2014/06/24 (火) 1時限 09:00～10:30	人工歯根、骨補填材 生物学的性質	【授業の一般目標】 人工歯根材料、骨補填材料を適切に使用するために、その一般的性質および生物学的性質について理解する。 歯科材料の生体安全性について理解するため、その生物学的性質について学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. 人工歯根材料の構造および組成について説明できる。 2. 骨補填材料の種類および組成について説明できる。 3. 人工歯根、骨補填材料に用いられるチタン、ハイドロキシアパタイトの特徴について説明できる。 4. 歯科材料の生体安全性について説明できる。 【準備学習項目】 人工歯根材料および骨補填材について説明できる。 歯科生体材料の生物学的性質について説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 6 歯周治療・口腔外科・インプラント材料 ア インプラント材料 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅺ 歯科材料と歯科医療機器 1 6 歯周治療・口腔外科・インプラント材料 イ 骨補填材 1 生体材料の科学 ク 生物学的性質と生体安全性 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械	谷本 安浩 西山 典宏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/24 (火) 1時限 09:00～10:30	人工歯根、骨補填材 生物学的性質	D-2 成形法と成形用材料 *⑥レジンの重合、金属の鑄造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。 *③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。	谷本 安浩 西山 典宏
2014/07/01 (火) 1時限 09:00～10:30	金属アレルギー疾患と臨床 (1) 金属アレルギー疾患と臨床 (2)	【授業の一般目標】 歯科臨床における金属アレルギー疾患について理解するために、アレルギーの種類および原因となる歯科材料について学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. アレルギーの種類について説明できる。 2. 金属アレルギーの原因となる歯科材料について説明できる。 3. 歯科材料が原因で生じた金属アレルギー疾患について識別できる。 【準備学習項目】 歯科生体材料と生体との係わり合いについて説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 ク 生物学的性質と生体安全性 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *②生体材料の力学的、物理的、化学的および生物学的所要性質を説明できる。 *③生体材料と歯科材料の安全性の評価を説明できる。	會田 雅啓
2014/07/08 (火) 1時限 09:00～10:30	切削と研磨 歯科用レーザー、ろう付け	【授業の一般目標】 切削器具、研磨材を適切に使用するために、その使用法および一般的性質について理解する。 歯科用レーザー、ろう付けを適切に行うために、その種類および一般的性質について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 切削器具、研磨材の種類、組成および特徴について説明できる。 2. 低出力レーザーおよび高出力レーザーの特徴について説明できる。 3. 各種レーザーの波長と水への吸収率について説明できる。 4. ろう付用金属の種類について説明できる。 5. フラックス、アンチフラックスの組成について説明できる。 【準備学習項目】 切削と研磨について説明できる。 歯科用レーザー、ろう付けについて説明できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 3 切削、研削、研磨 ア 切削・研削器具 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 3 切削、研削、研磨 イ 研磨材 2 診療用器械 エ レーザー装置 【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。	内田 僚一郎
2014/07/15 (火) 1時限 09:00～10:30	CAD/CAM、ニューセラミックス (1) CAD/CAM、ニューセラミックス (2)	【授業の一般目標】 CAD/CAMを適切に使用するために、CADおよびCAMの原理および使用材料について理解する。 ニューセラミックスを適切に取り扱うために、その一般的性質について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. CADおよびCAMのそれぞれの原理について説明できる。 2. CAD/CAMにより切削加工した補綴物の精度について説明できる。 3. ニューセラミックスの種類、組成および特徴について説明できる。 【準備学習項目】 CAD/CAMを用いたセラミックスの機械加工について説明できる。 ニューセラミックスの特徴について説明できる。	宮崎 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/15 (火) 1時限 09:00～10:30	CAD/CAM、ニューセラミックス(1) CAD/CAM、ニューセラミックス(2)	<p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 11 セラミックスの成形技術・機器 エ CAD/CAM</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論XI 歯科材料と歯科医療機器 1 生体材料の科学 イ セラミック材料 11 セラミックスの成形技術・機器 ウ セラミックスの成形加工</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科生体材料と歯科材料・器械 D-1 素材と器械・器具の所要性質 *④歯科用器械・器具の用途と特徴について説明できる。 D-2 成形法と成形用材料 *⑥レジンの重合、金属の鋳造・熱処理およびセラミックスの加工・焼成の特徴を使用機器と関連づけて説明できる。【歯科用レジン・金属・セラミックスの種類、用途および特性を含む。】</p>	宮崎 隆
2014/07/22 (火) 1時限 09:00～10:30	平常試験(2)	<p>【準備学習項目】 平常試験(1)以降に学習してきた講義項目について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎
2014/09/09 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科材料学2 講義 まとめ	<p>【準備学習項目】 講義項目についての質疑応答を行い、習得した講義内容について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 その他</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p>	西山 典宏 谷本 安浩 内田 僚一郎

病理学 2

年次	学期	学則科目責任者
3年次	前学期	久山 佳代 (口腔病理学)

学習目標 (G I O)	疾病は生体の機能や構造,あるいはその両者が正常範囲から逸脱した現象であり,その原因を「病因」,表出した状態を「病態」とする。種々の疾病を総合的に理解するためには病因・病態,ならびにそれらを結び付けている過程・経過における変化や現象(病変)を考究しなければならず,この理解をなくしては医療・歯科医療が成立しない。さらに,疾病を理解する思考は基礎医歯学から臨床医歯学への橋渡しとなる。したがって,本講義の一般目標は疾病の本態を理解するために,その成り立ちや理論を習得し,ひいては問題発見及び問題解決能力を身につける。
担当教員	久山 佳代、宇都宮 忠彦、木場 秀夫、齋藤 美雪、末光 正昌、※朔 敬、※高田 隆、※メルニエ マリア、※田中 秀邦、※齋藤 隆明、※青木 俊明、※新崎 博文、※猪又 俊之、※大石 善也、※太田 泰人、※大村 光浩、※黒子 光雄、※小泉 歩、※小泉 康之、※茂田 里恵、※白川 誠二、※神向寺 登美夫、※鈴木 彰、※鈴木 慶洋、※孫 燕、※田中 強、※玉城 吉夫、※永井 隆雄、※中澤 啓介、※中島 十四夫、※中村 文彦、※西山 孝宏、※林 正人、※本多 豊彦、※松村 由香、※三宅 正純、※村守 樹理、※脇田 雅文、※山本 浩嗣、※山本 雅博
教科書	スタンダード病理学 学建書院 スタンダード口腔病態病理学 学建書院
参考図書	口腔病理アトラス 第2版 高木實 文光堂 病理・口腔病理組織学実習提要 日本大学松戸歯学部口腔病理学講座 日本大学松戸歯学部口腔病理学講座
評価方法 (E V)	1) 講義の評価は、平常試験1 (30%)、平常試験2 (30%) 及びまとめ試験(40%) の割合を目安とし、総合評価をもって60 点以上を合格点とする。 2) 実習の評価は、平常試験1 (20%)、平常試験2 (20%) およびまとめ試験(30%)、小テスト(10%) および実習帳(20%) の割合を目安とし、総合評価をもって60 点以上を合格点とする。また、受講態度についても評価の対象となりうる。 3) 病理学2は1)と2)をともに満たしたものを合格とする。 4) 1)または2)のいずれか、もしくはともに不合格だったものには再試験を実施することがある。ただし、欠席数(正当な理由のない)が全体の1/5 以上の受講生は再試験の受験資格がない。 5) 不合格者の評価は0-59 点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	病理学は基礎歯科医学から臨床歯科医学への橋掛けとなる学問です。病理学で培う知識は、病態理解から確定診断、そして治療方法の選択および予後の評価へと多くの科目を結びます。病理学2では、口腔病理学の理解が深まるよう新たなプログラムを展開します。3年生の前期で習得した口腔病理学の知識は、歯科医師国家試験突破までの大切な武器となります。病理学1の復習とともに予習を必ず行ってください。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/09 (水) 2時限 10:40~12:10	(病理学2 ガイダンス) 口腔顎顔面領域の 発育異常	<p>【授業の一般目標】 疾病は生体の機能や構造,あるいはその両者が正常範囲から逸脱した現象であり,その原因を「病因」,表出した状態を「病態」とする。種々の疾病を総合的に理解するためには病因・病態,ならびにそれらを結び付けている過程・経過における変化や現象(病変)を考究しなければならず,この理解をなくしては医療・歯科医療が成立しない。さらに,疾病を理解する思考は基礎医歯学から臨床医歯学への橋渡しとなる。したがって,本講義の一般目標は疾病の本態を理解するために,その成り立ちや理論を習得し,ひいては問題発見及び問題解決能力を身につける。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ・口腔と顔面の裂奇形について説明できる。 2. ・口腔・舌の発育異常について解説できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・口腔顎顔面の発生について解説できる。 ・奇形の分類について述べるができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常、発育異常</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 病因論 ア 染色体・遺伝子・発生の異常 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 a 歯・歯列の成長発育 (歯の発生、発育時期、萌出時期・順序、歯の脱落・</p>	久山 佳代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/09 (水) 2時限 10:40～12:10	(病理学2ガイダンス) 口腔顎顔面領域の 発育異常	交換時期、歯齡) 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-3) 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生、成長・発育および加齢とその異常 *①口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の発生を概説できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-2) 個体発生、器官発生 *①個体発生と器官発生を概説できる。	久山 佳代
2014/04/09 (水) 3時限 13:00～14:30	顎口腔領域に発生 する嚢胞について 理解する。	【授業の一般目標】 嚢胞の成り立ちや生物学的意義について学習 する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 嚢胞の分類について説明できる。 2. 顎骨に発生する嚢胞の種類、成り立ち及び病理組織学的 特徴について説明 できる。 3. 軟組織に発生する嚢胞の種類、成り立ち及び病理組織学 的特徴について説 明できる。 【準備学習項目】 嚢胞の定義について述べるができる。 【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 カ 嚢胞 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *②顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治 療法を説明できる。	久山 佳代 山本 浩嗣
2014/04/09 (水) 4時限 14:40～16:10	口腔顎顔面領域の 発育異常・嚢胞 (実習)	【授業の一般目標】 口腔顎顔面領域の嚢胞性疾患と発育異常について学習する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 嚢胞の分類について説明できる。 2. 顎骨に発生する嚢胞の種類、成り立ち及び病理組織学的 特徴について説明 できる。 3. 軟組織に発生する嚢胞の種類、成り立ち及び病理組織学 的特徴について説 明できる。 4. 顎顔面領域の奇形性疾患について説明できる。 【準備学習項目】 嚢胞の定義について述べるができる。 口腔顎顔面領域の発生について解説できる。 奇形の分類について述べることができる。 【学習場所・媒体等】 第2実習室, マルチメディアの併用, 301 講堂 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 カ 嚢胞 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 b 先天異常、発育異常 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 未光 正昌 齋藤 隆明 田中 秀邦 ルニイ マリア 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 脇田 雅文 山本 浩嗣

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/09 (水) 4時限 14:40~16:10	口腔顎顔面領域の 発育異常・嚢胞 (実習)	<p>*②顎骨に発生する非歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *③軟組織に発生する嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の一般的な症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	山代 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 齋藤 隆明 田中 秀邦 ルニエイ マリ 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 村光 浩雄 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 澤啓 介 中島 十夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 村三 純 村守 樹理 脇田 文 山本 浩嗣
2014/04/16 (水) 2時限 10:40~12:10	齶蝕・象牙質・セ メント質の病変	<p>【授業の一般目標】 齶蝕・象牙質・セメント質の病変について理解し説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕の発生機序について解説できる。 2. 第二象牙質と修復象牙質(第三象牙質)について説明できる。 3. 象牙粒とセメント粒について解説できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・齶蝕の疫学的事項について説明できる。 ・齶蝕原性細菌や歯垢形成について説明できる。 ・歯の正常組織構造について解説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 a 歯の硬組織疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。</p>	木場 秀夫
2014/04/16 (水) 3時限 13:00~14:30	齶蝕・象牙質・セ メント質の病変に ついて学習する。	<p>【授業の一般目標】 ・セメント質増殖症について説明できる。 ・歯の吸収について述べることができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. セメント質増殖症について説明できる。 2. 歯の吸収について述べることができる。</p> <p>【準備学習項目】 ・齶蝕の疫学的事項について説明できる。 ・齶蝕原性細菌や歯垢形成について説明できる。 ・歯の正常組織構造について解説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 a 歯の硬組織疾患</p>	木場 秀夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/16 (水) 3時限 13:00～14:30	齶蝕・象牙質・セメント質の病変について学習する。	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。	木場 秀夫
2014/04/16 (水) 4時限 14:40～16:10	歯の硬組織の病変(実習)	【授業の一般目標】 齶蝕・象牙質・セメント質に関連した疾患を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 齶蝕の病理学的特徴について解説できる。 2. 第二象牙質と修復象牙質(第三象牙質)について説明できる。 3. 象牙粒とセメント粒について解説できる。 4. セメント質増殖症について説明できる。 5. 歯の吸収について述べることができる。 【準備学習項目】 ・齶蝕の疫学的事項について説明できる。 ・齶蝕原性細菌や歯垢形成について説明できる。 ・歯の正常組織構造について解説できる。 【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 a 歯の硬組織疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齶藤 正雪 末光 昌隆 齶藤 隆明 田中 秀邦 ルニイ マリ 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 茂田 里恵 白川 誠二 白 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓 中島 十四夫 中村 孝彦 西山 文彦 林 孝宏 本 正人 松多 豊彦 村松 由香 守村 正純 脇守 樹理 田 雅文 山本 浩嗣
2014/04/23 (水) 2時限 10:40～12:10	歯髄の病変	【授業の一般目標】 主として齶蝕に続発する歯髄疾患について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯髄の退行性病変について解説できる。 2. 歯髄の進行性病変について説明できる。 【準備学習項目】 ・退行性病変, 進行性病変, 循環障害及び炎症について説明できる。 【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301 教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 a 歯の硬組織疾患 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。	木場 秀夫 田中 秀邦 末光 正昌
2014/04/23 (水) 3時限 13:00～14:30	歯髄の病変	【授業の一般目標】 歯髄への傷害の結果として起こる病的反応について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 歯髄の循環障害について述べることができる。 2. 歯髄炎の分類と病理学的特徴について解説できる。 【準備学習項目】 ・退行性病変, 進行性病変, 循環障害及び炎症について説明できる。 【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 【学習方略 (LS)】 講義	木場 秀夫 田中 秀邦 末光 正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/23 (水) 3時限 13:00~14:30	歯髄の病変	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 a 歯の硬組織疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。</p>	木場 秀夫 田中 秀邦 末光 正昌
2014/04/23 (水) 4時限 14:40~16:10	歯髄の病変（実習）	<p>【授業の一般目標】 種々の歯髄疾患について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯髄の退行性病変について解説できる。 2. 歯髄の進行性病変について説明できる。 3. 歯髄の循環障害について述べるができる。 4. 歯髄炎の分類と病理学的特徴について解説できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・退行性病変，進行性病変，循環障害及び炎症について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301 講堂，マルチメディアの併用，第2実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 a 歯の硬組織疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 齋藤 正隆 田中 明邦 ルニイ マリ 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 浩 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 脇田 雅文 山本 浩嗣
2014/05/07 (水) 2時限 10:40~12:10	根尖部歯周組織の病変	<p>【授業の一般目標】 根尖病変について説明することができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 根尖病変の病因について説明できる。 2. 根尖性歯周炎の分類について解説できる。 3. 急性根尖性歯周炎の病理学的特徴について述べるができる。 4. 慢性根尖性歯周炎の病理学的特徴について説明できる。 5. 根尖病変の合併症について解説できる。 6. 歯性病巣感染について述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 ・炎症の病因や分類について解説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301 講堂，マルチメディアの併用，第2実習室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 a 歯の硬組織疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患</p>	木場 秀夫 田中 秀邦 末光 正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/07 (水) 2時限 10:40~12:10	根尖部歯周組織の病変	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。</p>	木場 秀夫 田中 秀邦 末光 正昌
2014/05/07 (水) 3時限 13:00~14:30	辺縁部歯周組織の病変	<p>【授業の一般目標】 歯周病について説明することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周病の病因について述べることができる。 2. 歯周病の病態について説明できる。 3. 歯周病の分類について解説できる。 4. 歯周病と全身疾患との関連について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・歯周組織の正常組織構造について説明できる。 ・炎症の病因と分類について解説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 a 歯の硬組織疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	木場 秀夫 田中 秀邦 末光 正昌
2014/05/07 (水) 4時限 14:40~16:10	根尖部歯周組織及び辺縁部歯周組織の病変(実習)	<p>【授業の一般目標】 根尖及び辺縁歯周組織の病変について説明することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 急性根尖性歯周炎の病理学的特徴について述べるができる。 2. 慢性根尖性歯周炎の病理学的特徴について説明できる。 3. 歯周病の病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・炎症の病因や分類について解説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 c 根尖性歯周組織疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 d 歯周病 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 イ 歯の硬組織・歯髄・根尖歯周組織・辺縁歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *③歯髄・根尖歯周組織疾患の病因と病態を説明できる。 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 齋藤 隆明 田中 秀邦 ルニエイ マリア 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 美歩 小泉 康之 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 脇田 雅文 山本 浩嗣
2014/05/14 (水) 2時限 10:40~12:10	口腔粘膜の感染性疾患	<p>【授業の一般目標】 口腔粘膜感染症について十分に理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔粘膜感染症を分類できる。 2. 口腔粘膜感染症の病理学的特徴について説明できる。</p>	久山 佳代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/14 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔粘膜の感染性疾患	<p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔粘膜の正常組織構造について解説できる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>14 主要な疾患と障害の病因・病態</p> <p>イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念</p> <p>n 口腔粘膜疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論VI 病因、病態</p> <p>11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態</p> <p>ウ 口腔粘膜の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー</p> <p>*④口唇・口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。</p> <p>E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患</p> <p>*①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。</p> <p>*②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。</p>	久山 佳代
2014/05/14 (水) 3時限 13:00～14:30	口腔粘膜の感染性疾患	<p>【授業の一般目標】</p> <p>口腔粘膜感染症について十分に理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔粘膜感染症を分類できる。 2. 口腔粘膜感染症の病理学的特徴について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔粘膜の正常組織構造について解説できる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>14 主要な疾患と障害の病因・病態</p> <p>イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念</p> <p>n 口腔粘膜疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論VI 病因、病態</p> <p>11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態</p> <p>ウ 口腔粘膜の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー</p> <p>*④口唇・口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。</p> <p>E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患</p> <p>*①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。</p> <p>*②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。</p>	久山 佳代
2014/05/14 (水) 4時限 14:40～16:10	口腔粘膜の感染性疾患 (実習)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>口腔粘膜感染症について十分に理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 口腔粘膜感染症を分類できる。 2. 口腔粘膜感染症の病理学的特徴について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔粘膜の正常組織構造について解説できる。 <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第2実習室</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀彦 齋藤 美雪 末光 正昌 齋藤 隆明 田中 秀邦 ルニエイ マリア 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 茂田 里恵

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/14 (水) 4時限 14:40～16:10	口腔粘膜の感染性疾患 (実習)	<p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 n 口腔粘膜疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ウ 口腔粘膜の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *④口唇・口腔・顎顔面領域の特異性炎の種類と特徴を説明できる。</p>	白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中村 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 脇田 雅文 山本 浩嗣
2014/05/21 (水) 2時限 10:40～12:10	腫瘍総論	<p>【授業の一般目標】 腫瘍について十分に理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 腫瘍の発生原因と組織発生 (多段階説) を説明できる。 2. 腫瘍の分類について説明できる。 3. 良・悪性腫瘍の肉眼的及び病理組織学的鑑別点について解説できる。 4. 非歯原性腫瘍を列挙できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・上皮性組織と非上皮性組織について説明できる。 ・腫瘍の定義を述べることができる。 ・細胞分裂周期と形態学的特徴について解説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ウ 口腔粘膜の疾患 7 腫瘍 ア 腫瘍の概念</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 病因と病態 C-4-5) 腫瘍 *①腫瘍の定義を説明できる。 *②腫瘍の病因を説明できる。 *③異形成を説明できる。 *④腫瘍の異型性と組織学的分化度を説明できる。 *⑤良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を説明できる。 *⑥局所における腫瘍の増殖、浸潤および転移を説明できる。</p>	メルニエ マリア
2014/05/21 (水) 3時限 13:00～14:30	口腔の加齢変化と加齢に伴う口腔病変	<p>【授業の一般目標】 口腔に見られる加齢変化と加齢に伴う口腔病変について十分に理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔軟組織の加齢変化について説明できる。 2. 歯・歯髄・歯周組織・顎骨の加齢変化について解説できる。 3. 唾液腺の加齢変化について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・退行性病変について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化 a 歯の変化</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項</p>	久山 佳代 末光 正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/21 (水) 3時限 13:00～14:30	口腔の加齢変化と加齢に伴う口腔病変	7 人体の発生・成長・発達・加齢 ウ 加齢による歯・口腔・顎・顔面の変化 b 歯周組織の変化 c 顎骨・顎堤の変化 d 顔面の変化 e 歯列・咬合の変化 f 顎関節の変化 g 筋の変化 h 神経系の変化 i 口腔粘膜の変化 j 唾液腺の変化 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 6 加齢・老化による歯・口腔・顎・顔面の変化 ア 形態的变化 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。	久山 佳代 末光 正昌
2014/05/21 (水) 4時限 14:40～16:10	病理組織診断の整理と鑑別診断(実習)	【授業の一般目標】 ・口腔顎顔面領域の疾患に関する病理組織診断および鑑別診断を実施することができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔顎顔面領域の疾患に関する病理組織診断および鑑別診断を実施することができる。 【準備学習項目】 これまでに学習した病変・疾患に関する病理組織診断および鑑別診断について復習・習熟する。 【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 a 健康・疾病の概念 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 齋藤 隆明 田中 秀邦 ルニイ マリヤ 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 脇田 雅文 山本 浩嗣
2014/05/28 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔の非歯原性腫瘍及び腫瘍様病変	【授業の一般目標】 口腔領域に発生する非歯原性腫瘍及び腫瘍様病変について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔粘膜の上皮性腫瘍の病因・病態について説明できる。 2. 口腔軟組織及び顎骨に発生する非上皮性腫瘍の病因・病態について解説できる。 3. 顎骨の転移性腫瘍の病理学的特徴について述べるができる。 4. 口腔粘膜の前癌病変と前癌状態について説明できる。 5. エプーリスの病理学的特徴について解説できる。 【準備学習項目】 ・口腔粘膜の正常組織構築について解説できる。 ・腫瘍の定義を述べるができる。 ・良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点について説明できる。 ・腫瘍発生の諸段階について解説できる。 ・悪性腫瘍の転移様式について説明できる。 【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301 教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 1 腫瘍、腫瘍類似疾患 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 j 炎症性疾患 歯科医学総論	久山 佳代

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/28 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔の非歯原性腫瘍及び腫瘍様病変	<p>総論Ⅵ 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 キ 腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法(組織診、画像診断)および治療法を説明できる。 *⑩前癌病変(白板症、紅板症)の特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑪前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 *⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑧腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 *⑨エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	久山 佳代
2014/05/28 (水) 3時限 13:00～14:30	口腔の非歯原性腫瘍及び腫瘍様病変	<p>【授業の一般目標】 口腔領域に発生する非歯原性腫瘍及び腫瘍様病変について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 口腔粘膜の上皮性腫瘍の病因・病態について説明できる。 2. 口腔軟組織及び顎骨に発生する非上皮性腫瘍の病因・病態について解説できる。 3. 顎骨の転移性腫瘍の病理学的特徴について述べることができる。 4. 口腔粘膜の前癌病変と前癌状態について説明できる。 5. エプーリスの病理学的特徴について解説できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・口腔粘膜の正常組織構築について解説できる。 ・腫瘍の定義を述べるができる。 ・良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点について説明できる。 ・腫瘍発生の諸段階について解説できる。 ・悪性腫瘍の転移様式について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301 講堂, マルチメディアの併用, 第2実習室</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 1 腫瘍、腫瘍類似疾患 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 7 腫瘍 キ 良性腫瘍、悪性腫瘍 ク 前癌状態、前癌病変 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 キ 腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法(組織診、画像診断)および治療法を説明できる。 *⑩前癌病変(白板症、紅板症)の特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑪前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 *⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑧腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 *⑨エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	久山 佳代
2014/05/28 (水) 4時限 14:40～16:10	口腔の非歯原性腫瘍及び腫瘍様病変(実習)	<p>【授業の一般目標】 口腔領域に発生する非歯原性腫瘍及び腫瘍様病変について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 口腔発生する上皮性及び非上皮性腫瘍の病理学的特徴について解説できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・口腔粘膜の正常組織構築について解説できる。 ・腫瘍の定義を述べることができる。 ・良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点について説明できる。 ・腫瘍発生の諸段階について解説できる。 ・悪性腫瘍の転移様式について説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 齋藤 隆明 田中 秀邦 ルニイ マリア 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/28 (水) 4時限 14:40~16:10	口腔の非歯原性腫瘍及び腫瘍様病変(実習)	<p>【場所(教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 j 炎症性疾患 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 7 腫瘍 ク 前癌状態、前癌病変 ケ 腫瘍と宿主の関係 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 キ 腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑥非歯原性良性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。 *⑦口唇・口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の一般的な症状、診断法(組織診、画像診断)および治療法を説明できる。 *⑩前癌病変(白板症、紅板症)の特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑪前癌状態の種類と特徴を列挙できる。 *⑫口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。 *⑧腫瘍類似疾患の種類と特徴を列挙できる。 *⑨エプーリスの特徴、症状および治療法を説明できる。 *⑬口唇・口腔領域の悪性腫瘍の種類、症状および治療法を説明できる。</p>	小泉 康之 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 村宅 正純 三守 樹理 脇田 雅文 山本 浩嗣
2014/06/04 (水) 2時限 10:40~12:10	平常試験1(一般問題形式)	<p>【授業の一般目標】 ・口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌
2014/06/04 (水) 3時限 13:00~14:30	平常試験1(顕微鏡や視覚素材を用いた問題形式)	<p>【授業の一般目標】 ・口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌
2014/06/04 (水) 4時限 14:40~16:10	平常試験1(顕微鏡や視覚素材を用いた問題形式)	<p>【授業の一般目標】 ・口腔顎顔面領域の代表的疾患について診断し、病理学的に説明できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 口腔顎顔面領域の代表的疾患について診断し、病理学的に説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・口腔顎顔面領域の代表的疾患について診断し、病理学的に説明できる。</p> <p>【学習方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌
2014/06/11 (水) 2時限 10:40~12:10	顎及び顎関節の非腫瘍性疾患と腫瘍様病変	<p>【授業の一般目標】 顎及び顎関節の非腫瘍性疾患と腫瘍様病変について理解できる。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 顎骨骨髓炎の病理学的特徴について説明できる。 2. 顎・顎関節外傷の病理学的特徴について解説できる。 3. 顎関節炎の病理学的特徴について述べる事ができる。 4. 顎骨の遺伝性及び原因不明の疾患について説明できる。 5. 線維骨性病変を列挙できる。 6. 線維骨性病変の病理組織学的特徴について解説できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/11 (水) 2時限 10:40~12:10	顎及び顎関節の非腫瘍性疾患と腫瘍様病変	<p>・顎骨の正常組織構造について解説できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 m 顎関節疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *⑦主な炎症 (舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等) を概説できる。 E-2-4) - (6) 顎関節疾患 *①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 *②顎関節疾患 (外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症) の症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	宇都宮 忠彦
2014/06/11 (水) 3時限 13:00~14:30	顎及び顎関節の非腫瘍性疾患及び腫瘍様病変	<p>【授業の一般目標】 顎及び顎関節の非腫瘍性疾患及び腫瘍様病変について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎骨骨髓炎の病理学的特徴について説明できる。 2. 顎・顎関節外傷の病理学的特徴について解説できる。 3. 顎関節炎の病理学的特徴について述べることができる。 4. 顎骨の遺伝性及び原因不明の疾患について説明できる。 5. 線維骨性病変を列挙できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・顎骨の正常組織構造について解説できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 m 顎関節疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 オ 顎・顎関節の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *⑦主な炎症 (舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等) を概説できる。 E-2-4) - (6) 顎関節疾患 *①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。</p>	宇都宮 忠彦
2014/06/11 (水) 4時限 14:40~16:10	顎及び顎関節の非腫瘍性疾患及び腫瘍様病変 (実習)	<p>【授業の一般目標】 顎及び顎関節の非腫瘍性疾患及び腫瘍様病変について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎及び顎関節の非腫瘍性疾患及び腫瘍様病変の病理学的特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・顎骨の正常組織構造について解説できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 m 顎関節疾患</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 k 嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 齋藤 隆昌 田中 秀邦 ルニエ マリア 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 茂田 康之 白川 里恵 鈴木 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/11 (水) 4時限 14:40~16:10	顎及び顎関節の非腫瘍性疾患及び腫瘍様病変(実習)	E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症とアレルギー *⑦主な炎症(舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、歯性上顎洞炎等)を概説できる。 E-2-4) - (6) 顎関節疾患 *①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。	本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 脇田 雅文 山本 浩嗣
2014/06/18 (水) 2時限 10:40~12:10	唾液腺の非腫瘍性病変	【授業の一般目標】 唾液腺に発生する非腫瘍性病変について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 唾石症について説明できる。 2. シェーグレン症候群について説明できる。 3. 種々の唾液腺の炎症性病変について説明できる。 4. 唾液腺に関連する嚢胞性病変について説明できる。 5. 唾液腺の発育異常について述べる事ができる。 6. 唾液腺の退行性病変について説明できる。 7. 唾液腺の化生性変化について説明できる。 【準備学習項目】 唾液腺の基本構造、解剖学的事項、唾液の成分や働きについて理解しておく。 先天異常、退行性病変、進行性病変及び炎症について解説できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 o 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *①唾石症の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *②唾液腺炎の種類と特徴、症状、診断法および治療法を概説できる。 *④流行性耳下腺炎の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。	久山 佳代
2014/06/18 (水) 3時限 13:00~14:30	歯科医療と病理診断	【授業の一般目標】 種々の病理検査について理解できる。 【行動目標(SBOs)】 1. 組織診について説明できる。 2. 細胞診について説明できる。 3. 術中迅速診断について説明できる。 4. 各種固定方法及び固定液について理解できる。 【準備学習項目】 病理検査とはなにか説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 カ 病理検査 b 組織診 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 11 検査の基本 カ 病理検査 a 細胞診 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。	久山 佳代 末光 正昌
2014/06/18 (水) 4時限 14:40~16:10	病理組織診断の整理と鑑別診断(実習)	【授業の一般目標】 ・口腔顎顔面領域の疾患に関する病理組織診断および鑑別診断を実施することができる。 【行動目標(SBOs)】 1. ・口腔顎顔面領域の疾患に関する病理組織診断および鑑別診断を実施することができる。 【準備学習項目】 ・口腔顎顔面領域の疾患に関する病理組織診断および鑑別診断を実施することができる。	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 齋藤 隆明 田中 秀邦 ルニエイ マリア 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊也 大石 善也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/18 (水) 4時限 14:40~16:10	病理組織診断の整理と鑑別診断(実習)	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 1 検査の基本 ア 意義、目標 a 診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-1) 基本的診療技能 *①診察、検査および診断に必要な事項を列挙できる。</p>	太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 脇田 雅文 山本 浩嗣
2014/06/25 (水) 2時限 10:40~12:10	口腔の粘膜皮膚疾患	<p>【授業の一般目標】 口腔の粘膜皮膚疾患について解説できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔粘膜の自己免疫疾患について説明できる。 2. 口腔粘膜の退行性病変について説明できる。 3. 全身性病変の一部分症状としての口腔粘膜病変を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔粘膜の正常組織構造について解説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 n 口腔粘膜疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 *①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水泡、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。</p>	朔 敬
2014/06/25 (水) 3時限 13:00~14:30	全身性疾患と口腔病変	<p>【授業の一般目標】 全身性疾患と口腔病変について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔領域に徴候をみる症候群を列挙できる。 2. Down症候群について解説できる。 3. 基底細胞母斑症候群について解説できる。 4. 神経線維腫症について解説できる。 5. 免疫応答に関連した口腔病変を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔が関係する全身性疾患について列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 ケ 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (9) 口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す疾患 *②口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す感染症の種類とその症状を列挙できる。 *④口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す全身的な腫瘍と腫瘍類似疾患およびその症状を列挙できる。 *⑤口唇・口腔・顎顔面領域に症状を現す症候群の種類と症状を列挙できる。</p>	久山 佳代
2014/06/25 (水) 4時限 14:40~16:10	口腔の粘膜皮膚疾患 (実習)	<p>【授業の一般目標】 口腔の粘膜皮膚疾患について解説できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/25 (水) 4時限 14:40～16:10	口腔の粘膜皮膚疾患 (実習)	<p>1. 口腔粘膜の自己免疫疾患について解説できる。 2. 口腔粘膜の退行性病変について説明できる。 3. 全身性病変の一部分症状としての口腔粘膜病変を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔粘膜の正常組織構造について解説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 n 口腔粘膜疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 *①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 *②水泡、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする主な粘膜疾患を概説できる。</p>	末光 正昌 齋藤 隆明 田中 秀邦 ルニイ マリア 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 脇田 雅文 山本 浩嗣
2014/07/02 (水) 2時限 10:40～12:10	唾液腺腫瘍	<p>【授業の一般目標】 ・ 良性唾液腺腫瘍の組織発生、種類及び病態を説明できる。 ・ 悪性唾液腺腫瘍の組織発生、種類及び病態を解説できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 良性唾液腺腫瘍の組織発生、種類及び病態を説明できる。 2. 悪性唾液腺腫瘍の組織発生、種類及び病態を解説できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・ 唾液腺の正常構造と機能について解説できる。 ・ 唾液腺腫瘍を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 o 唾液腺疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	宇都宮 忠彦
2014/07/02 (水) 3時限 13:00～14:30	唾液腺腫瘍	<p>【授業の一般目標】 ・ 良性唾液腺腫瘍の組織発生、種類及び病態を説明できる。 ・ 悪性唾液腺腫瘍の組織発生、種類及び病態を解説できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 良性唾液腺腫瘍の組織発生、種類及び病態を説明できる。 2. 悪性唾液腺腫瘍の組織発生、種類及び病態を解説できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・ 唾液腺の正常構造と機能について解説できる。 ・ 唾液腺腫瘍を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念</p>	宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/02 (水) 3時限 13:00～14:30	唾液腺腫瘍	<p>○ 唾液腺疾患 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 エ 唾液腺の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *①唾石症の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *②唾液腺炎の種類と特徴、症状、診断法および治療法を概説できる。 *④流行性耳下腺炎の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。 *⑤Sjögren 症候群の特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	宇都宮 忠彦
2014/07/02 (水) 4時限 14:40～16:10	唾液腺腫瘍(実習)	<p>【授業の一般目標】 ・ 良性唾液腺腫瘍の病理組織学的特徴を説明できる。 ・ 悪性唾液腺腫瘍の病理組織学的特徴を解説できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 良性唾液腺腫瘍の病理組織学的特徴を説明できる。 2. 悪性唾液腺腫瘍の病理組織学的特徴を解説できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・ 唾液腺の正常構造と機能について解説できる。 ・ 唾液腺腫瘍を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 ○ 唾液腺疾患 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 エ 唾液腺の疾患 キ 腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美正 末光 正昌 齋藤 隆明 田中 秀邦 ルニイ マリ 青木 俊明 新崎 博文 猪又 善也 大石 泰人 太田 光浩 大村 光雄 黒子 歩 小泉 康之 小泉 里恵 茂田 誠二 白川 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 脇田 雅文 山本 浩嗣
2014/07/09 (水) 2時限 10:40～12:10	歯原性腫瘍	<p>【授業の一般目標】 ・ 各種歯原性腫瘍の好発部位・年齢・性別・発生及び病理組織学的特徴について述べる事ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 各種歯原性腫瘍の好発部位・年齢・性別・発生について述べる事ができる。 2. 各種歯原性腫瘍の病理組織学的特徴について述べる事ができる。</p> <p>【準備学習項目】 ・ 歯の発生と組織学的特徴について解説できる。 ・ 歯原性腫瘍を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 4 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念 1 腫瘍、腫瘍類似疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。 *⑤歯原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。</p>	宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/09 (水) 2時限 10:40~12:10	歯原性腫瘍		宇都宮 忠彦
2014/07/09 (水) 3時限 13:00~14:30	歯原性腫瘍	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種歯原性腫瘍の好発部位・年齢、性別発生及び病理組織学的特徴について述べることができる。 <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 各種歯原性腫瘍の好発部位・年齢・性別・発生について述べるができる。 各種歯原性腫瘍の病理組織学的特徴について述べるができる。 <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歯の発生と組織学的特徴について解説できる。 歯原性腫瘍を列挙できる。 <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>14 主要な疾患と障害の病因・病態</p> <p>ア 疾病の概念</p> <p>g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>14 主要な疾患と障害の病因・病態</p> <p>イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念</p> <p>1 腫瘍、腫瘍類似疾患</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論VI 病因、病態</p> <p>11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態</p> <p>キ 腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患</p> <p>*①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。</p> <p>*⑤歯原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。</p>	高田 隆
2014/07/09 (水) 4時限 14:40~16:10	歯原性腫瘍(実習)	<p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種歯原性腫瘍の好発部位・年齢・性別・発生及び病理組織学的特徴について述べるができる。 <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 各種歯原性腫瘍の好発部位・年齢・性別・発生について述べるができる。 各種歯原性腫瘍の病理組織学的特徴について述べるができる。 <p>【準備学習項目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 歯の発生と組織学的特徴について解説できる。 歯原性腫瘍を列挙できる。 <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>14 主要な疾患と障害の病因・病態</p> <p>ア 疾病の概念</p> <p>g 腫瘍</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>14 主要な疾患と障害の病因・病態</p> <p>イ 歯・口腔・顎・顔面の疾患の概念</p> <p>1 腫瘍、腫瘍類似疾患</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論VI 病因、病態</p> <p>11 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態</p> <p>キ 腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育</p> <p>E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p> <p>E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患</p> <p>E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患</p> <p>*①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。</p> <p>*⑤歯原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 齋藤 隆明 田中 秀邦 ムコイ マリア 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 太田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄 小泉 歩 小泉 康之 茂田 里恵 白川 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓介 中島 十四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 正純 脇田 樹理 山本 雅文 浩嗣
2014/07/16 (水) 2時限 10:40~12:10	口腔疾患の治療に伴う病理学的変化	<p>【授業の一般目標】</p> <p>口腔疾患の治療に伴う病理学的変化について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 歯髓組織に伴う病理組織変化について説明できる。 	宇都宮 忠彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/16 (水) 2時限 10:40～12:10	口腔疾患の治療に伴う病理学的変化	<p>2. 抜歯創の治療と合併症について解説できる。</p> <p>3. 歯の破折の治療に関する病理学的特徴について述べるができる。</p> <p>4. 顎骨骨折と骨移植後の治療に関する病理学的特徴について説明できる。</p> <p>5. 歯の移植と再植の病理学的特徴について解説できる。</p> <p>6. インプラントの病理学的特徴について述べるができる。</p> <p>7. 矯正治療に伴う病理学的変化について説明できる。</p> <p>8. 再生医療に関する基礎的な病理学的事項について解説できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・歯・歯髄・歯周組織・口腔粘膜における病変の病理学的特徴について解説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 コ 口腔疾患の治療に伴う変化</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治療過程を説明できる。 *⑥骨折の治療原則を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治療機転と予後を説明できる。 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *⑤歯周治療後の組織の治療機転と予後を説明できる。</p>	宇都宮 忠彦
2014/07/16 (水) 3時限 13:00～14:30	口腔疾患の治療に伴う病理学的変化	<p>【授業の一般目標】 口腔疾患の治療に伴う病理学的変化について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯髄組織に伴う病理組織変化について説明できる。</p> <p>2. 抜歯創の治療と合併症について解説できる。</p> <p>3. 歯の破折の治療に関する病理学的特徴について述べるができる。</p> <p>4. 顎骨骨折と骨移植後の治療に関する病理学的特徴について説明できる。</p> <p>5. 歯の移植と再植の病理学的特徴について解説できる。</p> <p>6. インプラントの病理学的特徴について述べるができる。</p> <p>7. 矯正治療に伴う病理学的変化について説明できる。</p> <p>8. 再生医療に関する基礎的な病理学的事項について解説できる。</p> <p>【準備学習項目】 ・歯・歯髄・歯周組織・口腔粘膜における病変の病理学的特徴について解説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 コ 口腔疾患の治療に伴う変化</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治療過程を説明できる。 *⑥骨折の治療原則を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖歯周組織疾患の診断と治療 *⑤歯髄・根尖歯周組織疾患の治療後の治療機転と予後を説明できる。 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 *⑤歯周治療後の組織の治療機転と予後を説明できる。</p>	宇都宮 忠彦
2014/07/16 (水) 4時限 14:40～16:10	病理組織診断の整理と鑑別診断(実習)	<p>【授業の一般目標】 ・口腔顎顔面領域の疾患に関する病理組織診断および鑑別診断を実施することができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯髄組織に伴う病理組織変化について説明できる。</p> <p>2. 抜歯創の治療と合併症について解説できる。</p> <p>3. 歯の破折の治療に関する病理学的特徴について述べるができる。</p> <p>4. 顎骨骨折と骨移植後の治療に関する病理学的特徴について説明できる。</p> <p>5. 歯の移植と再植の病理学的特徴について解説できる。</p> <p>6. インプラントの病理学的特徴について述べるができる。</p> <p>7. 矯正治療に伴う病理学的変化について説明できる。</p> <p>8. 再生医療に関する基礎的な病理学的事項について解説できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌 齋藤 隆明 田中 秀邦 ルニエ マリア 青木 俊明 新崎 博文 猪又 俊之 大石 善也 大田 泰人 大村 光浩 黒子 光雄

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/16 (水) 4時限 14:40～16:10	病理組織診断の整理と鑑別診断(実習)	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔顎顔面領域の疾患に関する病理組織診断および鑑別診断を実施することができる。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 病因、病態 1 1 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の病因・病態 コ 口腔疾患の治療に伴う変化 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *①一般的な骨折の種類と特徴および治癒過程を説明できる。 *④歯の外傷の症状、診断法および治療法を説明できる。 	小泉 步 茂田 康之 白川 里恵 鈴木 誠二 鈴木 彰 鈴木 慶洋 孫 燕 田中 強 玉城 吉夫 中澤 啓十 中島 四夫 中村 文彦 西山 孝宏 林 正人 本多 豊彦 松村 由香 三宅 正純 村守 樹理 脇田 雅文 山本 浩嗣
2014/07/23 (水) 2時限 10:40～12:10	平常試験2(一般問題形式)	<ul style="list-style-type: none"> 【授業の一般目標】 ・口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。 【準備学習項目】 ・口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌
2014/07/23 (水) 3時限 13:00～14:30	平常試験2(顕微鏡や視覚素材を用いた問題形式)	<ul style="list-style-type: none"> 【授業の一般目標】 ・口腔顎顔面領域の代表的疾患について診断し、病理学的に説明できる。 【準備学習項目】 ・口腔顎顔面領域の代表的疾患について診断し、病理学的に説明できる。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第2実習室 	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌
2014/07/23 (水) 4時限 14:40～16:10	平常試験2(顕微鏡や視覚素材を用いた問題形式)	<ul style="list-style-type: none"> 【授業の一般目標】 ・口腔顎顔面領域の代表的疾患について診断し、病理学的に説明できる。 【準備学習項目】 ・口腔顎顔面領域の代表的疾患について診断し、病理学的に説明できる。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第2実習室 	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌
2014/09/10 (水) 2時限 10:40～12:10	本試験(一般問題形式)	<ul style="list-style-type: none"> 【授業の一般目標】 ・口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。 【準備学習項目】 ・口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第2実習室 	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌
2014/09/10 (水) 3時限 13:00～14:30	本試験(顕微鏡や視覚素材を用いた問題形式)	<ul style="list-style-type: none"> 【授業の一般目標】 ・口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。 【準備学習項目】 ・口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第2実習室 	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌
2014/09/10 (水) 4時限 14:40～16:10	本試験(顕微鏡や視覚素材を用いた問題形式)	<ul style="list-style-type: none"> 【授業の一般目標】 ・口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。 【準備学習項目】 ・口腔顎顔面領域の疾患を整理・理解し、理論的に説明できる。 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/10 (水) 4時限 14:40～16:10	本試験(顕微鏡や 視覚素材を用いた 問題形式)	301教室、第2実習室	久山 佳代 宇都宮 忠彦 木場 秀夫 齋藤 美雪 末光 正昌

放射線学 2

年次	学期	学則科目責任者
3年次	前学期	金田 隆 (放射線学)

学習目標 (G I O)	歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、各種撮影法の原理や画像の読影および防護を習得する。
担当教員	金田 隆、池島 厚、小椋 一朗、佐々木 悠介、関谷 恵子、今井 浩之、徳永 悟士、原 慶宜、栗原 健二、※井出 吉信、※菅井 敏郎、※佐野 司、※南 学、※谷本 啓二、※本田 和也、※北原 喜一、※小澤 薫、※山城 光明、※加藤 尊巳、※熊坂 さつき、※田中 諭、※加藤 嘉哉、※月岡 庸之、※阪柳 雅志、※堤 豊重、※富永 一郎、※関谷 浩太郎、※本田 一文
教科書	Q&A で学ぶ歯科放射線学：SBOs 講義 金田 隆 学研書院 歯科放射線学実習書 日本大学松戸歯学部放射線学講座編
参考図書	歯科放射線診断 teaching file 金田 隆、倉林 亨、佐野 司 砂書房 一步先のパノラマ診断力 金田 隆 砂書房 インプラントCT シミュレーションのすべて 金田 隆 砂書房 画像でみる歯科放射線(CDR) 佐野 司、金田 隆、井出吉信 わかば出版
評価方法 (E V)	第1回平常試験 (画像診断試験1) (20%)、第2回平常試験 (30%)、画像診断試験2 (20%) および歯科放射線学実習試験 (30%) によって評価点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	放射線学は歯科臨床に必須の学問である。毎回興味を持って取り組んでもらいたい。e-mail による質問も受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/03 (木) 1時限 09:00~10:30	実習：各回の実習は、班毎にローテートして行うので注意すること。(実習は第1, 2, 3クールの3回に分けて実施する。) 【第1クール】口内法撮影実習 (A班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口内法を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口内法撮影の手順が説明できる。 2. 正しいフィルムの位置付けができる。 3. 二等分法が説明できる。 4. 正放線投影が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口内法が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ケ 口内法エックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/04/03 (木) 2時限 10:40~12:10	実習：各回の実習は、班毎にローテートして行うので注意すること。(実習は第1, 2, 3クールの3回に分けて実施する。) 【第1クール】口内法撮影実習 (A班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口内法を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口内法撮影の手順が説明できる。 2. 正しいフィルムの位置付けができる。 3. 二等分法が説明できる。 4. 正放線投影が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口内法が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/03 (木) 2時限 10:40～12:10	実習：各回の実習は、班毎にローテートして行うので注意すること。(実習は第1, 2, 3クルールの3回に分けて実施する。) 〔第1クール〕口内法撮影実習(A班)	総論IX 検査 2 画像検査 ク 口内法エックス線検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。	富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/04/09 (水) 1時限 09:00～10:30	エックス線診断の基礎	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、エックス線診断の基礎を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. レントゲンサインの説明ができる。 2. エックス線検査の限界を説明できる。 【準備学習項目】 エックス線検査による鑑別診断ができる。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア, プリント 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ク 検査における医療情報 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。	金田 隆
2014/04/10 (木) 1時限 09:00～10:30	現像処理とエックス線写真の評価(B班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、現像処理とエックス線写真の評価を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 自動現像機を使用できる。 2. フィルム特性曲線を作成できる。 3. フィルムの種類によるコントラストの違いを説明できる。 4. 被写体—フィルム間距離が鮮鋭度に与える影響について説明できる。 【準備学習項目】 現像処理が説明できる。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書 【学習方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室, 411教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 エ エックス線撮影装置・器材 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/04/10 (木) 2時限 10:40～12:10	現像処理とエックス線写真の評価(B班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、現像処理とエックス線写真の評価を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 自動現像機を使用できる。 2. フィルム特性曲線を作成できる。 3. フィルムの種類によるコントラストの違いを説明できる。 4. 被写体—フィルム間距離が鮮鋭度に与える影響について説明できる。 【準備学習項目】 現像処理が説明できる。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書 【学習方略(LS)】 実習	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/10 (木) 2時限 10:40~12:10	現像処理とエックス線写真の評価 (B 班)	<p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、4 1 1 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 エ エックス線撮影装置・器材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。</p>	田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/04/16 (水) 1時限 09:00~10:30	歯および歯周組織の病変の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、歯および歯周組織の病変の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 画像による歯の病態を説明できる。 2. 画像による歯周組織の病態を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯および歯周組織の病変の適切な画像検査法を選択できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 成人の歯の硬組織疾患 ア 齲蝕</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *①歯の硬組織の疾患の病因と病態を説明できる。</p>	池島 厚
2014/04/17 (木) 1時限 09:00~10:30	パノラマエックス線撮影の原理と正常解剖 (C 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、パノラマエックス線撮影の原理と正常解剖を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. パノラマエックス線撮影の手順が説明できる。 2. パノラマエックス線撮影の原理が説明できる。 3. パノラマエックス線撮影の失敗原因を説明できる。 4. パノラマエックス線像の障害陰影が説明できる。 5. パノラマエックス線像のトレースが説明できる。 6. パノラマエックス線像の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 パノラマエックス線検査が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、4 1 1 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 コ パノラマエックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/04/17 (木) 2時限 10:40~12:10	パノラマエックス線撮影の原理と正常解剖 (C 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、パノラマエックス線撮影の原理と正常解剖を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. パノラマエックス線撮影の手順が説明できる。 2. パノラマエックス線撮影の原理が説明できる。 3. パノラマエックス線撮影の失敗原因を説明できる。 4. パノラマエックス線像の障害陰影が説明できる。 5. パノラマエックス線像のトレースが説明できる。 6. パノラマエックス線像の正常解剖を説明できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/17 (木) 2時限 10:40～12:10	パノラマエックス線撮影の原理と正常解剖 (C 班)	<p>【準備学習項目】 パノラマエックス線検査が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 コ パノラマエックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	南 学 谷 啓二 本 喜一 北 薫 小 光 澤 明 山 尊 城 巳 加 尊 藤 巳 坂 さつき 田 論 中 嘉哉 加 庸 藤 哉 月 庸 岡 志 阪 雅 柳 志 堤 重 豊 重 富 永 永 一郎 関 浩 谷 太郎 本 一文
2014/04/23 (水) 1時限 09:00～10:30	顎骨嚢胞の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎骨嚢胞の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎骨の嚢胞の鑑別診断ができる。 2. 適切な画像検査法を選択できる。</p> <p>【準備学習項目】 顎骨の嚢胞の特徴像を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 10 顎骨に発生する嚢胞性疾患 ア 歯根嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *①顎骨に発生する歯原性嚢胞の種類と特徴を列挙できる。</p>	金田 隆
2014/04/24 (木) 1時限 09:00～10:30	デジタル画像システム (D 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、デジタル画像システムを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. デジタルエックス線撮影法の原理を説明できる。 2. デジタル口内法エックス線撮影装置の操作ができる。</p> <p>【準備学習項目】 デジタル画像システムが説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 カ デジタル画像システム</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷 啓二 本 喜一 北 薫 小 光 澤 明 山 尊 城 巳 加 尊 藤 巳 坂 さつき 田 論 中 嘉哉 加 庸 藤 哉 月 庸 岡 志 阪 雅 柳 志 堤 重 豊 重 富 永 永 一郎 関 浩 谷 太郎 本 一文
2014/04/24 (木) 2時限 10:40～12:10	デジタル画像システム (D 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、デジタル画像システムを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. デジタルエックス線撮影法の原理を説明できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/24 (木) 2時限 10:40~12:10	デジタル画像システム (D 班)	2. デジタル口内法エックス線撮影装置の操作ができる。 【準備学習項目】 デジタル画像システムが説明できる。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書 【学習方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 カ デジタル画像システム 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑤エックス線装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。	徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/05/07 (水) 1時限 09:00~10:30	顎骨良性腫瘍の画像診断	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎骨良性腫瘍の画像診断を習得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 顎骨の良性腫瘍の鑑別診断ができる。 2. 適切な画像検査法を選択できる。 【準備学習項目】 顎骨の良性腫瘍の特徴像を説明できる。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア, プリント 【学習方略 (L S)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 5 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 ア 歯原性良性腫瘍 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑤歯原性腫瘍の種類と特徴を列挙できる。	佐々木 悠介
2014/05/08 (木) 1時限 09:00~10:30	CT (E 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、CTを習得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. CT の原理を説明できる。 2. CT の正常解剖を説明できる。 【準備学習項目】 CT が説明できる。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書 【学習方略 (L S)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 シ CT 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 井出 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/05/08 (木) 2時限 10:40~12:10	CT (E 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、CTを習得する。	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	CT (E 班)	<p>【行動目標 (SBOs)】 1. CT の原理を説明できる。 2. CT の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 CT が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 シ CT</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/05/14 (水) 1時限 09:00~10:30	口腔領域悪性腫瘍 の画像診断 1	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口腔領域悪性腫瘍の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔領域の悪性腫瘍の進展経路を説明できる。 2. 適切な画像検査法を選択できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔領域の悪性腫瘍の特徴像を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 11 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 エ 非歯原性悪性腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑩口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。</p>	金田 隆
2014/05/15 (木) 1時限 09:00~10:30	超音波検査 (F 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、超音波検査を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 超音波検査法の原理を説明できる。 2. 超音波検査法の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 超音波検査が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 タ 超音波検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑩造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/15 (木) 2時限 10:40～12:10	超音波検査 (F 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、超音波検査を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 超音波検査法の原理を説明できる。 2. 超音波検査法の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 超音波検査が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 タ 超音波検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/05/21 (水) 1時限 09:00～10:30	口腔領域悪性腫瘍の画像診断 2	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口腔領域悪性腫瘍の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔領域の悪性腫瘍の進展経路を説明できる。 2. 適切な画像検査法を選択できる。</p> <p>【準備学習項目】 口腔領域の悪性腫瘍の特徴像を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 11 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 エ 非歯源性悪性腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞、腫瘍および類似疾患 *⑩口腔癌の特徴、予防、症状および治療法を説明できる。</p>	金田 隆
2014/05/22 (木) 1時限 09:00～10:30	〔第2クール〕CBCT (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、CBCTを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. CBCT の原理を説明できる。 2. CBCT の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 CBCT が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ス 歯科用コーンビームCT</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/22 (木) 1時限 09:00~10:30	〔第2クール〕CB CT (A 班)	*⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/05/22 (木) 2時限 10:40~12:10	〔第2クール〕CB CT (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、CBCTを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. CBCT の原理を説明できる。 2. CBCT の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 CBCT が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ス 歯科用コーンビームCT</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/05/28 (水) 1時限 09:00~10:30	第1回平常試験 (画像診断試験1)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 画像診断について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ここまでの講義内容についての試験。遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【学習場所・媒体等】 試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ク 検査における医療情報</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/05/29 (木) 1時限 09:00~10:30	放射線防護と除染 (B 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、放射線防護と除染を習得する。	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
	放射線防護と除染 (B 班)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 線量測定を行うことができる。 2. 除染ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>放射線防護が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>RIセンター</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 キ 放射線の防護・管理</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *③放射線防護の基準と方法を説明できる。</p>	佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/05/29 (木) 2時限 10:40~12:10	放射線防護と除染 (B 班)	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、放射線防護と除染を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 線量測定を行うことができる。 2. 除染ができる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>放射線防護が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>RIセンター</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 キ 放射線の防護・管理</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *③放射線防護の基準と方法を説明できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/06/04 (水) 1時限 09:00~10:30	顎口腔領域損傷の 画像診断・顎口腔 領域炎症性疾患の 画像診断	<p>【授業の一般目標】</p> <p>歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎口腔領域損傷の画像診断・顎口腔領域炎症性疾患の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 顎骨の骨折の適切な画像検査法を選択できる。 2. 口腔領域の炎症の特徴像を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p> <p>顎骨骨折および炎症の特徴像を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>マルチメディア, プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 8 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷 エ 下顎骨骨折</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 *③外傷時の検査法を列挙できる。</p>	小椋 一朗
2014/06/05 (木)	インプラントシミ	<p>【授業の一般目標】</p>	金田 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
1時限 09:00～10:30	シミュレーション (C班)	<p>歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、インプラントシミュレーションを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. インプラントのための正常解剖を説明できる。 2. インプラントシミュレーションができる。</p> <p>【準備学習項目】 インプラントシミュレーションが説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ス 歯科用コーンビームCT</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/06/05 (木) 2時限 10:40～12:10	インプラントシミュレーション (C班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、インプラントシミュレーションを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. インプラントのための正常解剖を説明できる。 2. インプラントシミュレーションができる。</p> <p>【準備学習項目】 インプラントシミュレーションが説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ス 歯科用コーンビームCT</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/06/11 (水) 1時限 09:00～10:30	唾液腺疾患の画像診断・頸部疾患の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、唾液腺疾患の画像診断・頸部疾患の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 唾液腺疾患の適切な画像検査法を選択できる。 2. 唾液腺疾患の鑑別診断ができる。 3. 頸部腫瘍の適切な画像検査法を選択できる。 4. 頸部腫瘍の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 唾液腺疾患および頸部疾患の画像検査法を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論IV 顎・口腔領域の疾患 1 2 唾液腺疾患 タ 良性腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患</p>	小椋 一朗

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/11 (水) 1時限 09:00～10:30	唾液腺疾患の画像診断・頸部疾患の画像診断	E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 唾液腺疾患 *③唾液腺腫瘍の種類と特徴、症状、診断法および治療法を説明できる。	小椋 一朗
2014/06/12 (木) 1時限 09:00～10:30	口内法写真のマウントと正常解剖 (D 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口内法写真のマウントと正常解剖を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 14 枚法のマウントができる。 2. 口内法エックス線写真のトレースができる。 3. 口内法エックス線写真の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口内法写真の正常解剖が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ケ 口内法エックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/06/12 (木) 2時限 10:40～12:10	口内法写真のマウントと正常解剖 (D 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口内法写真のマウントと正常解剖を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 14 枚法のマウントができる。 2. 口内法エックス線写真のトレースができる。 3. 口内法エックス線写真の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 口内法写真の正常解剖が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ケ 口内法エックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/06/18 (水) 1時限 09:00～10:30	エックス線解剖	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、エックス線解剖を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 単純エックス線像の正常解剖を説明できる。 2. 各種特殊撮影法の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 パノラマエックス線像の正常解剖を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ケ 口内法エックス線検査</p>	井出 吉信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/18 (水) 1時限 09:00～10:30	エックス線解剖	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	井出 吉信
2014/06/19 (木) 1時限 09:00～10:30	口外法写真 (E 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口外法を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. PA, Waters 写真のトレースができる。 2. PA, Waters 写真の正常解剖を理解できる。</p> <p>【準備学習項目】 口外法が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/06/19 (木) 2時限 10:40～12:10	口外法写真 (E 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口外法を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. PA, Waters 写真のトレースができる。 2. PA, Waters 写真の正常解剖を理解できる。</p> <p>【準備学習項目】 口外法が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑧頭部エックス線撮影の種類および適応を説明できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/06/25 (水) 1時限 09:00～10:30	インプラントの画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、インプラントの画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. インプラントの適応が説明できる。 2. インプラントの臨床応用を列挙できる。</p> <p>【準備学習項目】 インプラントに必要な画像検査法を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, プリント</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査</p>	菅井 敏郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/25 (水) 1時限 09:00～10:30	インプラントの画像診断	ク 検査における医療情報 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	菅井 敏郎
2014/06/26 (木) 1時限 09:00～10:30	MRI (F 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、MRI を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. MRI の原理を説明できる。 2. MRI の正常解剖を説明できる。 【準備学習項目】 MRI が説明できる。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 セ MRI 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/06/26 (木) 2時限 10:40～12:10	MRI (F 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、MRI を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. MRI の原理を説明できる。 2. MRI の正常解剖を説明できる。 【準備学習項目】 MRI が説明できる。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室、411教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 セ MRI 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/07/02 (水) 1時限 09:00～10:30	顎関節の画像診断	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎関節の画像診断を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節の画像検査法の利点、欠点を説明できる。 2. 顎関節疾患の特徴像を説明できる。 【準備学習項目】 顎関節の画像検査法を列挙できる。 【学習場所・媒体等】 マルチメディア, プリント 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室	佐野 司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/02 (水) 1時限 09:00～10:30	顎関節の画像診断	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 顎・口腔領域の疾患 1 4 顎関節疾患 サ 顎関節症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-2 口唇・口腔・頭蓋・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口唇・口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 顎関節疾患 *②顎関節疾患（外傷、脱臼、炎症、顎関節症、顎関節強直症）の症状、診断法および治療法を概説できる。</p>	佐野 司
2014/07/03 (木) 1時限 09:00～10:30	〔第3クール〕画像検査報告書作成 1	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査報告書作成を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、実習書</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 ク 検査における医療情報</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦⑩内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/07/03 (木) 2時限 10:40～12:10	〔第3クール〕画像検査報告書作成 1	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査報告書作成を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、実習書</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅸ 検査 2 画像検査 ク 検査における医療情報</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦⑩内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/07/09 (水) 1時限 09:00～10:30	CBCTの臨床応用	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、CBCTの臨床応用を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. CBCT の3次元画像を説明できる。 2. CBCT の臨床応用を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 CBCT の原理を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	本田 和也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/09 (水) 1時限 09:00～10:30	CBCTの臨床応用	<p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ス 歯科用コーンビームCT</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法（CT）、磁気共鳴撮像法（MRI）および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	本田 和也
2014/07/10 (木) 1時限 09:00～10:30	画像検査報告書作成2	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査報告書作成を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、実習書</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ク 検査における医療情報</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/07/10 (木) 2時限 10:40～12:10	画像検査報告書作成2	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査報告書作成を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、実習書</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ク 検査における医療情報</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/07/16 (水) 1時限 09:00～10:30	摂食・嚥下の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、摂食・嚥下の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 摂食・嚥下障害の画像診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 摂食・嚥下の画像検査法を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア、プリント</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p>	谷本 啓二

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/16 (水) 1時限 09:00～10:30	摂食・嚥下の画像 診断	<p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 サ 顎顔面頭蓋部エックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	谷本 啓二
2014/07/17 (木) 1時限 09:00～10:30	画像検査報告書作 成 3	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査報告書作成を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ク 検査における医療情報</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 敏司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/07/17 (木) 2時限 10:40～12:10	画像検査報告書作 成 3	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査報告書作成を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学習項目】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 マルチメディア, 実習書</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ク 検査における医療情報</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 敏司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 月岡 庸 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/07/23 (水) 1時限 09:00～10:30	画像診断試験 2	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 画像診断について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ここまでの講義内容についての試験。遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【学習場所・媒体等】 試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 敏司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/23 (水) 1時限 09:00～10:30	画像診断試験 2	<p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ク 検査における医療情報</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (CT)、磁気共鳴撮像法 (MRI) および核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	加藤 嘉哉 岡 庸之 柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/09/10 (水) 1時限 09:00～10:30	第2回平常試験	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 画像診断について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ここまでの講義内容についての試験。 遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【学習場所・媒体等】 試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ク 検査における医療情報</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 岡 庸之 柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/09/11 (木) 1時限 09:00～10:30	歯科放射線学実習 試験	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査を習得する。</p> <p>【準備学習項目】 ここまでの講義内容についての試験。 遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【学習場所・媒体等】 試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査 ク 検査における医療情報</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉 岡 庸之 柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文
2014/09/11 (木) 2時限 10:40～12:10	歯科放射線学実習 試験	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査を習得する。</p> <p>【準備学習項目】 ここまでの講義内容についての試験。 遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【学習場所・媒体等】 試験</p> <p>【学習方略 (LS)】 その他</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論IX 検査 2 画像検査</p>	金田 隆 池島 厚 小椋 一朗 佐々木 悠介 関谷 恵子 今井 浩之 徳永 悟士 原 慶宜 栗原 健二 井出 吉信 菅井 敏郎 佐野 司 南 学 谷本 啓二 北原 喜一 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 熊坂 さつき 田中 諭 加藤 嘉哉

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/11 (木) 2時限 10:40~12:10	歯科放射線学実習 試験	ク 検査における医療情報 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査 *⑦口内法エックス線撮影とパノラマエックス線撮影を行い、読影できる。	月岡 庸之 阪柳 雅志 堤 豊重 富永 一郎 関谷 浩太郎 本田 一文

薬理学 2

年次	学期	学則科目責任者
3年次	前学期	三枝 禎 (薬理学)

学習目標 (G I O)	歯科医師として備えるべき薬理学の知識を確実に身につける。また、薬物の効果を客観的に解析する方法を知る。 実験動物の尊い犠牲のもとに行われる実習を通じて、座学で学習した事柄を医療の場で運用可能な実践的な知識にする。
担当教員	三枝 禎、山根 潤一、松本 裕子、竹内 麗理、小野 眞紀子、※久保山 昇
教科書	現代歯科薬理学 第5版 加藤有三、篠田 壽 監修 医歯薬出版
参考図書	NEW薬理学 田中千賀子、加藤隆一 編 南山堂 歯科薬理学 第5版 石田甫 他 監修 医歯薬出版
評価方法 (E V)	講義：平常試験 (90%：3回予定)、小テスト (10%：10回程度を予定) の成績によって評価する。平常試験、小試験の結果に基づき、再試験やレポート提出を課すことがある。 総授業時間数の1/5以上を欠席した場合、成績評価は60点以下とする。また、再試験の受験資格は与えない。追試験は、正当な理由がない限り行わない。 実習：平常試験 (40%：1回のみ予定)、小テスト (20%：5回程度を予定)、レポート (30%)、実習に臨む姿勢・受講状況 (10%) によって評価する。 講義 (約60%)、実習 (約40%) の割合で最終評価とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	授業・実習ともプリントを用いるが、教科書が理解の助けになるのであるべく持参すること。 授業内容や学習方法について不明の点は、遠慮なく質問して下さい。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/07 (月) 2時限 10:40~12:10	動物実験の意義	<p>【授業の一般目標】 動物実験がいかなる場合に社会から容認されるかについて復習する。「行動薬理実習」の手順について知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 動物実験の意義について説明できる。 2. 「行動薬理実習」の手順について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 動物実験の留意点について説明できる。「行動薬理実習」について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 a 薬物作用の種類 (局所作用、全身作用、直接作用、間接作用)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *②薬理作用の基本形式と分類を説明できる。</p>	三枝 禎
2014/04/07 (月) 3時限 13:00~14:30	薬物の生体内運命	<p>【授業の一般目標】 薬物動態について知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物の吸収について説明できる。 2. 薬物の分布について説明できる。 3. 薬物の代謝について説明できる。 4. 薬物の排泄について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬物の生体内運命について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 c 薬物の体内動態 (吸収、分布、代謝、排泄)</p>	松本 裕子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/07 (月) 3時限 13:00~14:30	薬物の生体内運命	<p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ウ 薬物動態</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。</p>	松本 裕子
2014/04/07 (月) 4時限 14:40~16:10	末梢神経系に作用する薬物	<p>【授業の一般目標】 末梢神経系に作用する薬物を知り、その作用機序について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 交感神経および副交感神経に作用する薬物について説明できる 2. 神経筋接合部に作用する薬物について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 末梢神経の働きと仕組みについて説明できる。末梢神経系に作用する薬物について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	松本 裕子
2014/04/14 (月) 2時限 10:40~12:10	中枢神経系に作用する薬物 (1)	<p>【授業の一般目標】 中枢神経に作用する薬物を知り、その作用の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 中枢神経に作用する薬物を知り、その作用機序を説明できる。 2. 全身麻酔薬を分類し、代表的な薬物を列挙できる。 3. 全身麻酔薬の作用の特徴について説明できる。 4. 催眠薬および鎮静薬を列挙できる。 5. 催眠薬および鎮静薬の作用の特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 中枢神経の働きと仕組みについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	三枝 禎
2014/04/14 (月) 3時限 13:00~14:30	行動薬理実習 (1)	<p>【授業の一般目標】 薬物の作用を実験動物の行動を指標として解析する。また、薬効を客観的に評価する方法について知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物の作用を、実験動物の行動を指標として捉えることができる。 2. 薬物の併用投与が起こす現象について説明できる。 3. 全身麻酔薬、向精神薬、筋弛緩薬の作用機序について説明できる。 4. 客観的に薬効を評価する方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子 久保山 昇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/14 (月) 3時限 13:00～14:30	行動薬理実習 (1)	<p>薬理作用の種類・薬物の併用投与が起こす現象について復習する。イソフルラン、ペントバルビタール、クロルプロマジン、スキサメトニウム、ジアゼパムの作用の特徴について知る。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 h 薬物の併用 (協力作用、拮抗作用) 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 ケ 薬物の副作用・有害作用・薬物相互作用</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。 *⑥薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 真紀子 久保山 昇
2014/04/14 (月) 4時限 14:40～16:10	行動薬理実習 (1)	<p>【授業の一般目標】 薬物の作用を実験動物の行動を指標として解析する。また、薬効を客観的に評価する方法について知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物の作用を、実験動物の行動を指標として捉えることができる。 2. 薬物の併用投与が起こす現象について説明できる。 3. 全身麻酔薬、向精神薬、筋弛緩薬の作用機序について説明できる。 4. 客観的に薬効を評価する方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬理作用の種類・薬物の併用投与が起こす現象について復習する。イソフルラン、ペントバルビタール、クロルプロマジン、スキサメトニウム、ジアゼパムの作用の特徴について知る。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 h 薬物の併用 (協力作用、拮抗作用) 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 ケ 薬物の副作用・有害作用・薬物相互作用</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。 *⑥薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 真紀子 久保山 昇
2014/04/21 (月) 2時限 10:40～12:10	中枢神経系に作用する薬物 (2)	<p>【授業の一般目標】 中枢神経に作用する薬物を知り、その作用の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 中枢神経に作用する薬物を知り、その作用機序を説明できる。 2. 向精神薬を分類し、代表的な薬物を列挙できる。 3. 抗精神病薬の臨床上的用途と作用機序について説明できる。 4. 抗不安薬を挙げ、臨床上的用途と作用の特徴について説明できる。 5. 抗うつ薬・抗躁薬の臨床上的用途と作用機序について説明できる。 6. パーキンソン病治療薬とその作用機序について説明できる。 7. 認知症の治療薬とその作用機序について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 中枢神経に作用する薬物に共通した性質を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p>	三枝 禎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/21 (月) 2時限 10:40~12:10	中枢神経系に作用する薬物 (2)	<p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	三枝 禎
2014/04/21 (月) 3時限 13:00~14:30	行動薬理実習 (2)	<p>【授業の一般目標】 薬物の作用を実験動物の行動を指標として観察する。また、薬効を客観的に評価する方法について理解する。次回行う「鎮痛薬実習」の手順について知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物の作用を、実験動物の行動を指標として捉えることができる。 2. 薬物の併用投与が起こす現象について説明できる。 3. 全身麻酔薬、向精神薬、筋弛緩薬の作用機序について説明できる。 4. 客観的に薬効を評価する方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬理作用の種類・薬物の併用投与が起こす現象について復習する。イソフルラン、ペントバルビタール、クロルプロマジン、スキサメトニウム、ジアゼパムの作用の特徴について知る。次回行う「鎮痛薬実習」の手順を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 h 薬物の併用 (協力作用、拮抗作用) 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 ケ 薬物の副作用・有害作用・薬物相互作用</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。 *⑥薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子
2014/04/21 (月) 4時限 14:40~16:10	行動薬理実習 (2)	<p>【授業の一般目標】 薬物の作用を実験動物の行動を指標として観察する。また、薬効を客観的に評価する方法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物の作用を、実験動物の行動を指標として捉えることができる。 2. 薬物の併用投与が起こす現象について説明できる。 3. 全身麻酔薬、向精神薬、筋弛緩薬の作用機序について説明できる。 4. 客観的に薬効を評価する方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬理作用の種類・薬物の併用投与が起こす現象について復習する。イソフルラン、ペントバルビタール、クロルプロマジン、スキサメトニウム、ジアゼパムの作用の特徴について知る。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/21 (月) 4時限 14:40～16:10	行動薬理実習 (2)	<p>必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 h 薬物の併用 (協力作用、拮抗作用) 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 ケ 薬物の副作用・有害作用・薬物相互作用</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。 *⑥薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 真紀子
2014/04/28 (月) 2時限 10:40～12:10	鎮痛薬	<p>【授業の一般目標】 鎮痛薬の分類を知る。鎮痛薬の作用の特徴と作用機序について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 鎮痛薬を分類できる。 2. 鎮痛薬の作用の特徴について説明できる。 3. 鎮痛薬の作用機序について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 受容体を介した薬理作用について説明できる。酵素に作用する薬物について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 サ 鎮痛薬</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	三枝 禎
2014/04/28 (月) 3時限 13:00～14:30	非ステロイド性抗炎症薬	<p>【授業の一般目標】 代表的な非ステロイド性抗炎症薬について知り、作用機序について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な非ステロイド性抗炎症薬を挙げられる。 2. 非ステロイド性抗炎症薬の作用機序を説明できる。 3. 非ステロイド性抗炎症薬の作用の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 オータコイドについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 シ 抗炎症薬</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	三枝 禎
2014/04/28 (月) 4時限 14:40～16:10	ステロイド性抗炎症薬	<p>【授業の一般目標】 代表的なステロイド性抗炎症薬を知る。ステロイド性抗炎症薬の作用の特徴と作用機序について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	山根 潤一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/04/28 (月) 4時限 14:40～16:10	ステロイド性抗炎症薬	<p>1. 代表的なステロイド性抗炎症薬を挙げられる。 2. ステロイド性抗炎症薬の作用の特徴について説明できる。 3. ステロイド性抗炎症薬の作用機序について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 エイコサノイドについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 シ 抗炎症薬</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	山根 潤一
2014/05/12 (月) 2時限 10:40～12:10	局所麻酔薬	<p>【授業の一般目標】 局所麻酔薬の分類について知る。代表的な局所麻酔薬とその作用の特徴および作用機序を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 局所麻酔薬が分類できる。 2. 代表的な局所麻酔薬を挙げられる。 3. 局所麻酔薬の作用の特徴を説明できる。 4. 局所麻酔薬の作用機序を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 アドレナリンとその作用機序について説明できる。膜輸送タンパクに作用する薬物について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	三枝 禎
2014/05/12 (月) 3時限 13:00～14:30	鎮痛薬実習 (1)	<p>【授業の一般目標】 鎮痛薬および関連薬の作用と作用機序を、実験動物の行動を指標として解析する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 実験動物の仮性疼痛反応とその評価法について説明できる。 2. 薬物の併用が起こす現象 (競合的拮抗) について説明できる。 3. 麻薬性鎮痛薬の作用機序について説明できる。 4. 客観的に薬効を評価する方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 鎮痛薬を分類し、代表的な薬物を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/12 (月) 3時限 13:00～14:30	鎮痛薬実習 (1)	<p>歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 サ 鎮痛薬</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子
2014/05/12 (月) 4時限 14:40～16:10	鎮痛薬実習 (1)	<p>【授業の一般目標】 鎮痛薬および関連薬の作用と作用機序を、実験動物の行動を指標として解析する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 実験動物の仮性疼痛反応とその評価法について知る。 2. 薬物の併用が起こす現象 (競合的拮抗) について知る。 3. 麻薬性鎮痛薬の作用機序について理解する。 4. 客観的に薬効を評価する方法について理解を深める。</p> <p>【準備学習項目】 鎮痛薬を分類し、代表的な薬物を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 サ 鎮痛薬</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子
2014/05/19 (月) 2時限 10:40～12:10	血液に作用する薬物	<p>【授業の一般目標】 止血薬、抗凝固薬について知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 止血一線溶機構について理解を深める。 2. 止血薬を分類し、代表的な薬物を列挙できる。 3. 止血薬の作用機序が説明できる。 4. 抗凝固薬を分類し、代表的な薬物を列挙できる。 5. 抗凝固薬の作用機序が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 止血一線溶機構が説明できる。止血薬、抗凝固薬を挙げられる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 タ 止血薬、抗血栓薬</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	三枝 禎
2014/05/19 (月) 3時限 13:00～14:30	鎮痛薬実習 (2)	<p>【授業の一般目標】 鎮痛薬および関連薬の作用と作用機序を、実験動物の行動を指標として解析する。また次回行う「受容体実習」の手順について知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 実験動物の仮性疼痛反応とその評価法について説明できる。 2. 薬物の併用が起こす現象 (競合的拮抗) について説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/19 (月) 3時限 13:00～14:30	鎮痛薬実習 (2)	<p>3. 麻薬性鎮痛薬の作用機序について説明できる。 4. 客観的に薬効を評価する方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 鎮痛薬を分類し、代表的な薬物を列挙できる。また次回行う「受容体実習」の手順を説明できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 サ 鎮痛薬</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子
2014/05/19 (月) 4時限 14:40～16:10	鎮痛薬実習 (2)	<p>【授業の一般目標】 鎮痛薬および関連薬の作用と作用機序を、実験動物の行動を指標として解析する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 実験動物の仮性疼痛反応とその評価法について説明できる。 2. 薬物の併用が起こす現象 (競合的拮抗) について説明できる。 3. 麻薬性鎮痛薬の作用機序について説明できる。 4. 客観的に薬効を評価する方法について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 鎮痛薬を分類し、代表的な薬物を列挙できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 サ 鎮痛薬</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子
2014/05/26 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験1 (講義)	<p>【授業の一般目標】 薬理学2の講義 (4月7日～5月19日) に関する筆答試験を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬理学2のこれまで講義の要点を記述できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬理学2のこれまで講義の要点が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 平常試験1 (講義) は初回以降の講義から出題する。実習に関する講義と実習での内容は平常試験3で出題する。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/05/26 (月) 3時限 13:00~14:30	消化器系に作用する薬物	<p>【授業の一般目標】 消化器系に作用する薬物を知り、その作用機序について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 消化器系に作用する薬物を挙げられる。 2. 消化器系に作用する代表的な薬物の作用機序が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 消化器系について説明できる。ヒスタミンの作用について説明できる。生体内の化学物質との化学反応を介した薬物の作用機序について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	山根 潤一
2014/05/26 (月) 4時限 14:40~16:10	代謝性疾患治療薬	<p>【授業の一般目標】 代謝性疾患の代表的な治療薬と作用機序の特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 糖尿病の治療薬を挙げ、各薬物の作用の特徴を説明できる。 2. 脂質異常症の治療薬を挙げ、各薬物の作用機序を説明できる。 3. 痛風の治療薬を挙げ、各薬物の作用について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 代謝性疾患を挙げることができる。糖尿病の特徴について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	山根 潤一
2014/06/02 (月) 2時限 10:40~12:10	呼吸器系疾患治療薬	<p>【授業の一般目標】 代表的な呼吸器系疾患治療薬について知り、作用機序について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 呼吸器系疾患の代表的な治療薬の作用機序について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 呼吸器系について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	松本 裕子
2014/06/02 (月) 3時限 13:00~14:30	受容体実習 (1)	<p>【授業の一般目標】 シミュレータを用い、用量反応関係について理解を深める。競合的拮抗が起こる仕組みについて知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 用量反応曲線について説明できる。 2. 競合的拮抗と非競合的拮抗について説明できる。 3. 腸管平滑筋の収縮機構について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/02 (月) 3時限 13:00~14:30	受容体実習 (1)	<p>細胞膜受容体について説明できる。アセチルコリンまたはヒスタミン受容体をそれぞれ分類できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 h 薬物療法 g 用量と薬理作用 (LD50、ED50、治療係数 <安全域>、TDM <therapeutic drug monitoring><薬物の血中濃度モニタリング>)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 h 薬物療法 h 薬物の併用 (協力作用、拮抗作用)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *⑥薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 真紀子
2014/06/02 (月) 4時限 14:40~16:10	受容体実習 (1)	<p>【授業の一般目標】 シミュレータを用い、用量反応関係について理解を深める。競合的拮抗が起こる仕組みについて知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 用量反応曲線について説明できる。 2. 競合的拮抗と非競合的拮抗について説明できる。 3. 腸管平滑筋の収縮機構について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 細胞膜受容体について説明できる。アセチルコリンまたはヒスタミン受容体をそれぞれ分類できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 h 薬物療法 g 用量と薬理作用 (LD50、ED50、治療係数 <安全域>、TDM <therapeutic drug monitoring><薬物の血中濃度モニタリング>)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 h 薬物療法 h 薬物の併用 (協力作用、拮抗作用)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *⑥薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 真紀子
2014/06/09 (月) 2時限 10:40~12:10	循環器系・腎臓に作用する薬物	<p>【授業の一般目標】 循環器系または腎臓に作用する代表的な薬物について知り、その作用機序を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高血圧症治療薬を分類し、代表的な薬物の作用機序を説明できる。 2. 心不全治療薬を挙げ、作用機序を説明できる。 3. 不整脈治療薬を挙げ、作用機序を説明できる。 4. 狭心症治療薬を挙げ、作用機序を説明できる。 5. 利尿薬および抗利尿薬を挙げ、作用機序を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 循環器系について説明できる。腎臓の働きについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】</p>	山根 潤一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/09 (月) 2時限 10:40~12:10	循環器系・腎臓に作用する薬物	C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。	山根 潤一
2014/06/09 (月) 3時限 13:00~14:30	受容体実習 (2)	<p>【授業の一般目標】 用量反応関係について理解を深める。競合的拮抗が起こる仕組みについて知る。また次回行う「薬物動態実習」の手順について知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 用量反応曲線について説明できる。 2. 競合的拮抗と非競合的拮抗について説明できる。 3. 腸管平滑筋の収縮機構について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 細胞膜受容体について説明できる。アセチルコリンまたはヒスタミン受容体をそれぞれ分類できる。また次回行う「薬物動態実習」の手順を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第1 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 g 用量と薬理作用 (LD50、ED50、治療係数 <安全域>、TDM <therapeutic drug monitoring><薬物の血中濃度モニタリング>) h 薬物の併用 (協力作用、拮抗作用) 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 カ 用量と反応</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。 *④薬理作用を規定する要因 (用量と反応、感受性) を説明できる。 *⑥薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 真紀子
2014/06/09 (月) 4時限 14:40~16:10	受容体実習 (2)	<p>【授業の一般目標】 用量反応関係について理解を深める。競合的拮抗が起こる仕組みについて知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 用量反応曲線について説明できる。 2. 競合的拮抗と非競合的拮抗について説明できる。 3. 腸管平滑筋の収縮機構について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 細胞膜受容体について説明できる。アセチルコリンまたはヒスタミン受容体をそれぞれ分類できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第1 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 g 用量と薬理作用 (LD50、ED50、治療係数 <安全域>、TDM <therapeutic drug monitoring><薬物の血中濃度モニタリング>) h 薬物の併用 (協力作用、拮抗作用) 歯科医学総論 総論 X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 カ 用量と反応</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。 *④薬理作用を規定する要因 (用量と反応、感受性) を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 真紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/09 (月) 4時限 14:40～16:10	受容体実習 (2)	*⑥薬物の併用 (協力作用、拮抗作用、相互作用) を説明できる。	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 真紀子
2014/06/16 (月) 2時限 10:40～12:10	抗感染症薬	<p>【授業の一般目標】 代表的な抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬について知り、各薬物の作用の特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 選択毒性について説明できる。 2. 殺菌作用と静菌作用について説明できる。 3. 抗菌薬の作用機序について説明できる。 4. 抗菌薬を分類し、代表的な薬物を列挙できる。 5. 抗真菌薬を挙げ、作用の特徴を説明できる。 6. 抗ウイルス薬を挙げ、作用の特徴と臨床応用について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 細菌、真菌、ウイルスについて説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 ス 抗感染症薬</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	松本 裕子
2014/06/16 (月) 3時限 13:00～14:30	消毒薬、腐蝕薬および収斂薬	<p>【授業の一般目標】 消毒薬を分類して列挙できる。収斂作用と腐食作用について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 消毒薬の作用機序について説明できる。 2. 消毒薬の効果に影響を与える因子について説明できる。 3. 消毒薬を分類し、代表的な薬物を挙げることができる。 4. HBV、HIVに有効な消毒薬を挙げることができる。 5. 収斂作用と腐食作用について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 消毒薬について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序 ス 抗感染症薬</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	松本 裕子
2014/06/16 (月) 4時限 14:40～16:10	口腔粘膜疾患に用いる薬物、口腔・顎顔面に現れる薬物の副作用、有害作用	<p>【授業の一般目標】 口腔粘膜疾患に用いる薬物について知る。口腔・顎顔面に現れる薬物の副作用・有害作用とその原因、対処法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔・顎顔面に現れる薬物の副作用、有害作用と薬物の関係を説明できる。 2. 薬物を用いた口腔粘膜疾患への対応法について説明できる。 3. 口腔・顎顔面に現れる薬物の副作用・有害作用について説明できる。 4. 薬物の副作用・有害作用への対処法を説明できる。</p>	山根 潤一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/16 (月) 4時限 14:40～16:10	口腔粘膜疾患に用いる薬物、口腔・顎顔面に現れる薬物の副作用、有害作用	<p>【準備学習項目】 口腔粘膜疾患とその誘因について説明できる。 口腔・顎顔面に現れる薬物の副作用・有害作用について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ケ 薬物の副作用・有害作用・薬物相互作用</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 i 薬物の副作用・有害作用（薬物アレルギー（アナフィラキシーショック）、皮膚障害、血液障害、消化器障害、肝障害、腎障害、呼吸器障害、中央神経障害）</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *①薬物療法（原因療法、対症療法）を説明できる。【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 C-5-4) 薬物の副作用と有害作用 *①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。</p>	山根 潤一
2014/06/23 (月) 2時限 10:40～12:10	抗腫瘍薬	<p>【授業の一般目標】 代表的な抗腫瘍薬を挙げ、作用機序について知る。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 抗腫瘍薬の一般的な副作用とその原因を挙げることができる。 2. 抗腫瘍薬を分類し、代表的な薬物を挙げることができる。</p> <p>【準備学習項目】 悪性腫瘍の特徴について説明できる。薬物療法以外の悪性腫瘍の治療法を挙げることができる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 セ 抗腫瘍薬</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。 C-5-4) 薬物の副作用と有害作用 *①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。</p>	松本 裕子
2014/06/23 (月) 3時限 13:00～14:30	薬物動態実習（1）	<p>【授業の一般目標】 シミュレータを用いて薬物の血中濃度の変化を観察し、薬物動態について理解を深める。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 薬物の血中濃度と相関する諸因子を挙げられる。 2. 投与方法による薬物の血中濃度の変化の違いについて説明できる。 3. 生物学的半減期について説明できる。 4. 生物学的利用能について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬物生体内運命について説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ウ 薬物動態</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 麗理 眞紀子 竹内 眞紀子 小野 眞紀子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/23 (月) 3時限 13:00~14:30	薬物動態実習 (1)	<p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 c 薬物の体内動態 (吸収、分布、代謝、排泄)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子
2014/06/23 (月) 4時限 14:40~16:10	薬物動態実習 (1)	<p>【授業の一般目標】 シミュレータを用いて薬物の血中濃度の変化を観察し、薬物動態について理解を深める。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬物の血中濃度と相関する諸因子を挙げられる。 2. 投与方法による薬物の血中濃度の変化の違いについて説明できる。 3. 生物学的半減期について説明できる。 4. 生物学的利用能について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬物生体内運命について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ウ 薬物動態</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 c 薬物の体内動態 (吸収、分布、代謝、排泄)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子
2014/06/30 (月) 2時限 10:40~12:10	ビタミン、ホルモン、免疫系に作用する薬物	<p>【授業の一般目標】 ビタミン、ホルモン、免疫系に作用する薬物を挙げ、臨床上の用途と作用機序について知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的なビタミンと、その臨床上の用途を挙げられる。 2. 甲状腺を作用点とする薬物を列挙できる。 3. 性ホルモンと性ホルモン拮抗薬を列挙できる。 4. 代表的な免疫抑制薬および免疫賦活薬と、それらの用途について挙げられる。 5. 抗アレルギー薬とその作用機序について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 ビタミンについて説明できる。生理活性物質を分類できる。免疫について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ソ 代謝改善薬、ビタミン</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 5 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *①薬物療法 (原因療法、対症療法) を説明できる。【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	山根 潤一
2014/06/30 (月) 3時限 13:00~14:30	薬物動態実習 (2)	<p>【授業の一般目標】 シミュレータを用いて薬物の血中濃度の変化を観察し、薬物動態について理解を深める。また次回行う「処方学実習」の手順について知る。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/06/30 (月) 3時限 13:00～14:30	薬物動態実習 (2)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物の血中濃度と相関する諸因子を挙げられる。 2. 投与方法による薬物の血中濃度の変化の違いについて説明できる。 3. 生物学的半減期について説明できる。 4. 生物学的利用能について説明できる。 <p>【準備学習項目】 薬物生体内運命について説明できる。また次回行う「処方学実習」の手順を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ウ 薬物動態</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 c 薬物の体内動態 (吸収、分布、代謝、排泄)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。</p>	小野 眞紀子
2014/06/30 (月) 4時限 14:40～16:10	薬物動態実習 (2)	<p>【授業の一般目標】 シミュレータを用いて薬物の血中濃度の変化を観察し、薬物動態について理解を深める。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬物の血中濃度と相関する諸因子を挙げられる。 2. 投与方法による薬物の血中濃度の変化の違いについて説明できる。 3. 生物学的半減期について説明できる。 4. 生物学的利用能について説明できる。 <p>【準備学習項目】 薬物生体内運命について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ウ 薬物動態</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 c 薬物の体内動態 (吸収、分布、代謝、排泄)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子
2014/07/07 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験2 (講義)	<p>【授業の一般目標】 薬理学2の講義 (4月7日～6月30日) に関する筆答試験を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 薬理学2のこれまで講義の要点を記述できる。 <p>【準備学習項目】 薬理学2のこれまでの講義の要点が説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 平常試験2 (講義) は、平常試験1 (講義) よりあとの講義から約80%、平常試験1 (講義) 以前の講義から約20%出題する。実習に関する講義と実習での内容は平常試験3で出題する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理
2014/07/07 (月) 3時限 13:00～14:30	処方学実習	<p>【授業の一般目標】 安全かつ有効な薬物の処方が行える。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/07 (月) 3時限 13:00~14:30	処方学実習	<p>1. 患者の状況に即した薬物を処方できる。</p> <p>【準備学習項目】 処方せんについて説明できる。薬物の効果に影響を与える諸因子を説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ク 服薬指導</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 j 薬物投与上の注意 (禁忌、小児、妊婦、高齢者、全身疾患を有する患者)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *①医薬品の分類を説明できる。 *②毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。 *③日本薬局方を説明できる。</p>	小野 眞紀子
2014/07/07 (月) 4時限 14:40~16:10	処方学実習	<p>【授業の一般目標】 薬物の処方が理解できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 処方した薬物の情報を収集し説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬物の処方が説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ク 服薬指導</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 j 薬物投与上の注意 (禁忌、小児、妊婦、高齢者、全身疾患を有する患者)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *①医薬品の分類を説明できる。 *②毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。 *③日本薬局方を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子
2014/07/14 (月) 2時限 10:40~12:10	小児、妊婦、高齢者、有病者の薬物療法	<p>【授業の一般目標】 小児、妊婦、高齢者、有病者に対する薬物療法の留意点について知る。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 小児、妊婦、高齢者に対して薬物を投与する際の留意点について説明できる。 2. 何らかの疾患を有する患者に対して歯科治療を行う場合、薬物の使用で留意すべき点を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 小児、妊婦、高齢者の特徴について説明できる。歯科治療を行ううえで、留意すべき疾患を挙げられる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 コ 薬物適用の注意</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 j 薬物投与上の注意 (禁忌、小児、妊婦、高齢者、全身疾患を有する患者)</p>	久保山 昇

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/14 (月) 2時限 10:40~12:10	小児、妊婦、高齢者、有病者の薬物療法	【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *④薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。	久保山 昇
2014/07/14 (月) 3時限 13:00~14:30	薬理学2まとめ(1)	【授業の一般目標】 薬理学2実習に関する知識を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.薬理学2実習の内容を説明できる。 【準備学習項目】 薬理学2実習の内容を説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 a 薬物作用の種類(局所作用、全身作用、直接作用、間接作用) 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。 *④薬理作用を規定する要因(用量と反応、感受性)を説明できる。 *⑥薬物の併用(協力作用、拮抗作用、相互作用)を説明できる。 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。 C-5-4) 薬物の副作用と有害作用 *①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子
2014/07/14 (月) 4時限 14:40~16:10	薬理学2まとめ(2)	【授業の一般目標】 薬理学2講義に関する知識を理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.薬理学2講義の内容について説明できる。 【準備学習項目】 薬理学2講義の内容について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ア 薬物療法の種類 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理
2014/07/24 (木) 2時限 10:40~12:10	平常試験3(実習)	【授業の一般目標】 薬理学2の実習と実習に関連した講義(4月7日~7月14日)に関する筆答試験を行う。 【行動目標(SBOs)】 1.薬理学2の実習の要点について記述できる。 【準備学習項目】 薬理学2の実習の要点について記述できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第1実習室	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理 小野 眞紀子
2014/07/24 (木) 3時限 13:00~14:30	歯内療法薬、歯周疾患治療薬、う蝕予防薬	【授業の一般目標】 歯内療法薬、歯周疾患治療薬、う蝕予防薬について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.歯内療法薬の種類と作用機序と臨床応用を説明できる。 2.歯周疾患治療薬、う蝕予防薬の種類と作用機序と臨床応用を説明できる。 3.歯内療法薬、歯周疾患治療薬、う蝕予防薬について説明できる。 【準備学習項目】 歯内療法薬、歯周疾患治療薬、う蝕予防薬について説明できる。	三枝 禎 竹内 麗理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/07/24 (木) 3時限 13:00～14:30	歯内療法薬、歯周疾患治療薬、う蝕予防薬	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *③薬物の作用機序を説明できる。</p>	三枝 禎 竹内 麗理
2014/07/24 (木) 4時限 14:40～16:10	硬組織、唾液腺に作用する薬物	<p>【授業の一般目標】 硬組織、唾液腺に作用する薬物について理解できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 硬組織、唾液腺に作用する薬物の種類と作用機序と臨床応用を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 硬組織、唾液腺に作用する薬物について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 ヒ 薬物療法 e 薬物の作用部位</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用 *①薬物療法 (原因療法、対症療法) を説明できる。【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】</p>	三枝 禎 竹内 麗理
2014/09/08 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験4 (講義)	<p>【授業の一般目標】 薬理学2の講義 (4月7日～7月24日) に関する筆答試験を行う。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬理学2の講義の要点について記述できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬理学2の講義の要点が記述できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理
2014/09/08 (月) 3時限 13:00～14:30	薬理学2まとめ	<p>【授業の一般目標】 平常試験1～4を主な題材とし、薬理学2の要点を確認する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 薬理学2の講義における要点が説明できる。 2. 薬理学2の実習における要点が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬理学2の講義・実習項目を挙げられる。薬理学2の講義・実習における要点が説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 オ 薬物の作用部位・作用機序</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-2) 薬理作用</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/08 (月) 3時限 13:00~14:30	薬理学2まとめ	<p>*①薬物療法（原因療法、対症療法）を説明できる。【歯科臨床において適用される薬物の特徴を含む。】</p> <p>*②薬理作用の基本形式と分類を説明できる。</p> <p>*③薬物の作用機序を説明できる。</p> <p>C-5-4) 薬物の副作用と有害作用</p> <p>*①薬物の一般的副作用、有害作用と口唇・口腔・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理
2014/09/08 (月) 4時限 14:40~16:10	薬理学2まとめ	<p>【授業の一般目標】 平常試験1～4を主な題材とし、薬理学2の要点を確認する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.薬理学2の講義における要点が説明できる。 2.薬理学2の実習における要点が説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 薬理学2の講義・実習項目を挙げられる。薬理学2の講義・実習における要点が説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論X 治療 9 薬物療法 ア 薬物療法の種類</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-1) 薬物と医薬品 *①医薬品の分類を説明できる。 *②毒薬、劇薬および麻薬等の表示と保管を説明できる。 *③日本薬局方を説明できる。 C-5-2) 薬理作用 *④薬理作用を規定する要因（用量と反応、感受性）を説明できる。 *⑤薬物の連用の影響（薬物耐性、蓄積および薬物依存）を説明できる。 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態（吸収、分布、代謝、排泄）を説明できる。</p>	三枝 禎 山根 潤一 松本 裕子 竹内 麗理

医療行動科学6

年次	学期	学則科目責任者
3年次	後学期	伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学習目標 (G I O)	<p>医療は、単に疾患だけを診るのではなく、生物・心理・社会的存在として、ひとりの人間としての患者を理解し、治療にあたる全人的医療の必要性が今日求められている。また、治療の対象は慢性疾患や生活習慣病の治療と予防が主となり、患者のライフサイクルに応じたセルフケア重視へと移行しつつある。</p> <p>医療は患者と医療者が協働する時代といわれ、“patient-centered medicine”を意識した医師中心、患者中心を越えた第3の枠組みとして“relationship-centered care”という概念が提示された。“relationship-centered care”とは、様々な「関係」を中心にヘルスケアを構築するという考え方である。(宮田靖志/北海道大学病院)</p> <p>患者の視点からみた病院の診療システム、来院した初診患者の心情、医療者スタッフの態度等、患者-医療者関係についてより深く考え、自らの行動指針を整理・決定する。さらに、本講義において附属病院で「患者付添実習」を通して実際に患者や医療者と接触することで、臨床歯科医学へ興味と勉学への意欲を高める。</p>
担当教員	伊藤 孝訓、和田 守康、河相 安彦、多田 充裕、内田 貴之、※大山 篤
教科書	講義内容に関連した資料を配布する
参考図書	「人間学入門」 日本医学教育学会 南山堂 「患者と医師のコミュニケーション」 石川ひろの、武田裕子 篠原出版新社 その他随時紹介する。
実習器材	SGD はノートパソコンを使用するので、班ごとに用意すること
評価方法 (E V)	講義：授業時間内に行う平常試験 (60%)、制作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価(最終評価)する。 平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。 受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。 授業時間数の1/5 以上を欠席した場合、成績評価は0 ~ 60 点とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	附属病院の患者付添実習を通して医療について深く考えてみましょう。実習はH27. 1. 7に実施しますので、体調管理等に気を付けて下さい。 E-mail (shindan.md.ml @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/29 (月) 1時限 09:00~10:30	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、3年次で患者と接触することで患者の心情を理解修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 授業の進め方、評価について説明できる。 2. 医療者の患者に接する適切な態度を説明できる。 3. 病院における患者の心情について説明できる。 4. 患者満足度に関わる要因について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科治療の社会的特性について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-3) 患者中心のチーム医療 *①患者中心のチーム医療の意義を説明できる。</p>	伊藤 孝訓
2014/10/06 (月) 1時限 09:00~10:30	コミュニケーション・トレーニング (1)	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者との有効なコミュニケーション能力を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 患者に対する適切な態度を説明できる。 2. コミュニケーションの役割を説明できる。 3. メタコミュニケーションを説明できる。 4. 直接的、間接的の会話を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 コミュニケーションを説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p>	大山 篤

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/06 (月) 1時限 09:00～10:30	コミュニケーション・トレーニング (1)	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	大山 篤
2014/10/20 (月) 1時限 09:00～10:30	コミュニケーション・トレーニング (2) ①第一印象 ②メッセージの不一致 ③あなたが受けた医療体験	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者との有効なコミュニケーション能力を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 患者が望む歯科学生の姿を説明できる。 2. 正しい言葉遣いと挨拶ができる。 3. 第一印象が他人に与える影響を説明できる。 4. 言語・非言語・準言語コミュニケーションをできる。 5. 患者が抱く安心感への配慮ができる。 6. 患者のプライバシーへの配慮ができる。</p> <p>【準備学習項目】 患者に対する適切な態度を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/10/27 (月) 1時限 09:00～10:30	コミュニケーション・トレーニング (3) ④同情と共感の違い ⑤指導と援助の違い ⑥価値観	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者との有効なコミュニケーション能力を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 患者と医療者の立ち位置を説明できる。 2. 望ましい対人関係能力を概説できる。 3. 指導と援助の違いを説明できる。 4. 価値観の違いの存在を説明できる。 5. 上手な傾聴の仕方、質問の仕方を実施できる。</p> <p>【準備学習項目】 患者に対する適切な態度を説明できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法（言語的と非言語的）を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p>	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/11/10 (月) 1時限 09:00～10:30	体験学習前教育(1) 付添添定ロールプレイ ーシナリオ作成ー	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、有効な対人行動能力を理解修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 患者の望む歯科学生の姿を説明できる。 2. 挨拶ができる。</p>	伊藤 孝訓 内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/10 (月) 1時限 09:00～10:30	体験学習前教育(1) 付添想定ロールプレイ ーシナリオ作成ー	3. 正しい言葉遣いができる。 4. 患者の抱く安心感への配慮ができる。 5. 患者のプライバシーへの配慮ができる。 6. 患者とのコミュニケーションができる。 【準備学習項目】 患者に対する適切な態度を説明できる 【学習場所・媒体等】 SGDとロールプレイ 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/11/17 (月) 1時限 09:00～10:30	体験学習前教育(2) 付添想定ロールプレイ ーシナリオ作成ー	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、有効な対人行動能力を理解修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 患者の望む歯科学生の姿を説明できる。 2. 挨拶ができる。 3. 正しい言葉遣いができる。 4. 患者の抱く安心感への配慮ができる。 5. 患者のプライバシーへの配慮ができる。 6. 患者とのコミュニケーションができる。 【準備学習項目】 患者に対する適切な態度を説明できる。 【学習場所・媒体等】 SGDとロールプレイ 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/12/01 (月) 1時限 09:00～10:30	体験学習前教育(3) 付添想定ロールプレイ ーロールプレイ発表ー	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、有効な対人行動能力を理解修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 患者の望む歯科学生の姿を説明できる。 2. 挨拶ができる。 3. 正しい言葉遣いができる。 4. 患者の抱く安心感への配慮ができる。 5. 患者のプライバシーへの配慮ができる。 6. 患者とのコミュニケーションができる。 【準備学習項目】 患者に対する適切な態度を説明できる。 【学習場所・媒体等】 SGDと発表 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム	伊藤 孝訓 内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/01 (月) 1時限 09:00～10:30	体験学習前教育(3) 付添想定ロールプレイ ーロールプレイ発表ー	イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/12/08 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験 1	【学習方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 301教室	伊藤 孝訓 内田 貴之
2014/12/15 (月) 1時限 09:00～10:30	付属病院 (ソフト面)	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を实践するために、付属病院におけるスタッフやソフトウェアに関する知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 付属病院の診療システムを説明できる。 2. 来院患者の動態を説明できる。 3. 歯科医療に関わる専門職を説明できる。 【準備学習項目】 歯科医療の構造を概説できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	和田 守康
2014/12/22 (月) 1時限 09:00～10:30	付属病院 (ハード面)	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を实践するために、付属病院における各種診療室・検査室等の配置構造に関する知識を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 付属病院の配置図を説明できる。 2. 患者の流れを説明できる。 3. 歯科医療に関わる専門職を説明できる。 【準備学習項目】 病院コンポーネント、配置を説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	内田 貴之
2014/12/25 (木) 1時限 09:00～10:30	休講1 振替日：平成27年 1月7日(水) 9:00-16:10 患者付添実習と振り返り	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を实践するために、患者付添実習を通して“patient-centered medicine”の考えを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 医療系大学生として具有すべきマナーや態度を实践できる。 2. 口腔疾患に悩む患者の気持ちを理解できる。 3. よき歯科医となるべき勉強する動機付けに役立てることができる。 4. 医療現場におけるコミュニケーション力の重要性を理解できる。 5. 患者と共に大学病院の外来診療システムをみて、受診上の利点や問題点を知ることができる。 6. KJ法を用いて、問題点をまとめることができる。 【準備学習項目】 1. 付属病院の配置図を説明できる。 2. 患者の流れを説明できる。	伊藤 孝訓 和田 守康 河相 安彦 多田 充裕 内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/25 (木) 1時限 09:00～10:30	休講1 振替日：平成27年 1月7日(水) 9:00-16:10 患者付添実習と振 り返り	3. 歯科医療に関わる専門職を説明できる。 4. 適切な患者対応について説明できる。 【学習場所・媒体等】 付添実習：付属病院 S G D (K J法によるまとめ)：第2実習室 【学習方略 (L S)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 付属病院、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 和田 守康 河相 安彦 多田 充裕 内田 貴之
2015/01/19 (月) 1時限 09:00～10:30	医療行動科学5と 6の振り返り	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を实践するために、医療行動科学5・6を振り返り、対人関係能力を修得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 医療行動科学5と6で学んだ内容について説明できる。 2. relationship-centered careについて説明できる。 3. 患者の個別性や価値観について説明できる。 4. 体験から得た知識を自分の行動に生かすことができる。 【準備学習項目】 病院実習で得た知識を説明できる。 【学習場所・媒体等】 S G D 【学習方略 (L S)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2015/01/26 (月) 1時限 09:00～10:30	患者付添実習のま とめ	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を实践するために、患者付添実習、医療行動科学5・6のまとめを行い、対人関係能力を修得する。 【行動目標 (S B O s)】 1. 患者付添実習について説明できる。 2. relationship-centered careについて説明できる。 3. 患者の個別性や価値観について説明できる。 4. 体験から得た知識を自分の行動に生かすことができる。 【準備学習項目】 病院実習で得た知識を説明できる。 【学習場所・媒体等】 S G Dと発表 【学習方略 (L S)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項	伊藤 孝訓 内田 貴之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/26 (月) 1時限 09:00～10:30	患者付添実習のまとめ	A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之
2015/02/02 (月) 1時限 09:00～10:30	休講2 振替日：平成27年 1月7日(水) 9:00-16:10 患者付添実習と振り返り	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者付添実習を通して“patient-centered medicine”の考えを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 医療系大学生として具有すべきマナーや態度を実践できる。 2. 口腔疾患に悩む患者の気持ちを理解できる。 3. よき歯科医となるべき勉強する動機付けに役立てることができる。 4. 医療現場におけるコミュニケーション力の重要性を理解できる。 5. 患者と共に大学病院の外来診療システムをみて、受診上の利点や問題点を知ることができる。 6. KJ法を用いて、問題点をまとめることができる。 【準備学習項目】 1. 付属病院の配置図を説明できる。 2. 患者の流れを説明できる。 3. 歯科医療に関わる専門職を説明できる。 4. 適切な患者対応について説明できる。 【学習場所・媒体等】 付添実習：付属病院 SGD(KJ法によるまとめ)：第2実習室 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 付属病院、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 和田 守康 河相 安彦 多田 充裕 内田 貴之
2015/02/05 (木) 1時限 09:00～10:30	平常試験2	【学習方略(LS)】 その他 【場所(教室/実習室)】 301教室	伊藤 孝訓 内田 貴之
2015/02/09 (月) 1時限 09:00～10:30	まとめ	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、患者付添実習を通して“patient-centered medicine”の考えを修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 医療コミュニケーションの患者背景を説明できる。 2. 医療現場におけるコミュニケーション力の重要性を理解できる。 3. 心理に基づく患者-医療者行動を説明できる。 【準備学習項目】 医療行動科学5とこれまでの医療行動科学6の講義を説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム イ 歯科医師と患者・家族との関係 a 患者中心の歯科医療、インフォームドコンセント、セカンドオピニオン 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-3 歯科医師の責務 *①患者との信頼関係を築くことができる。 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。 A-7 対人関係能力 A-7-1) コミュニケーション *①コミュニケーションの目的と技法(言語的と非言語的)を説明できる。【患者本人、保護者および介護者への説明を含む。】 *②信頼関係を確立するためのコミュニケーションの条件を説明できる。 *③コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。	伊藤 孝訓 内田 貴之

医療統計学

年次	学期	学則科目責任者
3年次	後学期	那須 郁夫 (公衆予防歯科学)

学習目標 (G I O)	<p>将来歯科医師として、学術論文を読み解くとき、歯科医学の研究を行うとき、歯科医療に従事するとき、公衆衛生の分野で仕事を進めるとき、統計学の素養を持つことは大切なことである。いずれの場合においても、目の前の問題を解決するには、順に、データを取ること、分析すること、それをもとに仮説を立てること、仮説を検証すること、結果を吟味することといった、一連の問題解決プロセスをきちんと進めなければならない。そのために、統計学を駆使した、数量的把握、数量的比較、数値にもとづく仮説の設定、数量化された検証結果を得るための手だてを知っていなくてはならないからである。</p> <p>そのための学問分野を「疫学」という。この科目では、日本疫学会が入門書として発行している疫学の教科書を使って、疫学の基礎を丁寧に学ぶことにしようと思う。併せて、我が国において公衆衛生の仕事に従事する人たちが、研修コースで使うテキストで、衛生統計の集計法、統計技法の基礎を卓上電子計算機(電卓)を使って、演習の形で学んでもらおうとも思う。</p> <p>この科目を受講することにより、将来、研究、臨床、公衆衛生のいずれの分野に進んだとしても、科学的に物ごとの本質をとらえるときに必要な数量によるものの見方の基本を身につけることができるはずである。</p>
担当教員	那須 郁夫
教科書	①はじめて学ぶやさしい疫学 一疫学への招待— 改訂第2版 日本疫学会監修 南江堂 ②厚生統計テキストブック 第5版 厚生統計協会 厚生統計協会
実習器材	毎回持参すべきものがある。(掲示するので、よく見ること。)
評価方法 (E V)	演習時間中に作成した表、グラフなどを授業終了時に提出して評価を受ける。提出物の右下に、バーコードラベルを貼付のこと。欠席した場合は、次週までに作成の上提出すること。 成績評価は、試験(おおむね50%)、提出物(おおむね50%)、および受講態度等を勘案し総合的に評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	1年次で学んだ数理学としての統計学を基礎に、この科目では、数量データを採ること、それをまとめて表現することの楽しさも知ってほしい。将来、実務上はコンピュータソフトウェアを多用することになると思うが、基礎的なことからは、むしろ電卓で計算して「体得」したほうが、必要な概念がよく身に着くと信じている。 オフィスアワーは特に設けない。気軽に訪ねてほしい。また、NU-mailは授業担当者にアプローチするのに有効な手段である。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/03 (金) 1時限 09:00~10:30	講義：疫学とはなにか / 演習：集計表の作り方、最大値、最小値、レンジ	<p>【授業の一般目標】 講義：疫学とは何かについて説明できる。/ 演習：集計表の作り方について説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 講義：疫学の歴史 / 演習：集計表の作り方、最大値、最小値、レンジ</p> <p>【準備学習項目】 講義：疫学とは何かについて説明できる。/ 演習：集計表の作り方について説明できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ア 疫学の概念</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *①疫学とEBMの概念を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/10/10 (金) 1時限 09:00~10:30	講義：疫学が取り扱う分野 / 演習：ヒストグラムと度数分布、平均値	<p>【授業の一般目標】 講義：疫学が取り扱う範囲の説明ができる。/ 演習：ヒストグラムの説明ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 講義：疫学の功績の具体例 / 演習：度数分布表を作成し、ヒストグラムを描く</p> <p>【準備学習項目】 講義：疫学が取り扱う範囲の説明ができる。/ 演習：ヒストグラムの説明ができる。</p>	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/10 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：疫学が取り扱う分野 / 演習：ヒストグラムと度数分布、平均値	<p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ア 疫学の概念</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/10/17 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：疫学で用いられる指標① / 演習：相対度数分布	<p>【授業の一般目標】 講義：疫学で用いられる指標の定義の説明ができる。/ 演習：相対度数分布の説明ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 講義：割合、率、比の意味 / 演習：度数分布と相対度数分布のグラフ</p> <p>【準備学習項目】 講義：疫学で用いられる指標の定義の説明ができる。/ 演習：相対度数分布の説明ができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 イ 疫学指標</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/10/24 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：疫学で用いられる指標② / 演習：累積度数分布、累積相対度数分布	<p>【授業の一般目標】 講義：疫学で用いる指数の説明ができる。/ 演習：累積度数分布の説明ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 講義：疫学指数 / 演習：累積度数分布、累積相対度数分布グラフ</p> <p>【準備学習項目】 講義：疫学で用いる指数の説明ができる。/ 演習：累積度数分布の説明ができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 イ 疫学指標</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/10/31 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：疫学で用いられる指標③ / 演習：パーセンタイル値、中央値、四分位値、分布の比較	<p>【授業の一般目標】 講義：疫学で用いる指数の説明ができる。/ 演習：パーセンタイル値の説明ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 講義：疫学指数 / 演習：累積相対度数分布、パーセンタイル値、中央値、四分位値</p> <p>【準備学習項目】 講義：疫学で用いる指数の説明ができる。/ 演習：パーセンタイル値の説明ができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p>	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/31 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：疫学で用いられる指標③ / 演習：パーセントイル値、中央値、四分位値、分布の比較	演習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 イ 疫学指標 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。	那須 郁夫
2014/11/07 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：疫学的方法論① / 演習：標準偏差①	【授業の一般目標】 講義：疫学的方法の説明ができる。/演習：標準偏差の説明ができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 講義：母集団と標本概念 / 演習：標準偏差の意味 【準備学習項目】 講義：疫学的方法の説明ができる。/演習：標準偏差の説明ができる。 【学習方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ケ 歯科領域における疫学調査 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-2) 保健医療統計 *③調査方法と統計的分析法を説明できる。	那須 郁夫
2014/11/14 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：疫学的方法論② / 演習：標準偏差②	【授業の一般目標】 講義：疫学的方法の説明ができる。/演習：標準偏差の説明ができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 講義：疫学的方法の研究の手順と進め方 / 演習：標準偏差の意味 【準備学習項目】 講義：疫学的方法の説明ができる。/演習：標準偏差の説明ができる。 【学習方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ケ 歯科領域における疫学調査 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-2) 保健医療統計 *③調査方法と統計的分析法を説明できる。	那須 郁夫
2014/11/21 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：スクリーニングの考え方 / 演習：標準偏差③	【授業の一般目標】 講義：スクリーニングの説明ができる。/演習：標準偏差の導出法の説明ができる。 【行動目標（SBOs）】 1. 講義：スクリーニングの定義、目的 / 演習：標準偏差の導出法 【準備学習項目】 講義：スクリーニングの説明ができる。/演習：標準偏差の導出法の説明ができる。 【学習方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/21 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：スクリーニングの考え方 / 演習：標準偏差③	<p>歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 キ 歯科集団検診</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *②スクリーニング検査を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/11/28 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：記述疫学 / 演習：正規分布とその特徴①	<p>【授業の一般目標】 講義：疫学における記述的研究の説明ができる。/演習：正規分布とは何かの説明ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 講義：記述的研究の種類 /演習：正規分布のグラフとその概念</p> <p>【準備学習項目】 講義：疫学における記述的研究の説明ができる。/演習：正規分布とは何かの説明ができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 オ 観察研究</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-2) 保健医療統計 *③調査方法と統計的分析法を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/12/05 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：分析疫学① 横断研究 / 演習：正規分布とその特徴②	<p>【授業の一般目標】 講義：疫学における分析的研究の説明ができる。/演習：正規分布の性質の説明ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 講義：分析的研究 (横断研究) /演習：正規分布の性質</p> <p>【準備学習項目】 講義：疫学における分析的研究の説明ができる。/演習：正規分布の性質の説明ができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 エ 因果関係の成立</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-2) 保健医療統計 *③調査方法と統計的分析法を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/12/12 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：分析疫学② 症例対照研究 / 演習：散布図の作成法	<p>【授業の一般目標】 講義：疫学における分析的研究の説明ができる。/演習：相関関係の説明ができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 講義：分析的研究 (症例・対照研究) /演習：散布図の作成</p> <p>【準備学習項目】 講義：疫学における分析的研究の説明ができる。/演習：相関関係の説明ができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防</p>	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/12 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：分析疫学② 症例対照研究 / 演習：散布図の作成法	1 0 疫学とその応用 エ 因果関係の成立 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-2) 保健医療統計 *③調査方法と統計的分析法を説明できる。	那須 郁夫
2014/12/19 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：分析疫学③ 症例対照研究 / 演習：相関係数と回帰直線	【授業の一般目標】 講義：疫学における分析的研究の説明ができる。/演習：相関関係の強さの説明ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 講義：分析的研究 (症例・対照研究) / 演習：相関係数、回帰直線 【準備学習項目】 講義：疫学における分析的研究の説明ができる。/演習：相関関係の強さの説明ができる。 【学習方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 1 0 疫学とその応用 エ 因果関係の成立 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-2) 保健医療統計 *③調査方法と統計的分析法を説明できる。	那須 郁夫
2015/01/09 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：介入研究 / 演習：分割表、 生命表の原理	【授業の一般目標】 講義：疫学における介入的研究の説明ができる。/演習：分割表、寿命の説明ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 講義：介入的研究 / 演習：2×2分割表の統計学的処理法、生命表 【準備学習項目】 講義：疫学における介入的研究の説明ができる。/演習：分割表、寿命の説明ができる。 【学習方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 1 0 疫学とその応用 カ 介入研究 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-2) 保健医療統計 *③調査方法と統計的分析法を説明できる。	那須 郁夫
2015/01/16 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：因果関係と 交絡因子 / 演習： 統計学的検定の初 歩①	【授業の一般目標】 講義：疫学における因果関係の説明ができる。/演習：統計学的仮説と検定の概念の説明ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 講義：原因と結果の関連や関係 / 演習：統計学的仮説と検定 【準備学習項目】 講義：疫学における因果関係の説明ができる。/演習：統計学的仮説と検定の概念の説明ができる。 【学習方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 1 0 疫学とその応用 エ 因果関係の成立	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/16 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：因果関係と 交絡因子 /演習： 統計学的検定の初 歩①	【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-2) 保健医療統計 *③調査方法と統計的分析法を説明できる。	那須 郁夫
2015/01/23 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：疫学研究と 医療倫理 /演習： 統計学的検定の初 歩②	【授業の一般目標】 講義：疫学における倫理的配慮の説明ができる。/演習：統計学的検定の説明 ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 講義：インフォームドコンセントの歴史 /演習：分布の違いと平均値の差 の検定 【準備学習項目】 講義：疫学における倫理的配慮の説明ができる。/演習：統計学的検定の説明 ができる。 【学習方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 医の倫理と歯科医師のプロフェッショナリズム ア 医の倫理、生命倫理 a 患者の人権と医療 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-2 医の倫理 *①医の倫理と生命倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。 *②医の倫理に関する規範・国際規範 (ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、 ヘルシンキ宣言等)を概説できる。 A-4 インフォームドコンセント *①インフォームドコンセントの意義と重要性を説明できる。	那須 郁夫
2015/01/30 (金) 1時限 09:00～10:30	講義：平常試験/ 演習：平常試験	【授業の一般目標】 講義：全範囲を出題する。/演習：全範囲を出題する。 【準備学習項目】 講義：全範囲を出題する。/演習：全範囲を出題する。 【学習方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 301教室	那須 郁夫

栄養学

年次	学期	学則科目責任者
3年次	後学期	3年次学年教育主任

学習目標 (GIO)	わが国は少子高齢化が進み、2009年の日本人の平均寿命は男性79.29歳、女性86.0歳（世界1位）で、高齢者人口は22.1%（2008年）であった。一方、健康寿命は男性72.3歳、女性77.7歳（世界1位、2003年WHO）であり、健康寿命を平均寿命に近づけるための方策を栄養学的に考えることは非常に重要である。生活習慣病に罹患する者のほとんどが以前は高齢者であったが、近年では、若年層で多く認められることから、母体の胎児環境が遺伝因子に影響し、生活習慣病の発症に関与する可能性が考えられる。少子高齢化を考える時、より健康な多くの子どもを産み育てる社会を作り、健康寿命を延ばして、高齢期を健康で生きがいのある生活が送れるように栄養学的に考えることを目標とする。
担当教員	平塚 浩一、吉垣 純子、清水 武彦、清水 邦彦、葛西 一貴、河相 安彦、郡司 敦子、近藤 壽郎、伊藤 耕、坂巻 達夫、牧山 康秀、小方 頼昌
教科書	・2年次で使用した生化学および生理学の教科書 ・講義内容に関連した資料を配布する。
参考図書	基礎栄養学（第3版） 坂井堅太郎 化学同人 応用栄養学（改訂7版） 寺田和子 ほか 南山堂 超入門 生化学・栄養学（看護学生超入門シリーズ） 穂苅 茂、小山 岩雄、長谷川 正博 照林社 シンプル生化学 林典夫、廣野治子 南江堂
実習器材	なし
評価方法 (EV)	平常試験によって評価する。
学生へのメッセージ オフィスアワー	教科書は、2年次で使用した生化学および生理学の教科書とする。 解らないことはそのまま放置せずに、質問すること。（オフィスアワー16:30~17:30 各担当の医局にて）

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/30 (火) 1時限 09:00~10:30	五大栄養素の分類・構造・特徴	<p>【授業の一般目標】 基礎栄養学を理解するために五大栄養素の基本的な分類、構造および特徴を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 三大栄養素と五大栄養素の違いを説明できる。 2. タンパク質を構成するアミノ酸の構造、性状、および必須アミノ酸の意味を説明できる。 3. 炭水化物を分類し具体的な種類を説明できる。 4. 脂質の構造と脂肪酸の種類・特徴を説明できる。 5. ビタミンの種類とその欠乏症を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 食事の際に口にする食物を五大栄養素で分類してみる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントを配布する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子の基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *①アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 *②糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 *③脂質の構造、機能および代謝を説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/10/07 (火) 1時限 09:00~10:30	エネルギー代謝と消化酵素	<p>【授業の一般目標】 ATP産生を理解するために、五大栄養素の関わりとエネルギー代謝経路を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 炭水化物の代謝経路を説明できる。 2. β酸化を説明できる。 3. アミノ酸の脱アミノ反応の意義を説明できる。 4. 尿素経路を説明できる。 5. アデノシン三リン酸がエネルギーになる理由を説明できる。</p>	平塚 浩一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/07 (火) 1時限 09:00～10:30	エネルギー代謝と消化酵素	<p>6. 解糖系、TCA回路、電子（水素）伝達系、尿素回路の場所を説明できる。 7. 三大栄養素が小腸から吸収されるまでの消化酵素を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 消化酵素の種類と基質および合成器官と分泌場所を調べておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントを配布する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 人体の正常構造と機能 1 細胞、組織 ア 生体を構成する基本物質</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 人体の正常構造・機能 ア 全身の構造・機能 d 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-1 生命の分子的基盤 C-1-1) 生命を構成する基本物質 *①アミノ酸とタンパク質の構造、機能および代謝を説明できる。 *②糖質の構造、機能および代謝を説明できる。 *③脂質の構造、機能および代謝を説明できる。 *④生体内におけるエネルギー利用を説明できる。 *⑤酵素の機能と主な代謝異常を説明できる。</p>	平塚 浩一
2014/10/14 (火) 1時限 09:00～10:30	糖代謝異常と脂質代謝異常	<p>【授業の一般目標】 糖代謝異常と脂質代謝異常の症状とメカニズムを理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 食品のエネルギーが計算できる。 2. 基礎代謝量に影響する要因を説明できる。 3. 糖代謝異常としての糖尿病を説明できる。 4. 脂質代謝異常の症状と原因を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 糖代謝と脂質代謝の経路を復習しておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントを配布する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 14 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 i 代謝障害、萎縮、壊死、壊疽</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ケ 内分泌、代謝、栄養</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3)-(8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】</p>	吉垣 純子
2014/10/21 (火) 1時限 09:00～10:30	ビタミンの役割と欠乏症	<p>【授業の一般目標】 ビタミンの人体における役割を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 人体におけるビタミンの役割を説明できる。 2. 脂溶性ビタミンと水溶性ビタミンを分けられる。 3. ビタミン欠乏による症状を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 酵素と補酵素の関係を調べておく。</p> <p>【学習場所・媒体等】 プリントを配布する。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	吉垣 純子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/21 (火) 1時限 09:00～10:30	ビタミンの役割と 欠乏症	301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 主要症候 1 全身的症候 ケ 内分泌、代謝、栄養 【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-3) 身体を構成する組織、器官 C-2-3) - (8) 内分泌系 *①各内分泌器官の構造と機能およびホルモンを説明できる。【ホルモンの特徴と機能、内分泌系と神経系との機能相関を含む。】	吉垣 純子
2014/10/28 (火) 1時限 09:00～10:30	成長発育と栄養 小児期の食育	【授業の一般目標】 小児期の適切な栄養摂取を理解するために、乳児期の栄養と小児期の食育について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 妊娠授乳期の栄養を説明できる。 2. 乳児期の栄養を説明できる。 3. 小児期の食育について説明できる。 【準備学習項目】 成長発育と栄養 小児期の食育 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 母子保健 b 妊産婦・乳幼児の保健指導 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 ア 人体の成長発育 b 発育期の特徴 歯科医学総論 総論Ⅴ 発生、成長、発達、加齢 1 人体の発生・成長・発達・加齢 エ 新生児期、乳児期 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-6) 口腔保健 E-1-6) - (2) 歯科保健指導 ④適切な食事指導（栄養指導）を実施できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *①小児の身体発育、精神発達の特徴と評価法を説明できる。 E-1 診療の基本 E-1-6) 口腔保健 E-1-6) - (2) 歯科保健指導 ⑦ライフステージに応じた食育について説明できる。	清水 武彦
2014/11/04 (火) 1時限 09:00～10:30	小児齲蝕とシュガー コントロール	【授業の一般目標】 小児期の齲蝕抑制を理解するために、齲蝕と砂糖摂取の関係について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 齲蝕と砂糖摂取の関係について説明できる。 2. 飲料による齲蝕を説明できる。 3. シュガーコントロールについて説明できる。 【準備学習項目】 小児齲蝕とシュガーコントロール 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ケ 保健指導 a 栄養と食生活 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 ア 齲蝕の原因 オ 齲蝕の予防手段 各論Ⅲ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 小児の歯の硬組織疾患	清水 邦彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/04 (火) 1時限 09:00～10:30	小児齲蝕とシュガーコントロール	ウ 齲蝕のリスクファクター 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-6) 口腔保健 E-1-6) - (2) 歯科保健指導 ④適切な食事指導(栄養指導)を実施できる。 ⑤生活習慣に関して適切に指導できる。 E-4 歯科医療の展開 E-4-2) 小児の歯科治療 *②乳歯と幼若永久歯のう蝕の特徴、う蝕予防を説明できる。	清水 邦彦
2014/11/11 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科矯正と食育	【授業の一般目標】 子供たちの口腔機能の向上が不正咬合予防に役立つことを理解するために、口腔機能と口腔形態との関わりを理解し、子供たちの口腔の健康に関心を高める。 【行動目標(SBOs)】 1. 正しく噛むことの重要性について説明できる。 2. 顎骨・歯列形態の成長変化について概説できる。 3. 食生活の変化について説明できる。 4. 現代の子供たちの歯並びの問題点を列挙できる。 【準備学習項目】 咀嚼筋群について理解する。 【学習場所・媒体等】 解剖学教科書 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 b 上顎骨・下顎骨の成長発育の特徴 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 4 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の成長発育 ウ 歯列・咬合の成長発育 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 3 不正咬合の予防・管理 イ 不正咬合発生の予防 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。	葛西 一貴
2014/11/18 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科矯正と食育	【授業の一般目標】 子供たちの口腔機能の向上が不正咬合予防に役立つことを理解するために、口腔機能と口腔形態との関わりを理解し、子供たちの口腔の健康に関心を高める。 【行動目標(SBOs)】 1. 正しく噛むことの重要性について説明できる。 2. 顎骨・歯列形態の成長変化について概説できる。 3. 食生活の変化について説明できる。 4. 現代の子供たちの歯並びの問題点を列挙できる。 【準備学習項目】 咀嚼筋群について理解する。 【学習場所・媒体等】 解剖学教科書 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 7 人体の発生・成長・発達・加齢 イ 歯・口腔・顎・顔面の発生・成長発育 b 上顎骨・下顎骨の成長発育の特徴 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論V 発生、成長、発達、加齢 4 歯・口腔・顎・顔面・頭蓋の成長発育 ウ 歯列・咬合の成長発育 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 3 不正咬合の予防・管理 イ 不正咬合発生の予防	葛西 一貴

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/18 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科矯正と食育	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-1) 不正咬合 *④不正咬合の原因、種類、診察、検査、診断、治療および予防法を説明できる。</p>	葛西 一貴
2014/11/25 (火) 1時限 09:00～10:30	義歯装着者の食の摂取と栄養	<p>【授業の一般目標】 高齢義歯装着者の食の自立や支援ができるために、義歯装着者の食摂取および心理的背景に関する知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 果物および野菜の必要摂取量を説明できる。 2. 果物と野菜の全身への影響を説明できる。 3. 義歯装着者の食事摂取の特徴を説明できる。 4. 義歯装着者の食事摂取に影響する因子を列挙できる。 5. 関連する文献を吟味できる。</p> <p>【準備学習項目】 世界保健機構 (WHO) のホームページを参照して高齢者の食の傾向を予習する。 http://www.who.int/nutrition/topics/ageing/en/index1.html WHOの資料をダウンロードして内容を抄読する</p> <p>【学習場所・媒体等】 メディア・文献の配布・グループワーク</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 12 国民栄養と食品保健 カ 食の機能と口腔保健</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 6 保健指導 エ 生活習慣指導 カ ライフステージと口腔機能育成・増進指導 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 12 国民栄養と食品保健 ア 国民栄養の現状 イ 食事摂取基準 ウ 食生活指針</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯) *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。</p>	河相 安彦
2014/12/02 (火) 1時限 09:00～10:30	義歯装着者の食の摂取と栄養	<p>【授業の一般目標】 高齢義歯装着者の食の自立や支援ができるために、義歯装着者の食摂取および心理的背景に関する知識および技能を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 無歯顎者の食の傾向について説明で知る。 2. 加齢に伴う唾液の変化について説明できる。 3. 高齢者の味覚について説明できる。 4. 義歯装着者の栄養障害に着いて述べるができる。</p> <p>【準備学習項目】 無歯顎補綴治療学p36～37, 80～81</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 12 国民栄養と食品保健 ア 国民栄養の現状</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 12 国民栄養と食品保健 イ 食事摂取基準 ウ 食生活指針</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-4) 歯質欠損と歯の欠損の診断と治療 E-3-4) - (2) 可撤性義歯 (部分床義歯、全部床義歯)</p>	河相 安彦 郡司 敦子

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/02 (火) 1時限 09:00～10:30	義歯装着者の食の 摂取と栄養	<p>*①歯の欠損に伴う障害の種類と病態を説明できる。 *②可撤性義歯の種類、目的および意義を説明できる。</p>	河相 安彦 郡司 敦子
2014/12/09 (火) 1時限 09:00～10:30	入院患者の栄養補 助	<p>【授業の一般目標】 入院患者、周術期患者の栄養補助の必要性、栄養補助の理論と実際を説明できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 入院患者、周術期患者の栄養補助の必要性を説明できる 2. 患者の栄養状態の評価法が説明できる 3. 補助栄養の組成を説明できる 4. 栄養補助の方法が選択できる</p> <p>【準備学習項目】 一日の必要栄養について説明できる</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 フ 栄養療法 a 経口栄養、経静脈栄養、経管栄養 (経腸栄養、胃瘻<PEG>)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-6) 口腔保健 E-1-6) - (2) 歯科保健指導 ④適切な食事指導 (栄養指導) を実施できる。</p>	牧山 康秀
2014/12/16 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科における栄養 管理方法 口腔外科手術の術 後栄養管理 口腔癌患者の栄養 管理 歯性感染症患者の 栄養管理	<p>【授業の一般目標】 口腔外科的疾患に対する治療前後の栄養管理を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科における栄養管理法について理解できる。 2. 口腔外科手術の術後栄養管理について説明できる。 3. 口腔癌患者の栄養管理について理解できる。 4. 歯性感染症患者の栄養管理について理解できる。</p> <p>【準備学習項目】 経管栄養食の組成や特徴を理解する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 フ 栄養療法 a 経口栄養、経静脈栄養、経管栄養 (経腸栄養、胃瘻<PEG>)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-3) 薬物の適用と体内動態 *①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を説明できる。</p>	伊藤 耕
2015/01/13 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科における栄養 管理方法 口腔外科手術の術 後栄養管理 口腔癌患者の栄養 管理 歯性感染症患者の 栄養管理	<p>【授業の一般目標】 口腔外科的疾患に対する治療前後の栄養管理を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科における栄養管理について説明できる。 2. 口腔外科手術の術後栄養管理について説明できる。 3. 口腔癌患者の栄養管理について説明できる。 4. 歯性感染症患者の栄養管理について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 経鼻栄養管挿入の手技、注意事項を理解する。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 15 治療の基礎・基本手技 フ 栄養療法 a 経口栄養、経静脈栄養、経管栄養 (経腸栄養、胃瘻<PEG>)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-5 生体と薬物 C-5-3) 薬物の適用と体内動態</p>	伊藤 耕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/13 (火) 1時限 09:00～10:30	歯科における栄養管理方法 口腔外科手術の術後栄養管理 口腔癌患者の栄養管理 歯性感染症患者の栄養管理	*①薬物の適用方法の種類とその特徴を説明できる。 *②薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)を説明できる。	伊藤 耕
2015/01/20 (火) 1時限 09:00～10:30	生活習慣病 肥満 栄養バランス 食事指導	【授業の一般目標】 生活習慣病について理解する。 肥満について理解する。 日本人の食事内容の変遷について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 食事内容の変化と生活習慣病の関連を説明できる。 2. 体重と疾患の関係を説明できる。 3. 適切な食事指導ができる。 【準備学習項目】 生活習慣病について説明できる。 肥満について説明できる。 日本人の食事内容の変遷について説明できる。 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 e メタボリックシンドローム 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 1 健康の保持・増進と予防 イ 健康づくり(栄養、運動、休養) ウ 禁煙指導・支援 5 成人保健、成人歯科保健 イ 特定健康診査、特定保健指導 12 国民栄養と食品保健 ア 国民栄養の現状 イ 食事摂取基準 ウ 食生活指針 【コアカリキュラム】	坂巻 達夫
2015/01/27 (火) 1時限 09:00～10:30	歯周病と全身疾患	【授業の一般目標】 歯周病と全身疾患の関係について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 糖尿病と歯周病の関係について学ぶ 2. 歯周組織再生に関与する骨代謝について理解する 【準備学習項目】 臨床歯周病学(第2版)医歯薬出版 第20章ペリオドンタルメディスンを熟読する。 【学習場所・媒体等】 301教室、板書およびパワーポイント 【学習方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論III 歯・歯髄・歯周組織の疾患 8 成人の歯周病 コ 歯周病と全身疾患との関わり 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論VI 高齢者の歯科診療 3 歯周病 ウ 歯周病と全身疾患の関わり 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 *④歯周疾患の病因と病態を説明できる。	小方 頼昌
2015/02/03 (火) 1時限 09:00～10:30	平常試験	【授業の一般目標】 栄養学の授業内容をまとめ、理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 適切な食事指導を実施できる 2. ライフステージに合わせた食育を説明できる	小方 頼昌 平塚 浩一 吉垣 純子 清水 武彦 河相 安彦 葛西 一貴 伊藤 耕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/03 (火) 1時限 09:00～10:30	平常試験	<p>【準備学習項目】 今まで受けた栄養学の授業内容をまとめる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 1 健康の保持・増進と予防 イ 健康づくり（栄養、運動、休養）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 e メタボリックシンドローム</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学教育 E-1 診療の基本 E-1-6) 口腔保健 E-1-6) - (2) 歯科保健指導 ④適切な食事指導（栄養指導）を実施できる。 ⑦ライフステージに応じた食育について説明できる。</p>	坂巻 達夫 牧山 康秀

歯科医学総合講義 3

年次	学期	学則科目責任者
3年次	後学期	3年次学年教育主任

学習目標 (G I O)	社会の要請に応える創造性と人間性豊かで自律する全人的な歯科医師となるため、これまで講義や実習で学んだ内容を統合し、松戸歯学部 student doctor として必要な態度・知識・技能を習得する。
担当教員	山根 潤一、木場 秀夫、加藤 治、後藤田 宏也、玉村 亮、林 幸男、神谷 和伸、若見 昌信、鈴木 英明、神尾 直人、中山 洋平、池島 厚、小方 頼昌
教科書	指定なし
実習器材	なし
評価方法 (E V)	総合試験の結果に、平常試験の結果を加味できる。
学生へのメッセージ オフィスアワー	2年次および3年次で学習した授業科目についてグループごとに担当科目を決め、問題を作成する。その後、グループで作成された問題の内容をブラッシュアップし、グループとしての最終問題を決定する。出来上がった問題を全体で試験し、グループで解説を加える。上記工程を3回行い、グループ学習の重要性、問題点の抽出、解決の過程を理解し、自学自習の重要性を理解する。質問は、授業担当者にメールで行う。教科書および参考図書は、2年次及び3年次の各科目で使用した教科書および参考書を使用する。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/02 (木) 1時限 09:00~10:30	歯科医学総合講義 3 総論 試験 (1) のためのグループ分け	<p>【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. グループ学習の重要性を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 2年次で学んだ内容を復習する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室その他</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 b チームの調整技能</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。</p>	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌
2014/10/09 (木) 1時限 09:00~10:30	試験 (1) の問題 作成 グループによる問題 作成	<p>【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 情報収集、選択の重要性を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 2年次での学習内容の必須事項を列挙できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室その他</p> <p>【学習方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 a リーダーシップ</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備</p>	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/09 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(1)の問題作成 グループによる問題作成	①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚昌 小方 頼昌
2014/10/16 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(1)の問題作成 グループによる問題作成 試験(1)の問題解説の作成	【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1.問題点の抽出、解決の過程を理解する。 【準備学習項目】 問題作成の要領を理解する。 【学習場所・媒体等】 301教室その他 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 エ コンサルテーション a 自己責任と自分の限界 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚昌 小方 頼昌
2014/10/23 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(1)実施 試験(1)の問題解説 試験(2)のためのグループ分け	【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1.自学自習の重要性を理解する。 【準備学習項目】 2年次で学んだ内容に対する試験に対応できる。 【学習場所・媒体等】 301教室その他 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 オ 社会生活 f 自立 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚昌 小方 頼昌
2014/10/30 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(1)の問題解説 グループによる問題解説 試験(2)問題作成	【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1.問題点の抽出、解決の過程を理解する。 【準備学習項目】 試験の内容を理解し解説できる。 【学習場所・媒体等】 301教室その他 【学習方略(LS)】 演習	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚昌 小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/30 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(1)の問題 解説 グループによる問 題解説 試験(2)問題作 成	<p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 b チームの調整技能</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。</p>	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 亮 田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌
2014/11/06 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(1)の問題 解説 試験(2)の問題 作成 グループによる問 題解説と試験問題 作成	<p>【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 情報収集、選択の重要性を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 3年次前期で学んだ内容を整理する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室その他</p> <p>【学習方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 a リーダーシップ</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。</p>	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 亮 田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌
2014/11/13 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(2)の問題 作成 試験(2)の問題 解説の作成	<p>【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 問題点の抽出、解決の過程を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 3年次前期で学んだ内容から問題を抽出する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室その他</p> <p>【学習方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 b チームの調整技能</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。</p>	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 亮 田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌
2014/11/20 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(2)実施 試験(2)の問題 解説	<p>【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. グループ学習の重要性を理解する。</p> <p>【準備学習項目】</p>	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 亮 田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/20 (木) 1時限 09:00～10:30	試験 (2) 実施 試験 (2) の問題 解説	3年次前期で学んだ内容の試験に対応できる。 【学習場所・媒体等】 301教室その他 【学習方略 (L S)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 6 チーム歯科医療 オ 社会生活 f 自立 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。	若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌
2014/11/27 (木) 1時限 09:00～10:30	試験 (2) の問題 解説 グループによる問 題解説 試験 (3) のため のグループ分け	【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. 問題点の抽出、解決の過程を理解する。 【準備学習項目】 試験の内容を理解し解説できる。 【学習場所・媒体等】 301教室その他 【学習方略 (L S)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 6 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 a リーダーシップ 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌
2014/12/04 (木) 1時限 09:00～10:30	試験 (2) の問題 解説 試験 (3) 問題作 成 グループによる問 題解説および問題 作成	【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。 【行動目標 (SBOs)】 1. 情報収集、選択の重要性を理解する。 【準備学習項目】 試験の内容を理解し解説できる。 3年次後期で学んだ内容を整理する。 【学習場所・媒体等】 301教室その他 【学習方略 (L S)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 6 チーム歯科医療 エ コンサルテーション a 自己責任と自分の限界 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/11 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(3)の問題作成 試験(3)の解説の作成 グループによる問題作成	<p>【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 問題点の抽出、解決の過程を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 3年次後期で学んだ内容から問題を抽出する。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室その他</p> <p>【学習方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 b チームの調整技能</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。</p>	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 亮 田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌
2014/12/18 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(3)実施	<p>【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. グループ学習の重要性を理解する。</p> <p>【準備学習項目】 3年次後期で学んだ内容に試験に対応できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室</p> <p>【学習方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 b チームの調整技能</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。</p>	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 亮 田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌
2015/01/08 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(3)の問題解説 各自による問題解説	<p>【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 説明能力の重要性を理解する</p> <p>【準備学習項目】 試験の内容を理解し解説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 301教室</p> <p>【学習方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 a リーダーシップ</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備</p>	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 亮 田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/08 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(3)の問題 解説 各自による問題解 説	①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 亮 田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌
2015/01/15 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(3)の問題 解説 各自による問題解 説	【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 説明能力の重要性を理解する 【準備学習項目】 試験の内容を理解し解説できる。 【学習場所・媒体等】 301教室 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 6 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 b チームの調整技能 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 亮 田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌
2015/01/22 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(3)の問題 解説 各自による問題解 説	【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 説明能力の重要性を理解する 【準備学習項目】 試験の内容を理解し解説できる。 【学習場所・媒体等】 301教室 【学習方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 6 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 b チームの調整技能 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 亮 田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌
2015/01/29 (木) 1時限 09:00～10:30	試験(3)の問題 解説 各自による問題解 説	【授業の一般目標】 自ら問題点を探し出し、自己学習によって解決することを学ぶ。 【行動目標(SBOs)】 1. 説明能力の重要性を理解する 【準備学習項目】 試験の内容を理解し解説できる。 【学習場所・媒体等】 301教室 【学習方略(LS)】 演習	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 亮 田 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/29 (木) 1時限 09:00~10:30	試験(3)の問題 解説 各自による問題解 説	<p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 16 チーム歯科医療 ウ チームワーク形成 a リーダーシップ</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 A-4 インフォームドコンセント ②必要な情報を整理し、わかりやすい口頭説明と文書を準備できる。</p>	山根 潤一 木場 秀夫 加藤 治 後藤 宏也 玉村 亮 林 幸男 神谷 和伸 若見 昌信 鈴木 英明 神尾 直人 中山 洋平 池島 厚 小方 頼昌

予防歯科学

年次	学期	学則科目責任者
3年次	後学期	那須 郁夫 (公衆予防歯科学)

学習目標 (G I O)	<p>本来、本講義は歯科疾患の予防について学ぶ科目である。しかし今日では、単なる歯科疾患を意識した予防という考え方でなく、体の一部分である歯や口腔が健康であることを通じて、その人自身が健康であること、また、健康かどうかだけでなく、日常生活（活動）が自立しているか、さらに、社会参画が実現しているかといったところまで、守備範囲を広げて学ぶ必要性が出てきている。</p> <p>すなわち、予防歯科学実習を通じて「歯科・口腔」を専門分野としつつ、「体全体」についても深い造詣を持てるように、また、「地域の人々」が生き生きとした生活を送っているかどうかにも深い配りのできるような態度を身につけるための、基礎的素養を身につけることを目標にする。</p> <p>実習は、「歯科・口腔」の専門家としての基本的技術を体得する実習と、グループによる健康に関する「問題解決」実習を用意してある。前者は、主に、口腔内診査と歯科疾患の予防方法に関するものであり、後者は、チームワークによる問題解決のプロセスの体験のための実習である。</p>
担当教員	那須 郁夫、後藤田 宏也、有川 量崇、田口 千恵子、内山 敏一、※秋月 照彦、※生田 明敏、※佐藤 誠司、※新保 秀樹、※深井 穂博、※渡邊 裕
教科書	口腔衛生学2014 松久保 隆、八重垣 健、前野正夫監修 一世出版
参考図書	国民衛生の動向 厚生統計協会 厚生統計協会
評価方法 (E V)	<p>講義：2回の平常試験によって評価点とする。レポートを課すことがある。</p> <p>実習：レポート・提出物の評価、実習態度、課題の発表と討論および筆記試験などによって評価点とする。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>歯科の専門家として、口腔衛生・予防歯科は、歯科の中心に据えてもらいたい。</p> <p>歯科に関する実習では、基本に忠実にと願いたい。また、問題解決実習（昭和51年からの伝統的実習）では、問題発見から、調査、分析、発表まで、それぞれのグループの個性あふれる研究成果を毎年楽しみにしている。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/09/29 (月) 2時限 10:40~12:10	口腔機能の発育、維持向上、疾病の多要因病因説	<p>【授業の一般目標】 口腔機能の発育、維持向上および疾病の多要因病因説について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔機能の維持増進の意義について説明できる。 2. 口腔機能と発育について説明できる。 3. 摂食・嚥下機能について説明できる。 4. 疾病の多要因病因について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯、口腔の発育発達と機能について概説できる。 疾病の多要因病因について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 ア 齲蝕の原因</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 2 歯周病の予防・管理 ア 歯周病の病因 3 不正咬合の予防・管理 ア 不正咬合発生・進行の要因</p> <p>歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 ソ 唾液分泌</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 *①第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 C 生命科学 C-2 人体の構造と機能 C-2-4) 人体諸器官の成長、発育と加齢変化 *①人体諸器官の形態と機能の成長、発育および加齢に伴う変化を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/09/29 (月)	実習	【授業の一般目標】	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
3時限 13:00～14:30	オリエンテーション ----- [選択課題]	<p>口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成</p> <p>-----</p> <p>・課題選択の検討</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	後藤田 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/09/29 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 オリエンテーション ----- [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習マニュアルを受け、本実習で行う項目、実習の形態、進め方を理解する。 ・担当教員の紹介 ・実習班の編成</p> <p>-----</p> <p>・課題選択の検討</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	那須 郁夫 後藤田 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/10/06 (月) 2時限 10:40～12:10	歯と口腔内環境・ 口腔清掃	<p>【授業の一般目標】 歯と口腔内環境・口腔清掃について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯、歯質および歯周組織について説明できる。 2. バイオフィーム、病原微生物およびう蝕と食事要因を説明できる。 3. 口腔清掃 (歯ブラシによる清掃、歯磨剤、洗口剤) を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯と口腔内環境および口腔清掃について概説できる。</p>	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/06 (月) 2時限 10:40~12:10	歯と口腔内環境・ 口腔清掃	<p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 6 保健指導 イ 口腔清掃法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ケ 口腔清掃 a 機械的・化学的プラーク<口腔バイオフィルム>コントロール b プラーク形成機序・付着抑制 c 口腔清掃行動 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 ア 齲蝕の原因 2 歯周病の予防・管理 ア 歯周病の病因 6 保健指導 ア 口腔清掃の意義 ウ 口腔清掃指導</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 *②プロフェッショナルケア、セルフケアおよびコミュニティケアを説明できる。 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。</p>	後藤田 宏也
2014/10/06 (月) 3時限 13:00~14:30	実習 [必須課題] ・齲蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕 ----- [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 学校歯科健康診査について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 ・学校歯科健康診査基準により、抜去歯のう蝕検査を行い、実態顕微鏡での観察を行う。 ・学校歯科健康診査を想定し、う蝕検診の相互診査実習を行う。診査者間誤差を最少にする方法について検討する。</p> <p>・自主活動</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論 II 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 オ 学校歯科保健管理</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。</p>	那須 郁夫 後藤田 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/10/06 (月) 4時限 14:40~16:10	実習 [必須課題] ・齲蝕検出基準 (抜去歯)	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p>	那須 郁夫 後藤田 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/06 (月) 4時限 14:40～16:10	・集団歯科検診法 I : う蝕 ----- [選択課題]	1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学習項目】 学校歯科健康診査について概説できる。 【学習場所・媒体等】 ・学校歯科健康診査基準により、抜去歯のう蝕検査を行い、実態顕微鏡での観察を行う。 ・学校歯科健康診査を想定し、う蝕検診の相互診査実習を行う。診査者間誤差を最少にする方法について検討する。 ----- ・自主活動 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 オ 学校歯科保健管理 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。	生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/10/20 (月) 2時限 10:40～12:10	齲蝕予防管理方法 1 : 砂糖の影響とその制限	【授業の一般目標】 齲蝕予防管理方法 (砂糖の影響とその制限) について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 非う蝕誘発性甘味料について説明できる。 2. 間食指導について説明できる。 【準備学習項目】 う蝕予防のための砂糖の制限について概説できる。 【学習方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ク 保健指導 a 栄養と食生活 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 7 食育と食の支援 ア 食生活と健康課題 ウ 間食指導 エ ライフステージと食の支援 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 *①第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。	有川 量崇
2014/10/20 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・齲蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる。	那須 郁夫 後藤 宏也 田口 量崇 秋月 千恵子 生田 照彦 明敏

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/20 (月) 3時限 13:00~14:30	----- [選択課題]	2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学習項目】 学校歯科健康診査基準について概説できる。 【学習場所・媒体等】 ・学校歯科健康診査基準により、抜去歯のう蝕検査を行い、実態顕微鏡での観察を行う。 ・学校歯科健康診査を想定し、う蝕検診の相互診査実習を行う。診査者間誤差を最少にする方法について検討する。 ・自主活動 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 オ 学校歯科保健管理 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。	佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/10/20 (月) 4時限 14:40~16:10	実習 [必須課題] ・齶蝕検出基準 (抜去歯) ・集団歯科検診法 I : う蝕 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 学校歯科健康診査基準による抜去歯のう蝕検査を説明できる。 2. 学校歯科健康診査のう蝕検診を説明できる。 【準備学習項目】 学校歯科健康診査基準について概説できる。 【学習場所・媒体等】 ・学校歯科健康診査基準により、抜去歯のう蝕検査を行い、実態顕微鏡での観察を行う。 ・学校歯科健康診査を想定し、う蝕検診の相互診査実習を行う。診査者間誤差を最少にする方法について検討する。 ・自主活動 【学習方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 オ 学校歯科保健管理 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/10/27 (月) 2時限	齶蝕予防管理方法 2 : フッ化物応用	【授業の一般目標】 齶蝕予防管理方法 (フッ化物応用の基礎) について理解する。	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
10:40~12:10	の基礎	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> フッ化物の基本的知識について説明できる。 フッ化物の代謝について説明できる。 フッ化物と歯のフッ素症について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>フッ化物応用の基礎について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 キ フッ化物の応用法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 キ フッ化物応用 a 全身的应用 b 局所的应用 c 安全性</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とプラークコントロールを含む。】</p>	那須 郁夫
2014/10/27 (月) 3時限 13:00~14:30	<p>必須課題]</p> <p>・集団歯科検診法 Ⅱ: 歯周疾患 ・歯口清掃法</p> <p>-----</p> <p>[選択課題]</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <p>口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p> <p>【実習】 第1実習室、第4実習室</p> <p>・歯周疾患 (CPI)、歯口清掃評価の相互診査を行う。 ・種々の歯口清掃法の体験と評価を行う。</p> <p>【学習方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ク 歯科領域における統計指標</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。</p>	<p>那須 郁夫 後藤田 宏也 有川 量崇 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹</p>
2014/10/27 (月) 4時限 14:40~16:10	<p>必須課題]</p> <p>・集団歯科検診法 Ⅱ: 歯周疾患 ・歯口清掃法</p> <p>-----</p> <p>[選択課題]</p>	<p>【授業の一般目標】</p> <p>口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について説明できる。 <p>【準備学習項目】</p> <p>歯周疾患 (CPI) の評価および歯口清掃評価について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】</p>	<p>那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/10/27 (月) 4時限 14:40～16:10	<p>必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法</p> <hr/> <p>[選択課題]</p>	<p>【実習】第1実習室、第4実習室 ・歯周疾患（CPI）、歯口清掃評価の相互診査を行う。 ・種々の歯口清掃法の体験と評価を行う。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ク 歯科領域における統計指標</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。</p>	<p>那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹</p>
2014/11/10 (月) 2時限 10:40～12:10	<p>齲蝕予防管理方法 3：フッ化物応用・ フィッシャーシーラント</p>	<p>【授業の一般目標】 フッ化物応用とフィッシャーシーラントについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. フッ化物によるう蝕予防のメカニズムについて説明できる。 2. フッ化物の全身応用法について説明できる。 3. フッ化物の局所応用法について説明できる。 4. フィッシャーシーラントについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 フッ化物応用とフィッシャーシーラントについて概説できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 キ フッ化物応用 a 全身的应用 b 局所的应用 c 安全性</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 F 臨床実習 F-9 小児歯科実習 F-9-2) 予防填塞 ③予防填塞材を適切に填塞できる。</p>	<p>那須 郁夫</p>
2014/11/10 (月) 3時限 13:00～14:30	<p>[必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法</p> <hr/> <p>[選択課題]</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周疾患（CPI）の評価および歯口清掃評価について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周疾患（CPI）の評価および歯口清掃評価について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・歯周疾患（CPI）、歯口清掃評価の相互診査を行う。</p>	<p>那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/10 (月) 3時限 13:00～14:30	<p>[必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法</p> <p>-----</p> <p>[選択課題]</p>	<p>・種々の歯口清掃法の体験と評価を行う。</p> <p>-----</p> <p>・自主活動</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ク 歯科領域における統計指標</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。</p>	<p>那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹</p>
2014/11/10 (月) 4時限 14:40～16:10	<p>[必須課題] ・集団歯科検診法 Ⅱ：歯周疾患 ・歯口清掃法</p> <p>-----</p> <p>[選択課題]</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周疾患（CPI）の評価および歯口清掃評価について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯周疾患（CPI）の評価および歯口清掃評価について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・歯周疾患（CPI）、歯口清掃評価の相互診査を行う。 ・種々の歯口清掃法の体験と評価を行う。</p> <p>-----</p> <p>・自主活動</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ク 歯科領域における統計指標</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。</p>	<p>那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹</p>
2014/11/17 (月) 2時限 10:40～12:10	<p>歯周疾患と全身状態</p>	<p>【授業の一般目標】 歯周疾患と全身状態について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周疾患の定義、特徴および分類について説明できる。 2. 歯周疾患の病因について説明できる。□ 3. 歯周疾患の予防管理の具体的な進め方について説明できる。</p>	<p>有川 量崇</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/17 (月) 2時限 10:40～12:10	歯周疾患と全身状態	<p>【準備学習項目】 歯周疾患の定義について概説できる。□□□ 歯周疾患の予防管理について概説できる。□□□□ 歯石除去法と咬合管理について概説できる。□□□□</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論1 歯科疾患の予防・管理 2 歯周病の予防・管理 オ 歯周病の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論1 歯科疾患の予防・管理 2 歯周病の予防・管理 ア 歯周病の病因 イ 歯周病のリスクファクター・診断 ウ ライフステージと歯周病 エ 歯周病と生活習慣病のリスク カ 歯周病の予防効果の評価</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念 *①第一次、第二次および第三次予防を説明できる。 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。</p>	有川 量崇
2014/11/17 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について説明できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定</p> <p>-----</p> <p>・自主活動</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齶蝕の予防・管理 オ 齶蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齶蝕の予防・管理 イ 齶蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論VI 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/11/17 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/11/17 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について説明できる。 【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定 ----- ・自主活動 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齶蝕の予防・管理 オ 齶蝕の予防手段 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齶蝕の予防・管理 イ 齶蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論VI 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/12/01 (月) 2時限 10:40～12:10	疾病のリスク評価 の実際・口臭予防	【授業の一般目標】 う蝕リスク診断法とその特徴および口臭の原因と予防について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯、宿主要因に関するリスク診断について説明できる。□ 2. 微生物要因に関するリスク診断について説明できる。 3. 飲食物の要因と時間要因に関するリスク診断について説明できる。 4. 口臭症と歯科臨床について説明できる。 5. 口臭の臨床ガイドラインについて説明できる。 【準備学習項目】 う蝕のリスク診断法について概説できる。 口臭予防について概説できる。 【学習方略（LS）】 講義	内山 敏一

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/01 (月) 2時限 10:40~12:10	疾病のリスク評価 の実際・口臭予防	<p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 4 口臭の予防・管理 ア 口臭の原因 イ 口臭の診断 ウ 口臭の予防・治療</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。</p>	内山 敏一
2014/12/01 (月) 3時限 13:00~14:30	<p>実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法</p> <p>----- [選択課題]</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習] 第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定</p> <p>----- ・自主活動</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 ソ 唾液分泌 歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論VI 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。</p>	<p>那須 郁夫 有川 量崇 後藤 田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/01 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定</p> <p>-----</p> <p>・自主活動</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 ソ 唾液分泌 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論VI 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/12/08 (月) 2時限 10:40～12:10	歯科保健の統計指標 平常試験 1	<p>【授業の一般目標】 歯科保健の統計指標について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 疾病数量化の基本概念について説明できる。 2. う蝕の統計指標について説明できる。 3. 歯周疾患の統計指標について説明できる。 4. 口腔清掃状態の統計指標について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科保健の統計指標について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ク 歯科領域における統計指標</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p>	那須 郁夫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/08 (月) 2時限 10:40~12:10	歯科保健の統計指標 平常試験 1	<p>歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ケ 歯科領域における疫学調査</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/12/08 (月) 3時限 13:00~14:30	<p>実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法</p> <p>----- 〔選択課題〕</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定</p> <p>----- ・自主活動</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防充填とブラークコントロールを含む。】 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/12/08 (月) 4時限 14:40~16:10	<p>実習 〔必須課題〕 ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法</p> <p>----- 〔選択課題〕</p>	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/08 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	<p>・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定</p> <p>-----</p> <p>・自主活動</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防充填とブラークコントロールを含む。】 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/12/15 (月) 2時限 10:40～12:10	歯科疾患統計の実際	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患統計の実態について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯の喪失の実態について説明できる。 2. 歯の喪失の原因について説明できる。 3. う蝕の疫学的特性について説明できる。 4. う蝕の有病状況について説明できる。 5. 根面う蝕の状況について説明できる。 6. 歯周疾患の疫学的特性について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科疾患統計の実態について概説できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 ケ 歯科領域における疫学調査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 10 疫学とその応用 コ 齲蝕の疫学要因 サ 歯周病の疫学要因</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-4 疫学・保健医療統計 B-4-1) 口腔疾患の疫学 *③口腔疾患の疫学的指標を説明できる。</p>	那須 郁夫
2014/12/15 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 -----	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/15 (月) 3時間 13:00～14:30	----- [選択課題]	3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について概説できる。 【学習場所・媒体等】 【【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定 ----- ・自主活動 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 ソ 唾液分泌 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法 各論Ⅵ 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。	新保 秀樹
2014/12/15 (月) 4時間 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕リスク診断について説明できる。 2. フィッシャーシーラントについて説明できる。 3. 口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価について説明できる。 4. F イオン濃度測定について説明できる。 【準備学習項目】 う蝕リスク診断、フィッシャーシーラント口腔運動機能、嚥下機能およびF イオン濃度測定について概説できる。 【学習場所・媒体等】 【【実習】第1実習室、第4実習室 ・唾液緩衝能、唾液流量、細菌検査、 ・フィッシャーシーラント ・口腔運動機能、嚥下機能および唾液分泌量の評価 ・各自持参の飲料水、茶などのF イオン濃度測定 ----- ・自主活動 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第1実習室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅰ 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 オ 齲蝕の予防手段	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/15 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・う蝕活動性試験 ・う蝕予防法 ・口腔機能の評価 ・フッ化物定量法 ----- [選択課題]	<p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論IV 歯・口腔・顎・顔面の正常構造と機能 3 口腔・顎・顔面・頭頸部の機能 オ 咀嚼 カ 嚥下 コ 発音、構音 ソ 唾液分泌</p> <p>歯科医学各論 各論I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価 キ フッ化物の応用法</p> <p>各論VI 高齢者の歯科診療 15 摂食・嚥下機能 ウ 摂食・嚥下障害の評価・検査</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患(う蝕、歯周疾患、不正咬合)の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *⑩摂食・嚥下障害の診察、検査、診断を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/12/22 (月) 2時限 10:40～12:10	母子歯科保健	<p>【授業の一般目標】 母子を対象とした集団レベルの歯科疫学と口腔衛生管理を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 妊産婦の歯科保健について説明できる。 2. 乳幼児の歯科保健について説明できる。 3. 母子保健手帳について説明できる。 4. 母子歯科保健のこれまでの歩みと今後の課題について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 母子歯科保健について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 2 母子保健、母子歯科保健 オ 母子歯科保健の意義</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ウ 母子保健 a 歯科健康診査(妊産婦、1歳6か月児、3歳児)</p> <p>歯科医学総論 総論II 健康管理・増進と予防 2 母子保健、母子歯科保健 カ 妊産婦の歯科保健 キ 乳幼児の歯科保健 ク 乳幼児歯科健康診査 ケ 母子歯科保健教育</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *④集団レベルの予防と健康管理(地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。</p>	有川 量崇
2014/12/22 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/22 (月) 3時限 13:00~14:30	実習 [選択課題]	<p>ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/12/22 (月) 4時限 14:40~16:10	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2014/12/25 (木) 2時限 10:40~12:10	学校歯科保健	<p>【授業の一般目標】 学校歯科保健について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 学校歯科医について説明できる。 2. 学校歯科保健活動について説明できる。 3. 学校教育法および学校保健安全法について説明できる。 4. 学校歯科保健活動のこれまでの歩みと今後の課題について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 学校歯科保健について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 オ 学校歯科保健管理</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 エ 学校保健 a 保健教育・保健管理の概要 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 3 学校保健、学校安全、学校歯科保健 エ 学校歯科保健教育 カ 組織活動 キ 学校安全</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。</p>	後藤田 宏也
2014/12/25 (木) 3時限 13:00~14:30	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2014/12/25 (木) 3時限 13:00~14:30	実習 [選択課題]	<p>自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	新保 秀樹
2014/12/25 (木) 4時限 14:40~16:10	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/01/19 (月) 2時限 10:40~12:10	産業歯科保健	<p>【授業の一般目標】 産業歯科保健について理解できる。</p> <p>【行動目標 (S B O s)】 1. 産業歯科保健の意義について説明できる。 2. 産業歯科保健に関する制度について説明できる。 3. 口腔領域に現れる職業性疾患について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 産業歯科保健について概説できる。</p> <p>【学習方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 4 産業保健、産業歯科保健 カ 産業歯科保健活動</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 4 産業保健、産業歯科保健 オ 産業歯科保健の意義 キ 職業性歯科疾患 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 オ 産業保健 a 労働者の健康管理、トータルヘルスプロモーションプラン <THP></p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健)を説明できる。</p>	後藤田 宏也

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/19 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [必須課題] ・う蝕活動試験評価 ----- [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕活動試験評価とう蝕レーダーチャートについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕活動試験評価とう蝕レーダーチャートについて概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習] 第1実習室、第4実習室 ・各自のう蝕レーダーチャートを作成し、評価を行う。</p> <p>-----</p> <p>・自主活動</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/01/19 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [必須課題] ・う蝕活動試験評価 ----- [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 口腔内診査と歯科疾患の予防方法およびチームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. う蝕活動試験評価とう蝕レーダーチャートについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 う蝕活動試験評価とう蝕レーダーチャートについて概説できる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 実習] 第1実習室、第4実習室 ・各自のう蝕レーダーチャートを作成し、評価を行う。</p> <p>-----</p> <p>・自主活動</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論 I 歯科疾患の予防・管理 1 齲蝕の予防・管理 イ 齲蝕リスク検査・評価</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/01/26 (月) 2時限 10:40～12:10	成人・老人歯科保健	<p>【授業の一般目標】 成人、高齢者を対象とした集団レベルの疫学と口腔衛生管理、また社会的支援のあり方を理解する。</p> <p>1. 高齢者の特性 2. 加齢による身体的、精神的変化 3. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化 4. 高齢者に対する歯科疾患予防 5. 高齢者の歯科診療における注意点 6. 摂食嚥下障害への対処 7. 制度とニーズ把握</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 高齢者の特性について説明できる。 2. 加齢による身体的、精神的変化について説明できる。 3. 加齢に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化について説明できる。 4. 高齢者に対する歯科疾患予防について説明できる。 5. 高齢者の歯科診療における注意点について説明できる。</p>	渡邊 裕

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/26 (月) 2時限 10:40～12:10	成人・老人歯科保健	<p>6. 摂食嚥下障害への対処について説明できる。 7. 制度とニーズ把握について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 成人・老人歯科保健について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 5 成人保健、成人歯科保健 ウ 成人歯科保健</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 6 高齢者保健 ア 現状、動向 イ 高齢者の特性 エ 要介護高齢者の歯科保健・医療</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-3) 高齢者の歯科治療 *④高齢者における口腔ケア処置について説明できる。 *⑤口腔機能向上による介護予防について説明できる。</p>	渡邊 裕
2015/01/26 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室 自主活動</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/01/26 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [選択課題]	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習場所・媒体等】 【実習】第1実習室 自主活動</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第1実習室</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/01/26 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [選択課題]	<p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/02/02 (月) 2時限 10:40～12:10	障害者歯科保健・ 国際歯科保健	<p>【授業の一般目標】 障害者歯科保健と国際歯科保健について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 障害の概念について説明できる。 2. 障害児・者の口腔保健の特性について説明できる。 3. 口腔保健管理とそれを支える特性について説明できる。 4. 国際歯科保健について説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 障害者歯科保健と国際歯科保健について概説できる。</p> <p>【学習方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 8 障害者保健福祉 エ 障害者の歯科保健と医療・福祉</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅰ 保健医療論 7 国際保健 ア 世界の保健・医療の問題と方向性 イ 国際保健・医療協力 総論Ⅱ 健康管理・増進と予防 8 障害者保健福祉 ウ 障害者の保健と医療・福祉</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-2 健康と社会、環境 B-2-2) 保健・医療・福祉制度 *⑧地域医療に求められる役割と機能および体制等、地域医療の在り方を概説できる。 E 臨床歯学教育 E-4 歯科医療の展開 E-4-4) 障害者の歯科治療 ③障害者およびその介護者に対して歯科保健指導ができる。</p>	深井 稜博
2015/02/02 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 A-6-2) 研究マインドの涵養 ④検索・検出した医学・医療情報から新たな課題・仮説を設定し、解決に向けて科学研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/02 (月) 3時限 13:00～14:30	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	る。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/02/02 (月) 4時限 14:40～16:10	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 A-6-2) 研究マインドの涵養 ④検索・検出した医学・医療情報から新たな課題・仮説を設定し、解決に向けて科学研究 (臨床研究、疫学研究、生命科学研究等) に参加することができる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/02/05 (木) 2時限 10:40～12:10	まとめ	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科疾患の予防の重要性を説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科疾患の予防について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。</p>	那須 郁夫
2015/02/05 (木) 3時限 13:00～14:30	実習 [選択課題] 課題の発表と討論	<p>【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。</p> <p>【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤田 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/05 (木) 3時限 13:00～14:30	実習 〔選択課題〕 課題の発表と討論	ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。 A-6-2) 研究マインドの涵養 ④検索・検出した医学・医療情報から新たな課題・仮説を設定し、解決に向けて科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/02/05 (木) 4時限 14:40～16:10	実習 〔選択課題〕 課題の発表と討論	【授業の一般目標】 チームワークによる問題解決のプロセスについて習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. 保健に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 【準備学習項目】 自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 【学習方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学的研究が必要であることの重要性を説明できる。 A-6-2) 研究マインドの涵養 ④検索・検出した医学・医療情報から新たな課題・仮説を設定し、解決に向けて科学的研究（臨床研究、疫学研究、生命科学研究等）に参加することができる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/02/09 (月) 2時限 10:40～12:10	平常試験 2	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科疾患の予防について具体的に説明できる。 【準備学習項目】 歯科疾患の予防について概説できる。 【学習方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念 【コアカリキュラム】 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患（う蝕、歯周疾患、不正咬合）の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防填塞とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理（地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健）を説明できる。 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。	那須 郁夫
2015/02/09 (月) 3時限 13:00～14:30	実習試験 まとめ	【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯科疾患の予防について具体的に説明できる。 【準備学習項目】 歯科疾患の予防について概説できる。	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2015/02/09 (月) 3時限 13:00～14:30	実習試験 まとめ	<p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防充填とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹
2015/02/09 (月) 4時限 14:40～16:10	実習試験 まとめ	<p>【授業の一般目標】 歯科疾患の予防について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科疾患の予防について具体的に説明できる。</p> <p>【準備学習項目】 歯科疾患の予防について概説できる。</p> <p>【学習方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第1実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 3 予防と健康管理・増進 ア 健康増進と疾病予防 a 概念</p> <p>【コアカリキュラム】 A 基本事項 A-6 生涯学習 A-6-1) 生涯学習への準備 ①自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決することができる。 ②歯科医学・医療に関連する情報を客観的・批判的に統合整理することができる。 ③医療の改善のために不断の評価・検証と倫理的および患者の利益と安全に配慮した科学研究が必要であることの重要性を説明できる。 B 社会と歯学 B-3 予防と健康管理 B-3-2) 口腔疾患の予防と健康管理 *①主な口腔疾患 (う蝕、歯周疾患、不正咬合) の予防を説明できる。【生活習慣病の改善指導を含む。】 *②う蝕予防におけるフッ化物の応用方法を説明できる。【予防充填とブラークコントロールを含む。】 *③ライフステージにおける予防を説明できる。 *④集団レベルの予防と健康管理 (地域歯科保健、学校歯科保健、産業歯科保健) を説明できる。 *⑤口腔ケアの意義と効果を説明できる。</p>	那須 郁夫 有川 量崇 後藤 宏也 田口 千恵子 秋月 照彦 生田 明敏 佐藤 誠司 新保 秀樹